

注意／Attention.

ここに掲載されているシラバスは、
2023 年 4 月 4 日時点の内容です。
最新版は学務情報システムでご確認
ください。

The syllabuses listed here are current
as of April 4 2023 Please check the
Student Affairs Information System
for the latest version.

経済学入門A/Introduction to Economics A

担当教員/Instructor: 守 健二/KENJI MORI

曜日・講時/Day/Period: 前期 火曜日 3 講時

対象学年/Eligible Participants: 1・2,

科目ナンバリング/Course Numbering: EAL-EC0201J, 単位数/Credit(s): 2

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class:

本科目は、「資本主義とは何か」を説明する理論としてマルクス経済学の意義と限界、そして近年のその発展について入門レベルで講義する。なお、マルクス経済学はミクロ経済学やマクロ経済学とは概念や方法論が異なるので、その相異を予め了解したうえで、2年次以降の履修計画を十分考慮して受講することが望ましい。

The course aims to provide the students with basic knowledge on the Marxian Economics. The participants are expected to be aware that this is a different subject from the Neo-Classical mainstream economics.

2. 学修の到達目標/Goal of study:

- ・資本主義の歴史的発生のプロセスについて理解する
- ・『資本論』（とくに第一部）の概要について理解する
- ・古典派経済学およびその後継者としてのマルクス経済学の意義と限界について理解する
- ・格差・不平等の拡大という現代的課題に対するマルクス経済学の含意を読み取る
- ・マルクス経済学を合理的に再構成する試みとしての「数理マルクス経済学」の初歩を学ぶ

The goal of the course is to understand:

- historical process of emergence of capitalism
- essence of 'Capital' volume I
- contributions and limits of the Classical and Marxian Economics
- implication for contemporary issues of inequality
- introduction to Mathematical Marxian Economics

3. 授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class:

第一部 重農学派・古典派経済学の継承

第1章 ケネーの経済表

第2章 アダム・スミスの自然価格論

第3章 リカードの所得分配論

第二部 マルクス経済学の主要論点

第1章 商品と労働価値

第2章 貨幣

第3章 資本の一般的定式と絶対的剰余価値

第4章 相対的剰余価値と特別剰余価値

第5章 資本の蓄積と利潤率

補章 マルクスの「利潤率傾向的低下の法則」と T. ピケティの「資本主義第一法則」

第三部 資本主義の発生

第1章 唯物史観

第2章 資本の本源的蓄積（1）エンクロージャーと共同体の解体

第3章 資本の本源的蓄積（2）重商主義と貨幣財産の集積

第四部 数理マルクス経済学の初歩

第1章 J. ローマーによる階級発生の数理モデル

第2章 価値方程式

第3章 転化問題と「マルクスの基本定理」

第4章 置塩定理

Part I Physiocracy and Classics

Ch. 1 F. Quesnay

Ch. 2 A. Smith

Ch. 3 D. Ricardo

Part II Essence of Marxian Economics

Ch. 1 Commodity and Labour Theory of Value

Ch. 2 Money

Ch. 3 General Formula for Capital and Absolute Surplus Value

Ch. 4 Relative Surplus Value and Extra Surplus Value

Supplementary Ch. Marx's Law of Falling Rate of Profit and Th. Piketty's First Fundamental Law of Capitalism

Part III Emergence of Capitalism

Ch. 1 Historical Materialism

Ch. 2 Primitive Accumulation of Capital (1)

Ch. 3 Primitive Accumulation of Capital (2)

Part IV Introduction to Mathematical Marxian Economics

Ch. 1 J. Roemer's Mathematical Model of Emergence of Classes

Ch. 2 Value Equation

Ch. 3 Transformation Problem and Fundamental Marxian Theorem

Ch. 4 Okishio Theorem

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

5. 使用言語/Language Used in Course :

日本語

6. 成績評価方法/Evaluation method :

- ・授業は原則対面で行う。なお出席は評価において点数加算しない。
- ・講義期間中に3回、課題をオンライン上で提出する（各回配点は25%、合計75%）。なお課題は、提出締切の3日前までに下記 Google Classroom にて出題する。
- ・併せて学期末に筆記試験を対面で行う（配点は25%）。
- ・3回の課題および学期末試験の合計得点が60%以上のものを合格とする。

7. 教科書および参考書/Textbook and references :

8. 関連URL/URL :

Google Classroom 「EB101 経済学入門A」 クラスコード: mlftfqe

講義に関する資料配布および連絡事項は上記 Google Classroom にて行うので、必ず定期的に参照すること。

9. 授業時間外学修/Preparation and Review :

予習、復習としてとくに参考文献を読むことが、学習目標の到達の重要な条件である。

10. その他/In addition :

メディア授業科目 /Course of Media Class:

授業は原則対面で行いますが、数回オンラインで行う場合があります。その場合には事前に上記 Google Classroom で周知します。

受講前に必ず Google Classroom、クラスコード: mlftfqe を参照してください。

講義に関する資料配布および連絡事項は上記 Google Classroom にて行いますので、必ず定期的に参照してください。

教科書および参考書は講義中に指示します。

履修者が300名を超えた場合、経済学部以外の学部からの履修を認めない場合があります。

経済学入門B/Introduction to Economics B

担当教員/Instructor: 吉田 浩/HIROSHI YOSHIDA

曜日・講時/Day/Period: 後期 月曜日 2 講時

対象学年/Eligible Participants: 1・2,

科目ナンバリング/Course Numbering: EAL-EC0202J, 単位数/Credit(s): 2

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class:

経済学の入門的知識を講義形式でレクチャーする。

An introduction to modern economics.

2. 学修の到達目標/Goal of study:

近代経済学の基礎的な理論がわかるようになる。

特に、専門課程のミクロ経済学、マクロ経済学の基礎が理解できるようになることが目標。

Acquiring basic knowledge of macro and microeconomics.

3. 授業内容・方法と進捗予定/Contents and progress schedule of the class:

0. イントロダクション (近代経済学とはどのような学問か) ;Introduction

1. 消費者行動の経済学 (何をどれだけ買ったら幸せになるか) ;Consumer

2. 企業行動の経済学 (何をどれだけ作ればもうかるか) ;Firms

3. 市場の経済学 (需要と供給の会合ところで何が起こるか) ;Market

4. 金融の経済学 (貨幣、銀行、株式市場のはたらき) ;Finance and Money

5. マクロの経済学 (国民総生産、インフレ、デフレとはなにか) ;Macro economics

6. 政府の経済学 (税金、公共財、景気対策、福祉事業) ;Public sector

7. 国際経済学 (貿易収支、外国為替、国際的政策協調) ;International economics

4. 実務・実践的授業/Practicalbusiness

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○"Indicatesthe practicalbusiness

5. 使用言語/Language Used in Course:

日本語

Japanese

6. 成績評価方法/Evaluation method:

学期末にマークシート式筆記試験 (100 点法、持ち込み不可) を行う。

ただし、新型コロナウイルスの流行で、教室で筆記試験が実施できない場合は、

オンラインによる理解度確認セッションで代える場合がありうる。

追試験や再試験の条件は高校までと異なるので、必ず学生便覧を読んでおくこと。

Lessons are provided mainly in Japanese. You can answer by marking in examination.

7. 教科書および参考書/Textbook and references:

Introduction to Modern Economics 2023-24 吉田浩

東北大学生協

2023

川内生協で
用意

教科書

8. 関連URL/URL:

<https://classroom.google.com/c/NTg40DgwNzUyMTU4?cjc=s2wroxj>

クラスコード: s2wroxj

9. 授業時間外学修/Preparation and Review:

予習よりも復習を十分に行うこと。テキストの中に練習問題を掲載する予定。

10. その他/In addition:

メディア授業科目 /Course of Media Class:

・復習でわからないところが生じたら、積極的に質問すること。

・生活上の困りごとが生じた場合も、迷うことなくすぐに相談すること。教官の

電子メールは e-mail: hyoshida.econ@tohoku.ac.jp

電話は Telephone: 022-795-6292 (大学の研究室)
オフィスアワーは 毎週火曜日の 13:00-14:30 である(要予約)。
Office Hour :13:00-14:00 every Tuesday (Reserve in advance)

履修者が 300 名を超えた場合、経済学部以外の学部からの履修を認めない場合があります。

経営学入門/Introduction to Business and Management

担当教員/Instructor: 高浦 康有/YASUNARI TAKAURA

曜日・講時/Day/Period: 後期 火曜日 3 講時

対象学年/Eligible Participants: 1・2,

科目ナンバリング/Course Numbering: EAL-MAN201J, 単位数/Credit(s): 2

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class:

C・I・バーナードの近代組織論を基軸に、組織とは何か、どのようなメカニズムで成り立っているか、どのように管理されるべきか、といった問題意識を背景に経営管理論の諸概念について学習する。

This lecture will provide you the basic knowledge of several concepts of business administration referring to the modern organization theory produced by C.I. Barnard so that you can understand what is the mechanism of business organization, how it should be managed and so on.

2. 学修の到達目標/Goal of study:

2 年次以降、経営学を専門的に学習するにあたっての入門的知識を得ることを目指す。とりわけ身近で小規模な組織を題材に、目の前の具体的な経営事象について多角的に分析し、本質的に理解する経営学的センスを習得することを目標とする。

This lecture aims to let you acquire the introductory knowledge of management and the academic mind in learning how to analyze critical issues embedded in a small business case from various points of view

3. 授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class:

映像資料（ドラマ教材）等を交えながら、以下の分野（項目）について概説する。

- (1) 組織理論の基本枠組（管理過程論、協働システム論、意思決定論）
- (2) 組織構造論（連結ピンモデル、階層原理、組織のデザイン）
- (3) 組織行動論①モチベーション論（内発的動機付け、X-Y理論、動機付け-衛生理論）
- (4) 組織行動論②リーダーシップ論（権限受容説、行動類型論、道徳的リーダーシップ論）
- (5) 組織認識論（組織化プロセス、イナクトメント、組織文化の変革モデル）

本講義は対面授業を基本とするが、Google クラクルーム（下記コード）を通じて授業資料の配布、解説動画の配信及び課題管理、理解度確認セッションを実施する予定である。

クラス コード: ibaadoc

教室では、映像資料の視聴と演習問題に関するディスカッションを中心に進める。授業欠席時も課題提出は可能である。正規の履修登録をせず Google クラクルームのみの登録を通じたオンライン聴講を認める。

We will explore the following contents of the organization theories and frameworks; designing organizational structure, organizational behavior and organizational epistemology.

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

5. 使用言語/Language Used in Course:

日本語

6. 成績評価方法/Evaluation method:

理解度確認テスト及び各講の資料分析レポートに基づいて評価する。

7. 教科書および参考書/Textbook and references:

コア・テキスト経営学入門 第2版	高橋伸夫	新世社	2020	9784883843176	教科書
基礎コース 経営学 第2版	小松章	新世社	2006	4883841057	参考書
テキスト経営学 増補版	井原久光	ミネルヴァ書房	2000	4623051293	参考書
経営管理（有斐閣アルマ）新版	塩次喜代明、高橋伸夫、小林敏男	有斐閣	2009	4641123756	参考書
1からの経営学	加護野忠男、吉村典久	碩学舎	2006	4502696102	参考書
わかる経営学	小樽商科大学・高大連携チーム	日本経済評論社	2005	4818817678	参考書
経営学入門（日経文庫）	榊原清則	日本経済新聞社	2002	4532108535	参考書
ドラマで学ぶ経営学入門	河西邦人	PHP 研究所	2007	4569659713	参考書
ケースに学ぶ経営学 新版（有斐閣ブックス）	東北大学経営学グループ	有斐閣	2008	9784641183582	参考書

8. 関連URL/URL:

毎回の授業に教科書を持参（参照）することが必須である。

9. 授業時間外学修/Preparation and Review:

毎週、次回の講義で取り上げる項目のテキスト該当箇所を指示するので、事前に通読しておくこと。また講義後は、学習した項目に関連して参考文献をテキストで確認し、図書館等で調べ理解を深めることが望ましい。

10. その他/In addition:

メディア授業科目 /Course of Media Class:

履修の条件：とくに予備知識を必要としない。

連絡先（メールアドレス）：教員用 HP (<http://www2.econ.tohoku.ac.jp/~takaura/>) で確認のこと。

オフィスアワー：金曜3限、その他随時

履修者が300名を超えた場合、経済学部以外の学部からの履修を認めない場合があります。
(その場合であってもオンライン聴講は可能です)

会計学入門/Introduction to Accounting

担当教員/Instructor: 吉永 裕登/YUTO YOSHINAGA

曜日・講時/Day/Period: 前期 水曜日 5 講時

対象学年/Eligible Participants: 1・2,

科目ナンバリング/Course Numbering: EAL-ACC201J, 単位数/Credit(s): 2

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class:

本講義の目的は、日商簿記検定3級レベルの知識を身につけることで、企業の成績表とも言える財務諸表の作り方の基礎を理解することです。

The aim of this course is to provide students with a basic understanding of how to prepare financial statements, which can be regarded as a company's performance report, by acquiring knowledge at the level of Level 3 of the JSCE Bookkeeping Certificate.

2. 学修の到達目標/Goal of study:

- ・日商簿記検定3級に合格する程度の簿記に関する知識とスキルを習得すること。
- ・財務諸表の用語に関連するニュースの内容を、ある程度適切に理解できるようになること。
- ・To acquire knowledge and skills in bookkeeping to pass the third level of the JSCE Bookkeeping Certificate.
- ・To understand the content of news related to financial statements in an appropriate manner.

3. 授業内容・方法と進捗予定/Contents and progress schedule of the class:

授業の進捗によっては変更の可能性があります。現時点では下記の予定を立てています。

- 第1回: オリエンテーション、簿記の基礎
- 第2回: 商品売買
- 第3回: 現金、預金
- 第4回: 小口現金、手形と電子記録債権
- 第5回: 貸付金・借入金、その他の債権債務
- 第6回: その他の費用、貸倒と貸倒引当金
- 第7回: 有形固定資産と減価償却、株式の発行、剰余金の配当と処分
- 第8回: 法人税等と消費税、費用収益の前払い等
- 第9回: 帳簿への記入
- 第10回: 試算表、伝票と仕訳日計表、証憑
- 第11回: 精算表と財務諸表
- 第12回: 帳簿の締め切り
- 第13回: 予備日 (外部講師による講演の可能性あり)
- 第14回: 理解度確認セッション
- 第15回: フィードバック

The schedule is subject to change depending on the progress of the classes, but at the moment the following schedule is planned.

- Session 1: Orientation, basics of bookkeeping
- Session 2: Buying and selling of goods
- Session 3: Cash, deposits
- Session 4: Petty cash, bills and electronically recorded receivables
- Session 5: Loans and borrowings, other receivables and payables
- Part 6: Other expenses, bad debts and allowance for doubtful debts
- Session 7: Property, plant and equipment and depreciation, issue of shares, dividends and appropriation of surplus
- Session 8: Income tax and consumption tax, prepayment of expenses and income, etc.
- Session 9: Bookkeeping entries
- Session 10: Trial balance, vouchers and journal entries, vouchers
- 11: Settlement of accounts and financial statements
- 12: Closing the books of accounts
- Session 13: Preliminary date (There may be lecture by outside speakers.)
- Session 14: Comprehension check session
- Session 15: Feedback

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicate the practical business

5. 使用言語/Language Used in Course:

日本語

6. 成績評価方法/Evaluation method:

講義後の小課題 (30 点)、理解度確認セッション (70 点)、その他発言点等による加点を行います。

7. 教科書および参考書/Textbook and references :

スッキリわかる 日商簿記 3 級 滝澤 ななみ
第 14 版

TAC 出版

2023

978-
4300104712

テキスト

8. 関連URL/URL :

9. 授業時間外学修/Preparation and Review :

授業後に出題する小課題の提出と、テキストの練習問題で復習することを推奨します。

10. その他/In addition :

メディア授業科目 /Course of Media Class:

電卓とテキストは必ず用意するようにしてください。ノートもある方が良いと思います。

履修者が 300 名を超えた場合、経済学部以外の学部からの履修を認めない場合があります。

経済史入門/Introduction to Economic History

担当教員/Instructor: 小田中 直樹/NAOKI ODANAKA

曜日・講時/Day/Period: 後期 金曜日 2 講時

対象学年/Eligible Participants: 1・2,

科目ナンバリング/Course Numbering: EAL-EC0203J, 単位数/Credit(s): 2

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class:

[1]授業の目的

人類が織りなしてきた経済という営みの歴史である「経済史」を、経済学と歴史学の知見を借りながら、一気通貫して見てみたいと思います。

[2]授業の概要

したがって、具体的には、

(1)「財の生産、流通、交換（取引、分配など）、消費、再生産」と定義される経済システムのうち、とりわけ歴史的に大きな変遷をとげてきた「生産」プロセスに焦点をあて、

- ・生産システムのありかたは、いかに変化してきたか。
- ・生産プロセスの各々はいかなる特徴をもち、いかにモデル化できるか。
- ・ある生産システムが別の生産システムに移行する際には、いかなるメカニズムが働いていたか。
- ・生産システムの各々や、その移行は、いかなる歴史的意義をもっているか。
- ・こういった問題について、経済学や歴史学の知見を利用しながら概観すると、どうなるか。

(2)「経済史」を研究する学問領域を「経済史学」と呼ぶとすれば、

- ・経済史学は、いかに定義され、いかなる特徴をもっているか。
- ・経済史学は、その上位領域である経済学や歴史学と、いかなる関係を取りむすんでいるか。
- ・経済史を学んで、なにか意味はあるのか。

といった点について考えます。

This class has, as its objective and purpose, following the economic history, i.e., history of economic activities of the human kind, using the knowledge of economics and historical science.

2. 学修の到達目標/Goal of study:

皆さんがこれらの点について知識を得、みずから考えることにより、

- ・経済および経済史学について基本的な知識を得る。
 - ・経済学、歴史学、経済史学を学ぶことの意義について、みずからの意見をもつ。
- ようになることです。

This class has two goals, i.e.,

1. getting the basic knowledge on the economics and economic historical science.
2. forming your own opinion on the reason "why we should study economics, historical science, and economic historical science.

3. 授業内容・方法と進捗予定/Contents and progress schedule of the class:

[1]授業の内容と進捗

1. オリエンテーション
2. 狩猟採集経済
3. 農耕革命
4. ファミリービジネス
5. 資本主義
6. 小作制度と問屋制度
7. 反省会：ミニットペーパーへの回答、授業評価アンケートその1
8. 中間試験
9. 産業革命
10. 企業
11. 経済史学の定義と方法論
12. 経済史学の歴史
13. 最終試験
14. 試験の返却と、全体のまとめ：授業評価アンケートその2
15. 予備日

[2]授業の形態

- ・授業の内容や進捗については、初回までに詳細なシラバスを作成し、下記ホームページにアップします。
- ・なお、ミニットペーパー（質問、意見などを無記名で書いてもらいます）とそれに対するリプライなどの制度などを活用し、なるべく双方向的な授業を心掛けたいと思います。

This class is composed as follows:

1. orientation
2. hunting and gathering economy
3. agricultural revolution
4. family business
5. capitalism
6. sharecropping and putting-out systems
7. review (1)
8. mid-term exam
9. industrial revolution
10. firm
11. definition and methodology of economic historical science
12. history of economic historical science
13. final exam
14. review (2)
15. reserved day

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

5. 使用言語/Language Used in Course :

日本語。

6. 成績評価方法/Evaluation method :

中間試験 (50 点) と最終試験 (50 点) をともに授業時間内におこない、授業期間内に返却してフィードバックを受け付ける予定ですが、変更する可能性もあるので、ホームページ上の詳細シラバスを確認してください。

7. 教科書および参考書/Textbook and references :

ライブ・経済史入門	小田中直樹	勁草書房	2017	教科書
-----------	-------	------	------	-----

8. 関連URL/URL :

・ミニットペーパーをとりまとめたものや詳細シラバスは以下のホームページに掲載します。

<http://www2.econ.tohoku.ac.jp/~odanaka/intro23/index.html>

・なおテキスト初版 (第 1 版第 1 刷) にはいくつかの間違えが含まれています。購入する際は、これらを修正した「第 1 版第 2 刷」を指定することを強く勧めます。なお「第 1 版第 1 刷」については、正誤表をホームページにアップするので、確認のうえ修正しておいてください。

・また、臨時休講その他の連絡は「講義掲示板」

<https://odanakalecture.hatenablog.com/>

でおこないます。学務情報システムなどは利用しないので、ご注意ください。

9. 授業時間外学修/Preparation and Review :

・教科書である小田中直樹『ライブ・経済史入門』(勁草書房、2017) に完全に準拠した授業をおこないます。該当する章を事前に読み、ある程度理解してきたことを前提として授業をすすめるので、これが予習となります。

・授業後に、理解できなかったところをチェックし、試験に備えるのが復習となることは、いうまでもありません。

10. その他/In addition :

メディア授業科目 /Course of Media Class:

・質問などがある場合は、上記「講義掲示板」のコメント機能を利用するか、電子メール (odanaka@tohoku.ac.jp) でご連絡ください。

・授業中は、私語は一切禁止します。絶対、他の受講生諸君のマイワクとなるからです。発見した場合は、一発レッドカードで履修放棄として処理します (過去にもありました)。これ以外の行為、すなわち飲食、着帽、遅刻、欠席、早退、昼寝、読書、ケータイ、メールなどは、周囲にマイワクをかけないかぎりオッケーです。

履修者が 300 名を超えた場合、経済学部以外の学部からの履修を認めない場合があります。

統計学入門/Introduction to Statistics

担当教員/Instructor : 石原 卓弥/TAKUYA ISHIHARA

曜日・講時/Day/Period : 前期 月曜日 2 講時

対象学年/Eligible Participants : 1・2,

科目ナンバリング/Course Numbering : EAL-ECM201J, 単位数/Credit(s) : 2

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class :

経済学、経営学の問題のみならず社会における様々な問題を解決するため、データに基づく意思決定はますます重要となってきた。データから得られる根拠（エビデンス）に基づく問題解決を実践するためには、データを適切に処理し、必要な情報を得るための統計学の知識と考え方が必要となる。本講義の目的は以下の通りである。

- ・統計に騙されない、誤解・誤用しないための統計リテラシーを身に付ける。
- ・統計学の知識を獲得し、統計的な思考法の基礎を知る。
- ・基礎的なデータ分析を行うことができる知識を得る。

In this course, students will learn the basics of statistics

2. 学修の到達目標/Goal of study :

- ・基本的なデータの取り扱いや可視化の方法を理解する。
- ・経済・経営に関する統計指標を理解する。
- ・確率分布の概念を理解する。
- ・標本分布の特性、区間推定、仮説検定の考え方と方法を理解する。
- ・基礎的なデータ分析の手法と考え方を理解する。

This course is designed to help students understand the basics of statistics

3. 授業内容・方法と進捗予定/Contents and progress schedule of the class :

この講義の大まかな予定は以下の通りである。

- 第1回 : イントロダクション / introduction
 第2回 : 記述統計 / descriptive statistics
 第3回 : 相関と回帰(1) / correlation and regression
 第4回 : 相関と回帰(2) / correlation and regression
 第5回 : 確率 / probability
 第6回 : 分布と期待値(1) / distribution and expectation
 第7回 : 分布と期待値(2) / distribution and expectation
 第8回 : 標本分布(1) / sample distribution
 第9回 : 標本分布(2) / sample distribution
 第10回 : 推定(1) / estimation
 第11回 : 推定(2) / estimation
 第12回 : 仮説検定(1) / hypothesis testing
 第13回 : 仮説検定(2) / hypothesis testing
 第14回 : 重回帰分析(1) / multiple regression
 第15回 : 重回帰分析(2) / multiple regression

Google classroom code: c23iym2

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

5. 使用言語/Language Used in Course :

日本語

6. 成績評価方法/Evaluation method :

レポートと理解度確認セッションで評価する。具体的には第1回の講義で指示する。

7. 教科書および参考書/Textbook and references :

統計学	森棟公夫、照井伸彦、 中川満、西埜晴久、黒 住英司	有斐閣	2015	4641053804	参考書
経済経営のデータサイエンス	石垣司、植松良公、千 木良弘朗、照井伸彦、 松田安昌、李銀星	共立出版	2022	4320125193	参考書

8. 関連URL/URL :

9. 授業時間外学修/Preparation and Review :

授業の予習と復習。

10. その他/In addition :

メディア授業科目 /Course of Media Class:

履修者が300名を超えた場合、経済学部以外の学部からの履修を認めない場合があります。

経済経営数学入門A/Introduction to Mathematics for Economics and Business A

担当教員/Instructor: 大瀬戸 真次/SHINJI OHSETO

曜日・講時/Day/Period: 前期 金曜日 3 講時

対象学年/Eligible Participants: 1・2,

科目ナンバリング/Course Numbering: EAL-ECM202J, 単位数/Credit(s): 2

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class:

経済学・経営学の様々な分野で数学的な分析がなされている。それらの分野を学習するために必要な線形代数の基礎を解説する。さらに、経済学・経営学と関係の深い数学のトピックスや数学を使った経済学のモデルを紹介する。

[Mathematical analysis is used in various fields of economics and management. This course explains the fundamentals of linear algebra necessary for studying those fields.]

2. 学修の到達目標/Goal of study:

経済学・経営学の学習に必要な線形代数の基礎を理解する。経済学・経営学と関連の深い数学のトピックスや数学を使った経済学のモデルをいくつか理解する。講義では、数学の定理とその証明を厳密に行うというよりも、数学の概念を理解して演習問題を解けるようになることに重点をおく。

[Students should understand the fundamentals of linear algebra necessary for the study of economics and management. They should understand some mathematical topics closely related to economics and management and some models of economics using mathematics.]

3. 授業内容・方法と進捗予定/Contents and progress schedule of the class:

Google Classroom のクラスコードは ckykwv6 です。この授業についての情報は、Google Classroom を通じてお知らせします。

授業内容の予定はおおよそ下記の通りである。

- 第 1 回 イントロダクション
- 第 2 回 線形空間とベクトル
- 第 3 回 線形空間とベクトル
- 第 4 回 線形空間とベクトル: 演習
- 第 5 回 線形写像と行列
- 第 6 回 線形写像と行列
- 第 7 回 線形写像と行列: 演習
- 第 8 回 固有値と固有ベクトル
- 第 9 回 固有値と固有ベクトル
- 第 10 回 固有値と固有ベクトル: 演習
- 第 11 回 線形方程式と逆行列
- 第 12 回 線形方程式と逆行列
- 第 13 回 線形方程式と逆行列: 演習
- 第 14 回 経済経営数学のトピックス
- 第 15 回 経済経営数学のトピックス

[The class code of Google Classroom is ckykwv6. More information on this course will be provided via Google Classroom.]

The schedule of this course is as follows.

- 1 Introduction
- 2 Linear space and vectors
- 3 Linear space and vectors
- 4 Linear space and vectors: Exercises
- 5 Linear maps and matrices
- 6 Linear maps and matrices
- 7 Linear maps and matrices: Exercises
- 8 Eigenvalues and eigenvectors
- 9 Eigenvalues and eigenvectors
- 10 Eigenvalues and eigenvectors: Exercises
- 11 Linear equations and inverse matrices
- 12 Linear equations and inverse matrices
- 13 Linear equations and inverse matrices: Exercises
- 14 Topics in mathematics for economics and management
- 15 Topics in mathematics for economics and management]

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

5. 使用言語/Language Used in Course :

日本語

6. 成績評価方法/Evaluation method :

理解度確認セッションの点数によって評価する。平常点を考慮する場合もある。
(なお、状況によって、理解度確認セッションをレポートに変更することがあります。)

7. 教科書および参考書/Textbook and references :

8. 関連URL/URL :

9. 授業時間外学修/Preparation and Review :

授業中に行った演習問題をよく復習すること。

10. その他/In addition :

メディア授業科目 /Course of Media Class:

連絡先: ohseto@tohoku.ac.jp

オフィスアワー: 金曜日 15:00-16:00 (予定)

履修者が300名を超えた場合、経済学部以外の学部からの履修を認めない場合があります。

経済経営数学入門B/Introduction to Mathematics for Economics and Business B

担当教員/Instructor: 三宅 充展/MITSUNOBU MIYAKE

曜日・講時/Day/Period: 後期 月曜日 3講時

対象学年/Eligible Participants: 1・2,

科目ナンバリング/Course Numbering: EAL-ECM203J, 単位数/Credit(s): 2

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class:

経済学や経営学で用いられる数学的概念、手法について講義する。とくに、2、3、4年次開講の経済学部専門科目を学ぶために必要な基礎的事項について解説する。

In this class, I will explain the mathematical concepts and methods used in economics and management science. In particular, I will explain the basics necessary for studying specialized subjects offered in the 2nd, 3rd, and 4th years.

2. 学修の到達目標/Goal of study:

経済学や経営学の標準的な教科書で用いられる数学的概念、手法を理解することが到達目標です。数学研究者養成が目的ではないので、応用問題や発展問題を考えることは重要ではありません。ただ基礎的事項理解の確認のために、そうした問題もある程度考察します。また、大学院レベルの数理統計、ゲーム理論などの教科書や研究書を読みこなすには、どのような学習計画が必要かについて説明します。

The goal is to understand the mathematical concepts and methods used in standard textbooks of economics and management science. Since the purpose is not to train mathematics researchers, it is not important to think about application problems or development problems. However, to confirm the understanding of the basics, we will consider such problems to some extent. In addition, I will explain what kind of study plan is necessary to read textbooks and research books such as mathematical statistics and game theory at the graduate level.

3. 授業内容・方法と進捗予定/Contents and progress schedule of the class:

- 第1回 ガイダンス、1変数関数の微分法(1): 関数の極限值、連続性
- 第2回 1変数関数の微分法(2): 微分可能性と連続微分可能性、凸関数と凹関数、同演習
- 第3回 1変数関数の微分法(3): 逆関数の微分、対数関数、指数関数、三角関数の微分法
- 第4回 1変数関数の微分法(4): 最大最小と需要関数の価格弾力性
- 第5回 2変数関数の微分法、偏微分と全微分
- 第6回 ヤングの定理、同演習
- 第7回 2変数関数のテイラー展開と2変数関数の極大・極小
- 第8回 企業の利潤最大化問題、同演習
- 第9回 ラグランジュの未定乗数法
- 第10回 家計の効用最大化問題、同演習
- 第11回 積分
- 第12回 同演習
- 第13回 簡単な常微分方程式
- 第14回 価格弾力性から需要関数の復元、同演習
- 第15回 理解度確認セッション

- (1): Introduction, limit value and continuity of a function
- (2): Differentiation, convexity and concavity
- (3): Differentiation of log, exp and sin functions
- (4): Maxima and minima of a function
- (5): Partial derivative
- (6): Young's theorem
- (7): Tayler expansion of a multivariate function, Maxima and minima of a multivariate function
- (8): Maximization of profit
- (9): Method of Lagrange multipliers
- (10): Maximization of utility
- (11): Integral (1)
- (12): Integral (2)
- (13): Ordinary differential equation
- (14): Recovering the demand function
- (15): Comprehension check

4. 実務・実践的授業/Practicalbusiness

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"○"Indicatesthe practicalbusiness

5. 使用言語/Language Used in Course:

日本語

6. 成績評価方法/Evaluation method:

理解度確認セッションにおいて筆答試験を実施する。

また、平常の授業において、月 1 回程度の小テストを実施する。
小テストの問題をベースに筆答試験の問題を作成する。
成績評価のウェイトは筆答試験が 70%、小テスト 30%である。

7. 教科書および参考書/Textbook and references :

微分積分入門

桑村雅隆

裳華房

2008

978-4-7853- 教科書
1550-4

8. 関連URL/URL :

9. 授業時間外学修/Preparation and Review :

予習では教科書を事前にあらかじめ読んでおく。復習では、演習問題を解きながら、小テストの問題に対する理解を再度確認する。

10. その他/In addition :

メディア授業科目 /Course of Media Class:

授業は対面で実施する。 連絡事項の周知等のため Google クラスルームを利用する場合もある。

Google classroom のコードは

3h3gw26

である。 当該授業では、高校での数 III の履修を前提とはしない。理系学生向けの参考書等は授業のなかで言及する予定である。

履修者が 300 名を超えた場合、経済学部以外の学部からの履修を認めない場合があります。

プレゼミ/Pre-Seminar

担当教員/Instructor: 泉田 成美/SHIGEMI IZUMIDA

曜日・講時/Day/Period: 前期 火曜日 4 講時

対象学年/Eligible Participants: 2,

科目ナンバリング/Course Numbering: EAL-ECM205J, 単位数/Credit(s): 2

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class:

授業のテーマ: 行動経済学を通じて、人間の合理性について考えてみよう

経済学は経済活動における人間の行動を分析する学問でもあります。主流派経済学（新古典派経済学）では伝統的に人間は合理的に行動するものだということを前提にして分析を行ってきました。ところがそうした理論的前提に対して、人間は本当に合理的な存在なのか疑問を呈する人たちが表れて、実験を通じて人間は結構合理的ではない行動をするものだと言主張するようになりました。ところがさらに実験を進めると人間は完全に不合理というわけでもなく、不合理の方向に予想可能な側面があることもわかってきました。それと同時にそうした「予想可能な不合理」を利用したビジネス戦略がたくさんあることもわかってきました。このプレゼミでは、行動経済学のテキストをグループ単位で輪読・発表・ディスカッションすることを通じて、人間は合理的なのか不合理なのか予想可能な不合理なのか、予想可能な不合理性はビジネスの世界でどのように利用されているのか、それは伝統的な経済学をどのように拡張していくのかなどの問題について考えていきたいと思います。

経済理論の前提に興味のある学生、経済学と心理学の関係に興味のある学生、経済学とビジネス戦略の間の関係に興味のある学生、経済学の現実への応用に興味のある学生の積極的な受講を期待します。

In this class, students will think about the rationality of human being. Traditionally, economics have the assumption that human being is rational. However, we can easily observe the irrational behavior of us. Therefore, we have doubts about the assumption of rationality is true or not. Let's discuss we are rational, irrational or predictably irrational!

2. 学修の到達目標/Goal of study:

- ・人間の合理性について理解することができる。
- ・経済学の心理学的側面について理解することができる。
- ・経済学とビジネス戦略との関係を理解することができる。
- ・グループ学習、グループ発表、グループ討論を通じてプレゼンやディスカッションの能力を身につける。

- ・We will understand the rationality of human being.
- ・We will understand the psychological aspect of economics.
- ・We will understand the relationship between economics and business strategy.
- ・We will acquire the skills of communication and presentation.

3. 授業内容・方法と進捗予定/Contents and progress schedule of the class:

授業開講形態:

BCP レベルが1 または 2 の場合には対面授業を行います。

BCP レベルが3 以上になった場合には Google Meet によるオンライン授業を行います。

Style of this Class: Online class using Google Meet and/or normal meeting face-to-face class

Google Classroom のクラスコード「sgxig3e」。

Google Classroom's class code: sgxig3e

1 グループ5 人程度のグループを作ったうえで、テキストの内容についてグループで報告・発表してもらい、発表内容に基づいてグループ・ディスカッションをしてもらおうと考えています。

現在のところ、次の内容でサブゼミを進めていこうと考えています。

- 第1回 イントロダクション
- 第2回 相対性の真相
- 第3回 需要と供給の誤謬
- 第4回 ゼロコストのコスト
- 第5回 社会規範のコスト
- 第6回 無料クッキーの力
- 第7回 先延ばしの問題と自制心
- 第8回 高価な所有意識
- 第9回 扉をあけておく
- 第10回 予測の効果
- 第11回 価格の力
- 第12回 不信の輪
- 第13回 わたしたちの品性について その1
- 第14回 わたしたちの品性について その2
- 第15回 ビールと無料のランチ

学生の反応・理解度、教員の健康状態等の影響によって内容が変更される可能性があります。

In this class, students will discuss in group about many aspects of the rationality of human being.

The contents and schedule are as shown below:

#1 Introduction

- #2 The Truth about Relativity
- #3 The fallacy of supply and demand
- #4 The cost of zero cost
- #5 The cost of social norms
- #6 The Influence of arousal
- #7 The Problem of Procrastination and Self-Control
- #8 The High Price of Ownership
- #9 Keeping Doors Open
- #10 The effect of expectations
- #11 The power of price
- #12 The Cycle of Distrust
- #13 The Context of Our Character, Part I
- #14 The Context of Our Character, Part II
- #15 Beer and Free Lunches

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

5. 使用言語/Language Used in Course :

日本語

Japanese

6. 成績評価方法/Evaluation method :

出席状況（無断欠席は厳禁）、グループでの発表・報告やディスカッションの内容などから総合的に評価します。

7. 教科書および参考書/Textbook and references :

予想どおりに不合理：行動経済学が明かす「あなたがそれを選ばうけ」	ダン・アリエリー	早川書房（ハヤカワノンフィクション文庫）	2013年	978-4-15-050391-8	教科書
----------------------------------	----------	----------------------	-------	-------------------	-----

8. 関連URL/URL :

9. 授業時間外学修/Preparation and Review :

十分な予習と復習を必要とします。

10. その他/In addition :

メディア授業科目 /Course of Media Class:

「経済学入門B」をすでに履修し、単位を取得していること
「ミクロ経済分析」を同時に履修することが望ましい。

E-mail: shigemi.izumida.d1@tohoku.ac.jp

オフィス・アワー；金 12:15-13:00

プレゼミ/Pre-Seminar

担当教員/Instructor : 北川 章臣/AKIOMI KITAGAWA

曜日・講時/Day/Period : 前期 火曜日 4 講時

対象学年/Eligible Participants : 2,

科目ナンバリング/Course Numbering : EAL-ECM205J, 単位数/Credit(s) : 2

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class :

この授業の目的は、参加者を実証分析（データ分析）に馴染んでもらうことにあります。与えられたデータの意味を正しく読み取ることの重要性は近年ますます高まっています。参加者は、実習を通じて、こうしたデータ分析の勘所を会得してほしいと思います。なお、実践に重きをおくため、統計学的な解説は最小に留める予定です。

This class aims to introduce students to the basic skills of empirical research.

2. 学修の到達目標/Goal of study :

統計ソフトウェア「R」を使って基本的なデータ分析ができるようになることが到達目標です。

Students are supposed to master the basic skills of empirical research through exercise.

3. 授業内容・方法と進捗予定/Contents and progress schedule of the class :

授業は田中隆一著「計量経済学の第一歩：実証分析のススメ」に沿って行います。進捗予定は次のとおりです。

- 第1回：イントロダクション（なぜ計量経済学が必要なのか）
- 第2回：データの扱い方
- 第3回：計量経済学のための確率論（1）
- 第4回：計量経済学のための確率論（2）
- 第5回：統計学による推論（1）
- 第6回：統計学による推論（2）
- 第7回：単回帰分析
- 第8回：実習1回目
- 第9回：重回帰分析の基本
- 第10回：実習2回目
- 第11回：重回帰分析の応用
- 第12回：実習3回目
- 第13回：操作変数法
- 第14回：実習4回目
- 第15回：まとめ

授業は対面式で実施します。授業にはノートパソコンを持参してください。統計の実習を行うため、タブレットやスマートフォンだけで授業に参加することは難しいと思われます。また、実習では統計分析ソフトウェア「R」とRstudio（いずれもフリーウェア）を使用します。予めインストールしておいてください。データはGoogle Classroomで配布します。なお、新型コロナウイルスの今後の流行状況によっては、授業の実施形式をオンラインに変更する場合があります。

Students will be instructed in the basic skills of empirical research step-by-step.

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

5. 使用言語/Language Used in Course :

日本語

Japanese

6. 成績評価方法/Evaluation method :

出席状況と授業への取り組みによって評価します。理解度確認セッションは行いません。

Students will be evaluated based on their attendance and class performances.

7. 教科書および参考書/Textbook and references :

- | | | | | | |
|----------------------|-----------|------|------|---------------|-----|
| 計量経済学の第一歩：実証分析のススメ | 田中隆一 | 有斐閣 | 2015 | 9784641150287 | 教科書 |
| Rによる実証分析：回帰分析から因果分析へ | 星野匡郎、田中久稔 | オーム社 | 2016 | 9784274219474 | 参考書 |

8. 関連URL/URL :

R および Rstudio のインストール : https://qiita.com/daifuku_mochi2/items/ad0b398e6affd0688c97

有斐閣サポートページ : http://www.yuhikaku.co.jp/static/studia_ws/index.html#isbn_9784641150287

Google Classroom: <https://classroom.google.com/u/0/c/NTg40DQzMzMzNTQ1>

9. 授業時間外学修/Preparation and Review :

教科書の章末問題を宿題として聞いてもらう予定です。

Students will do end-of-chapter questions from the textbook as homework.

10. その他/In addition :

メディア授業科目 /Course of Media Class:

1. 授業には統計分析ソフトウェア「R」およびRstudio がインストールされたノートパソコンを持参すること。R と Rstudio のインストールの仕方は関連 URL を参照のこと。
2. 統計学入門を履修済みであることが望ましい。
3. 授業に関する連絡や資料配布は Google Classroom を通じて行う。授業開始前に Classroom にアクセスしておくこと（クラスコード : 5uob67f）

プレゼミ/Pre-Seminar

担当教員/Instructor：福嶋 路/MICHI FUKUSHIMA

曜日・講時/Day/Period：前期 火曜日 3講時

対象学年/Eligible Participants：2,

科目ナンバリング/Course Numbering：EAL-ECM205J, 単位数/Credit(s)：2

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class：

- ・社会調査方法論の基礎を学び、実際に自ら行ってみることを通じて、社会現象を可視化する手法を学ぶ。

To learn basic knowledge of the methodology of social research and tools for visualizing social phenomena

2. 学修の到達目標/Goal of study：

- ・社会調査方法の目的、要素、手法について理解する。
- ・簡単な社会調査を行えるようになる。
- ・社会に対する好奇心を持てるようになる。

To understand the purpose, essences, and technique of social research

To be able to conduct research

To cultivate curiosity about how society works

3. 授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：

- ・講義は原則、対面で行う。る。

The lecture is conducted in person.

- ・講義が始まる前に必ず Classroom に登録をしておくこと。

Register for Google Classroom in advance of the first class.

- ・この講義の Google Classroom、Google Meet の情報は以下のとおり。

Information on Google Classroom and Google Meet in this class is as follows.

プレゼミ [EB113]

Google Classroom クラスコード fof6t4r

<https://classroom.google.com/c/NTg40DgwNzc0NDAX>

<https://meet.google.com/kgw-itce-fwi>

- ・授業のスケジュール

第1回：オリエンテーション

第2回：社会調査へようこそ、社会調査のファーストステップ

第3回：社会調査の基本ルールと基本の道具

第4回：グループで問題意識を考える

第5回：GW(実践)

第6回：量的研究法：調査表を作ってみよう (GW)

第7回：量的研究法：サンプリングという発想 (GW)

第8回：量的研究法：調査表調査のプロセスとデータ化作業 (GW)

第9回：量的研究法：調査結果を分析してみよう (GW)

第10回：質的研究法：質的研究法の基本 (GW)

第11回：実習と実践 (GW)

第12回：調査結果分析 (GW)

第13回：調査結果分析 (GW)

第14回：発表準備 GW(実践)

第15回：グループワーク発表会

* GW=group work

* スケジュール変更の可能性がある。

* テキスト輪読の回は、割り当てられたグループが担当章について発表する。

担当グループは資料(レジュメ)を準備し、講義前に配布すること。

* 授業が始まる前に教科書は入手しておくこと。

The class schedule is as follows;

1. Orientation

2. Invitation to social research

3. Basic rule of social research and basic tool

4. Thinking of research questions in the group
5. Group work
- 6-9. On quantitative research
- 10-11 On qualitative research
- 12-14. Preparation for the final presentation
15. Final Presentation

*The schedule is subject to change.

*The assigned group has to prepare the presentation about the designated chapter.

*The students must have the textbook in advance of the first class.

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicate the practical business

5. 使用言語/Language Used in Course :

日本語

6. 成績評価方法/Evaluation method :

- ・出席は全講義数の7割以上が必須。
- ・成績は、授業内での発表や態度、授業への貢献、プレゼンの評価によって決定する。

The students must attend the class (at least 70% of all are required).

The evaluation is based on class attendance, contribution to the class discussion, and presentation.

7. 教科書および参考書/Textbook and references :

新・社会調査へのアプローチ	大谷信介、木下栄二、 後藤範章、小松洋	ミネルヴァ書房	2013	978-4-623- 06654-4	テキスト
---------------	------------------------	---------	------	-----------------------	------

8. 関連URL/URL :

9. 授業時間外学修/Preparation and Review :

- ・規定の授業時間外に活動を行うこともあるので留意すること（無論、受講生の都合を聞いて調整する）。
- ・授業についての質問等は、随時受け付ける。事前に必ずメールで連絡をすること。
- ・連絡先は michi@tohoku.ac.jp

If the students need to contact the instructor, please make an appointment via email (michi@tohoku.ac.jp) in advance.

10. その他/In addition :

メディア授業科目 /Course of Media Class:

講義は原則対面であるが、状況が変わり次第 Google Classroom を通じて連絡をする。

The lecture is conducted in person. Just in case, the instructor sends the instruction through Google Classroom (=email).

以下の点を守れる学生を前提に授業を行う。

- ・グループワークが必須の授業となるので、グループのメンバーと協調して課題に取り組む意思があること。
- ・最低限のコミュニケーション能力があること。
- ・与えられた課題は必ず期限内にこなす意思があること。
- ・やむを得ず欠席する場合には授業前に必ず連絡をすること。

★第一回目の授業までにテキストを各自入手しておくこと。

The students are required to develop a cooperative attitude for group work.

The students have to achieve the assignment.

Absence without notice is not allowed.

NOTE!! The students must have the textbook in advance of the first class.

プレゼミ/Pre-Seminar

担当教員/Instructor : 高橋 秀幸/HIDEYUKI TAKAHASHI

曜日・講時/Day/Period : 前期 火曜日 3 講時

対象学年/Eligible Participants : 2,

科目ナンバリング/Course Numbering : EAL-ECM205J, 単位数/Credit(s) : 2

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class :

地域金融機関は、地域経済における主要なプレイヤーであるが、現在、人口減少や低金利やFintech等の技術革新といった大きな競争環境の変化に直面している。本授業では、こうした地域金融機関の現状と課題について考察し、地域金融機関の役割について理解を深めることを目的とする。

Regional financial institutions are major players in the regional economy, but are currently facing major changes in the competitive environment such as population decline, low interest rates and technological innovations such as Fintech. The purpose of this class is to consider the current situation and issues of these regional financial institutions and to deepen their understanding of the role of regional financial institutions. "Current status and issues of regional financial institutions"

2. 学修の到達目標/Goal of study :

①地域金融機関の役割について基礎知識の習得、②金融庁・財務局の行政対応についての基礎知識の習得、③金融機関との付き合い方についての基本的理解の促進

(1) Acquisition of basic knowledge about the role of regional financial institutions, (2) Acquisition of basic knowledge about administrative responses of the Financial Services Agency / Finance Bureau, (3) Promotion of basic understanding of how to interact with financial institutions

3. 授業内容・方法と進捗予定/Contents and progress schedule of the class :

授業は以下のとおり進行する。

第1回：授業説明

第2-3回：講師による授業

第4-15回：学生による発表（報告担当者が教科書の割り当てられた箇所について、内容をまとめて報告し、その後、参加者で議論を行う。）

※ 授業の日程については、受講生数などに応じて変更があり得る。

Classes will proceed as follows

1st: Class explanation

2-3rd: lessons: Class by the instructor

4-15th: Presentation by students (The person in charge of reporting reports the contents of the assigned part of the textbook together, and then the participants discuss it.)

* The class schedule may change depending on the number of students.

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

○

5. 使用言語/Language Used in Course :

日本語/Japanese

6. 成績評価方法/Evaluation method :

平常点(意見等) 50%、発表 50%

Normal points (opinions, etc.) 50%, announcements 50%

7. 教科書および参考書/Textbook and references :

捨てられる銀行	橋本卓典	講談社現代新書	2016	978-4062883696	教科書
捨てられる銀行 2	橋本卓典	講談社現代新書	2017	978-4062884228	教科書
捨てられる銀行 3	橋本卓典	講談社現代新書	2019	978-4065149072	教科書
捨てられる銀行 4	橋本卓典	講談社現代新書	2020	978-4065201459	教科書

8. 関連URL/URL :

金融庁 HP <https://www.fsa.go.jp>

9. 授業時間外学修/Preparation and Review :

担当となった教科書の該当部分の内容等についてレジュメにまとめる。

※担当者以外の方も、意見等が述べられるように予習(テキストの該当箇所の読み込み等)をしてくること。

10. その他/In addition:

メディア授業科目 /Course of Media Class:

専門知識等はない。

No specialized knowledge is required.

プレゼミ/Pre-Seminar

担当教員/Instructor : 山崎 喜代宏/KIYOHRO YAMAZAKI

曜日・講時/Day/Period : 前期 金曜日 4 講時

対象学年/Eligible Participants : 2,

科目ナンバリング/Course Numbering : EAL-ECM205J, 単位数/Credit(s) : 2

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class :

本講義の目的は、企業の比較分析を通じて、経営戦略について考えることである。

The aim of this lecture is to understand strategic management through comparative analysis of firms.

2. 学修の到達目標/Goal of study :

具体的な企業の事例を自ら行うことを通じて、企業の意思決定・行動について理解する。

また複数の企業を比較することで、相対的に企業の戦略について理解する。

This lecture helps students figure out the decision-making and organizational behavior by analyzing cases.

In addition, students relatively can examine the strategies by comparing multiple firms.

3. 授業内容・方法と進捗予定/Contents and progress schedule of the class :

内容及び進捗予定は以下のとおりであるが、状況によって若干内容を変更する場合もある。

The contents and schedule are as shown below, but subject to change depending on circumstances.

講義前半は、教員が提示する事例について分析し、報告する。

履修者を複数のグループに分け、グループごと活動を行う。

講義後半は、受講者自身が比較事例を設定し、調査・報告を行う。

前半と同じく、グループワークを予定する。

本講義は対面で行う予定である。しかし、状況によりオンライン（リアルタイム）で行う可能性がある。

google クラスルーム [ljbcens]

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

5. 使用言語/Language Used in Course :

日本語

6. 成績評価方法/Evaluation method :

出席（無断欠席は厳禁）、グループワークへの参加、発表・報告の観点から総合的に評価する。

7. 教科書および参考書/Textbook and references :

ケースに学ぶ経営学 第3版 東北大学経営学グループ 有斐閣 2019 9784641184480 参考書

8. 関連URL/URL :

9. 授業時間外学修/Preparation and Review :

事例分析の報告はグループ単位で行います。したがって、そのための準備を時間外に行う必要があります。

10. その他/In addition :

メディア授業科目 /Course of Media Class:

グループで活動することが主です。フリーライダーにならず、積極的にグループに貢献できることが求められます。

加えて、講義外の活動を行う可能性があります。それに必ず参加できることが求められます。

プレゼミ/Pre-Seminar

担当教員/Instructor：石原 卓弥/TAKUYA ISHIHARA

曜日・講時/Day/Period：前期 火曜日 4 講時

対象学年/Eligible Participants：2,

科目ナンバリング/Course Numbering：EAL-ECM205J, 単位数/Credit(s)：2

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class：

近年の経済学の実証分析では、観測されたデータから因果効果を求めることが重要視されている。データから因果効果を求めるために開発された統計手法は因果推論と呼ばれている。このプレゼミでは、「Rによる実証分析」の輪読し、因果推論の理論と実装について学ぶ。

This class will introduce students to both statistical theory and practice of causal inference.

2. 学修の到達目標/Goal of study：

因果推論の理論を理解し、統計ソフト「R」を用いて基本的なデータ分析ができるようになることを目標とする。

Students will learn about both statistical theory and practice of causal inference.

3. 授業内容・方法と進捗予定/Contents and progress schedule of the class：

テキストを用いて輪読する。

- 第1回：イントロダクション / Introduction
- 第2回：統計の基礎知識 / Statistics
- 第3回：確率論の基礎 / Probability theory
- 第4回：回帰分析の基礎 / Regression analysis
- 第5回：推測統計の基礎 / Inferential statistics
- 第6回：相関関係と因果関係 / Correlation and causation
- 第7回：外生変数と内生変数 / Exogenous and endogenous variables
- 第8回：ランダム化実験 / Randomized experiment
- 第9回：マッチング法 / Matching method
- 第10回：不連続回帰デザイン / Regression discontinuity design
- 第11回：操作変数法 / Instrumental variable method
- 第12回：実証分析/ Empirical studies
- 第13回：実証分析/ Empirical studies
- 第14回：まとめ / Summary

Google classroom code: u2gdwd6

4. 実務・実践的授業/Practicalbusiness

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"○"Indicatesthe practicalbusiness

5. 使用言語/Language Used in Course：

日本語

6. 成績評価方法/Evaluation method：

出席と平常の成績で評価する。

7. 教科書および参考書/Textbook and references：

Rによる実証分析 - 回帰分析か 星野匡郎、田中久稔 オーム社 2016 427421947X 教科書
ら因果分析へ -

8. 関連URL/URL：

9. 授業時間外学修/Preparation and Review：

該当範囲の予習と復習。

10. その他/In addition：

メディア授業科目 /Course of Media Class:

プレゼミ/Pre-Seminar

担当教員/Instructor: 浅野 康司/KOJI ASANO

曜日・講時/Day/Period: 前期 火曜日 3 講時

対象学年/Eligible Participants: 2,

科目ナンバリング/Course Numbering: EAL-ECM205J, 単位数/Credit(s): 2

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class:

このプレゼミでは、情報とインセンティブにまつわる諸問題について、経済学の考え方にに基づき分析していく。企業組織における上司と部下の関係や、企業間や顧客との取引関係といった様々な関係では、相手の行動やもっている情報について完全に知ることができない、という情報の非対称性が生じる。この非対称情報により、組織ではどのような問題が起きるだろうか。どのように契約や制度を設計すれば、組織が抱える問題を解決することができるだろうか。組織に関わるこれらの重要な論点について、数理モデルを用いて考察していく。また、経済理論に基づいた分析手法はどのような現実経済の問題に応用することができるのか、という点についても議論していく。

The objective of the seminar is to help students understand the theory of incentives.

2. 学修の到達目標/Goal of study:

情報とインセンティブにまつわる経済学について理解を深めるとともに、プレゼンの基礎的な技術を身につける。

By the end of the seminar, students should be able to gain a deeper understanding of the economics of information and incentives and acquire presentation skills.

3. 授業内容・方法と進捗予定/Contents and progress schedule of the class:

毎回、参加者が教科書（石田潤一郎・玉田康成『情報とインセンティブの経済学』 有斐閣、2020 年）の該当箇所を報告し、その内容に基づいて議論を行う。

This is a reading group based on students' presentations.

連絡は Google Classroom 上で行う。クラスコードは、wrjhhxl。

Information on the course will be provided via Google Classroom: the class code is wrjhhxl.

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

5. 使用言語/Language Used in Course:

日本語

6. 成績評価方法/Evaluation method:

発表および議論への貢献に基づいて判断する。
正当な理由がなく欠席や大幅な遅刻を繰り返した場合、単位習得を認めない。

7. 教科書および参考書/Textbook and references:

情報とインセンティブの経済学	石田 潤一郎, 玉田 康成	有斐閣	2020	4641150729	教科書
組織の経済学	伊藤 秀史, 小林 創, 宮原 泰之	有斐閣	2019	4641165505	参考書
ミクロ経済学の力	神取 道宏	日本評論社	2014	453555756X	参考書
意外と会社は合理的 組織には びこる理不尽のメカニズム	レイ・フィスマン, テ ィム・サリバン	日本経済新聞出版	2013	453231917X	参考書

8. 関連URL/URL:

9. 授業時間外学修/Preparation and Review:

参加者は全員、毎回の予習として教科書の報告箇所を読んでもらうこと。

10. その他/In addition:

メディア授業科目 /Course of Media Class:

プレゼミ/Pre-Seminar

担当教員/Instructor: 陳 鳳明/FENGMING CHEN

曜日・講時/Day/Period: 前期 火曜日 4 講時

対象学年/Eligible Participants: 2,

科目ナンバリング/Course Numbering: EAL-ECM205J, 単位数/Credit(s): 2

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class:

このプレゼミはデータ分析より因果関係への理解を深めると同時に、プレゼンテーションやグループディスカッションを通じて、社会人になってからも必要なコミュニケーション能力を養うことを目指す。

This seminar aims to deepen understanding of causality through data analysis, and at the same time, to develop communication skills through presentations and group discussions.

2. 学修の到達目標/Goal of study:

以下の3点を目標とする。

- (1) 経済学への直観的な理解を深める。
- (2) 因果関係と相関関係の違いを理解できる。
- (3) プレゼンテーションやディスカッションの基礎的なスキルを習得できる。

- (1) Develop an intuitive understanding of economics.
- (2) Understand the difference between causality and correlation.
- (3) Acquire basic skills in presentation and discussion.

3. 授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class:

1. ガイダンス
2. 学校の先生と相撲の力士、どこがおんなじ? (1)
3. 学校の先生と相撲の力士、どこがおんなじ? (2)
4. ク・クラックス・クランと不動産屋さん、どこがおんなじ? (1)
5. ク・クラックス・クランと不動産屋さん、どこがおんなじ? (2)
6. ヤクの売人はどうしてママと住んでるの? (1)
7. ヤクの売人はどうしてママと住んでるの? (2)
8. 犯罪者はみんなどこへ消えた? (1)
9. 犯罪者はみんなどこへ消えた? (2)
10. 完璧な子育てとは? (1)
11. 完璧な子育てとは? (2)
12. 完璧な子育て、その2 (1)
13. 完璧な子育て、その2 (2)
14. 最終プレゼンテーション (1)
15. 最終プレゼンテーション (2)

1. Guidance
2. What Do Schoolteachers and Sumo Wrestlers Have in Common? (1)
3. What Do Schoolteachers and Sumo Wrestlers Have in Common? (2)
4. How Is the Ku Klux Klan Like a Group of Real-Estate Agents? (1)
5. How Is the Ku Klux Klan Like a Group of Real-Estate Agents? (2)
6. Why Do Drug Dealers Still Live with Their Moms? (1)
7. Why Do Drug Dealers Still Live with Their Moms? (2)
8. Where Have All the Criminals Gone? (1)
9. Where Have All the Criminals Gone? (2)
10. What Makes a Perfect Parent? (1)
11. What Makes a Perfect Parent? (2)
12. Perfect Parenting, Part II (1)
13. Perfect Parenting, Part II (2)
14. Final Presentation (1)
15. Final Presentation (2)

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

5. 使用言語/Language Used in Course:

日本語で講義を行う。

6. 成績評価方法/Evaluation method:

各回の出席状況 (30%)
発表 (30%)
討論への貢献 (40%)

Class participation (30%)

Presentation (30%)

Contribution of discussion (40%)

7. 教科書および参考書/Textbook and references :

やばい経済学 (増補改訂版)	Steven D. Levitt, (著), Stephen J. Dubner (著), 望月衛 (訳)	東洋経済新報社	2007 年	978-4-492- 31378-7	教科書
----------------	--	---------	-----------	-----------------------	-----

8. 関連URL/URL :

9. 授業時間外学修/Preparation and Review :

10. その他/In addition :

メディア授業科目 /Course of Media Class:

授業に関する連絡や資料配布はGoogle Classroomを用いて行う。Classroomのクラスコードは【6suwsuj】である。

プレゼミ/Pre-Seminar

担当教員/Instructor：菅原 歩/AYUMU SUGAWARA

曜日・講時/Day/Period：前期 金曜日 4 講時

対象学年/Eligible Participants：2,

科目ナンバリング/Course Numbering：EAL-ECM205J, 単位数/Credit(s)：2

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class：

題目：

異文化コンタクトによる社会変革としての幕末・明治維新史
(5年一貫プログラム「日本の経済・経営」への導入)

目的1：本格的な歴史研究の第一歩を静かに楽しんで学ぶ。

目的2：日本における幕末・維新史を異文化コンタクトという観点から改めて理解する。

目的3：異文化コンタクトによる社会変革の下でのそれぞれの人のそれぞれの場所での活動として（そして、可能であればその総体として）、幕末・維新史を理解する。

概要：幕末・明治維新史の概説書である『明治維新史：自力工業化の奇跡』を輪読し、ディスカッションを行う。それに加えて、幕末・維新期の日本における社会的課題への当時の人々の対応・挑戦に関するプレゼンテーションとディスカッションを行う。

分野：歴史

Title.

History of the late Tokugawa and Meiji Restoration as social transformation with cross-cultural contact
(Introduction to the 5-year integrated programme "Japanese Economy and Management")

Objective 1: To learn the first steps in university-level historical research in a calm and enjoyable way.

Objective 2: To gain a new understanding of the history of the late Tokugawa and Meiji Restoration in Japan from the perspective of cross-cultural contact.

Objective 3: To understand the late Tokugawa and Meiji Restoration history as the lives of different people in different places (and, if possible, as a totality) under the social transformation with cross-cultural contacts.

Summary: To read and discuss on the text book. This will be supplemented by presentations and discussions on the responses and challenges of the people in the time to social issues in Japan during the late Tokugawa and Meiji Restoration.

Field: History

2. 学修の到達目標/Goal of study：

目的1：本格的な歴史研究の第一歩を静かに楽しんで学ぶ。

目的2：日本における幕末・維新史を異文化コンタクトという観点から改めて理解する。

目的3：異文化コンタクトによる社会変革の下でのそれぞれの人のそれぞれの場所での活動として（そして、可能であればその総体として）、幕末・維新史を理解する。

Goal 1: To learn the first steps in university-level historical research in a calm and enjoyable way.

Goal 2: To gain a new understanding of the history of the late Tokugawa and Meiji Restoration in Japan from the perspective of cross-cultural contact.

Goal 3: To understand the late Tokugawa and Meiji Restoration history as the lives of different people in different places (and, if possible, as a totality) under the social transformation with cross-cultural contacts.

3. 授業内容・方法と進捗予定/Contents and progress schedule of the class：

各回の基本の流れ

受講者は、各回の範囲についてあらかじめ読んできた上で、ゼミ当日には質問を出す。

質問の収集にはクラスルームを使用する。全員の質問をクラスルーム上で共有する。

次に、受講者は共有された質問の中から回答を検討するものを選び、ディスカッションしつつ検討を行う。最後に、受講者はそれぞれの検討結果をクラスルーム上で共有する。

ゼミ中に時間があれば、検討結果の全体向けの発表も行ってもらう。

進捗予定

第1回 ゼミの進め方の説明

第2回 教科書・はじめに、おわりに、文庫版あとがき

(「世界市場と維新変革―はじめに」, 「市民革命と産業革命―おわりに」

「文庫版あとがき」)

第3回 教科書・第1章「広がる黒船ショック」

第4回 教科書・第2章「反動の嵐と始まる貿易」

第5回 教科書・第3章「攘夷の行きつくところ」

第6回 教科書・第4章「尊王攘夷から倒幕へ」

第7回 教科書・第5章「世直しと戊辰戦争」

- 第8回 教科書・第6章「廃藩置県の苦悩」
- 第9回 教科書・第7章「文明開化の光と影」
- 第10回 教科書・第8章「大久保内務卿の独裁」
- 第11回 教科書・第9章「ブルジョアジーの誕生」
- 第12回 教科書・第10章「華族・士族のゆくえ」
- 第13回 最終発表テーマの検討
- 第14回 最終発表作成
- 第15回 最終発表とディスカッション

進度予定は、実際の進度に応じて修正・変更する場合があります。

教科書の特徴：「文庫版あとがき」より

本書は、「体系 日本の歴史」第12巻『開国と維新』として、1989年に小学館から刊行されたものである。・・・30年前と比べて明治維新の実証的研究は格段に発展したが、明治維新の全体像を世界史的視野のもとで総合的に論じた啓蒙書は、最近（2018年時点で：菅原）に至るまでほとんど見られない。・・・明治維新を世界史的視野から論ずることを筆者に期待されたのであろう。」（教科書、p. 420）

Basic flow of each class

Students should have read about the scope of each session in advance and submit questions on the day of the seminar.

Google Classroom are used to collect questions. Everyone's questions are shared on the website.

Participants then select the shared questions they like to discuss and consider answering.

Finally, participants share the results of their deliberations in the Google Classroom too.

If there is spare time during the seminar, participants are also asked to present the results of their deliberations to the whole class and also discuss about it.

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

5. 使用言語/Language Used in Course :

日本語

This class is conducted in Japanese.

6. 成績評価方法/Evaluation method :

毎回の論点提出：20%

毎回の論点への考察：20%

ときおり出す課題（4回前後の予定）の合計：20%

最終発表：20%

通常の発言と議論への貢献：20%

Submission of questions at each class: 20%.

The results of considering on each questions: 20%.

Total of occasional assignments (about 4 times): 20%.

Final presentation:

7. 教科書および参考書/Textbook and references :

明治維新史：自力工業化の奇跡	石井寛治	講談社学術文庫	2018年	978-4062924948	教科書
横浜謎解き街歩き	清水克悦	じっぴコンパクト新書	2015年	978-4408008714	参考書
横浜ものはじめ物語	斎藤多喜夫	有隣新書	2017年	978-4896602258	参考書
ブラタモリ 8 横浜 横須賀	NHK「ブラタモリ」制作班	角川書店	2017年	978-4041058084	参考書
会津 会津磐梯山 高尾山	沼崎一郎	岩波ジュニア新書	2018年	978-4-00-500865-0	参考書
はじめての研究レポート作成術					
高校日本史および世界史の教科書	いずれでもよい				参考書
高校日本史および世界史の参考書	いずれでもよい				参考書
高校日本史および世界史の資料集	いずれでもよい				参考書
高校歴史総合についても6-8と同様	いずれでもよい				参考書

8. 関連URL/URL :

このゼミではグーグル・クラスルームも使用します。クラスコードは、5vmwowv です。

下記は、このゼミのイメージをもってもらうのに有効そうな動画です。

NHK スペシャル「新・幕末史 第1集 幕府 vs 列強 全面戦争の危機」（2022年10月16日）

<https://www.nhk.jp/p/special/ts/2NY2QQLPM3/blog/bl/pneAjJR3gn/bp/pGpk834DnZ/>

NHK スペシャル「新・幕末史 第2集 戊辰戦争 狙われた日本」(2022年10月23日)
<https://www.nhk.jp/p/special/ts/2NY2QQLPM3/blog/bl/pneAjJR3gn/bp/pWZvBdbE1W/>

教科書の一部をアマゾンの「試し読み」で見ることができます。
URLは長いのでコピーしませんが、受講を検討する際には参照して下さい。

5年一貫プログラムについては、さしあたり、こちらの東北大学経済学のパンフレット(2022年版)の10ページ(PDFの6ページ)をご覧ください。
https://www.econ.tohoku.ac.jp/wp/wp-content/uploads/2022/04/web_guide2023.pdf

セメスター中に5年一貫プログラムの説明会もあると思いますので、その際はゼミの中でもご案内します。

Google Classrooms will be used in this seminar. The class code is 5vmwowv.

9. 授業時間外学修/Preparation and Review:

予習: 各回の教科書の該当部分をよく読んでおく。その際にわからなかった歴史用語などについては事前にインターネットなどを活用して調べておく。ゼミ当日に出す質問を用意しておくこと。

復習: ゼミの際に出された受講者全員の質問・論点について考察する。受講者全員から出された質問への考察を読む(これもクラスルームで共有する)。課題の回答作成を行う。最終発表の作成を行う。

Preparation: To read carefully the relevant sections of the textbook for

10. その他/In addition:

メディア授業科目 /Course of Media Class:

たとえ第8希望であっても、書いてしまうと本当にそうになってしまう場合があるので、希望を書く場合はどうぞ慎重に考えて下さい。

5年一貫プログラム「日本の経済・経営」への登録希望の有無とは関係なく受講可能です。

「ときおり出す課題」の第1回目は、「アイスクリームはじめて」(参考文献『横浜謎解き街歩き』pp.23-26)の予定です。

参考文献の、沼崎一郎『はじめての研究レポート作成術』(2018年)は、東北大学文学部の先生が書かれたもので、事例で出てくる図書館なども東北大学附属図書館です。この授業を受講されない方でも、レポートや卒業論文の作成準備のために一読をおすすめします。

担当教員への問い合わせ先: ayumu.sugawara.a5@tohoku.ac.jp (◎を@に置き換えてください)

Even if it is your eighth choice, it may indeed happen if you write it down, so think carefully (of course) when writing down your preference.

You can take the course regardless of whether or not you have a plan to register for the 5-year integrated programme "Japanese Economy and Management".

The first one of the 'Occasional Assignments' will be "The first ice-cream in Japan" (reference book "Yokohama Mystery Solving Town Walking", pp. 23-26).

The reference, Ichiro Numazaki (2018), was written by a Professor of Faculty of Letters, Tohoku University, so examples in the book are taken from affiliations of Tohoku University like the main library. Regardless of taking the class or not, I recommend reading it to prepare for writing reports and graduation theses.

Contact to the lecturer: ayumu.sugawara.a5@tohoku.ac.jp (replace ◎ with @)

プレゼミ/Pre-Seminar

担当教員/Instructor : 北川 章臣/AKIOMI KITAGAWA

曜日・講時/Day/Period : 後期 火曜日 4 講時

対象学年/Eligible Participants : 2,

科目ナンバリング/Course Numbering : EAL-ECM205J, 単位数/Credit(s) : 2

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class :

この授業の目的は、参加者に実証分析（データ分析）に馴染んでもらうことにあります。与えられたデータの意味を正しく読み取ることの重要性は近年ますます高まっています。参加者は、実習を通じて、こうしたデータ分析の勘所を会得してほしいと思います。なお、実践に重きをおくため、統計学的な解説は最小に留める予定です。

This class aims to introduce students to the basic skills of empirical research.

2. 学修の到達目標/Goal of study :

統計ソフトウェア「R」を使って基本的なデータ分析ができるようになることが到達目標です。

Students are supposed to master the basic skills of empirical research through exercise.

3. 授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class :

授業は田中隆一著「計量経済学の第一歩：実証分析のススメ」に沿って行います。進度予定は次のとおりです。

- 第1回：イントロダクション（なぜ計量経済学が必要なのか）
- 第2回：データの扱い方
- 第3回：計量経済学のための確率論（1）
- 第4回：計量経済学のための確率論（2）
- 第5回：統計学による推論（1）
- 第6回：統計学による推論（2）
- 第7回：単回帰分析
- 第8回：実習1回目
- 第9回：重回帰分析の基本
- 第10回：実習2回目
- 第11回：重回帰分析の応用
- 第12回：実習3回目
- 第13回：操作変数法
- 第14回：実習4回目
- 第15回：まとめ

授業は対面式で実施します。授業にはノートパソコンを持参してください。統計の実習を行うため、タブレットやスマートフォンだけで授業に参加することは難しいと思われます。また、実習では統計分析ソフトウェア「R」とRstudio（いずれもフリーウェア）を使用します。予めインストールしておいてください。データはGoogle Classroomで配布します。なお、新型コロナウイルスの今後の流行状況によっては、授業の実施形式をオンラインに変更する場合があります。

Students will be instructed in the basic skills of empirical research step-by-step.

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

5. 使用言語/Language Used in Course :

日本語

Japanese

6. 成績評価方法/Evaluation method :

出席状況と授業への取り組みによって評価します。理解度確認セッションは行いません。

Students will be evaluated based on their attendance and class performances.

7. 教科書および参考書/Textbook and references :

- | | | | | | |
|----------------------|-----------|------|------|---------------|-----|
| 計量経済学の第一歩：実証分析のススメ | 田中隆一 | 有斐閣 | 2015 | 9784641150287 | 教科書 |
| Rによる実証分析：回帰分析から因果分析へ | 星野匡郎、田中久稔 | オーム社 | 2016 | 9784274219474 | 参考書 |

8. 関連URL/URL :

R および Rstudio のインストール : https://qiita.com/daifuku_mochi2/items/ad0b398e6affd0688c97

有斐閣サポートページ : http://www.yuhikaku.co.jp/static/studia_ws/index.html#isbn_9784641150287

Google Classroom: <https://classroom.google.com/u/0/c/NTg40DgwNzc0NDM0>

9. 授業時間外学修/Preparation and Review :

教科書の章末問題を宿題として聞いてもらう予定です。

Students will do end-of-chapter questions from the textbook as homework.

10. その他/In addition :

メディア授業科目 /Course of Media Class:

1. 授業には統計分析ソフトウェア「R」および Rstudio がインストールされたノートパソコンを持参すること。R と Rstudio のインストールの仕方は関連 URL を参照のこと。
2. 統計学入門を履修済みであることが望ましい。
3. 授業に関する連絡や資料配布は Google Classroom を通じて行う。授業開始前に Classroom にアクセスしておくこと（クラスコード : ksbnifs）

プレゼミ/Pre-Seminar

担当教員/Instructor : 松田 安昌/YASUMASA MATSUDA

曜日・講時/Day/Period : 後期 火曜日 3 講時

対象学年/Eligible Participants : 2,

科目ナンバリング/Course Numbering : EAL-ECM205J, 単位数/Credit(s) : 2

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class :

ディープラーニングは現代的な機械学習の中でも特に有用性を発揮している。本講義では、「ゼロから作る Deep Learning」を輪読し、ディープラーニングの理論と Python による実装を学ぶ。

We introduce basics to learn deep learning. By the text book "Deep Learning vfrom Scratch", we learn theories, basic tools of deep learning with Python programming.

2. 学修の到達目標/Goal of study :

ニューラルネットワークモデルを Python で実装して画像認識に応用できるようになること。

To design a deep learning model by Pytrhon for applications to image recognition.

3. 授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class :

テキストを用いて輪読する。/ Reading the text book.

第1回 : Python 入門

第2－3回 : パーセプトロン

第4－5回 : ニューラルネットワーク

第6－7回 : ニューラルネットワークの学習

第8－9回 : 誤差逆伝播法

第10－11回 : 学習に関するテクニック

第11－12回 : 畳み込みニューラルネットワーク

第13－14回 : ディープラーニング

1. Introduction to Python

2. Perceptron

3. Neural network

4. learning for parametter estimation

5. back propagation

6. optimization

7. convolutional neural network

8. deep learning

4. 実務・実践的授業/Practicalbusiness

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"○"Indicatesthe practicalbusiness

5. 使用言語/Language Used in Course :

日本語

6. 成績評価方法/Evaluation method :

出席と平常の成績

7. 教科書および参考書/Textbook and references :

ゼロから作る Deep Learning 斎藤康毅

オライリージャパ 2016
ン

978-4-
87311-758-4

教科書

8. 関連URL/URL :

9. 授業時間外学修/Preparation and Review :

該当範囲の復習と予習

10. その他/In addition :

メディア授業科目 /Course of Media Class:

プレゼミ/Pre-Seminar

担当教員/Instructor : 一小路 武安/TAKEYASU ICHIKOHJI

曜日・講時/Day/Period : 後期 火曜日 3 講時

対象学年/Eligible Participants : 2,

科目ナンバリング/Course Numbering : EAL-ECM205J, 単位数/Credit(s) : 2

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class :

(本講義の担当は一小路 武安先生です)

本講義の目的は、現実の社会事象に関して、自分で論点を設定し、
題材に関する資料を調べ、発表することである。

The aim of this course is for students to define issues about real social phenomena, find a variety of resources on the issues and make a presentation.

2. 学修の到達目標/Goal of study :

社会事象に関して正解が明確に存在しない論点があることを理解し、
立場に応じた主張を調べたうえで、自分の見解を述べられるようになる。

Students will understand that there are issues about social phenomena for which there are no clear-cut "correct" answers, and will be able to express their own views after examining various arguments on the issues.

3. 授業内容・方法と進捗予定/Contents and progress schedule of the class :

履修者を複数のグループに分けたうえで、
グループごとに論点を設定し、調べ、発表する。

発表しない参加者は発表を聞いたうえで、質問をすることが求められる。

Students will be divided into several groups and each group will define an issue, find resources and make a presentation. The audience are expected to listen to the presentations and ask questions.

論点の例

※財政再建は増税・歳出削減どちらで達成すべきか

※死刑制度は存続すべきか否か

Examples of Issues

Should fiscal reconstruction be achieved through tax increases or spending cuts?

Should the death penalty remain in place or not?

ただし、参加学生の意向によって内容を一部変更する可能性がある。

However, some of the contents may be changed depending on the wishes of the participating students.

必要な連絡は Google Classroom を通じて行う。クラスコードは q4fi5mq である。

Any necessary communication will be done through Google Classroom. The class code is q4fi5mq.

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

5. 使用言語/Language Used in Course :

日本語

6. 成績評価方法/Evaluation method :

日常成績による。

7. 教科書および参考書/Textbook and references :

8. 関連URL/URL :

9. 授業時間外学修/Preparation and Review :

発表の準備は授業の時間外に行うことになる。

10. その他/In addition :

メディア授業科目 /Course of Media Class:

受講者が 300 人を超え、経済学部以外の同一学部から

5 名以上の履修者がいる場合、その学部生の履修を

認めない場合があります。

プレゼミ/Pre-Seminar

担当教員/Instructor : 陳 鳳明/FENGMING CHEN

曜日・講時/Day/Period : 後期 火曜日 4 講時

対象学年/Eligible Participants : 2,

科目ナンバリング/Course Numbering : EAL-ECM205J, 単位数/Credit(s) : 2

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class :

このプレゼミはデータ分析より得られる結婚、出産、子育ての真実への理解を深めると同時に、プレゼンテーションやグループディスカッションを通じて、社会人になってからも必要なコミュニケーション能力を養うことを目指す。

This seminar aims to deepen understanding of the truth about marriage, childbirth, and child-rearing through data analysis, and at the same time, to develop communication skills through presentations and group discussions.

2. 学修の到達目標/Goal of study :

以下の2点を目標とする。

- (1) 経済学見地から結婚、出産、子育ての実態を理解できる。
- (2) プレゼンテーションやディスカッションの基礎的なスキルを習得できる。

- (1) Understand the realities of marriage, childbirth, and child-rearing from an economic perspective.
- (2) Acquire basic skills for presentation and discussion

3. 授業内容・方法と進捗予定/Contents and progress schedule of the class :

1. ガイダンス
2. 育児スタイルと経済学
3. ヘリコプター・ペアレントの出現
4. 世界各国の育児スタイル
5. 不平等、育児スタイル、子育ての罠
6. 鞭からニンジンへ
7. 男子 VS 女子
8. 出生率と児童労働
9. 子育てと階級
10. 学校制度の組織
11. 子育ての未来
12. グループワーク 1
13. グループワーク 2
14. プレゼンテーション 1
15. プレゼンテーション 2

1. Guidance
2. The Economics of Parenting Style
3. The Rise of Helicopter Parents
4. Parenting Styles around the Contemporary World
5. Inequality, Parenting Style, and Parenting Traps
6. From Stick to Carrot
7. Boys versus Girls
8. Fertility and Child Labor
9. Parenting and Class
10. The Organization of the School system
11. The Future of Parenting
12. Group Work 1
13. Group Work 2
14. Final presentation 1
15. Final presentation 2

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

5. 使用言語/Language Used in Course :

日本語で講義を行う。

6. 成績評価方法/Evaluation method :

- 各回の出席状況 (30%)
レジュメ・討論への貢献 (30%)
最終プレゼンテーション (40%)

- Class participation (30%)
Contribution of discussion (30%)

Final presentation (40%)

7. 教科書および参考書/Textbook and references :

子育ての経済学ー愛情・お金・育 児スタイル	Matthias Doepke & F a b r i z i o Zilibotti (著) 鹿田昌 美(訳) 大垣昌夫 (解 説)	慶応義塾大学出版 社	2020	978-4-7664- 2711-0	教科書
--------------------------	---	---------------	------	-----------------------	-----

8. 関連URL/URL :

9. 授業時間外学修/Preparation and Review :

10. その他/In addition :

メディア授業科目 /Course of Media Class:

授業に関する連絡や資料配布はGoogle Classroomを用いて行う。Classroomのクラスコードは【gtofnu5】である。

プレゼミ/Pre-Seminar

担当教員/Instructor : ZHANG TINGTING/ZHANG TINGTING

曜日・講時/Day/Period : 後期 火曜日 3 講時

対象学年/Eligible Participants : 2,

科目ナンバリング/Course Numbering : EAL-ECM205J, 単位数/Credit(s) : 2

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class :

- ・受講者に、「失われた 30 年」とも呼ばれる 1990 年代から 2010 年代までの日本経済、およびこれから日本が直面する経済、人口、社会問題を鳥瞰する視点を提供する。
- ・経済現象に関する問いを立てて調査を進め、仮説を提示することを体感する。

This course will focus on Japan's economy between the 1990s and the 2010s, a period called as "The lost thirty years", as well as overviewing the economic, demographic and social issues that Japan may face in the future. The course aims to further improve the students' ability to do economic research and to develop higher-level skills in finding answers as well as creation of hypothesis.

2. 学修の到達目標/Goal of study :

- ・テキストの内容を理解する
- ・情報検索、レポート作成、プレゼンテーションなどの初歩的な調査・研究スキルを身につける。

This course aims to further improve the students' ability to comprehend economic textbooks and to develop skills in information retrieval, academic writing as well as presentation.

3. 授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class :

- 第 1 回 : オリエンテーション・輪読チーム分け・授業の説明
 第 2 回 : 『日本経済 30 年史 バブルからアベノミクスまで』 第 1 章～第 2 章
 第 3 回 : 『日本経済 30 年史 バブルからアベノミクスまで』 第 3 章～第 4 章
 第 4 回 : 『日本経済 30 年史 バブルからアベノミクスまで』 第 5 章
 第 5 回 : 『日本経済 30 年史 バブルからアベノミクスまで』 第 6～7 章
 第 6 回 : 『日本経済 30 年史 バブルからアベノミクスまで』 第 8～9 章
 第 7 回 : 『これからの日本の人口と社会』 第 1 講～第 2 講
 第 8 回 : 『これからの日本の人口と社会』 第 3 講～第 4 講
 第 9 回 : 『これからの日本の人口と社会』 第 5 講～第 6 講
 第 10 回 : 『これからの日本の人口と社会』 第 7 講～第 8 講
 第 11 回 : 『これからの日本の人口と社会』 第 9 講～第 10 講
 第 12 回 : 発表チーム分けとグループワーク (1)
 第 13 回 : グループワーク (2)
 第 14 回 : グループワーク (3) 発表順決定
 第 15 回 : グループワーク (4) 成果発表会

Text one: Nippon-keizai 30-nen-shi baburu kara abenomikusu made, [30 years of Japanese economy: from bubble to Abenomics], (Tokyo: Iwanami Shoten, 2019), Yukio Yanbe .

Text tow: Korekara no nihon'nojinkō to shakai, [Demography and society: looking for the future in japan], (Tokyo: University of Tokyo Press, 2019), Sawako Shirahase etc.

- 1st Orientation and Introduction
 2nd : Chapter 1 and Chapter 2
 3rd : Text one Chapter 3 and Chapter 4
 4th : Text one Chapter 5
 5th : Text one Chapter 6 and Chapter 7
 6th : Text one Chapter 8 and Chapter 9
 7th : Text two Chapter 1 and Chapter 2
 8th : Text two Chapter 3 and Chapter 4
 9th : Text two Chapter 5 and Chapter 6
 10th : Text two Chapter 7 and Chapter 8
 11th : Text two Chapter 9 and Chapter 10
 12th : Presentation team division and Group work 1st
 13th : Group work 2nd
 14th : Group work 3rd and decide order for final presentation
 15th : Group work 4th and Presentation.

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

5. 使用言語/Language Used in Course :

日本語

6. 成績評価方法/Evaluation method :

平常成績 (30%) + 報告・予習ノート・クラスパフォーマンス (70%)

遅刻や無断欠席は厳禁である。

7. 教科書および参考書/Textbook and references :

日本経済 30 年史 バブルからアベノミクスまで	山家悠紀夫 著	岩波書店	2019	978-4004317999	教科書
これからの日本の人口と社会	白波瀬 佐和子 編	東京大学出版会	2019	978-4130530279	教科書

8. 関連URL/URL :

なし

9. 授業時間外学修/Preparation and Review :

予習が中心であり、予習ノートの作成が必要である。教科書を読み、グループで相談して報告と討論の準備をすることが必要である。

10. その他/In addition :

メディア授業科目 /Course of Media Class:

教員連絡先:

研究室 502 (文科系合同研究棟)

電話 022-795-7837

Email: zhang.tingting.c6@tohoku.ac.jp

オフィスアワー: 授業後約 1 時間 (研究室にて可)

ミクロ経済分析/Microeconomics

担当教員/Instructor：日引 聡/AKIRA HIBIKI

曜日・講時/Day/Period：前期 月曜日 1 講時. 前期 水曜日 3 講時

対象学年/Eligible Participants：2・3・4,

科目ナンバリング/Course Numbering：EAL-EC0210J, 単位数/Credit(s)：4

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class：

ミクロ経済学は、さまざまな応用分野（国際経済学、医療経済学、労働経済学、環境経済学、開発経済学など）の基礎となる科目である。この授業では、ミクロ経済学の基礎理論を講義する。

[Microeconomics is a fundamental subject for various applied fields (international economics, health economics, labor economics, environmental economics, development economics, etc.). In this class, basic theories of microeconomics will be taught.]

Google classroom クラスコード：omqstdv

2. 学修の到達目標/Goal of study：

ミクロ経済学の基礎理論を修得する。

[Acquire basic knowledge of microeconomic theory.]

3. 授業内容・方法と進捗予定/Contents and progress schedule of the class：

メインのテキストは、配布する講義ノートと武隈慎一著『ミクロ経済学』新生社を利用する。

参考書としては、昨年度、入門経済学 B で使用したテキスト アセモグル他著 『ミクロ経済学』東洋経済新報社を使用する。難易度としては、武隈の方がアセモグル他より難しいので、アセモグル他を読んで、全体像をつかんでから、武隈を読むとよい。

また、講義の前半では、入門経済学 B で学習した内容を復習するため、昨年度、入門経済学 B で学習した箇所を事前に復習して参加するとよい。

消費者行動の分析と企業行動の分析では、効用最大化問題、利潤最大化問題を扱う。
より厳密に理論を説明するために、グラフを用いた説明に加え、微分を用いた説明も用いる。

より数学を用いて、高度な勉強をしたい学生は、奥野正寛著『ミクロ経済学』東京大学出版 を使って勉強をするとよい。

具体的な内容は下記の通り

1. 市場均衡と社会の利益（社会的総余剰）（1～7 回）

- (1) 需要曲線と消費者の利益
→ 講義ノート 3、(復習) アセモグル他 「5 章 消費者とインセンティブ」
- (2) 供給曲線と生産者の利益
→ 講義ノート 4 (復習) アセモグル他 「6 章 生産者とインセンティブ」
- (3) 市場均衡と社会的総余剰
→ 講義ノート 5 (復習) アセモグル他 「7 章 完全競争と見えざる手」
- (4) 貿易の利益
→ (参考) アセモグル他 「8 章 貿易の 8.4、8.5 節」
- (5) 環境問題と市場の失敗
→ 講義ノート 6 (復習) アセモグル他 「9 章 外部性と公共財」

2. 消費者行動の分析（効用最大化）（8～14 回）

- (1) 効用最大化と需要曲線の導出
→ 武隈著：「第 2 章 消費者行動」
- (2) 労働供給と余暇の選択
- (3) 消費と貯蓄の決定

3. 企業行動（利潤最大化と費用最小化）（15～22 回）

- (1) 費用最小化と生産要素の選択
→ 武隈著：「第 3 章 企業行動」
- (2) 費用最小化と費用曲線の導出
→ 武隈著：「第 3 章 企業行動」
- (3) 利潤最大化行動
→ 武隈著：「第 3 章 企業行動」
- (4) 独占企業の行動
→ 武隈著：「第 6 章 不完全競争」 (参考) アセモグル他 「第 12 章 独占」
- (5) 寡占企業の行動（クールノー均衡）

→ 武隈著「第6章 不完全競争」 (参考) アセモグル他 「第14章 寡占と独占的競争」

4. その他のトピックス (23~29回)

- (1) 不確実性の経済学：期待効用仮説
→ 武隈著「第8章 不確実性」 (参考) アセモグル他 「第15章 時間とリスクのトレードオフ」
- (2) ゲーム理論
→ 武隈著「第11章 ゲームの理論」 (参考) アセモグル他 「第13章 ゲーム理論と戦略的行動」
- (3) 情報の経済学：情報の非対称性
→ 武隈著「第8章 不確実性」 (参考) アセモグル他 「第16章 情報の経済学」

5. 理解度確認セッション

1. Market equilibrium and social benefits (social surplus) (1-7 lectures)

- (1) Demand curve and consumers' surplus: Lecture note 3
- (2) Supply curve and producer's surplus : Lecture note 4
- (3) Market equilibrium and social surplus : Lecture note 5
- (4) Environmental problems and market failure: Lecture note 6

2. Consumer Behavior (Utility Maximization) (8-14 lectures)

- (1) Utility Maximization and Derivation of Demand Curve : Shinichi Takekuma: "Chapter 2: Consumer Behavior"
- (2) Labor supply and leisure choice
- (3) Consumption and saving decisions

3. Firm's behavior (profit maximization and cost minimization) (15-22 lectures)

- (1) Cost minimization and factors of production : Shinichi Takekuma "Chapter 3: Firm's Behavior"
- (2) Cost minimization and derivation of cost curve : Shinichi Takekuma "Chapter 3: Firm's Behavior"
- (3) Profit maximization behavior : Shinichi Takekuma "Chapter 3: Firm's Behavior"
- (4) Monopolist : Shinichi Takekuma Chapter 6, "Imperfect Competition market"

Competition market"

- (5) Oligopoly Behavior (Cournot Equilibrium): : Shinichi Takekuma Chapter 6, "Imperfect Competition market"

4. other topics (23 - 29 lecture)

- (1) Economics of Uncertainty: Expected Utility Hypothesis : Shinichi Takekuma Chapter 8 "Uncertainty"
- (2) Game theory : Shinichi Takekuma Chapter 11 "Game theory"
- (3) Economics of Information: Information Asymmetries: Shinichi Takekuma Chapter 8 "Uncertainty"

5. Exam

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○"Indicates the practical business

5. 使用言語/Language Used in Course :

日本語

Japanese

6. 成績評価方法/Evaluation method :

理解度確認セッションの成績 (70%) と授業中の小テストあるいは宿題 (30%)

Exam (70%) and in-class quizzes or homework (30%)

7. 教科書および参考書/Textbook and references :

ミクロ経済学	武隈慎一	新世社	2016	978-4883842391	教科書
ミクロ経済学	アセモグル／レイブソン／リスト	東洋経済新報社	2020	978-4492315132	参考書
ミクロ経済学	奥野正寛	東京大学出版会	2008	978-4130421270	参考書

8. 関連URL/URL :

9. 授業時間外学修/Preparation and Review :

経済学の有効な勉強方法は、事前にテキストを読み、予習をしたうえで、授業を受けることです (授業を復習の場にする)。専門の授業になると、授業で初めて聞いた内容はすぐに理解できません。このため、必ず事前にテキストを読んでから授業に臨んでください。

[An effective way to study economics is to read the textbook and prepare for the class in advance.]

10. その他/In addition:

メディア授業科目 /Course of Media Class:

○この授業は、入門経済Bで学んだことを基礎として、より詳細なミクロ経済学の理論を学びます。このため、入門経済Bを履修済みであることが望ましい。入門経済Bを履修していない人は、入門経済Bで使用したテキスト（アセモグル／レイブソン／リスト著『ミクロ経済学』東洋経済新報社）の1～10章を事前に読み、基礎的な内容を理解してから履修してください。

○経済経営数学基礎の単位を取得済みあるいはそれに相当する数学の知識があることが望ましい。

○授業で使用するテキストは、私の講義ノートと武隈慎一著「ミクロ経済学」です。また、昨年度、入門経済学Bで使用した、アセモグル他著「ミクロ経済学」も参考書として利用します。

○アセモグル／レイブソン／リスト著『ミクロ経済学』東洋経済新報社は、より優しく書かれているので、上記のテキストを読む前に、該当箇所を読むとより分かりやすくなると思います。より高度な勉強をしたい人は、奥野正寛著『ミクロ経済学』1が参考になる。

○Office hour: いつでもOK。ただし、事前に（直前でもいいので）メール（hibiki@tohoku.ac.jp）アポイントを取ること。（会議等で不在にしていることが多いため）

○履修者が300名を超えた場合、経済学部以外の学部からの履修を認めない場合があります

○Office hours: anytime, but please make an appointment in advance by e-mail (hibiki@tohoku.ac.jp). (I am often away from the office for meetings, etc.).

○If the enrollment exceeds 300 students, the course may not be open to students from departments other than the Faculty of Economics.

マクロ経済分析/Macroeconomics

担当教員/Instructor: 鈴木 通雄/MICHIO SUZUKI

曜日・講時/Day/Period: 後期 月曜日 3 講時. 後期 木曜日 1 講時

対象学年/Eligible Participants: 2・3・4,

科目ナンバリング/Course Numbering: EAL-EC0214J, 単位数/Credit(s): 4

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class:

本講義の目的は、受講学生にマクロ経済分析の基礎を習得してもらうことである。そのため、以下の内容について解説する。
(1) マクロ経済の実態把握に必要な国内総生産 (GDP)、物価、失業率等の経済統計データ、(2) 基本的なマクロ経済モデルとそれらに基づいた金融財政政策の効果。

The purpose of this course is to provide students with the basics of macroeconomic analysis. To this end, the following topics will be covered. (1) Economic statistical data necessary to understand actual macroeconomic conditions, such as gross domestic product (GDP), price indices, unemployment rates, etc; (2) Basic macroeconomic models and the effects of monetary and fiscal policies based on these models.

2. 学修の到達目標/Goal of study:

基本的なマクロ経済学のモデルをその限界とともに理解すること。それらの理論モデルに基づいて、データを解釈し、経済政策の効果を議論できるようになること。

This course is designed to help students understand basic macroeconomic models along with their limitations. Based on those theoretical models, students will be able to interpret data and discuss the effects of economic policies.

3. 授業内容・方法と進捗予定/Contents and progress schedule of the class:

- 第 1 回: 国民経済計算上の諸概念 (1) /System of National Accounts
- 第 2 回: 国民経済計算上の諸概念 (2) /System of National Accounts
- 第 3 回: 国民経済計算上の諸概念 (3) /System of National Accounts
- 第 4 回: 国民経済計算上の諸概念 (4) /System of National Accounts
- 第 5 回: マクロ経済モデル: 45 度線モデル/Keynesian cross diagram
- 第 6 回: マクロ経済モデル: IS-LM モデル (1) /IS-LM model
- 第 7 回: マクロ経済モデル: IS-LM モデル (2) /IS-LM model
- 第 8 回: マクロ経済モデル: 総需要・総供給モデル (1) /AD-AS model
- 第 9 回: マクロ経済モデル: 総需要・総供給モデル (2) /AD-AS model
- 第 10 回: マクロ経済モデル: 総需要・総供給モデル (3) /AD-AS model
- 第 11 回: 失業とインフレーション (1) /Unemployment and inflation
- 第 12 回: 失業とインフレーション (2) /Unemployment and inflation
- 第 13 回: 失業とインフレーション (3) /Unemployment and inflation
- 第 14 回: 開放経済への応用 (1) /Application to the open economy
- 第 15 回: 開放経済への応用 (2) /Application to the open economy
- 第 16 回: 開放経済への応用 (3) /Application to the open economy
- 第 17 回: 消費の理論 (1) /Consumption
- 第 18 回: 消費の理論 (2) /Consumption
- 第 19 回: 投資の理論 (1) /Investment
- 第 20 回: 投資の理論 (2) /Investment
- 第 21 回: 貨幣供給の理論 (1) /Money supply
- 第 22 回: 貨幣供給の理論 (2) /Money supply
- 第 23 回: 経済成長の理論と実際 (1) /Economic growth
- 第 24 回: 経済成長の理論と実際 (2) /Economic growth
- 第 25 回: 経済成長の理論と実際 (3) /Economic growth
- 第 26 回: 安定化政策に関する異なる考え方/ Alternative perspectives on stabilization policy
- 第 27 回: 政府負債と財政赤字/ Government debt and budget deficits
- 第 28 回: 金融システム/ The financial system
- 第 29 回: まとめ/Summary
- 第 30 回: 理解度確認セッション/ Examination

4. 実務・実践的授業/Practicalbusiness

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○"Indicatesthe practicalbusiness

5. 使用言語/Language Used in Course:

日本語/Japanese

6. 成績評価方法/Evaluation method:

宿題 (Google classroom での課題提出) と理解度確認セッションの成績により評価する。

Students are evaluated on their submitted assignments and the examination.

7. 教科書および参考書/Textbook and references:

マクロ経済学 I 入門篇 (第 4 版) N・グレゴリー・マンキ 東洋経済新報社 2017 4492315047 参考書

マクロ経済学 II 応用篇(第 4 版)	ユー N・グレゴリー・マンキ	東洋経済新報社	2018	4492315101	参考書
マクロ経済学 新版 (New Liberal Arts Selection)	ユー 齊藤 誠, 岩本 康志, 太田 聡一, 柴田 章久	有斐閣	2016	4641053847	参考書
マクロ経済学 -- 入門の「一歩前」から応用まで 新版	平口良司, 稲葉大	有斐閣	2020	4641150761	参考書

8. 関連URL/URL :

9. 授業時間外学修/Preparation and Review :

1. 授業内容の復習
2. 練習問題への取り組み
3. 宿題への回答

10. その他/In addition :

メディア授業科目 /Course of Media Class:

授業は、事前に Google Classroom にアップロードしたスライドを用いて講義形式で行う。授業に関する連絡や資料配布は Google Classroom を通じて行うので、この科目の履修を考えている人は授業開始前に Classroom にアクセスしておくこと。
(クラスコード: 5kzgnvv)

履修者が 300 名を超えた場合、経済学部以外の学部からの履修を認めない場合があります。

政治経済学原理/Principle of Political Economy

担当教員/Instructor：守 健二/KENJI MORI

曜日・講時/Day/Period：前期 火曜日 1 講時. 前期 金曜日 2 講時

対象学年/Eligible Participants：2・3・4,

科目ナンバリング/Course Numbering：EAL-EC0211J, 単位数/Credit(s)：4

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class：

社会科学の一部分として経済学を位置づけ、経済学の考え方の特徴、およびその役割と限界を考察する。社会科学の対象は人間とその社会であり、この広範な対象のどの側面を経済学は説明しようとするのか、について学説史的に考察する。

The course aims to understand merits and limits of economics as a part of social science.

2. 学修の到達目標/Goal of study：

- ・経済学がインプリシットに前提する思想的立場および人間観を理解する
- ・市場の効率性・非効率性および制度の存在意義について理解する
- ・効率性・非効率性と所得分配の公正・格差との関係について理解する
- ・経済学の批判的考察としての古典派およびマルクス経済学の歴史的意義を理解する
- ・格差、不平等の現代的諸課題に関する現代政治経済学の研究動向について知見を得る

The goal of the course is to understand

- ethical idea of man implicitly underlying economics
- inefficiency of market and role of institutions
- inefficiency of market and inequality of income distribution
- classical and Marxian economics and critical thinking of economics
- recent development of political economy

3. 授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：

- 第1回：政治経済学の課題 (I)
- 第2回：政治経済学の課題 (II)
- 第3回：ホモエコノミクス前史 (I)
- 第4回：ホモエコノミクス前史 (II)
- 第5回：功利主義 (I)
- 第6回：功利主義 (II)
- 第7回：疎外論
- 第8回：限界効用理論 (I)
- 第9回：限界効用理論 (II)
- 第10回：経済的厚生 (I)
- 第11回：経済的厚生 (II)
- 第12回：外部性 (I)
- 第13回：外部性 (II)
- 第14回：囚人のジレンマ (I)
- 第15回：囚人のジレンマ (II)
- 第16回：社会的ジレンマ (I)
- 第17回：社会的ジレンマ (II)
- 第18回：協業 (Cooperation) (I)
- 第19回：協業 (Cooperation) (II)
- 第20回：制度 (I)
- 第21回：制度 (II)
- 第22回：企業 (I)
- 第23回：企業 (II)
- 第24回：唯物史観
- 第25回：資本の本源蓄積
- 第26回：現代政治経済学の展開 (I)
- 第27回：現代政治経済学の展開 (II)
- 第28回：現代政治経済学の展開 (III)
- 第29回：現代政治経済学の展開 (IV)
- 第30回：講義の総括

1. Subject of Political Economy (1)
2. Subject of Political Economy (2)
3. History of homo oeconomicus (1)
4. History of homo oeconomicus (2)
5. Utilitarianism (1)
6. Utilitarianism (2)
7. Alienation
8. Marginal Utility (1)
9. Marginal Utility (2)
10. Economic Welfare (1)

11. Economic Welfare (2)
12. Externalities (1)
13. Externalities (2)
14. Prisoner's Dilemma (1)
15. Prisoner's Dilemma (2)
16. Social Dilemma (1)
17. Social Dilemma (2)
18. Cooperation (1)
19. Cooperation (2)
20. Institution (1)
21. Institution (2)
22. Firm (1)
23. Firm (2)
24. Historical Materialism
25. Primitive Accumulation of Capital
26. Recent Development of Political Economy (1)
27. Recent Development of Political Economy (2)
28. Recent Development of Political Economy (3)
29. Recent Development of Political Economy (4)
30. Review and Conclusion

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

5. 使用言語/Language Used in Course :

日本語

6. 成績評価方法/Evaluation method :

原則的に期末試験の成績により評価する。

7. 教科書および参考書/Textbook and references :

8. 関連URL/URL :

Google Classroom 「EB203 政治経済学原理」 クラスコード : orplc5s

9. 授業時間外学修/Preparation and Review :

予習, 復習としてとくに参考文献を読むことが、学習目標の到達の重要な条件である。

10. その他/In addition :

メディア授業科目 /Course of Media Class:

授業は原則対面で行いますが、数回オンラインで行う場合があります。その場合には事前に上記 Google Classroom で周知します。

受講前に必ず Google Classroom、クラスコード : orplc5s を参照してください。

講義に関する連絡事項は上記 Google Classroom にて行いますので、必ず定期的に参照してください。

教科書および参考書は講義中に指示します。

履修者が 300 名を超えた場合、経済学部以外の学部からの履修を認めない場合があります。

数理統計/Mathematical Statistics

担当教員/Instructor : 石垣 司/TSUKASA ISHIGAKI

曜日・講時/Day/Period : 後期 月曜日 1 講時. 後期 水曜日 3 講時

対象学年/Eligible Participants : 2・3・4,

科目ナンバリング/Course Numbering : EAL-ECM210J, 単位数/Credit(s) : 4

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class :

経済学、経営学の問題のみならず社会における様々な問題を解決するため、データに基づく意思決定はますます重要となってきた。データから得られる根拠（エビデンス）に基づく問題解決を実践するためには、その問題に対して有効なデータ分析手法を適用する必要がある。本講義では、既に学習した統計的検定と回帰分析の知識に基づいて、最尤法、ベイズ統計、多変量解析、因果効果推定などのトピックに関する知識を身に付けることを目的とする。

In this course, students learn the basic mathematical statistics for economics and management.

2. 学修の到達目標/Goal of study :

- ・統計的モデリングについて知る
- ・基礎的なベイズ統計について理解する
- ・基礎的な多変量解析について理解する
- ・基礎的な因果効果推定について理解する

This course is designed to help students understand the basics of mathematical statistics and be able to apply them to economics and management problems.

3. 授業内容・方法と進捗予定/Contents and progress schedule of the class :

Google Classroom のクラスコード「m5ciwpx」

- 第1回 : ガイダンス
- 第2回 : データ活用社会と経済学部生
- 第3回 : 統計学入門の復習 1
- 第4回 : 統計学入門の復習 2
- 第5回 : 線形回帰モデル
- 第6回 : 線形回帰モデルと係数の検定
- 第7回 : 線形回帰モデルと線形代数
- 第8回 : 統計モデルと尤度原理
- 第9回 : ロジスティック回帰モデル
- 第10回 : ロジスティック回帰モデルの推定
- 第11回 : 尤度関数と数値最適化
- 第12回 : ポアソン回帰モデル
- 第13回 : 第1回フォローアップ授業
- 第14回 : ベイズ統計学とは？
- 第15回 : 事前分布と事後分布
- 第16回 : ベイズ推定
- 第17回 : 意思決定のためのベイズ推定
- 第18回 : 「個」のためのベイズ推定
- 第19回 : 多変量解析のための固有値分解の復習
- 第20回 : 主成分分析
- 第21回 : 判別分析
- 第22回 : 因子分析
- 第23回 : ベイジアンネットワーク
- 第24回 : 統計的因果推論とは？
- 第25回 : 統計的因果推論と共変量調整
- 第26回 : 差の差の分析
- 第27回 : 統計的因果推論に必要な仮定・条件
- 第28回 : 第2回フォローアップ授業
- 第29回 : 理解度確認セッション
- 第30回 : 理解度確認セッションの解説

This is a lecture-centered course.

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

5. 使用言語/Language Used in Course :

日本語

6. 成績評価方法/Evaluation method :

理解度確認セッションの結果で評価する。具体的には第1回ガイダンスで指示する。

7. 教科書および参考書/Textbook and references :

8. 関連URL/URL :**9. 授業時間外学修/Preparation and Review :**

予習よりも復習を重視して欲しい。

10. その他/In addition :

メディア授業科目 /Course of Media Class:

統計的検定や回帰分析の知識を前提として講義を行うため、統計学入門・計量分析は履修済みであることが望ましい。

加えて、線形代数の知識（特に、逆行列や固有値分解）を前提として講義を行う回があるため、経済経営数学入門 A と B、経済経営数学の履修を推奨する。

履修者が 300 名を超えた場合、経済学部以外の学部からの履修を認めない場合があります。

経済史・経営史/Economic and Business History

担当教員/Instructor: 川名 洋/YOH KAWANA

曜日・講時/Day/Period: 後期 月曜日 3 講時、後期 木曜日 1 講時

対象学年/Eligible Participants: 2・3・4,

科目ナンバリング/Course Numbering: EAL-EC0213J, 単位数/Credit(s): 4

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class:

産業革命以降のめざましい経済発展により、人類は今や史上最高の生活水準を達成し、絶対的貧困を徐々に無くしていく技を手に入れた。本講義では、この持続的経済成長を可能にした西洋の経済力について解説する。

このような経済成長は、ある社会に「特別な条件」が整わなければ起こり得なかったという意味で歴史的現象と解される。また、西洋固有の政治、経済、法制度、人口、カルチャーがその説明要因であったことから、やはり歴史的現象として捉えうる。そこで本講義では、歴史学的方法の利点を最大限生かし西洋固有の現象一つひとつの特徴について論じながら、近世（16～18世紀）には西洋に整い始める「特別な条件」の再現を試みる。その結果、近代特有の経済成長は、西洋経済に蓄積された歴史の力と不可分の現象であったこと、また、それゆえに比較可能な指標（数値）には収まりきらない豊かな歴史的意味を有することを示したい。

グローバル経済を牽引することとなった西洋経済の功罪に対する評価は、それがいかなるものでも、経済（学）に対する見方を左右すると考えられる。経済学部を受講生には、その評価を主体的に行うための基礎能力と同時に、経済（学）の本質を見抜くために必要な、物事を相対的に捉える鋭い歴史感覚も身につけてほしい。

本講義では、偏った経済的思考に陥らない“pluralist economics”の精神を尊重しつつ、欧米と同じ自由市場経済体制下にある日本経済の行く末を見据える上で必須の基礎的知識習得を目指す。

また、最先端の研究成果に触れるため英語文献を積極的に活用する。「経済史」の概要については、下記関連 URL 及び担当者の HP (<http://www2.econ.tohoku.ac.jp/~kawana/ecoinfo.html>) を参照。

Economics is a study of context dependent phenomena. “Economic History” in 2023 argues that the progress of West European society and its offshoots, such as the US, offers an appropriate context for studying the modern global economy. Our basic institutions in Japan, such as the free market and democratic government, have been heavily influenced by the way in which the Economy of Western Europe has developed over the centuries. Our common values, such as respect for individual choices, the rule of law, and social welfare, has also emerged in the course of its long history in the West.

“Economic History” in 2023 is designed to explore how the West came to hold sway in the global markets in the 21st century. “Economic History” also puts special emphasis on the period before the Industrial Revolution, reflecting the latest scholarship on the medieval and early modern economy. This was the time when the unique foundation of urban and commercial society began to emerge in Western Europe. We will examine why this early development matters.

Responding to the growing needs for global learning in the higher education sector, this lecture is designed to encourage undergraduate students to digest economic information in the English language.

2. 学修の到達目標/Goal of study:

- ・ヨーロッパ及びアメリカ経済の歴史を軸に、各国の経済的経営的事象を相対的に評するための基礎的知識を身につける。
- ・経済的経営的事象を政治的、社会的、文化的側面と関連付けて思考し、経済変化の本質を鋭く見通す能力を身につける。

3. 授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class:

序論

1. 歴史の中の経済社会
2. 方法とアプローチ I 経済史学の誕生
3. 方法とアプローチ II 経済史学の展開

第1部 近代経済の源流

4. 中世の経済と社会 I
5. 中世の経済と社会 II
6. 中世後期の経済・社会変動
7. 近世ヨーロッパの経済成長
8. 近世経済の基底構造 I
9. 近世経済の基底構造 II
10. 都市化の進展と商業圏の拡大
11. 近世ヨーロッパにおける国家形成 I
12. 近世ヨーロッパにおける国家形成 II
13. スミスの経済の展開 I
14. スミスの経済の展開 II
15. 福祉の混合経済 I

16. 福祉の混合経済 II
17. 小括

第2部 近代経済の展開

18. 近世から近代へ—歴史変化と連続性—
19. イギリス産業革命
20. 地域産業の再編
21. 持続的経済成長の理論
22. 修正主義と復権
23. 産業と金融サービスの高度化
24. 自由貿易と国際金本位制の時代
25. 工業化の社会的影響
26. グローバル経済の拡大
27. グローバル経済の展開
28. グローバル経済の挫折
29. グローバル経済の再構築
30. 総括

※最新の研究成果を講義に反映させるために授業内容を変更する場合がある。

1. The Economic History of the West
2. Method & Approach I
3. Method & Approach II
4. Medieval Economy and Society I
5. Medieval Economy and Society II
6. Economic Problems and Progress in the Late Middle Ages
7. A Little Divergence and the Great Divergence
8. Demographic Expansion and the Commercial Revolution
9. The Advanced Organic Economy
10. The Enlightenment and the Urban Economy
11. The Rise of Early Modern States I
12. The Rise of Early Modern States II
13. Institutional Changes
14. The Consumer Revolution and the Industrious Revolution
15. The Mixed Economy of Welfare I
16. The Mixed Economy of Welfare II
17. Brief Summary
18. The Expansion of the Modern Economy: Introduction
19. Britain's Industrial Revolution
20. The Emergence of Industrial Regions
21. The Economic Foundation of Sustainable Economic Growth
22. Revisionism and Rehabilitation
23. The Rise of Industrialism and the Financial Services
24. The International Gold Standards and the Impact of Free Trade
25. Social Implications of Industrialisation and Urbanisation
26. The Rising Powers: The Realignment of European States
27. The Rising Powers: The Advancement of the US Economy
28. The Great Depression and the Two World Wars
29. The Post-war Economic Growth and the Rise of Global Post-industrial Society
30. Conclusion

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

5. 使用言語/Language Used in Course :

日本語/英語

6. 成績評価方法/Evaluation method :

毎回の受講を前提に試験、または、レポートにより評価する。

7. 教科書および参考書/Textbook and references :

西洋経済史	岡田泰男編	八千代出版
ヨーロッパの奇跡—環境・経済・地政の比較史	ジョーンズ	名古屋大学出版会
エネルギーと産業革命	リグリー	同文館
世界史のなかの産業革命—資源・人的資本・グローバル経済	アレン	名古屋大学出版会
消費社会の誕生	サースク	筑摩書房
イギリス個人主義の起源—家族・財産・社会変化	マクファーレン	南風社
プロト工業化の時代—西欧と日	斎藤 修	岩波書店

本の比較史
中世都市—社会経済史的試論— ピレンヌ 講談社
イギリス近世都市の「公式」と 川名 洋 創文社
「非公式」
イギリス都市の衝撃 : 1700- コーフィールド 三嶺書房
1800 年

8. 関連URL/URL :

西洋経済史Q&A : <http://www2.econ.tohoku.ac.jp/~kawana/prologue.html>

イギリス経済史 : <http://www2.econ.tohoku.ac.jp/~kawana/englisheco.html>

文庫本で読む「西洋経済史」 : <http://www2.econ.tohoku.ac.jp/~kawana/ecoref2022.html>

受講者用リンク集 : <http://www2.econ.tohoku.ac.jp/~kawana/link.html>

9. 授業時間外学修/Preparation and Review :

初回に配布する文献リストを参考に講義内容についてさらに知識を深めてほしい。その上で、「欧米経済」の成立ちについて論理的に説明できるように、要点・疑問点等を講義内容に沿ってよく整理してもらいたい。

10. その他/In addition :

メディア授業科目 /Course of Media Class:

1. 本科目は選択科目です。初回の講義において成績評価の方法等に関する重要な説明を行うので、履修希望者は必ず出席し、説明内容を十分理解した上で履修すること。

2. 大学の国際化推進に向けて英語で講義内容について解説する場合があるが、英語力は履修条件としない。

履修者が300名を超えた場合、経済学部以外の学部からの履修を認めない場合があります。

経営原理/Principle of Management

担当教員/Instructor : 高浦 康有/YASUNARI TAKAURA

曜日・講時/Day/Period : 前期 水曜日 2 講時. 前期 金曜日 1 講時

対象学年/Eligible Participants : 2・3・4,

科目ナンバリング/Course Numbering : EAL-MAN210J, 単位数/Credit(s) : 4

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class :

20 世紀初頭に米国で誕生した経営学は、その後の企業社会の発展とともに飛躍的な成長を遂げ、今日、世界中で企業経営の理論的基礎を与えるに至っている。本講義では、こうした経営学の歴史的展開を追いながら、その理論体系を学び、経営の原理が何であるかを多面的に把握することをめざす。経営学は、将来のビジネスリーダーをめざす人々に対して深い洞察を与えるのみならず、消費者や市民の立場となるような人々に対しても企業のありようや影響力を理解する上で有益な視点を提供するであろう。

This lecture will provide you the multiple and systematic knowledge of the management theories and the principles of business administration in following up the academic history of the management thought. The management study will enable you to find profound insights for becoming the future business leader and also grasp useful perspectives in understanding what is business and how business influences the society.

2. 学修の到達目標/Goal of study :

経営学説の総論的な検討を通じて、基本的な諸概念や分析フレームワークについて体系的に理解するとともに、主として日本企業の事例に基づきながら現実の経営現象に対して理論的に考察できるようになることをめざす。

This lecture aims to let you understand the fundamental concepts and analytic framework in a systematic way in exploring the management study totally in order to examine the real management events theoretically through some case studies of the Japanese companies.

3. 授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class :

講義は基本的にテキスト各章に沿って進める。以下の内容を予定している。

- (1) 経営学とは - 研究対象、課題および方法
- (2) 現代企業論 - 専門経営者の出現、所有と支配の分離、金融仲介機関の台頭
- (3) 経営管理論 - 科学的管理法、人間関係論、協働システム論、コンティンジェンシー理論ほか
- (4) 組織構造論 - 基本的な組織形態、機能別組織、事業部制組織、マトリックス組織
- (5) 経営戦略論 - ドメイン戦略、競争戦略、資源戦略、組織間関係
- (6) 組織行動論 - モチベーション、リーダーシップ、組織文化

※講義は対面授業を基本とするが、Google Classroom も活用する（履修登録時に自動で生徒登録される見込み）。Classroom を通じて講義資料の配布、説明動画のオンデマンド配信、提出課題の受付、理解度確認のテスト等を実施する予定である。

クラスコード : uyv6gv7

※教室では演習課題についてのディスカッションを中心に進める。授業欠席時も課題提出は可能である。

（上記の対応は本学 BCP レベル等によっても変わり得ますので、Classroom を介した講義配信情報を随時チェックするようにしてください）

※本科目について履修登録せず Classroom のコード登録のみによるオンライン聴講を認める。

We will explore the following contents such as the method of management study, the theory of modern business, business administration, the organization structure, business strategy and human relations in organizations.

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

5. 使用言語/Language Used in Course :

日本語

6. 成績評価方法/Evaluation method :

理解度確認テスト（約 55%）、各講の演習問題及び映像資料分析レポート（約 45%）により評価（予定）。

7. 教科書および参考書/Textbook and references :

経営管理（有斐閣アルマ）新版	塩次喜代明、高橋 伸夫、小林敏男	有斐閣	2009	教科書
テキスト経営学 増補版	井原久光	ミネルヴァ 書房	2000	参考書
経営学説史（有斐閣アルマ）	岸田民樹、田中政光	有斐閣	2009	参考書
経営学説入門（有斐閣新書）	北野利信編	有斐閣	1977	参考書
経営学原理	村田和彦	中央経済社	2006	参考書
経営学入門（日経文庫）	榊原清則	日本経済新聞社	2002	参考書
企業倫理入門	高浦康有、藤野真也編	白桃書房	2022	参考書

8. 関連URL/URL :

9. 授業時間外学修/Preparation and Review :

授業前に Classroom を通じて配布される講義資料に目を通して予習しておこう。授業後は演習問題について自分なりに解答をまとめることで復習になるだろう。また諸科学の研究蓄積に依拠した経営学は“セオリー・ジャングル”と呼ばれるほど理論内容が多岐にわたる。講義資料のほかテキスト章末の文献リストを活用して興味ある図書に積極的にあたってみよう。

10. その他/In addition :

メディア授業科目 /Course of Media Class:

履修の条件：とくに予備知識を必要としない。

連絡先（メールアドレス）：教員用ホームページ参照。<http://www2.econ.tohoku.ac.jp/~takaura/>

オフィファワー：金曜 3 講時（左記以外でも対応可、研究室：経済学部研究棟 601）

★履修者が 300 名を超えた場合、経済学部以外の学部からの履修を認めない場合があります。

経営組織/Organization and Management

担当教員/Instructor : 西出 優子/YUKO NISHIDE

曜日・講時/Day/Period : 前期 月曜日 3 講時. 前期 木曜日 1 講時

対象学年/Eligible Participants : 2・3・4,

科目ナンバリング/Course Numbering : EAL-MAN211J, 単位数/Credit(s) : 4

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class :

私たちの日常生活は、企業をはじめ、大学や行政組織など、様々な組織との関わりでなりたっている。近年は、非営利組織や社会的企業も台頭してきている。この授業では、組織において人々が示す行動や態度に関する組織行動論の基本的な概念を学習する。また、非営利組織を中心とした多様な組織に関するテーマもとりあげる。

This course aims for students to learn basic concepts relating to organizational theory and behavior.

2. 学修の到達目標/Goal of study :

- ・組織行動論に関する基本的な概念を理解する。
- ・多様な組織の特性について理解する。

By taking this course, students are expected to gain understanding about the basic concepts relating to organizational behavior and the characteristics of diverse organizations.

3. 授業内容・方法と進捗予定/Contents and progress schedule of the class :

取り上げる予定の主なテーマは以下の通り。

講義、ケーススタディ、受講生発表・ディスカッション等を組み合わせる予定。

Topics related to organization management are discussed including motivation, decision making, leadership, organizational culture, cross-sector partnership, diversity management, and nonprofit organization.

- ・個人レベル（個人行動の基礎 [パーソナリティ、認知と多様性、価値と倫理]、動機付け）
- ・集団レベル（集団行動、チーム、コミュニケーション、意思決定、リーダーシップ、コンフリクト）
- ・組織レベル（組織構造、組織設計、人材管理、組織文化、組織変革）
- ・組織間レベル（組織間関係、外部環境）、多様な組織

1. ガイダンス
2. 組織とは、組織と人間の考え方、組織行動
3. 外部環境、組織文化
4. グローバリゼーションと社会的責任
5. ダイバーシティ・マネジメント

6. 個人行動の基礎
7. 8. 動機づけ
9. 10. 意思決定—個人・集団
11. 12. グループとチーム

13. コミュニケーションと情報
14. 15. リーダーシップと信頼
16. 17. パワー、コンフリクト

18. 19. 人材管理とキャリア
20. 21. 組織設計、組織構造
22. 23. 組織変革
24. 25. 多様な組織（非営利組織、社会的企業）
26. 組織間関係、ウェルビーイング経営

27. 28. 受講生発表
29. 理解度確認セッション
30. 理解度確認セッションのふりかえり

*各回の授業テーマや順番は変更の可能性有。

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

5. 使用言語/Language Used in Course :

日本語（講義は原則日本語で行なう。）ただし、受講生のミニッツペーパー、レポート、発表は、英語使用可。

Students may use English for writing the minute papers and/or making presentations, questions and comments.

6. 成績評価方法/Evaluation method :

1. ミニッツペーパー・課題・小テスト（70%）:

授業で提示する特定テーマ・課題に関する自身の意見や回答を記述する。最後の理解度確認を含め、10-13 回程度実施予定。

3. 期末レポート or 発表 (30%) :

経営組織に関する特定テーマ・事例についての調査レポート提出または授業内発表のいずれか1つを選択。

3 頁程度のレポート提出 (6 月末締切) または 5-7 分程度の授業内発表。

7. 教科書および参考書/Textbook and references :

参考書

『マネジメント入門—グローバル経営のための理論と実践』	ロビンズ、ステファ ン・P/高木晴夫監訳	ダイヤモンド社	2014	978- 4478028162
『キャリアで語る経営組織—個人 の論理と組織の論理』	稲葉祐之・井上達彦・ 鈴木竜太・山下勝	有斐閣アルマ	2010	978- 4641123939
『組織論 補訂版』	桑田耕太郎・田尾雅夫	有斐閣アルマ	2010	978- 4641124127
『新版 組織行動のマネジメント —入門から実践へ』	ロビンズ、ステファ ン・P/高木晴夫監訳	ダイヤモンド社	2009	978- 4478004593
『組織行動』	鈴木竜太・服部泰宏	有斐閣ストゥディ ア	2019	978-4-641- 15066-9
『はじめての経営組織論』	高尾 義明	有斐閣ストゥディ ア	2019	978- 4641150683

8. 関連URL/URL :

9. 授業時間外学修/Preparation and Review :

【予習】事前に授業でとりあげるテーマについて考え、問題意識をもって臨む。

【復習】参考書や関連文献を読んだり、関心テーマや実際の組織について自ら調べ、考え、理解を深める。

10. その他/In addition :

メディア授業科目 /Course of Media Class:

各授業の講義資料や連絡、課題提出等は、すべて Google Classroom で行ないます。

クラスコード : hqgukkf

本授業に関する質問や要望は、月曜3限の本授業終了直後にオンラインで受付けます。

または、西出 (yuko.nishide.c8@tohoku.ac.jp) 宛、件名に【経営組織、学籍番号、氏名】を記入して連絡下さい。

ミニットペーパーやGoogle Classroomでの質問も受け付けます。

履修者が300名を超えた場合、経済学部以外の学部からの履修を認めない場合があります。

会計原理/Accounting Principle

担当教員/Instructor: 尾関 規正/NORIMASA OZEKI

曜日・講時/Day/Period: 後期 火曜日 1 講時. 後期 金曜日 2 講時

対象学年/Eligible Participants: 2・3・4,

科目ナンバリング/Course Numbering: EAL-ACC210J, 単位数/Credit(s): 4

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class:

この授業は、財務会計における主要な会計基準や重要な論点の幅広い理解を通じて、財務会計の基本的な仕組みやその応用を学ぶことを目的とする。/This course aims to learn the principles of financial accounting through an understanding of accounting standards and their backgrounds. This course covers financial accounting topics from the introductory level to the advanced level.

この授業は Google Classroom を通じて行う。/This course is presented through Google Classroom.
Google Classroom のクラスコード: 62gqraf

現代において企業が行う経済活動は社会的に大きな影響力を持ち、経済社会の動向を適切に理解するためにはその活動の実態を理解することが不可欠である。しかしながら、企業の経済活動はひとつの企業だけを見ても無数にあり、その実態を直接把握することは難しい。このような場面における有用な情報として、会計情報を利用することができる。企業の経済活動は会計の仕組みを通じて会計情報に集約して数値化されており、特に財務会計の枠組みにおいては、企業の経営成績や財政状態が財務諸表と呼ばれる共通した様式に整理される。このような財務諸表を読み解くことが、企業の実態を把握するための重要な手段となる。

このとき、複雑かつ多様に広がる企業の経済活動を適切に会計情報に反映し、秩序立った報告を維持するためには、会計の仕組みには多くの取り決めが必要になる。そうした取り決めは会計基準と呼ばれ、企業の経済活動を数値に落とし込む際に適用される共通のルールを意味する。企業が報告する財務諸表に基づいてその活動実態の理解に結びつけるためには、それが準拠する会計基準を知ることが必要となる。会計基準を理解するためには、基準設定の背景にある理由や重要な論点となる考え方を知ることが効果的かつ効率的である。

以上を踏まえて、この授業では、財務会計の基本的な考え方や、具体的な会計基準を入門的なレベルから発展的なレベルまで取り扱い、その趣旨や背景にある重要な論点を踏まえて解説する。

2. 学修の到達目標/Goal of study:

財務諸表における主要な会計基準を幅広く理解する。

会計基準を設定する趣旨や背景にある重要な論点を理解する。

/The goal of this course is to understand accounting standards in financial statements, the knowledge of their backgrounds, and essential issues considered to standard setting.

3. 授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class:

授業は対面で行う。詳細は Google Classroom にてアナウンスする。

その他、スケジュールや課題等の実施方法についても、Google Classroom にてアナウンスする。

/This course is in-person classes. The information (schedule and assignments) will be announced on Google Classroom (62gqraf).

Google Classroom のクラスコード: 62gqraf

指定する教科書に沿って講義資料を配布し、講義形式で行う。/This course is a lecture style course and distribute lecture materials based on the contents of textbooks.

毎回の講義で復習課題（確認テスト）を出す。具体的な実施方法については、初回の講義でアナウンスする。/Quizzes for review of the sessions are conducted after every class.

理解度確認セッションを 3 回（概ね第 10 回、第 20 回、第 30 回を予定）実施し、解説とフィードバックを行う。なお、授業の進捗に応じて実施する回は前後する場合がある。/Examinations are conducted in the 10th, 20th, and 30th sessions. Feedbacks on the examinations are provided in this course. (Note that the dates for the examinations may change.)

授業内容は以下の項目に沿って行う。/The contents are as shown below:

- ・財務会計の機能と制度/Functions and systems of financial accounting
- ・利益計算の仕組み/Bookkeeping principles
- ・会計理論と会計基準/Accounting theory and accounting standards
- ・利益測定と資産評価の基礎概念/Primary concepts of earnings measurement and asset valuation
- ・現金預金/Cash
- ・キャッシュ・フロー計算書/Statement of cash flows
- ・有価証券/Securities
- ・デリバティブ/Derivatives
- ・ヘッジ会計/Hedge accounting
- ・売上高（収益認識）/Sales (revenue recognition)
- ・売上債権/Accounts receivable
- ・棚卸資産/Inventory
- ・売上原価/Cost of goods sold
- ・有形固定資産/Property, plant, and equipment
- ・減価償却/Depreciation
- ・減損会計/Impairment of assets
- ・リース会計/Lease

- ・無形固定資産／Intangible assets
- ・繰延資産／Deferred assets
- ・負債全般／Liabilities
- ・引当金／Allowance
- ・法人税等／Income taxes
- ・税効果会計／Tax effect accounting
- ・株主資本と純資産／Equity and net assets
- ・組織再編／Business combination and Business divestitures
- ・財務諸表の作成と公開／Preparation and disclosure of financial statements
- ・外貨建取引等の換算／foreign currency translation
- ・連結財務諸表（基本的な考え方）／Consolidated financial statements - Basic concepts
- ・連結財務諸表（連結貸借対照表）／Consolidated balance sheet
- ・連結財務諸表（連結損益計算書）／Consolidated statement of income
- ・連結財務諸表（持分法）／Equity method
- ・連結財務諸表（連結キャッシュ・フロー計算書）／Consolidated statement of cash flows
- ・連結財務諸表（注記）／Notes to consolidated statements

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicate the practical business

5. 使用言語/Language Used in Course :

講義は日本語で行う。/Japanese

6. 成績評価方法/Evaluation method :

- ・講義各回の確認テスト (25%)
- ・理解度確認セッション (75%)
- ・その他、成績評価に関する事項は初回講義時にアナウンスする。

7. 教科書および参考書/Textbook and references :

財務会計講義(第23版)※	桜井久勝	中央経済社	2022※	978-4-502-42901-9	教科書
---------------	------	-------	-------	-------------------	-----

8. 関連URL/URL :

本講義の Google Classroom (クラスコード: 62gqraf) へのリンク :
<https://classroom.google.com/c/NTg40DgwNzYzNzMx>

9. 授業時間外学修/Preparation and Review :

教科書や講義資料を使って講義で扱う内容を予習および復習する。
 取り扱う範囲が入門レベルから発展的なレベルまで幅広いため、各回の講義内容について教科書の設例や課題を着実にこなし、不明点を持ち越さないようにする。

10. その他/In addition :

メディア授業科目 /Course of Media Class:

「会計学入門」で学ぶ程度の簿記の知識を理解していることを前提とする。

(※教科書に関する補足) 教科書「財務会計講義」については初回講義時点で最新のものを使用する。講義で使用する版については初回講義時にアナウンスする。

参考書や参考資料は講義内で適宜紹介する。

履修者が300名を超えた場合、経済学部以外の学部からの履修を認めない場合があります。

計量分析/Econometrics

担当教員/Instructor: 松田 安昌. 李 銀星/YASUMASA MATSUDA

曜日・講時/Day/Period: 前期 水曜日 2 講時. 前期 金曜日 1 講時

対象学年/Eligible Participants: 2・3・4,

科目ナンバリング/Course Numbering: EAL-ECM212J, 単位数/Credit(s): 4

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class:

Google classroomcode: wncnbch

随時投稿するので、最新情報はこちらを参照してください。

本講義「計量分析」は経済学部データサイエンス科目群の一つです。データサイエンスを学びたい方は次の年限で履修してください。

1. 統計学入門（1 年次後期）
2. 計量分析（2 年次前期）
3. 数理統計（2 年次後期）
4. データサイエンス（2 年次後期）

特に、学部大学院一貫教育プログラム「データ科学」を希望する方は履修してください。

現代的な機械学習を学ぶための基本となる「回帰分析」からスタートし、「分類問題」、「ニューラルネットワークモデル」を扱います。データサイエンスでは、データ分析プログラミングが必須です。本講義では、コーディングが初めてという方を想定して入門から講義します。プログラミング未経験者も安心して Python コーディングに挑戦してください。

なお、教科書として「経済経営のデータサイエンス」（共立出版）を指定します。上記データサイエンス科目すべての参考図書として有効に使えます。

We will introduce basics to learn modern data science, ie. regression analysis, classification methods and deep learning. In order to learn data science, model fitting to actual data by programming is necessary. We suppose class members has no programming experiences and will guide intensive introductions pf Python coding. We do hope you challenge Python coding for big data with modern data science tools.

2. 学修の到達目標/Goal of study:

現代的な機械学習の基本を学び、Python プログラミングによってデータ分析を実行できるようになること。特に、ニューラルネットワークモデルでは Pytorch によるコーディングで、画像、自然言語に自身で応用分析することを目指します。

to learn basics of modern data science and as a result to analyze big data by fitting machine learning methods in Python coding.

3. 授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class:

1. 平均、分散の復習

2. 回帰分析（回帰）
 - 2.1 線形回帰モデル
 - 2.2 ポアソン回帰モデル
 - 2.3 過適合と 正則化

3. 回帰分析（分類）
 - 3.1 ロジットモデル
 - 3.2 プロビットモデル
 - 3.3 決定木

4. 深層学習

- 4.1 ニューラルネットワークモデル
- 4.2 畳み込みニューラルネット（画像認識）
- 4.3 Word2vec（自然言語処理）

1. review of introductory statistics
2. regression
 - 2.1 linear regression model
 - 2.2 Poisson regression model
 - 2.3 overfitting and regularization
3. classification
 - 3.1 logit model
 - 3.2 probit model
 - 3.3 decision tree
4. deep learning
 - 4.1 neural network model
 - 4.2 applications to image recognition by convolutional neural network (CNN)
 - 4.3 application to natural language processing by word2vec

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

5. 使用言語/Language Used in Course :

日本語

6. 成績評価方法/Evaluation method :

出席、レポート、試験で総合的に判断する。

7. 教科書および参考書/Textbook and references :

経済経営のデータサイエンス	石垣、植松、千木良、	共立出版	2022	4320125193	書籍
	照井、松田、李				

8. 関連URL/URL :

本テキストは東北大学図書館より Ebook としてダウンロードできます。

9. 授業時間外学修/Preparation and Review :

毎週宿題を出すので、必ず解いてから翌週の講義に臨むこと

10. その他/In addition :

メディア授業科目 /Course of Media Class:

「統計学入門」を履修していることが望ましい。

履修者が 300 名を超えた場合、経済学部以外の学部からの履修を認めない場合があります。

日本経済史/History of Japanese Economy

担当教員/Instructor：酒井 一輔/KAZUHO SAKAI

曜日・講時/Day/Period：前期 火曜日 2 講時. 前期 木曜日 1 講時

対象学年/Eligible Participants：2・3・4,

科目ナンバリング/Course Numbering：EAL-EC0224J, 単位数/Credit(s)：4

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class：

かつて途上国であった日本は、19 世紀以降、先進国へのキャッチアップを始め、20 世紀後半には大きな経済成長を達成しました。本授業は、この間の日本経済の軌跡（長期的変化）について、国際的な比較も踏まえながら、いくつかの特徴的な主題を取り上げて講義します。講義を通じて、日本経済の歴史を、経済成長における一般性（国際的な共通性）と特殊性（国や地域ごとの特徴）の両面から理解していくことを目指します。

Once a developing country, Japan began to catch up with the developed countries after the 19th century and achieved significant economic growth in the latter half of the 20th century. This class will lecture on the history of the Japanese economy during this period, taking into account international comparisons and several characteristic topics. Through the lecture, we aim to understand the history of the Japanese economy in terms of both generalities (international commonalities) and particularities (country- and region-specific characteristics) in economic growth.

2. 学修の到達目標/Goal of study：

本授業において、受講生に求められる目標は次の通りです。

- (1) 19～20 世紀の日本経済の変化と構造を法制度・社会慣習・文化背景などを含めた多面的な要因から総合的に理解すること
- (2) 講師の説明や配布された史資料の意味を正確に理解・読解すること
- (3) 自らの思考を第三者に対して現代の日本語で平易に説明すること

Students are expected to achieve the following:

- (1) To comprehensively understand the changes and structure of the Japanese economy in the 19th and 20th centuries from a multiple perspective, including the legal system, social customs, and cultural background.
- (2) To accurately understand and read the meaning of the lecturer's explanations and historical materials.
- (3) To explain one's own thinking to the other in plain, modern Japanese.

3. 授業内容・方法と進捗予定/Contents and progress schedule of the class：

各回の授業は、スライドなどを提示し、教員からの説明を中心に進めます。その内容と予定は以下の通りです（なお、授業内容と進捗に変更が生じる場合は、授業内および Google Classroom を通じてお知らせします）。

1. 経済成長から見る日本と世界 (No. 1～3)
2. 前工業化時代の日本 (No. 4～8)
3. 移行期の日本経済 (No. 9～12)
4. 産業革命と二重構造 (No. 12～16)
5. 戦間期の日本経済 (No. 16～22)
6. 日本経済の連続と断絶 (No. 23～26)
7. 高度経済成長 (No. 27～30)

ただし、講義に関する歴史的な文献（史料）あるいはグラフ・数表などを受講者自身が読み解き、内容の解説や考察をして、その結果を提出してもらう機会を複数回設けます。なお、この歴史的な文献には、明治大正時代の言葉で記された文字資料もあるので、その点は留意してください。

This class is a non-interactive lecture in which the teacher explains the content of PP slides. (If there are any changes in the content or progress of the class, notification will be made in class and via Google Classroom.)

Course schedule:

1. Japan and the World from the Perspective of Economic Growth (No.1-3)
2. Japan in the pre-industrial era (No.4-8)
3. Japan's Economy in Transition (No.9-12)
4. The Industrial Revolution and the Dual Structure (No.12-16)
5. The Japanese Economy in the Interwar Period (No.16-22)
6. Continuity and Discontinuity in the Japanese Economy (No.23-26)
7. High economic growth (No.27-30)

However, students are required to read and interpret historical documents, graphs, and tables related to the lecture, submit the assignments several time. Please note that some of these historical documents are written in the language of the Meiji and Taisho periods.

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

5. 使用言語/Language Used in Course：

6. 成績評価方法/Evaluation method :

授業中に行う課題の得点、理解度確認テストの得点により評価します。課題とテストは複数回実施する予定です。

Evaluation will be based on the score of assignments and tests. Assignments and tests will be given multiple times.

7. 教科書および参考書/Textbook and references :

日本経済史—近世から現代まで	沢井実・谷本雅之	有斐閣	2016	978-4-641-16488-8	参考書
----------------	----------	-----	------	-------------------	-----

8. 関連URL/URL :

9. 授業時間外学修/Preparation and Review :

各授業の関連性について理解を深めるために授業内容の復習を強く勧める。

Some ideas discussed in one session may be pertinent to the themes of the following sessions. Students are encouraged to do their revision after class.

10. その他/In addition :

メディア授業科目 /Course of Media Class:

履修者が 300 名を超えた場合、経済学部以外の学部からの履修を認めない場合があります。

経済学史/Economic Thought

担当教員/Instructor : 古谷 豊/YUTAKA FURUYA

曜日・講時/Day/Period : 後期 水曜日 2 講時. 後期 金曜日 1 講時

対象学年/Eligible Participants : 3・4,

科目ナンバリング/Course Numbering : EAL-EC0310J, 単位数/Credit(s) : 4

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class :

経済学はどのような歩みを経ることで、こんにち私たちが学んでいるような経済学の姿になったのかを見ていきます。そのことを通して、経済学をより深く・立体的に理解できること。経済学とそのほかの学問領域とのつながりを理解すること。そもそも学問がどのようなものかについて理解を深めること。経済学の様々な授業や科目の関係について理解すること。このようなことを目指していきます。

In this course we will explore how economics has evolved over the years to become what we study today. This examination will provide you with a comprehensive and nuanced understanding of economics, including its connections to other fields, the diverse economic theories put forth, and the relation between different courses and subjects of economics.

2. 学修の到達目標/Goal of study :

- ・ 経済学のこれまでのあゆみを知ること
- ・ それを通して「経済学とはなにか」「そもそも学問とはなにか」について理解を深めること

Upon completion of this course, you will be able to:

- acquire knowledge of the main schools of economic thought from the ancient Greeks to the present
- gain a better insight into the nature of Economics and science

3. 授業内容・方法と進捗予定/Contents and progress schedule of the class :

【授業内容・進捗予定】

1. オリエンテーション (授業の進め方、成績評価方法など)
2. 学問が生まれた！
3. 経済って？
4. 古代の経済学＝家政学
5. 古代の経済学・6つのポイント
6. 学問の後退とキリスト教の台頭
7. 中世の学問の完成
8. 中世の経済論
9. 中世の経済の終焉
10. 家から国家へ
11. 近代国家論
12. 近代国家の経済論＝重商主義
13. 重商主義と産業の育成
14. アダム・スミスの反撃
15. 18世紀の学問
16. 『国富論』の体系
17. 古典派経済学の完成
18. マルサスとシスモンディからの反論
19. 後進国からの反論
20. 「二つの国民」とマルクスの反逆
21. 資本主義はそろそろ終わる？
22. ワルラスの大胆な革新と限界革命
23. マーシャルによる経済学の制度化
24. 社会主義陣営の誕生と大恐慌
25. ケインズはどう答えたか？
26. サミュエルソンと新古典派総合
27. フリードマンの攻撃
28. ルーカスの挑戦とシカゴ学派
29. 新しい新古典派総合とリーマンショックでの蹉跌
30. おわりに・経済学の歩みを振り返って

【授業方法】

- ・ 対面授業です。
- ・ Google Classroom ないし ISTU を使いますので、使えるようにしておいてください。

This course will be held in-person. We will use Google Classroom or ISTU for communication and drills. The course will cover economic thought from each period from ancient Greece to the 21st century.

Topics for each class are:

1. Introduction to the Course
2. Thales and the Birth of Philosophy

3. Economy and Economics
4. Economic Thought of Ancient Greece: Management of the Household
5. Six Key Points in Ancient Greek Economic Thought
6. Decline of Ancient Philosophy and Rise of Patristic Philosophy
7. Twentieth Century Renaissance and Scholasticism
8. Scholastic Economics
9. Transition in the Fourteenth Century
10. From Household to State
11. Rise of the Nation State
12. Nation States and Mercantilism
13. Bullionism to Balance of Trade and Manufactures Royales
14. Adam Smith Challenges Mercantilism
15. Eighteenth Century and the Enlightenment
16. Wealth of Nations
17. Refinement of Classical Economics by David Ricardo
18. Counterarguments from Malthus and Sismondi
19. Arguments from the United States and Germany
20. "The Two Nations" and Marx's Rebellion against Classical Economics
21. Is Capitalism Coming to an End?
22. Walras's Innovation and the Marginal Revolution
23. Institutionalization of Economics by Marshall
24. Birth of Socialist Camp and the Great Depression
25. Keynes' Remedy for the Great Depression
26. Paul Samuelson and the Neo-Classical Synthesis
27. Milton Friedman's Critique of Keynesian Economics
28. Chicago School of Economics and R. Lucas Jr.
29. New Neo-Classical Synthesis: "The State of Macro is Good"
30. Conclusion: Lessons Learned

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicate the practical business

5. 使用言語/Language Used in Course :

日本語

This course will be offered in Japanese.

6. 成績評価方法/Evaluation method :

なるべく毎回、確認テストを実施して、それらの合計で成績をつけます。確認テストはスマホやパソコン等で回答してもらいますので、端末を用意して Google Classroom か ISTU を使えるようにしておいてください。(選択問題・正誤問題・空欄補充問題など、入力分量は多くないです。)

履修する皆さんに過度の負担とならないよう、また教育効果があがるよう、点数の集計方法や出題範囲について以下のようにします。

(1) 欠席や得点が低い回、二回分を成績集計から除外：
体調を崩したりして確認テストを受けられないこと

7. 教科書および参考書/Textbook and references :

経済学の歴史	中村・新村・八木ほか	有斐閣	2001	978-4641121386	★参考図書
若い読者のための経済学史	キシテイニー	すばる舎	2018	978-4799106846	★参考図書
詳説世界史図録		山川出版社	2018	978-4634045156	★参考図書
入門経済思想史 世俗の思想家たち	ハイルブローナー	ちくま学芸文庫	2001	978-4480086655	★参考図書
経済学史	小峯敦	ミネルヴァ書房	2021	978-4623090839	★参考図書

8. 関連URL/URL :

9. 授業時間外学修/Preparation and Review :

1. 教材について：
教科書はとくにありません。配布物を提供します。配布物の他、高校の世界史図録（例えば『山川詳説世界史図録』など）は、手元にあると理解の助けになるでしょう。
参考図書をいくつか紹介しておきます。『若い読者のための経済学史』は読み物として分かりやすく、とっつきやすいです。『経済学の歴史』は重商主義以前の記述はありませんが、標準的なテキストでありつつ、分かりやすくまとめられています。龍谷大学の小峯先生の『経済学史』は古代から現代までをコンパクトにまとめています。ハイルブローナーの『入門経済

10. その他/In addition :

メディア授業科目 /Course of Media Class:

- ・ Google Classroom で最新の情報を確認してください。このシラバスは2月に書いていますので、その後の修正は Google

Classroom 等で周知します。

- ・ 履修を検討されている人は、初回 10 月 4 日にかならず出席するようにしてください。
- ・ 本講義のためにも、また専門課程での学び全般のためにも、新聞や本（専門書や一般書だけでなく、小説も）等を読んで、バランスのとれた豊かな一般教養を身につけることを期待します。

履修者が 300 名を超えた場合、経済学部以外の学部からの履修を認めない場合があります。

財政学/Public Finance

担当教員/Instructor : 佐々木 伯朗/NORIO SASAKI

曜日・講時/Day/Period : 後期 火曜日 2 講時. 後期 金曜日 3 講時

対象学年/Eligible Participants : 3・4,

科目ナンバリング/Course Numbering : EAL-EC0312J, 単位数/Credit(s) : 4

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class :

現代の財政システムは、中央政府、地方政府等さまざまなレベルの政府から構成される。また、特定のレベルの政府においても、目的に応じたさまざまな会計が存在する。授業では、このように複雑な財政の制度や政策、財政理論の展開等について、現状をふまえて解説する。

Modern fiscal system is composed of multi-level governments, central and local governments. In addition, there are various accounts in one specific level of government. This course will state fiscal institutions, fiscal policies and fiscal theories with regard to recent situations.

2. 学修の到達目標/Goal of study :

- ・ 基本的な財政理論の修得

To understand relations basic fiscal theories

- ・ 日本を中心とした財政制度の把握。

To grasp fiscal institutions particularly in Japan

- ・ 現代財政の諸問題を理解し、自分の意見を持つことができる。

To understand modern fiscal problems with your own opinions

3. 授業内容・方法と進捗予定/Contents and progress schedule of the class :

1. 財政と財政学の歴史 History of public finance and public finance theory
2. 経済システムにおける公共部門 Public sector in economic system
3. 財政の意思決定機構 Decision-making in public finance
4. 財政支出 Public Expenditure
5. 租税 Theory and practice of taxation
6. 公債と財政の持続可能性 Public debt and sustainability of fiscal system

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

5. 使用言語/Language Used in Course :

教員、受講者ともに日本語を使用する。

Both teacher and students use Japanese.

6. 成績評価方法/Evaluation method :

授業期間中数回実施するレポート、授業時間を用いて行われる予定の講演会への出席、および理解度確認セッションの総合で評価する。

7. 教科書および参考書/Textbook and references :

『財政学—制度と組織を学ぶ』	佐々木伯朗	有斐閣	2019	978-4-641-16554-0	教科書
----------------	-------	-----	------	-------------------	-----

8. 関連URL/URL :

9. 授業時間外学修/Preparation and Review :

授業前にはテキストの該当箇所を予め読んでおくこと。授業後は関連文献に当たることが理解を深める。また、財政の現状や問題については、日々の新聞、放送、インターネット等における情報を活用すること。

10. その他/In addition :

メディア授業科目 /Course of Media Class:

授業に関する連絡は、Google Classroomを用いて行う。

Announcements of the class are informed in Google Classroom

クラスコード : 7k7267v

履修者が300名を超えた場合、経済学部以外の学部からの履修を認めない場合があります。

金融論/Money and Banking

担当教員/Instructor: 浅野 康司/KOJI ASANO

曜日・講時/Day/Period: 後期 火曜日 3 講時. 後期 木曜日 2 講時

対象学年/Eligible Participants: 3・4,

科目ナンバリング/Course Numbering: EAL-EC0313J, 単位数/Credit(s): 4

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class:

本講義では、金融に関する様々な現象について、経済理論を応用して分析・解説する。具体的には、金融市場の役割と資産価格の決定メカニズム、企業金融、金融仲介機関の機能、金融危機と金融規制、中央銀行と金融政策といったテーマを取り扱う。

The objective of this course is to introduce the economics of money, banking and financial markets.

2. 学修の到達目標/Goal of study:

金融論の基礎知識を習得し、現実の金融問題に関して自分なりに分析ができる力を身につける。

By the end of the course, students should be able to understand how to analyze issues on money, financial markets and institutions.

3. 授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class:

連絡や資料の配布は Google Classroom 上で行う。クラスコードは、z66b4de。

All materials for the course will be provided via Google Classroom: the class code is z66b4de.

講義スケジュールは以下の通り。ただし、進捗状況によっては計画を変更することもありうる。

This is an outline of the topics I will cover in this course. I may revise the schedule depending on the progress.

- 第1回 インTRODクシヨN
- 第2回 金融の基礎
- 第3回 債券市場と金利
- 第4回 金利の期間構造
- 第5回 株式市場と効率的市場仮説
- 第6-7回 デリバティブと証券化
- 第8-9回 リスクとリターン
- 第10回 企業の投資と資金調達
- 第11-12回 資本構成
- 第13回 金融取引の障害: 不確実性と情報の非対称性
- 第14回 金融仲介機関の情報生産機能
- 第15回 中間試験
- 第16-17回 金融仲介機関の満期変換機能と取り付け
- 第18-19回 金融危機と金融規制
- 第20-21回 決済システムと貨幣
- 第22-24回 中央銀行と伝統的金融政策
- 第25-27回 インフレーションとフィリップス曲線
- 第28-29回 非伝統的金融政策と今後の課題
- 第30回 理解度確認セッション

- 1. Course Introduction
- 2. Basic Concepts in Finance
- 3. The Bond Market and Interest Rates
- 4. The Risk and Term Structure of Interest Rates
- 5. The Stock Market and the Efficient Market Hypothesis
- 6-7. Derivatives and Securitization
- 8-9. Risk and Return
- 10. Investment and Financing
- 11-12. Capital Structure
- 13. Investment with Financial Frictions
- 14. Financial Institutions and Information Production
- 15. Midterm Exam
- 16-17. Maturity Transformation and Bank Runs
- 18-19. Financial Crises and Regulation
- 20-21. Payment Systems and Money
- 22-24. Central banks and Monetary Policy
- 25-27. Inflation and the Phillips Curve
- 28-29. Unconventional Monetary Policy
- 30. Final Exam

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"○"Indicate the practical business

5. 使用言語/Language Used in Course :

日本語

6. 成績評価方法/Evaluation method :

次の2通りの方法で採点を行い、点数の高い方を最終的な成績とする :

1. 中間試験 (30%) と理解度確認セッション (70%)
2. 理解度確認セッション (100%)

7. 教科書および参考書/Textbook and references :

現代の金融入門 [新版]	池尾和人	筑摩書房	2010	4480065296	参考書
金融	内田浩史	有斐閣	2016	4641164932	参考書
日本銀行の機能と業務	日本銀行金融研究所	有斐閣	2011	4641053847	参考書
ブランシャール マクロ経済学 上 (第2版): 基礎編	オリヴィエ ブランシ ヤール	東洋経済新報社	2020	4492315284	参考書
ブランシャール マクロ経済学 下 (第2版): 拡張編	オリヴィエ ブランシ ヤール	東洋経済新報社	2020	4492315292	参考
The Economics of Money, Banking and Financial Markets (13e)	Frederic Mishkin	Pearson	2021	1292409487	参考書

8. 関連URL/URL :

上記参考書の『日本銀行の機能と業務』は、以下の日本銀行のウェブサイトで見ることができる。

https://www.imes.boj.or.jp/jp/historical/pf/pf_index.html

9. 授業時間外学修/Preparation and Review :

講義中に紹介する参考文献を活用し、講義内容の理解を深めること。

10. その他/In addition :

メディア授業科目 /Course of Media Class:

初級レベルのミクロ経済学・マクロ経済学・統計の知識を前提とする。

履修者が300名を超えた場合、経済学部以外の学部からの履修を認めない場合があります。

国際経済/International Economics

担当教員/Instructor: 永易 淳/JUN NAGAYASU

曜日・講時/Day/Period: 前期 水曜日 1 講時. 前期 金曜日 3 講時

対象学年/Eligible Participants: 3・4,

科目ナンバリング/Course Numbering: EAL-EC0314J, 単位数/Credit(s): 4

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class:

国際経済学は国際貿易論と国際金融論から成り立っています。これらの基礎的な経済理論を学ぶことにより国際経済をバランスよく理解することが授業の目的です。例えば、戦後世界の多くの国々では財サービスだけでなく、人や金の移動の自由化が促進されてきました。なぜでしょう？経済理論が分かれば、近年脚光を浴びた TPP、移民、欧州経済（EU やユーロ圏）などの問題をより深く理解できるはずです。

To understand better international economic issues, students will be presented with economic theories and historical facts.

2. 学修の到達目標/Goal of study:

メディアで取り上げられている国際経済に関する内容を、経済理論をもとに理解できるようになることが学習の目標。入門レベルの経済理論の知識を開放経済に発展させ、日本を取り巻く世界経済や今後の展望を自分で考えることができるようになる。

After taking this class, students are expected to understand current global issues using economic theories.

3. 授業内容・方法と進捗予定/Contents and progress schedule of the class:

開放経済を理解するために必要な基礎理論を講義形式で学ぶ。下記のような授業内容を予定しているが、理解度に応じ随時変更する。

We cover the standard theories on international finance and trade as well as immigration.

1. イントロ（国際貿易） Introduction
2. 貿易と効用 Trade and utility
3. 絶対優位 Absolute advantage
4. 比較優位 Comparative advantage
5. リカードモデル Ricardo model
6. 貿易政策の理論 Trade policy
7. 経済統合 I Economic integration
8. 経済統合 II Economic integration
9. まとめ（国際貿易） Summary
10. 移民の経済学 Immigration
11. イントロ（国際金融） Introduction
12. 購買力平価 PPP
13. マネタリーモデル Monetary model
14. 金利平価モデル Interest parity conditions
15. リスクプレミアム Risk premium
16. 期待（情報）と為替レート Expectations and exchange rates
17. ポートフォリオバランスモデル Portfolio balance model
18. マンデル・フレミングモデル Mundell-Flemming model
19. 外国為替市場への介入 Forex intervention
20. 固定相場制の経済理論 Fixed exchange rate regime
21. 通貨危機 I Financial crises
22. 通貨危機 II Financial crises
23. 金融統合 Financial market integration
24. まとめ（国際金融） Summary

授業方法: 対面

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

5. 使用言語/Language Used in Course:

日本語（理解度確認セッション含） Japanese

6. 成績評価方法/Evaluation method:

理解度確認セッション（中間、期末試験により決定する予定。これらの一つでも受験した学生は成績評価の対象となります。）

7. 教科書および参考書/Textbook and references:

はじめて学ぶ国際金融論	永易 淳 他	有斐閣	2015
国際経済学をつかむ	石川 城太 他	有斐閣	2013
国際経済学	若杉 隆平	岩波書店	2018

8. 関連URL/URL :

9. 授業時間外学修/Preparation and Review :

予習復習および宿題

10. その他/In addition :

メディア授業科目 /Course of Media Class:

- 1) 履修者が 300 名を超えた場合、経済学部以外の学部からの履修を認めない場合があります。
- 2) 変更事項は ISTU に記すため、特に学期はじめは頻繁に確認するようにしてください。
- 3) 経済学入門 B、ミクロ経済分析、マクロ経済分析の履修者を対象としています。

日本経済/Japanese Economy

担当教員/Instructor : 川端 望/NOZOMU KAWABATA

曜日・講時/Day/Period : 前期 火曜日 2 講時. 前期 金曜日 3 講時

対象学年/Eligible Participants : 3・4,

科目ナンバリング/Course Numbering : EAL-EC0315J, 単位数/Credit(s) : 4

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class :

現代日本社会を生きるための、また社会各分野で専門的知識に基づき日本経済のありかたを論じるリーダーとなるための基本的教養としての日本経済論を学ぶ。

1990 年代以後の日本経済を特徴づける低成長の構造を、マクロ経済、産業システム、雇用システムの三つの角度から解説する。そして、世界経済の再編と人口減少・高齢化に対応してどのような構造変化が生じているのか、この先にどのような未来が待ち受けているのか、どのような選択肢があり得るのかを論じる。

In this course students are expected to deepen the understanding of the Japanese economy for their better lives with leadership in various field.

This course explains the low growth structure of the Japanese economy after 1990s from the aspect of macro economy, industrial systems and employment systems. It also prospect the future of Japanese economy under the population shrink and super-aging.

2. 学修の到達目標/Goal of study :

- ・日本経済の置かれている状況を、世界経済の文脈、および戦後経済史の文脈において把握できるようにする。
- ・日本経済をマクロ的に把握する方法を学ぶとともに、アベノミクスやコロナ危機対策を含むマクロ経済政策を評価できる経済学的視点を身に着ける。
- ・日本のマクロ経済、産業システムおよび雇用システムの特徴と変化を学ぶことで、日本経済の低成長構造を社会科学的に理解する。
- ・日本経済の将来を展望し、そこにある選択肢について経済学的に判断する能力を身に着ける。

+This course helps students understand the Japanese economy in the context of world economy and the economic history of post war Japan.

+This course helps students understanding the low growth structure with social scientific view, through the analysis of macro economy, industry systems and employment systems.

+Students should acquire the ability to estimate the future of the Japanese economy and make judgments about the policy options.

3. 授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class :

- ・履修希望者は、Google クラウドルームでクラスコード ndiofwf にアクセスすること。

講義の構成（カッコ内は予定回数）

- I ガイダンス (0.5)
- II 世界経済の潮流と現代日本経済 (1.5)
 - 1 グローバルに見た所得の動態
 - 2 先進諸国における格差の動向
 - 3 先進諸国における長期停滞
 - 4 本講義の視点と課題
- III 戦後の日本経済の歩み (3.5)
 - 1 戦後経済成長の長期趨勢
 - 2 戦後経済成長の歴史的な前提
 - 3 日本経済の高成長期
 - 4 低成長期としての現在
 - 5 小括
- IV 低成長の構造とマクロ経済政策 (6.5)
 - 1 現代資本主義におけるマクロ経済政策
 - 2 アベノミクス以後のマクロ経済政策の検証
 - 3 小括
- V 日本産業の投資行動 (9)
 - 1 ポスト冷戦・ICT とグローバリゼーション・そして現在
 - 2 自動車部品：日本的長期相対取引の構造と変容
 - 3 鉄鋼業：迫られる持続的イノベーションからの転換
- VI 雇用システムの変容 (7)
 - 1 雇用分析の理論的枠組み
 - 2 正社員のメンバーシップ型雇用
 - 2 雇用構造の変動
 - 3 低成長期と「新・日本的経営」
 - 4 「働き方改革」の混迷と模索
 - 5 雇用改革の方向性
- VII おわりに (1)

理解度確認セッション(1)

括弧内は予定回数を表す。

- I Introduction
- II The trend of world economy and Japan
- III Brief history of the Japanese economy after WWII
- IV Structure of low growth and macroeconomic policies
- V Investment behavior of the Japanese industries
- VI Change of employment system
- VII Conclusion
- *Comprehension Checking Session

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicate the practical business

5. 使用言語/Language Used in Course :

日本語。

6. 成績評価方法/Evaluation method :

*理解度確認セッション、受講確認とクイズで評価する。さらにアンケートへの質問・意見記入により加点する。

*配点

・理解度確認セッション：70点

・受講確認とクイズ：30点

*アンケートでの質問・意見記入：100点満点の枠外で加点する。

受講確認とクイズの方法の詳細はガイダンスにて説明する。

7. 教科書および参考書/Textbook and references :

大不平等		ブラコ・ミラヴィッチ	みすず書房	2017	9784622086130	参考書
岩波講座日本経済の歴史 現代1	5	深尾京司・中村尚史・中林真幸編集	岩波書店	2018	9784000114059	参考書
岩波講座日本経済の歴史 現代2	6	深尾京司・中村尚史・中林真幸編集	岩波書店	2018	9784000114066	参考書
最新日本経済入門〔第6版〕		小峰隆夫・村田啓子	日本評論社	2020	9784535559028	参考書
21世紀の長期停滞論		福田慎一	平凡社	2018	9784582858631	参考書
成長の臨界：「飽和資本主義」はどこへ向かうのか		河野龍太郎	慶応義塾大学出版会	2022	9784766428346	参考書
日本社会のしくみ：雇用・教育・福祉の歴史社会学		小熊英二	講談社	2019	9784065154298	参考書
この経済政策が民主主義を救う		松尾匡	大月書店	2016	9784272140626	参考書
未来の年表		河合雅司	講談社	2017	9784062884310	参考書
日本は『格差社会』になったのか		森口千晶	一橋大学経済研究所	2017		参考書

8. 関連URL/URL :

川端望の研究ノート集

<http://www2.econ.tohoku.ac.jp/~kawabata/arekore.htm>

9. 授業時間外学修/Preparation and Review :

・授業はわかりやすく話すつもりであるが、受講者は東北大学に合格し、入門科目を履修してきた学生として、基本的な経済学の概念、用語、日本社会での出来事の概要についてある程度知っていなければならない。I－IV章を聞いていて基本的な用語、出来事などが分からないと感じた場合、参考書や参考文献をできるだけ読むこと。

10. その他/In addition :

メディア授業科目 /Course of Media Class:

教科書は用いない。「教科書・参考書」欄に記したのは、日本経済全体についての参考書である。より立ち入った論点に関わる文献、および産業と雇用をめぐる各論についての文献は、講義資料で提示する。

履修者が300名を超えた場合、経済学部以外の学部からの履修を認めない場合がある。

経営政策/Business Policy

担当教員/Instructor：山崎 喜代宏/KIYOHRO YAMAZAKI

曜日・講時/Day/Period：後期 火曜日 2 講時. 後期 金曜日 3 講時

対象学年/Eligible Participants：3・4,

科目ナンバリング/Course Numbering：EAL-MAN313J, 単位数/Credit(s)：4

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class：

この講義では、経営戦略論における基本的な理論や概念について体系的に学んでいきます。これらの理論や概念は、企業が行っている意思決定や行動を理解する上で有用なものであり、この学習を通して、「企業を見る眼」を養ってもらいたいと思います。

「なぜ企業ごと業績は違うのか？」

本講義では、この問いに対して、経営戦略の面から、学生自らの頭で考え、答えられるようになることを目標とします。そのために必要となる経営戦略論の「理論的・概念的な道具」を提供します。

This lecture covers basic theories and concepts of strategic management to help students understand how firms achieve competitive advantages.

2. 学修の到達目標/Goal of study：

事例などを通じて、経営戦略に関する基礎的な知識と高度な専門知識を体系的に理解できるようになる。

経営戦略について学び、多様な経営事象について、経営戦略の観点から論理的に分析・考察できるようになる。

学んだ経営戦略の論理や経営事象を用いて、事例を自らの頭で考えて、自分の意見をアウトプットできるようになる。

The purpose of this course is to help students analyze and explore several management issues from a viewpoint of strategic management.

3. 授業内容・方法と進捗予定/Contents and progress schedule of the class：

内容及び進捗予定は以下のとおりであるが、状況によって若干内容を変更する場合もある。

The contents and schedule are as shown below, but subject to change depending on circumstances.

- 1 オリエンテーション
- 2 経営戦略論の4つの分類 (1)
- 3 経営戦略論の4つの分類 (2)
- 4 業界構造分析 (1)
- 5 業界構造分析 (2)
- 6 業界構造分析 (3)
- 7 競争戦略の基本型
- 8 コストリーダーシップ戦略
- 9 差別化戦略
- 10 集中戦略
- 11 市場地位と戦略
- 12 製品ライフサイクルと戦略
- 13 多角化戦略 (1)
- 14 多角化戦略 (2)
- 15 ブルーオーシャン戦略
- 16 経営戦略論史
- 17 競争戦略の源泉と持続性 (1)
- 18 競争戦略の源泉と持続性 (2)
- 19 競争優位の源泉に関する諸トピックス
- 20 アーキテクチャと戦略 (1)
- 21 アーキテクチャと戦略 (2)
- 22 イノベーションと戦略 (1)
- 23 イノベーションと戦略 (2)
- 24 イノベーションと戦略 (3)
- 25 価値創造と価値獲得 (1)
- 26 価値創造と価値獲得 (2)
- 27 組織能力の戦略的役割
- 28 コア技術戦略
- 29 意味的価値と戦略
- 30 まとめ

Classroom のクラスコードは [r4iaga7] である。

状況により、対面での講義が難しい場合には、オンラインで行うことがある。

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

5. 使用言語/Language Used in Course：

日本語

6. 成績評価方法/Evaluation method：

定期試験（60%）、小テストとレポート（40%）によって評価を行う。

7. 教科書および参考書/Textbook and references :

ケースに学ぶ経営学〔第3版〕 東北大学経営学グループ 有斐閣ブックス 2019 9784641184480 参考書

8. 関連URL/URL :

9. 授業時間外学修/Preparation and Review :

10. その他/In addition :

メディア授業科目 /Course of Media Class:

履修者が300名を超えた場合、経済学部以外の学部からの履修を認めない場合があります。

経済発展/Development economics

担当教員/Instructor: 日置 史郎/SHIRO HIOKI

曜日・講時/Day/Period: 後期 月曜日 2 講時. 後期 水曜日 1 講時

対象学年/Eligible Participants: 3・4,

科目ナンバリング/Course Numbering: EAL-EC0311J, 単位数/Credit(s): 4

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class:

Google classroom: qvamy4v

経済発展論の基礎を学び、各国の経済発展に差が生じるのはなぜか、経済発展のプロセスでどのような構造変動が起こるのか、途上国の貧困削減のためにいかなる方策がとられるべきかを理解する。

The object of this class is to provide an introduction of development economics so that students can understand the following issues: 1) Why some countries can get rich and others can't; 2) what kinds of structural transformations occur in the process of economic development; 3) what policy measures should be taken for poverty alleviation in developing countries?

2. 学修の到達目標/Goal of study:

経済発展論の基礎を習得し、開発途上国にしばしばみられる経済現象を理解する。

The goal is to master the introductory level of development economics and to understand economic phenomenon typically observed in developing economies.

3. 授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class:

1. 授業内容: 教科書と補助資料にそって、経済発展論の基礎を講義する。

Contents: An introductory level of development economics is provided based on the textbook and other materials.

2. 進度予定: 進行予定は以下のとおり。

- (1) オリエンテーション Class orientation
- (2) 経済発展の指標 I How to measure economic development? I
- (3) 経済発展の指標 II How to measure economic development? II
- (4) 経済成長のモデル I Models of economic growth I
- (5) 経済成長のモデル II Models of economic growth II
- (6) 経済成長のモデル III Models of economic growth III
- (7) 人口成長と経済発展 Population growth and economic development
- (8) 人的資本と経済発展 Human capital
- (9) 成長会計と全要素生産性の成長 Growth accounting and TFP growth
- (10) 技術進歩の役割 Role of technological progress
- (11) 予備日
- (12) 国際貿易、海外直接投資と経済発展 I International trade, FDI and economic development I
- (13) 国際貿易、海外直接投資と経済発展 II International trade, FDI and economic development II
- (14) 産業集積と経済発展 Industrial agglomeration and economic development
- (15) 地理、気候、天然資源と経済発展 I Geography, climate, natural resources and development I
- (16) 地理、気候、天然資源と経済発展 II Geography, climate, natural resources and development II
- (17) 文化、宗教と経済発展 Culture, religion and economic development
- (18) 社会・経済制度と経済発展 Institutions and economic development
- (19) 経済発展と政府 Government and economic development
- (20) 経済発展と貧困、所得不平等 I Poverty and income inequality in development I
- (21) 経済発展と貧困、所得不平等 II Poverty and income inequality in development II
- (22) 経済発展と環境 Economic development and environment
- (23) 予備日
- (24) 農村発展 I Rural development I the role of agriculture in development
- (25) 農村発展 II Rural development II the rural-urban migration in development
- (26) 農村金融 Rural finance and poverty alleviation
- (27) ターゲティングを伴う貧困政策 Targeted intervention
- (28) 経済協力 ODA
- (29) 予備日
- (30) 理解度確認セッション

授業内容と進度予定は若干変更される可能性があります。

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

5. 使用言語/Language Used in Course:

6. 成績評価方法/Evaluation method :

課題・レポートの提出、テストの成績を総合して評価する。成績評価方法の詳細は第1回オリエンテーション時に説明する。

7. 教科書および参考書/Textbook and references :

開発経済学入門	戸堂康之	新世社	2015	ISBN978-4-88-384-231-5	教科書
経済成長	ディヴィッド・N・ワイル	ピアソン	2010	ISBN978-4-86401-001-6	参考書
Development Economics	De Janvry and Sadoulet	Routledge	2021	978-0-367-45647-4	参考書
アジア開発史	アジア開発銀行	勁草書房	2020	978-4-326-50484-8	参考書
貧困の経済学（下）	マーティン・ラバリオン	日本評論社	2018	978-4-535-55864-9	参考書
貧困の経済学（上）	マーティン・ラバリオン	日本評論社	2018	978-4-535-55863-2	参考書

8. 関連URL/URL :

9. 授業時間外学修/Preparation and Review :

予習：教科書などに目をとめておく。Read the textbook or given supplement materials in advance.

復習：授業時に出された課題を完成させる。復習のための問題を解く。Complete the assignments and answer the problems.

10. その他/In addition :

メディア授業科目 /Course of Media Class:

オペレーションズ・リサーチ/Operations Research

担当教員/Instructor: 鈴木 賢一/KENICHI SUZUKI

曜日・講時/Day/Period: 前期 月曜日 2 講時. 前期 水曜日 1 講時

対象学年/Eligible Participants: 3・4,

科目ナンバリング/Course Numbering: EAL-MAN310J, 単位数/Credit(s): 4

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class:

オペレーションズ・リサーチとは、組織の活動をシステムとして捉え、運営上の課題解決を目指す手法の体系である。ここでは、モデル化を通じた課題の表現、システムの構成要素間の関係の定量的な把握、数理的・数値的な技法の適用などのアプローチが用いられる。

本講義では、オペレーションズ・リサーチの基本的な技法を説明すると同時に、それらの手法の実際の適用事例もあわせて紹介することによって、受講者が問題のモデル化、モデルの操作、結果の解釈の方法を身につけることを目的とする。

Assuming an organization and its activities as a complex and coordinated system, Operations Research employs systematic approaches to finding effective solutions for decision-making problems in various phases of an organization's operation. The approaches include modeling to represent a managerial problem, quantitatively measuring system components' relations, and applying mathematical and computational techniques. This course introduces basic and standard methods of Operations Research, followed by practical examples of applications of these methods. Students are expected to understand how to model a typical problem, operate the model, and interpret the result derived from the model.

2. 学修の到達目標/Goal of study:

- ・基本的な意思決定モデルを利用することができる
- ・線形計画法について、対象とする問題のモデル化とその最適解の解釈ができる
- ・線形計画法から派生する技法について、その概略を理解する
- ・ネットワークに関連する問題群を、線形計画法との関連から理解する。

The aims of the course are as follows:

Students can effectively use standard decision-making models.

Students can model a problem in question as a linear programming problem, solve it computationally, and figure out the meaning of computational results.

Students can recognize features of models and techniques which are derived from a linear programming framework.

Students can understand a group of network problems as an extension of a linear programming framework.

3. 授業内容・方法と進捗予定/Contents and progress schedule of the class:

オペレーションズ・リサーチの基本的な手法を紹介する。モデルに関する技法や数理的な性質等とあわせて、どのような場面で何を目的として用いられるのかという応用上のポイントについても説明する予定である。

- 1) 決定木と故障木 —— 意思決定の基本形
決定木の基本形/情報と決定/故障木の適用事例
- 2) 線形計画法 —— ベストミックスを探せ
線形計画法のフォーマット/食餌問題/配合を決める問題/時間軸を含む問題/双対理論とその応用
- 3) ネットワーク構造 —— つながりを見る
ネットワークの表現/輸送問題/生産・在庫計画/整数性/組み合わせ問題への応用/プロジェクトのスケジュール管理
- 4) 階層分析法 —— 構造化した意思決定
階層分析法(AHP)の基本的な考え方/AHPの手順/応用例
- 5) 整数計画法 —— 0 か 1 か
整数計画問題の性質/出店計画/固定費用の問題/さまざまなスケジューリング問題
- 6) 動的計画法 —— 終わりから考える
動的計画法の基本的な考え方/再帰方程式と計算方法/分析事例

講義資料は Google Classroom (classroom コード: 72vyirt) を通じて配布する。

The following essential topics in Operations Research are provided in the course. Both the technical and mathematical aspects of models are explained, and we will also discuss the crucial points for practical application, which depend on a model's objective and target.

Decision Tree - A basic form of a decision making

Linear programming - Finding the best mix

Network structure - Representing a relation

Analytic Hierarchy Process - A structural decision making

Integer programming - 0 or 1

Dynamic programming - Thinking backward

Class materials are distributed via Google Classroom. Classroom code is 72vyirt.

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

5. 使用言語/Language Used in Course :

日本語

6. 成績評価方法/Evaluation method :

平常点・レポートにもとづいて総合的に評価する。詳しくは、講義中に説明する。

7. 教科書および参考書/Textbook and references :

オペレーションズ・リサーチ	森雅夫・松井知巳	朝倉書店	2004	978-4254275384	参考書
意思決定のための数理モデル入門	今野 浩, 後藤順哉	朝倉書店	2011	978-4254275551	参考書
モデリングの諸相	室田 一雄 他	近代科学社	2016	978-4764905191	参考書

8. 関連URL/URL :

9. 授業時間外学修/Preparation and Review :

講義資料を事前に配布するので講義の前に目を通しておくこと。
予習と復習のため、適宜課題を課す。

10. その他/In addition :

メディア授業科目 /Course of Media Class:

ファイナンス/Finance

担当教員/Instructor: 室井 芳史/YOSHIFUMI MUROI

曜日・講時/Day/Period: 前期 火曜日 3 講時. 前期 木曜日 2 講時

対象学年/Eligible Participants: 3・4,

科目ナンバリング/Course Numbering: EAL-MAN311J, 単位数/Credit(s): 4

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class:

Google classroom クラスコード: fxlkffl

コーポレート・ファイナンスの基礎を学ぶ。コーポレート・ファイナンスは企業の財務活動が円滑に行われるようにするための学問分野であり、本講義では企業の資金の調達・投資の意思決定問題の話題を中心に扱う。また、これらの意思決定問題に対し、企業がどのように対処するべきかを科学的に解決するための方法論についても講義を行なう予定である。企業は、投資に対するリターンについて、常に、不確実性と向かい合わなければならない。どのようにこの不確実性をとらえ、意思決定をするべきか? また、その結果として、企業の価値はどのように求められるのか? 等について学ぶ。

This course covers the basics of corporate finance. Corporate finance is an academic discipline that helps companies to conduct their financial activities smoothly, and this lecture will focus on decision-making issues in corporate financing and investment. In this lecture, we will focus on decision-making problems in corporate financing and investment.

2. 学修の到達目標/Goal of study:

- 1) 企業が直面する不確実性の確率論を用いた記述法を学ぶ。不確実性(リスク)に対するリターンはどの程度なのかを学び、どのように意思決定を行えば効用を最大にできるかを考える。
 - 2) 各投資主体が、合理的に行動する証券市場では何が言えるかを考える。
 - 3) 前半に学んだ内容を元に企業にとって最適な配当政策なあり方や企業価値評価の方法を学ぶ。
 - 4) 近年、多くの取引が行われているデリバティブ価格評価法について学ぶ。
- これらの内容の多くは、資金の時間的価値と不確実性の評価という大きな問題と結びついており、その二つのトピックスを軸に講義を行う予定である。後半の授業内容については進度にあわせて取捨選択して講義する可能性がある。

- 1) Learn how to use probability theory to describe the uncertainty faced by companies.
- 2) Learn about securities markets in which each investment entity acts rationally.
- 3) We will learn about the optimal dividend policy for companies and how to evaluate corporate value.
- 4) Learn about derivative pricing methods, which have been used in many transactions in recent years.

3. 授業内容・方法と進捗予定/Contents and progress schedule of the class:

本講義は講義形式の授業である。(This is a lecture-centered course.)

- 第1回: コーポレート・ファイナンスの概略
第2回: 資金の時間的価値
第3回: 多期間のキャッシュフロー
第4回: 金利と複利計算
第5回: ファイナンスのための数学 I
第6回: ファイナンスのための数学 II
第7回: 不確実性とリスクの評価
第8回: リスクとリターン
第9回: ポートフォリオ理論
第10回: 多数の銘柄のポートフォリオ
第11回: 資本資産 (CAPM) モデル
第12回: CAPM の導出
第13回: CAPM に関する高度な話題
第14回: 債券の価格付け
第15回: 債券とリスクパラメータ
第16回: 中間試験
第17回: デリバティブ (先物・先渡し)
第18回: オプションの価格評価
第19回: オプションの価格評価の高度な話題
第20回: 確率論とファイナンス
第21回: 会計とファイナンス
第22回: 割引キャッシュフローと企業価値
第23回: 企業価値の評価法
第24回: 企業価値と税金
第25回: プロジェクト評価 I
第26回: プロジェクト評価 II
第27回: 資本構成と配当政策
第28回: モジリアーニ・ミラーの命題
第29回: モジリアーニ・ミラーの命題と税金
第30回: 理解度確認セッション

状況にもよりますがオンライン講義になる可能性が高いです。

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

5. 使用言語/Language Used in Course :

日本語

6. 成績評価方法/Evaluation method :

中間試験と理解度確認セッションにおいて講義の理解度を確認する。中間試験は、Classroomを利用して前半部分の内容について簡単な(=あまり難しい)理解確認をする予定。

A mid-term exam and a comprehension check session will be held to confirm the students' understanding of the lecture. The mid-term exam will be a simple (i.e., not too difficult).

7. 教科書および参考書/Textbook and references :

コーポレート・ファイナンスの 考え方	古川 浩一・蜂谷 豊 彦・中里 宗敬・今井 潤一	中央経済社	2013	教科書
-----------------------	--------------------------------	-------	------	-----

8. 関連URL/URL :

9. 授業時間外学修/Preparation and Review :

教科書を読むことなどを通じて確実な理解をすることを求める。

10. その他/In addition :

メディア授業科目 /Course of Media Class:

企業論/Corporate Theory

担当教員/Instructor: 白田 良晴/YOSHIHARU SHIRATA

曜日・講時/Day/Period: 前期 火曜日 2 講時. 前期 火曜日 3 講時

対象学年/Eligible Participants: 3・4,

科目ナンバリング/Course Numbering: EAL-MAN312J, 単位数/Credit(s): 4

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class:

Google Classroom: khlmw5b

本講義では、企業の活動をベンチャー企業（以下 VB）経営の事例を通じて、実践的に VB と経営学を学んでいく授業です。では VB とはどのような企業か？ GAFAM といわれる Google, Apple, Facebook, Amazon, Microsoft は、新規の事業を起こし急速に規模を拡大し急成長したもっとも身近な VB です。これらの VB 企業の急成長にともなう企業活動の拡大は、経済活動の活性化を促したため、その結果 VB は経済活動活性化の担い手として期待されています。

それでは、これらの VB は「どのようにして生まれたのか、どのようなイノベーションなのか、莫大な利益を上げている要因は何だろう。」これらについて事例を通じて、多視角から学ぶのが前半 15 回になります。

後半 15 回は、具体的な会社経営について学びます。会社の起こし方、ビジネスプラン作成、資金調達、経営戦略、コスト管理、TQM、営業、回収、企業の市場退出など、経営に必須の理論に事例を交えて実践的に学びます。

前半 15 回で企業のケーススタディを行い、後半 15 回で会社経営の実践を学び、経済人・企業人として経営に必要な知識を得るのが本講義の特長です。

本講義のポイントは、経営理論と実務の融合です。担当教員は、博士号（経営学）で、かつ企業経営歴 30 年超えます。よって、経営学が実務でどのように活用されているのかが、具体的に学ぶことが出来ます。授業深耕モットーは、「おもしろく、タメになる、役に立つ」です。

In this lecture, you will learn practically the activities of entrepreneurs through venture business (hereinafter referred to as VB) management and case studies. This is because VB's activities can be said equal entrepreneurs. The first 15 sessions (VB theory I) are about venture business theory and companies, and the second 15 sessions (VB theory II) are about business practices.

The point of this lecture is the fusion of management theory and practice. The instructor is a doctoral degree (business administration) and has more than 30 years of business management experience. I have various experience for example, in corporate succession, bankruptcy, turn around, establishment, and received the capital from VCC. Therefore, you can learn concretely how business administration is used in practice. The motto of class progress is "interesting, learning and useful".

2. 学修の到達目標/Goal of study:

企業経営とベンチャー企業（以下 VB）に関することを中心に幅広く行います。ビジネスの理論と経営実践の大切なところを抽出して行います。これを知っていれば、経済人として世の中に出たときに、VB/SMEs (中小企業) 経営実務のおよそ 8 割が理解できるといえます。（もちろん基本は大企業経営も同じです）残り 2 割は、必要に応じて学ぶべきこと、経験値から学べることとなります。

- ① VB の環境・経営の把握と課題の理解、および日米間 VB 企業背景の相違を理解できる。
- ② 中小企業環境、中小企業経営の把握と課題を分析できる。
- ③ VB/SMEs 企業における企業経営のコア知識を習得できる。
- ④ 会社を起こして経営する基本知識が習得できる。
- ⑤ 企業の市場退出方法を理論的に習得できる。

Understanding the management of venture business companies. Acquisition of basic knowledge to run and manage a company.

- ① Understand VB environment and management, understand issues, and understand the differences in VB corporate background between Japan and the United States.
- ② Understand the SMEs environment and SMEs management and analyze issues.
- ③ Acquire the core knowledge of corporate management in a company of VB / SMEs
- ④ Acquire the basic knowledge of starting a company and running it.
- ⑤ Acquire theoretically learn how to exit the market of a company.

3. 授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class:

講義は、基本的にパワーポイントを用いたプレゼンテーション方式にて行います。

前半 15 回 ケーススタディ編

1. ガイダンス及びベンチャービジネス論概論
2. VB とはどのような企業か？ GAFAM に学ぶ
3. VB のバックグラウンドを理解する-1 GAFAM の純利益推移の示すもの
4. VB のバックグラウンドを理解する-2 GAFAM の突出した利益率を支えるイノベーション（革新）とは
5. VB のバックグラウンドを理解する-3 日本企業と事例企業の利益率を比較すると…
6. なぜ VB が期待されるのか？ 経済活性化と VB について
7. VB が目指す上場（IPO）について。上場のメリットとはなにか
8. 日米における VB 定義の相違。しっかりと違いを知ろう
9. VB の成長を支えるファンドとベンチャーキャピタルの理解
10. VB の種類
11. シュンペーターの定義する企業家とイノベーション
12. 主なイノベーションとクリステンセンの破壊的イノベーション

13. ケーススタディ：イノベーションの企業事例
14. VB の創業期における資金調達。明日が分からない企業に誰が「お金」を提供するのか？
15. ケーススタディ：現役ベンチャーキャピタリストから学ぶ投資の実務

後半 15 回 実践経営編

16. 中小企業政策と基本法にみる中小企業。中小企業政策は大いに利用すべき
 17. 企業経営に戦略は必要なのか。戦略と戦術、成り行き経営ではダメなのか
 18. 企業経営における 2 大戦略理論。ポジショニングとリソース・ベースト・ビュー
 19. ケーススタディ：特長的のある実在企業の強さに学ぶ。何が持続的競争優位を齎すのか
 20. ケーススタディ：日本一 BMW を売った男に学ぶ営業手法。伝説の営業マンは意外にも朴訥な人であった
 21. 会社の起こし方と仕組み-1 資本金 1 円で起業は可能なのか？商法上は OK だか…
 22. 会社の起こし方と仕組み-2 会社設立にともなう付帯事項。雇用責任は重大だ
 23. 価格、コスト構成と管理。損益分岐点とコストの関係
 24. 損益分岐点と企業経営。あと、どのくらい売れば利益に転換するのか
 25. 経営戦略が損益分岐点に与える影響について実証する
 26. 資金回収の勘所。モノを売ったままではダメ、回収して取引終了～
 27. トータルクオリティマネジメント・クールジャパンを創り上げた品質管理とは
 28. ビジネスプラン（事業計画）の作成方法。VCC を通過した事例を通じて
 29. 市場退出の種類と方法。成功ばかりではない経済社会は、失敗による退出方法を知る
 30. 企業論総括および理解度確認セッション
- ★企業経営や経済環境の変化によって、内容が変更される可能性があります。

Venture Business Theory I. Basic theory edition.

- Lectures will be given using a PowerPoint presentation and progress is based on the contents of the textbook.
 - 1. Guidance and introduction to venture business theory.
 - 2. What kind of the company is VB? Learn from GAFA + M.
 - 3. Understanding the background of VB works 1. Shows the change in net income of GAFA + M.
 - 4. Understanding the background of VB works 2. What is the innovation that supports the outstanding profit margin of GAFA + M?
 - 5. Understanding the background of VB-3. Comparing the profit margins of Japanese companies and case companies.
 - 6. Why is VB expected? Economic revitalization and VB.
 - 7. About the Initial Public Offering (IPO) that VB is aiming for. What are the benefits of IPO?
 - 8. Differences in VB definition between Japan and the United States.
 - 9. Understanding funds and venture capital to support VB growth.
 - 10. Type of VB.
 - 11. Schumpeter's definition of entrepreneurship and innovation.
 - 12. Major Innovations and Christensen's disruptive innovations.
 - 13. Case Study: Innovation company case study.
 - 14. Financing during VB's founding period. Who will provide "money" to companies that do not know tomorrow?
 - 15. Case Study: Investment practices learned from the active Venture Capitalist.
- Subject to change depending on class size and content.

Reference: Venture Business Theory II. Practical Edition

16. SMEs as seen in SME policies and the SMEs basic law. SME policy should be used extensively.
 17. Is a strategy necessary for corporate management? Strategy and tactics. Why does it not no good to have no strategy?
 18. Two major strategic theories in corporate management. Positioning and Resource based view.
 19. Cases study: Learn from the strength of a distinctive real company. What provides a sustainable competitive advantage?
 20. Case study: A sales method learned from the man who sold the best BMW in Japan. The legendary salesman was surprisingly naive.
 21. How to start a company and how it works-1. Is it possible to start a business with a capital of One yen? It's OK in terms of commercial law, but...
 22. How to start a company and how it works-2. Incidental matters associated with the establishment of a company. Incidental matters associated with the establishment of the company. Employment liability is significant!
 23. Price, cost composition and management. Relationship between break-even point and cost.
 24. Break-even point and corporate management. Also, how much should I sell to make a profit?
 25. Demonstrate the impact of business strategy on the break-even point.
 26. Tips for collecting funds. Don't sell things as they are, collect the payment them and end the transaction.
 27. Total Quality Management. What is mechanism of the quality control that created Cool Japan?
 28. How to create a business plan (business plan). Case study of received from the capital from the VCC.
 29. Types and methods of exiting the market. In economic societies are not only successful case but also, we necessary how to know the failure case.
 30. Corporate theory summary and comprehension confirmation session.
- ★ The contents may change due to changes in corporate management and economic environment.

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

○

5. 使用言語/Language Used in Course :

講義は日本語で行い、理解度確認セッションや受講者が提出するレポート提出も日本語とします。

6. 成績評価方法/Evaluation method :

成績評価方法

概ね理解度確認セッション 80%、レポート 20%程度の配分で評価を行います。
授業規模や内容によって変更になることがあります。

・ The evaluation will be made with an allocation of about 80% for the comprehension confirmation session and 20% for the report. Subject to change depending on class size and content

7. 教科書および参考書/Textbook and references :

その他 を参考

8. 関連URL/URL :

日本ベンチャー学会 <http://www.venture-ac.ne.jp/>

9. 授業時間外学修/Preparation and Review :

該当授業回のテキストの熟読と、事例企業がある場合はバックグラウンドや最新の業績を調査して下さい。また、大企業のみならず、自分の周囲にある企業は、どのような営業形態をとっているのか気に掛けて、企業の調査が可能な場合は、企業概要を調べてビジネスモデル（儲ける仕組み）を考えてください。

テキストの最後に、参考・引用文献の記載があります。学習を深めたい人は、これらを参考ください。

10. その他/In addition :

メディア授業科目 /Course of Media Class:

教科書について

担当教員の独自のテキスト「ベンチャービジネス論Ⅰ・Ⅱ VOL4」を使用します。入手先は電子データ（PDF）にて各自ダウンロードしてください。ダウンロード先は適宜提示します。データが 24MB 程度あるので、十分なダウンロード環境にて行って下さい。また、ページ数が A4 で 170 枚程度です。プリントアウトの際も同様に、十分な環境で行って下さい。

・ Textbooks and reference books

We will use the original textbook "Venture Business Theory I / II Vol 2 revised edition" written by the instructor. Please download the electronic data (PDF) from the source. The download destination will be provided as appropriate. Since the data is about 24MB, please do it in a sufficient download environment. Also, the number of pages is about 170 consist of A4. Similarly, print out in a sufficient environment.

管理会計/Management Accounting

担当教員/Instructor : 他/KEISUKE OGIHARA

曜日・講時/Day/Period : 後期 水曜日 2 講時. 後期 金曜日 1 講時

対象学年/Eligible Participants : 3・4,

科目ナンバリング/Course Numbering : EAL-ACC310J, 単位数/Credit(s) : 4

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class :

本授業の目的は、管理会計の主要なトピックに関する知識を身に着けることです。管理会計に関する知識は、企業の経営管理者にとって必要不可欠なものとなっています。講義では、入門書を用いて、企業における意思決定や業績評価の際に有用な財務・非財務情報の作成方法やその活用方法を学びます。

The objective of this course is to provide students with knowledge of the main topics in management accounting. Knowledge of management accounting is essential for business managers. Using introductory texts, students will learn how to make and use financial and non-financial information that is useful for decision making and performance evaluation in companies.

2. 学修の到達目標/Goal of study :

- (1) 授業で取り上げた管理会計・原価計算実践の役割や特徴を説明できるようになること。
(2) 関連する計算問題を解けるようになること。

(1) To be able to explain the roles and characteristics of management accounting and cost accounting practices covered in class.

(2) To be able to solve the calculation problems.

3. 授業内容・方法と進捗予定/Contents and progress schedule of the class :

授業は教科書と講義スライドに沿って行う。
小テストを2回程度、理解度確認セッションを1回行う。
必要に応じて計算演習や国内や海外で行われた管理会計研究の紹介も行う。
学生に発言を求める場合もある。

授業で取り上げる内容は以下のとおりである。

- ・管理会計の意義/Significance of management accounting
- ・管理会計の基礎概念/Basic concepts of management accounting
- ・長期経営計画/Long-term management planning
- ・利益計画/Profit planning
- ・CVP 分析と直接原価計算/Cost-Volume-Profit analysis, Direct costing
- ・個別原価計算/Job order costing
- ・総合原価計算/Process costing
- ・活動基準原価計算と活動基準原価管理/Activity-based costing, Activity-based management
- ・標準原価計算/Standard Costing
- ・原価企画/Target costing
- ・意思決定アプローチ/Decision making approach
- ・設備投資意思決定/Capital investment decision
- ・業績管理アプローチ/Performance management approach
- ・事業部の業績評価/Divisional performance evaluation
- ・予算管理/Budgetary control
- ・アメーバ経営/Amoeba management
- ・バランス・スコアカード/Blanced scorecard

The textbook and lecture slides will be used in class.

There will be two quizzes and one examination.

Calculation exercises and introduction of management accounting research conducted in Japan and abroad will be given as necessary.

Students may be asked to speak.

4. 実務・実践的授業/Practicalbusiness

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"○"Indicatesthe practicalbusiness

5. 使用言語/Language Used in Course :

講義は日本語で行う。理解度確認セッションの問題及び解答は日本語とする。

6. 成績評価方法/Evaluation method :

小テスト (50%), 理解度確認セッション (50%) で評価する。

小テストは2回実施する予定である。

7. 教科書および参考書/Textbook and references :

エッセンシャル管理会計 (第4版)	谷武幸	中央経済社	2022	978-4502439018	教科書
原価計算 (改訂版)	清水孝	税務経理協会	2017	978-	参考書

現場で使える原価計算

清水孝

中央経済社

2014

4419064556
978-
4502097904

参考書

8. 関連URL/URL :

9. 授業時間外学修/Preparation and Review :

予習:

テキストの指定された箇所を読み, 疑問点を明確にする。計算例題は事前に解いてくること。

復習:

各回の講義で扱った内容を再確認する。試験に備えて, 計算問題や用語をしっかりと確認すること。

10. その他/In addition :

メディア授業科目 /Course of Media Class:

この講義を受講するために必要となる知識:

会計学の基本的な知識を持っていることが望ましい。

財務会計/Financial Accounting

担当教員/Instructor: 木村 史彦/FUMIHIKO KIMURA

曜日・講時/Day/Period: 前期 火曜日 1 講時. 前期 金曜日 2 講時

対象学年/Eligible Participants: 3・4,

科目ナンバリング/Course Numbering: EAL-ACC311J, 単位数/Credit(s): 4

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class:

財務会計は、財務諸表を中心とした会計情報を企業外部の利害関係者に対して提供することを目的とし、現代の企業を支える重要な仕組みである。本講義では、財務会計の機能と構造を概説した上で、会計情報の分析手法について学習する。

Financial accounting is an important mechanism that supports modern enterprises with the purpose of providing accounting information to interested parties of the firms. In this lecture, I will outline the functions and structures of financial accounting, and teach the method of analyzing accounting information.

2. 学修の到達目標/Goal of study:

- ・ 会計情報が経済社会においていかなる役割を果たしているのかについて理解する
- ・ 企業が公表する財務諸表の基礎的な分析手法を理解する

・ The goal of this lecture is to understand the role of accounting information in economic society and to understand the basic analytical methods of financial statements published by companies.

3. 授業内容・方法と進捗予定/Contents and progress schedule of the class:

授業は、第1部（概ね～5月末）、第2部（概ね6月～）の2部構成で進める
第1部は財務会計の重要論点、第2部は財務諸表の分析手法について取り扱う
第1部は、テキストから離れる論点もある。
第2部はテキスト（第2部）に概ね準拠する。

第1部 財務会計の重要論点－開示された財務諸表を読むために

- 1 財務諸表の役割と仕組み
- 2 財務諸表の入手方法
- 3 貸借対照表の見方
- 4 損益計算書の見方
- 5 キャッシュ・フロー計算書の見方
- 6 財務会計に関する個別論点
減損会計、退職給付会計、資産除去債務など

第2部 財務諸表の分析手法

- 7 財務諸表分析の視点と方法
- 8 収益性の分析
- 9 安全性の分析
- 10 不確実性によるリスクの分析
- 11 成長性の分析
- 12 投資意思決定有用性
- 13 倒産予測モデル

This course consists of two parts.

Part 1 Important Issues in Financial Accounting

1. The role and structure of financial statements
2. How to obtain financial statements
3. How to read the balance sheet
4. How to read the income statement
5. How to read the cash flow statement
6. Individual Issues on Financial Accounting

Part 2 Analysis method of financial statements

7. Perspectives and methods of financial statement analysis
- 8 Analysis of profitability
9. Analysis of safety
- 10 Analysis of risk
- 11 Analysis of Growth
- 12 Usefulness of investment decision making
- 13 Bankruptcy prediction model

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

5. 使用言語/Language Used in Course :

日本語

6. 成績評価方法/Evaluation method :

理解度確認セッション (80%), 平常点 (20%) * 平常点は講義において提示する課題を含みます

7. 教科書および参考書/Textbook and references :

財務諸表分析 (第8版)	桜井久勝	中央経済社	2020	4502342416	教科書
財務会計講義 (第23版)	桜井久勝	中央経済社	2020	4502347817	参考書
財務諸表分析(第3版)	乙政正太	同文館出版	2019	4495193031	参考書
新・現代会計入門 第4版	伊藤邦雄	日本経済新聞出版 社	2020	4532134986	参考書

8. 関連URL/URL :

9. 授業時間外学修/Preparation and Review :

予習: テキストの指定箇所を読んで疑問点を明らかにする

復習: 練習問題に取り組む

10. その他/In addition :

メディア授業科目 /Course of Media Class:

履修者が300名を超えた場合、経済学部以外の学部からの履修を認めない場合があります。

履修条件: 会計学入門・会計原理の内容を理解していることを前提とする (単位取得の有無は問わない)

連絡先: fkimura@tohoku.ac.jp

資料等の配布について: Google Classroom を通じて実施します。

市場戦略/Market Strategy

担当教員/Instructor : 福嶋 路/MICHI FUKUSHIMA

曜日・講時/Day/Period : 後期 月曜日 2 講時. 後期 水曜日 1 講時

対象学年/Eligible Participants : 3・4,

科目ナンバリング/Course Numbering : EAL-MAN315J, 単位数/Credit(s) : 4

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class :

今日、企業活動において、マーケティング活動の理解は不可欠なものとなっている。本授業ではマーケティングを構成する諸活動とその実践について学びます。具体的には、事例を提示しながら、マーケティング活動に関する概念やその背後にある考え方を紹介していく。

Today, understanding marketing activities is indispensable in corporate activities. In this class, you will learn about the activities that make up marketing and their practices. Specifically, while presenting examples, we will introduce the concept of marketing activities and the ideas behind them.

2. 学修の到達目標/Goal of study :

マーケティングの基礎概念について理解する。
それらを用いて現実を見て分析することができるようになる。
自らマーケティング思考を実践に生かせるようになる。

You will understand the basic concepts of marketing.
You will be able to see and analyze facts using them.
You will be able to put your marketing thinking to practice.

3. 授業内容・方法と進捗予定/Contents and progress schedule of the class :

本講義は対面で提供される。

EB257 市場戦略

GoogleClassroom のクラスコード : dnfr6lg

Ggoogle Classroom Classroom : dnfr6lg

授業内容（予定）は以下の通り。
ただし進捗状況に応じて、内容に変更はあることは留意してほしい。

- 1 オリエンテーション
- 2 マーケティングとは
- 3 マーケティング計画の策定
- 4 市場の選択
- 5 環境分析
- 6 顧客の分析 (1)
- 7 顧客の分析 (2)
- 8 市場細分化・セグメンテーションとターゲティング (1)
- 9 市場細分化・セグメンテーションとターゲティング (2)
- 10 製品のマネジメント (1)
- 11 製品のマネジメント (2)
- 12 価格のマネジメント (1)
- 13 価格のマネジメント (2)
- 14 プロモーション (1)
- 15 プロモーション (2)
- 16 チャネルマネジメント (1)
- 17 チャネルマネジメント (2)
- 18 リレーションシップ・マーケティング (1)
- 19 リレーションシップ・マーケティング (2)
- 20 ブランド構築のマネジメント (1)
- 21 ブランド構築のマネジメント (2)
- 22 サービスマーケティング (1)
- 23 サービスマーケティング (2)
- 24 マーケティングの社会的役割 (1)
- 25 マーケティングの社会的役割 (2)
- 26 デジタル時代のマーケティング
- 27 地域創生のマーケティング
理解度確認セッション

Class contents (planned) are as follows.

However, please note that the content may change depending on the progress.

- 1 Orientation
 - 2 What is Marketing?
 - 3 Marketing planning
 - 4 Choice of markets
 - 5 Analysis of environments
 - 6 Consumer behavior(1)
 - 7 Consumer behavior(2)
 - 8 Market segmentation and targeting(1)
 - 9 Market segmentation and targeting(2)
 - 10 Product(1)
 - 11 Product(2)
 - 12 Price(1)
 - 13 Price(2)
 - 14 Promotion(1)
 - 15 Promotion(2)
 - 16 Place(1)
 - 17 Place(2)
 - 18 Relationship marketing(1)
 - 19 Relationship marketing(2)
 - 20 Brand management(1)
 - 21 Brand management(2)
 - 22 Service marketing(1)
 - 23 Service marketing(2)
 - 24 Social marketing(1)
 - 25 Social marketing(2)
 - 26 Digital marketing
 - 27 Marketing for regional revitalization
- Examination
Note: The topics are subject to change.

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

5. 使用言語/Language Used in Course :

日本語 (Japanese)

6. 成績評価方法/Evaluation method :

(1) 中間レポート最低1回 (At least one report)

課題は12月1週目に提示します。(The report topic will be given in the first week of December).

(2) 最終試験1回 (The final exam)

7. 教科書および参考書/Textbook and references :

マーケティング戦略 (第5版)	和田充夫、恩蔵直人、 三浦俊彦	有斐閣	2016	978-4-641- 70432-9	教科書
1からのデジタル・マーケティング	西川英彦、澁谷覚	碩学舎	2019	4502289914	参考書
グラフィック マーケティング	上田隆穂、澁谷覚、西 原彰宏	新世社	2020	978-4- 88384-319-0	参考書

8. 関連URL/URL :

9. 授業時間外学修/Preparation and Review :

10. その他/In addition :

メディア授業科目 /Course of Media Class:

- ・講義の資料はGoogleClassroomにアップロードするので、各自入手すること。
- ・他の資料についてもGoogleClassroomで配布する。

- ・Each time the material will be uploaded via Google Classroom.
- ・Other materials will be distributed via Google Classroom, too.

医療福祉経済/Economics on Health and Welfare

担当教員/Instructor: 湯田 道生/MICHIO YUDA

曜日・講時/Day/Period: 後期 火曜日 1 講時. 後期 金曜日 2 講時

対象学年/Eligible Participants: 3・4,

科目ナンバリング/Course Numbering: EAL-EC0317J, 単位数/Credit(s): 4

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class:

本講義では、公的年金・医療・介護・健康・子育て支援・公的扶助などの社会保障制度全般について、それぞれの制度の概要や統計を紹介するとともに、それぞれの制度が現在抱えている問題を近代経済学のアプローチによって検討する方法を講義する。

社会保障は、政府の一般歳出において最大シェアを長らく占めている部門であるが、今後のさらなる少子高齢化の進展によって費用膨張の抑制や財源の手当てなど解決すべき課題が山積している。資源の最適配分を考える近代経済学（特にミクロ経済学）をベースに、今後の制度や社会の在り方を考えるための基礎理論を紹介する。

This lecture provides the overviews of the Japanese social security system and related economic theories.

2. 学修の到達目標/Goal of study:

本講義の学修の到達目標は以下の通りである。

- (1) ミクロ経済学やマクロ経済学の基礎理論を、社会保障の経済分析に応用できるようになること。
- (2) 社会保障に関する統計を、統計学の手法を用いて社会保障の経済分析に活用できるようになること。
- (3) 高齢社会における制度の担い手として、社会保障に関する諸問題について論理的に考察できるようになること。

The objectives of this course are to.

- (1) Apply the basic theories of microeconomics and macroeconomics to the economic analysis of social security.
- (2) Apply social security statistics to the economic analysis of social security using statistical methods.
- (3) Logically consider various issues related to social security as a bearer of the system in an aging society.

3. 授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class:

以下の内容を講義する予定である。

- 第1回 ガイダンス
- 第2～3回 社会保障とは
- 第4～5回 マクロ経済から見た社会保障
- 第6～7回 貧困と低所得層支援
- 第8～9回 医療保険制度と介護保険制度
- 第10～11回 健康資本
- 第12～15回 医療保険理論とモラルハザード
- 第16回 医療技術と医療費
- 第17～18回 医療・介護供給体制
- 第19～20回 公的年金制度
- 第21～22回 国民皆年金
- 第23～24回 年金制度の財政方式と世代間格差
- 第25～26回 公的年金と就業行動
- 第27～28回 子育て支援・保育
- 第29～30回 嗜癖（喫煙の経済学・行動経済学）

The following contents will be lectured.

- 1 Guidance
- 2-3 Social security: An overview
- 4-5 Social security from a macroeconomic perspective
- 6-7 Poverty and support for low-income populations
- 8-9 Public health and long-term care insurance systems
- 10-11 Health capital
- 12-15 Health insurance theory and moral hazard
- 16 Medical technology and medical expenses
- 17-18 Medical and long-term care supply system
- 19-20 Public pension system
- 21-22 Universal pension system
- 23-24 Fiscal method of pension system and intergenerational disparity
- 25-26 Public pensions and employment behavior
- 27-28 Childcare support
- 29-30 Addiction (Economics and Behavioral Economics of Smoking)

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

5. 使用言語/Language Used in Course:

日本語

6. 成績評価方法/Evaluation method:

原則として、オンライン小テスト (20%)・課題 (40%)・理解度確認セッション (40%) で評価する。
詳細は初回講義で説明する。

7. 教科書および参考書/Textbook and references:

社会保障の経済学	小塩隆士	日本評論社	2013	9784535557352	参考書
医療経済学講義 補訂版	橋本英樹・泉田信行	東京大学出版会	2016	9784130421423	参考書
健康経済学：市場と規制のあいだで	後藤励・井深陽子	有斐閣	2020	9784641165564	参考書

8. 関連URL/URL:

制度の概要を視覚的に理解するためには、『厚生労働白書』が有用である。Web 版の URL は、
https://www.mhlw.go.jp/toukei_hakusho/hakusho/ である。

9. 授業時間外学修/Preparation and Review:

講義前に、事前配布予定の講義資料と補足資料に目を通しておくこと。講義後は経済モデルを中心に復習することが望ましい。

10. その他/In addition:

メディア授業科目 /Course of Media Class:

以下の点に留意すること。

- (1) 講義資料と補足資料および講義に関する情報は、Google Classroom (コードは"3rgjyzx") を通して配信する予定である。
- (2) ミクロ経済分析・マクロ経済分析・数理統計・経済学入門 B・統計学入門を履修済みまたは並行履修していることが望ましい。
- (3) 本講義は、東北大学経済学部・大学院経済学研究科の 5 年一貫プログラム「高齢社会の地域公共経済政策」および「データ科学」の指定科目である。

経済経営数学 I / Mathematics for Economics and Business Management I

担当教員/Instructor : 石垣 司/TSUKASA ISHIGAKI

曜日・講時/Day/Period : 前期 水曜日 1 講時

対象学年/Eligible Participants : 2・3・4,

科目ナンバリング/Course Numbering : EAL-ECM220J, 単位数/Credit(s) : 2

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class :

経済学や経営学上の問題を解くための道具として数学を利用できる力を養うことを目的として、微積分と線形代数をベースとした基礎的な最適化問題に関する講義を行う。

数学の問題を解くための能力を身に付けるのと同様に、その問題を考えることの意義、数式の持つイメージ、経済学や経営学で扱う問題の数理モデル化について学生が意識できるように講義を行う。

In this course, students learn the basic calculus and linear algebra for economics and management to develop mathematical abilities.

2. 学修の到達目標/Goal of study :

- ・最適化問題のための微積分学と線形代数を理解する
- ・制約付き最適化問題におけるラグランジュ未定乗数法の意味と意義を理解する
- ・2次形式の最適化問題や動的計画法などの意味と意義を理解する
- ・経済学・経営学における初歩的な数理モデルを理解・作成することができる

This course is designed to help students understand the basics of calculus and linear algebra and be able to apply them to specific unconstrained and constrained optimization problem for economics and management.

3. 授業内容・方法と進捗予定/Contents and progress schedule of the class :

Google Classroom のクラスコード「d3uhgrq」

- 1 ガイダンス
- 2 微分・積分の復習 1
- 3 微分・積分の復習 2
- 4 経済学・経営学の数理モデルと微分・積分 1
- 5 経済学・経営学の数理モデルと微分・積分 2
- 6 線形代数の復習 1
- 7 線形代数の復習 2
- 8 経済学・経営学の数理モデルと行列 1
- 9 経済学・経営学の数理モデルと行列 2
- 10 制約なし最適化問題
- 11 制約付き最適化問題
- 12 2次形式と最適化問題
- 13 動的計画法
- 14 数値最適化
- 15 理解度確認セッション

This is a lecture-centered course.

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

5. 使用言語/Language Used in Course :

日本語

6. 成績評価方法/Evaluation method :

理解度確認セッションの結果で評価する。具体的には第1回ガイダンスで指示する。

7. 教科書および参考書/Textbook and references :

8. 関連URL/URL :

教科書は用いない。講義資料はWeb上で配布する。参考書は講義中に紹介する。

9. 授業時間外学修/Preparation and Review :

数学は積み上げ型の学問である。前回の講義内容が次回の講義を理解するための前提となる。そのため、理解不足と感じた部分はしっかりと復習してほしい。

10. その他/In addition :

メディア授業科目 /Course of Media Class:

履修の条件

- ・経済経営数学入門レベルの微積分と線形代数の内容を理解していること

連絡先: isgk@tohoku.ac.jp

オフィスアワー: 随時。ただし、上記アドレスへ連絡し予約を取ること

データサイエンス/Data Science

担当教員/Instructor：石原 卓弥/TAKUYA ISHIHARA

曜日・講時/Day/Period：後期 月曜日 2 講時

対象学年/Eligible Participants：2・3・4,

科目ナンバリング/Course Numbering：EAL-ECM230J, 単位数/Credit(s)：2

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class：

経済データを扱う際には、分散不均一性や内生性といった経済データ特有の性質を考慮に入れたデータ分析を行うことが重要である。この授業では、経済データの分析に用いられる統計手法を紹介し、コンピュータによる実際のデータ分析ができるようになることを目指す。

This course covers statistical methods for analyzing economic data.

2. 学修の到達目標/Goal of study：

以下の二点を到達目標とする：

1. 代表的な経済データ分析手法を理解する。
2. 統計分析ソフト R を用いて、それらを実データ分析に応用する。

The aim of this course is that students learn typical economic data analysis methods and apply these methods to real data analysis using R.

3. 授業内容・方法と進捗予定/Contents and progress schedule of the class：

第1回：イントロダクション・Rの使い方 / Introduction

第2回：確率・統計の基礎 (1) / Probability theory and statistics (1)

第3回：確率・統計の基礎 (2) / Probability theory and statistics (2)

第4回：確率・統計の基礎 (3) / Probability theory and statistics (3)

第5回：回帰分析 (1) / Linear regression (1)

第6回：回帰分析 (2) / Linear regression (2)

第7回：回帰分析 (3) / Linear regression (3)

第8回：回帰分析 (4) / Linear regression (4)

第9回：操作変数法 / Instrumental variable

第10回：パネルデータ分析 / Panel data

第11回：離散選択モデル / Discrete choice

第12回：反事実フレームワーク / Counterfactual framework

第13回：共変量を用いた処置効果の推定 / Estimation of the treatment effect using covariates

第14回：プログラム評価 / Program evaluation

Google classroom code: jiktix5

4. 実務・実践的授業/Practicalbusiness

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

5. 使用言語/Language Used in Course：

日本語

6. 成績評価方法/Evaluation method：

レポートと理解度確認セッションで評価する。具体的には第1回の講義で指示する。

7. 教科書および参考書/Textbook and references：

計量経済学	西山慶彦、新谷元嗣、 川口大司、奥井亮	2019	有斐閣	4641053855	参考書
経済経営のデータサイエンス	石垣司、植松良公、千 木良弘朗、照井伸彦、 松田安昌、李銀星	2022	共立出版	4320125193	参考書

8. 関連URL/URL：

9. 授業時間外学修/Preparation and Review：

授業の予習と復習。

10. その他/In addition：

メディア授業科目 /Course of Media Class:

「統計学入門」と「経済経営数学入門 A・B」で扱うレベルの知識を前提とする。

地域経済/Regional Economy

担当教員/Instructor: 増田 聡/SATORU MASUDA

曜日・講時/Day/Period: 後期 火曜日 2 講時、後期 金曜日 3 講時

対象学年/Eligible Participants: 3・4,

科目ナンバリング/Course Numbering: EAL-EC0321J, 単位数/Credit(s): 4

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class:

2023・EB304 (後期) 地域経済

Google Classroom クラスコード w3xydlb

経済活動のグローバル化とともに、改めて、人々が生活し交流する場である「ローカルな地域」への関心が高まっている。本講義では、街・集落から、都市(圏)、地方ブロック、国土、さらにはEUのような国際レベルまで、様々な空間的スケールを有する「地域」のなかで、どのように経済諸主体が立地や投資の空間的選択を行い、生産・消費・流通等の経済活動を展開しているのかについて検討する。

Along with the globalization of economic activities, there has been a renewed interest in "local areas," the places where people live and interact. In this lecture, we will examine how economic agents make spatial choices for location and investment, and develop economic activities such as production, consumption, and distribution in "regions" that have various spatial scales, from towns and villages to cities (regions), regional blocks, national land, and even international levels such as the EU.

2. 学修の到達目標/Goal of study:

以下の内容の理解と、その応用力を身につける。

- ・「地域」とは、空間的経済事象の捉え方
- ・地域経済を分析するためのデータと諸理論
- ・地域(経済)問題の発生要因と推移
- ・地域政策や開発計画の意義と課題

In this course, students will acquire an understanding of the following topics and the ability to apply them.

- ・What is a "region" and how to understand spatial economic events?
- ・Data and theories for analyzing the regional economy
- ・Factors that cause regional (economic) problems and their trends
- ・Significance and issues of regional policy and development planning

3. 授業内容・方法と進捗予定/Contents and progress schedule of the class:

地域経済の理解では、(古典的)立地論、地域科学、空間経済学等の理論的アプローチに加え、地方財政学、経済地理学、地域経営論、地域開発論等の知見も多い。講義では、上記諸理論を概観した上で、変貌しつつある地域経済の実態の把握を通じて、地域政策や開発計画の意義と課題を考える。

※2023年度後期は、原則対面(第3講義室)で行うが、コロナ感染症によるBCPレベルが上がった場合には、オンライン(Google Meet)の利用も検討する。(火曜2限 10:30~12:00、金曜3限 13:00~14:30)。

※資料の配付屋提出は、Google Classroomを介して行う。

<https://classroom.google.com/u/0/c/NTg40Dgw0DA2NDc3>

下記①~⑤のテーマを中心に講義及び作業(必須課題・任意課題に関するミニレポート)を行う。各項目は、2、3回の講義に相当する。

○イントロダクション: 地域経済(論)の関連・隣接領域

地域概念と空間的スケール、開発と計画、グローバル化と地域経済、地域問題と地域政策(市場化と計画化)

①地域経済の分析視座-1: 立地論から地域科学、空間経済学へ

経済立地論の系譜(農工商)、中心地理論、資源分布と輸送費用、空間的立地競争、サプライ・チェーンと商流
都市システム、OR、需要・規模・集積…
企業組織と「企業の地理学」、消費者行動と地域マーケティング…

②地域経済の分析視座-2: 地域経済統計と空間統計学への入り口

地域経済・空間統計、社会物理学・社会工学、結節地域と人口移動、空間的相互作用…

③地域経済の分析視座-3: 社会調査と予測・計画・評価

社会調査・統計学史、地政学、予測・制御、インフォグラフィックス・地図学
planning、PDCA、政策評価とエビデンス、モニタリング、因果推論、豊かさ指標…

④地域経済の分析視座-4: 地域経済学とオルタナティブ・アプローチの諸相

地域経済学入門、産業連関、成長/発展/開発、移出主導モデル、地域間交易、
産業集積/クラスター、地域雇用、地域失業、関税競争、Alternative & Radical Geography…

⑤地域経済の変容と地域(経済)政策・地域(開発)計画: 政策手段、政策主体と権限

フィジカル・プランニング: 土木・建築・造園・都市計画、国土計画・震災復興…

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

5. 使用言語/Language Used in Course :

日本語

6. 成績評価方法/Evaluation method :

- ・講義中に提示する必須課題（学期内数回）：75%
- ・学期末試験（あるいは最終レポート）：25%
- ・講義中に提示する任意課題及び講義内容に関する自主研究レポート（随時提出可能）：+αを加算

7. 教科書および参考書/Textbook and references :

地域経済学と地域政策（改訂版）	H. アームストロング・J. テイラー（佐々木公明監訳）	流通経済大出版会	2005	978-4947553348	後半の準教科書
立地と空間（上下）：経済地理学の基礎理論（改訂版）	P. デイッケン・P. E. ロイド（伊藤喜栄他訳）	古今書院	2001	978-4772215657	参考
集積の経済学：都市、産業立地、グローバル化	藤田昌久・ジャック・F. ティス（徳永澄憲訳）	東洋経済新報社	2017	978-4492314937	参考
地域経済学	宮本憲一・横田茂・中村剛治郎	有斐閣	1997	978-4641084919	参考
都市と地域の経済学（新版）	黒田達朗・中村良平・田淵隆俊	有斐閣	2008	978-4641183711	参考
経済発展と産業立地の理論	ポール・R. クルーグマン（高中公男訳）	文真堂	1999	978-4830943355	参考
地域のマーケティング	P. コトラー・I. レイン・D. H. ハイダー（井関俊幸監訳）	東洋経済新報社	1996	978-4492520833	参考
地域分析ハンドブック：Excelによる図表づくりの道具箱	半澤誠司・武者忠彦・近藤章夫・濱田博之編	ナカニシヤ出版	2015	978-4779509179	参考
経済地理学とは何か：批判的立地論入門	中澤高志	旬報社	2021	978-4845116744	参考
Excelで学ぶ地域・都市経済分析	上田孝行編	コロナ社	2010	978-4339052268	参考

8. 関連URL/URL :

リーサス（地域経済分析システム）：<https://resas.go.jp/#/4/04100>

NHK 地域づくりアーカイブス：<https://www.nhk.or.jp/chiiki/>

e-Stat 統計で見る日本（政府統計の総合窓口）：<https://www.e-stat.go.jp/>

Milestones in the history of thematic cartography, statistical graphics, and data visualization:
<https://www.datavis.ca/milestones/>

9. 授業時間外学修/Preparation and Review :

本講義に関するグループウェア（Google Classroom）に、講義資料等を順次掲載するので復習に利用して欲しい。さらに復習成果として、講義の中で何度か出題する「任意課題への解答」や、講義内容に関連した「自主研究レポート（テーマ設定は自由）」の提出を歓迎する。

10. その他/In addition :

メディア授業科目 /Course of Media Class:

質問等には、講義終了後、またはメール（s.masuda@tohoku.ac.jp）での連絡後、研究室にて受け付ける。

ビジネス・コミュニケーションA/Business Communication A

担当教員/Instructor: ROMAN RAYMOND SC/ROMAN RAYMOND SCOTT

曜日・講時/Day/Period: 後期 木曜日 5 講時

対象学年/Eligible Participants: 3・4,

科目ナンバリング/Course Numbering: EAL-ECM320E, 単位数/Credit(s): 2

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class:

The purpose of this course is to increase your business communication knowledge and abilities.

We will discuss a variety of business communication topics, with a focus on improving practical communication skills.

We will use Google Classroom (5cqslrg) as the main tool for announcing updates, distributing assignments, etc.

2. 学修の到達目標/Goal of study:

At the end of this course you will have a better understanding of international business communication. You will be able to perform more effectively in a wide range of business situations as both an individual and team member.

3. 授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class:

Contents and progress schedule of the class:

To prepare for each class you will have a reading assignment and sometimes a written homework assignment. Often you will work with other students in small groups, discussing the homework assignment or doing other activities. We will have many opportunities to practice discussion and presentation skills during class time.

The method of instruction (in-person, online, etc.) will be announced within Classroom.

1: Introduction

2: Business Writing (homework = 5 points)

3: Team Communication Effectiveness (homework = 5 points)

4: Leadership Communication (homework = 5 points)

5: Rhetoric and Public Speaking (homework = 5 points)

6: Presentation Preparation (homework = 5 points)

7: Confirmation of understanding

8: Presentation Performance (homework = 10 points)

9: Student Presentations-a (practice) and/or video on presentation skills

10: Student Presentations-b (practice)

11: Student Presentations-a (evaluated)

12: Student Presentations-b (evaluated)

13: Student Presentations (continued)

14: Student Presentations (continued)

15: Review of student presentations, Summary of Course and Q&A

4. 実務・実践的授業/Practicalbusiness

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○"Indicatesthe practicalbusiness

○

5. 使用言語/Language Used in Course:

English (Instruction and classroom discussion). (日本語での質問、相談も可能。)

6. 成績評価方法/Evaluation method:

Evaluation Method:

Homework 35% Comprehension-level Check 25%* Presentation 30% Participation 10%

*There will be an in-class confirmation of your understanding unless circumstances require online meetings.

7. 教科書および参考書/Textbook and references:

8. 関連URL/URL:

9. 授業時間外学修/Preparation and Review:

Students should

・ Be prepared for each class

・ Complete all assignments completely and on time

- ・ Participate effectively and energetically in class exercises
- ・ Give best effort in all activities

10. その他/In addition:

メディア授業科目 /Course of Media Class:

There is no textbook. Materials will be distributed by Google Classroom / email.

Office hours: Thursday 13:30-14:30 or by appointment (Please send email beforehand.)

Email: ray.roman.b6[at]. . .

主として実践的教育から構成される実務・実践的授業/Practical business

ビジネス・コミュニケーションB/Business Communication B

担当教員/Instructor: ROMAN RAYMOND SC/ROMAN RAYMOND SCOTT

曜日・講時/Day/Period: 前期 木曜日 5 講時

対象学年/Eligible Participants: 3・4,

科目ナンバリング/Course Numbering: EAL-ECM321E, 単位数/Credit(s): 2

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class:

The purpose of this course is to increase your business communication and English knowledge and abilities relating to business. We will discuss and practice assertiveness, negotiation and discussion skills, with a focus on improving practical English communication vocabulary and skills. We will use Google Classroom (jdeotpv) as the main tool for announcing updates, distributing assignments, etc.

2. 学修の到達目標/Goal of study:

At the end of this course you will have a better understanding of international business communication. You will be able to perform more effectively in a wide range of business situations as both an individual and team member.

3. 授業内容・方法と進捗予定/Contents and progress schedule of the class:

The method of instruction will be in-person unless otherwise announced.

1. Introduction: Course explanation and Q/A
2. Introduction to Assertiveness
3. Practice Scenario 1
4. What is Effective Negotiation? Two Key Ideas
5. Practice Scenario 2 & Two More Key Negotiation Ideas
6. Practice Scenario 3 & Review and Q/A
7. Confirmation of Understanding
8. Additional Reading 1
9. Additional Reading 2
10. Practice Scenario 4 & Introduction to Group Presentation
11. Paper Check-In 1: Your Main Idea and Outline
12. Presentation Check-in: Role allocations and draft slideshows
13. Paper Check-In 2: Your Draft; Presentation Q/A
14. Presentations by Groups: Key Points of Paper
15. Group presentations, continued; Paper due; What did we learn? Comments; Q&A

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

○

5. 使用言語/Language Used in Course:

English (Instruction and classroom discussion). (日本語での質問、相談も可能。)

6. 成績評価方法/Evaluation method:

Paper: 25% Comprehension-level Check: 30%* Presentation: 35% Participation 10% *There will be an in-class confirmation of your understanding unless circumstances require online meetings.

7. 教科書および参考書/Textbook and references:

Getting To Yes: Negotiating Fisher Ury and Patton 2012 9781847940933
An Agreement Without Giving Ed
In

8. 関連URL/URL:

9. 授業時間外学修/Preparation and Review:

Students should

- ・ Be prepared for each class
- ・ Complete all assignments completely and on time
- ・ Participate effectively and energetically in class exercises
- ・ Give best effort in all activities

10. その他/In addition:

メディア授業科目 /Course of Media Class:

Other materials will be provided as needed

Office hours: Thursday 13:30-14:30 or by appointment (Please send email beforehand.)

This class will be cancelled if the minimum number of students do not enroll. However, meeting time and day may be flexible, so if you are interested but have a schedule problem, contact the instructor in advance.

Email: ray.roman.b6[at]. . .

主として実践的教育から構成される実務・実践的授業／Practical business”

【トピックス経済学】経済政策／産業組織論 I/Topics of Economics: Economic Policy/Industrial Organization I

担当教員/Instructor: 泉田 成美/SHIGEMI IZUMIDA

曜日・講時/Day/Period: 前期 木曜日 2講時

対象学年/Eligible Participants: 2・3・4,

科目ナンバリング/Course Numbering: EAL-EC0212J, 単位数/Credit(s): 2

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class:

産業組織論はミクロ経済学と計量経済学の知識を利用して現実の企業行動や産業組織を分析する学問分野です。標準的なミクロ経済学では完全競争市場から分析を始めますが、現実の市場の多くは不完全競争市場であるため、不完全競争の経済理論を勉強した後でそれを実証的・政策的に応用していく必要があります。今学期の講義では、不完全競争市場のなかでも独占市場を取り上げ、独占によってどのような問題が発生するのか、政府は独占の問題についてどのように対処する必要があるのかについて講義したいと思います。経済理論とともに、その現実への応用に興味のある学生の積極的な受講を期待します。

Industrial Organization is applied microeconomics related to the strategy of firm and the structure of market. In this course, students learn about the problem of monopoly and the basic concept of competition policy.

2. 学修の到達目標/Goal of study:

競争と経済厚生を理解できるようになる。

独占市場の理論を理解できるようになる。

独占禁止政策の基礎的な概念を理解できるようになる。

Students will understand the relationship between competition and economic welfare.

Students will understand the theory of monopoly market.

Students will understand the basic concept of competition policy.

3. 授業内容・方法と進捗予定/Contents and progress schedule of the class:

授業開講形態: BCP レベルが1または2のときは対面授業、BCP レベルが3以上になった場合にはGoogle Meetによるオンライン授業とすることを予定しています。

Style of this Class: Online class using Google Meet and/or normal meeting face-to-face class

Google Classroomのクラスコード「jcgqnac」(講義コードEB311)、「m5nsalj」(講義コードEB311X)。

Google Classroom's class code: jcgqnac (EB311), m5nsalj (EB311X)

現在のところ、次の内容で授業を進めていこうと考えています。

第1回 イントロダクション

第2回 アダム・スミスと自由主義の経済政策

第3回 幼稚産業保護論と厚生経済学の基本定理

第4回-第6回 19世紀末から20世紀前半の経済危機と1930年代の経済学の革新:

トラストの発生、シャーマン法の成立、合併による巨大独占企業の誕生、パブと世界大恐慌、不完全競争の経済学(独占の理論、独占的競争の理論)の誕生、(ケインズ経済学の誕生)、産業組織論の誕生

第7回 独占企業の価格設定と非効率性

第8回 市場支配力と企業結合規制

第9回 価格差別(1): 完全価格差別と市場分割

第10回 価格差別(2): 二部料金と抱き合わせ

第11回 費用逓減産業と自然独占

第12回 公正報酬率規制とアバーチ・ジョンソン効果

第13回 政府の失敗と民営化・規制緩和

第14回 参入の経済効果とコンテストブル市場理論

第15回 参入規制の経済効果と規制緩和

学生の反応・理解度、教員の健康状態等の影響によって内容が変更される可能性があります。

The contents and schedule are as shown below:

#1 Introduction

#2 Adam Smith and laissez-faire

#3 Infant industry argument and the Fundamental theorems of welfare

#4-#6 Economic crisis from 1870's and the innovation of economics in 1930's

#7 The pricing strategy of monopoly firm and inefficiency

#8 Market power and the regulation of M&A

#9-#10 Price discrimination

#11 Decreasing cost industry and Natural monopoly

#12 Fair rate of return regulation and the Averch-Johnson effect

#13 Government failure, privatization and Deregulation

#14 Effect of entry and Contestable market theory

#15 Economic effect of the regulation of entry

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

5. 使用言語/Language Used in Course :

日本語

Japanese

6. 成績評価方法/Evaluation method :

1 または 2 回のレポートと、理解度確認セッションの成績に基づいて評価します。最終成績に占めるウェイトは、レポートが 20%、理解度確認セッションが 80% です。

担当教員の健康状態によっては変更になる可能性があります。

7. 教科書および参考書/Textbook and references :

プラクティカル産業組織論	泉田成美・柳川隆	有斐閣	2008 年	978-4-641- 12372-4	教科書
--------------	----------	-----	-----------	-----------------------	-----

8. 関連URL/URL :

9. 授業時間外学修/Preparation and Review :

十分な予習と復習を必要とします。

10. その他/In addition :

メディア授業科目 /Course of Media Class:

「ミクロ経済分析」「経済経営数学」を履修している、または履修中であることが望ましい。

E-mail: shigemi.izumida.d1@tohoku.ac.jp

オフィス・アワー; 金 12:15-13:00

履修者が 300 名を超えた場合、経済学部以外の学部からの履修を認めない場合があります。

【トピックス経済学】経済政策／産業組織論 II/Topics of Economics: Economic Policy/Industrial Organization II

担当教員/Instructor: 泉田 成美/SHIGEMI IZUMIDA

曜日・講時/Day/Period: 後期 金曜日 1 講時

対象学年/Eligible Participants: 2・3・4,

科目ナンバリング/Course Numbering: EAL-EC0215J, 単位数/Credit(s): 2

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class:

産業組織論はミクロ経済学と計量経済学の知識を利用して現実の企業行動や産業組織を分析する学問分野です。標準的なミクロ経済学では完全競争市場から分析を始めますが、現実の市場の多くは不完全競争市場であるため、不完全競争の経済理論を勉強した後でそれを実証的・政策的に応用していく必要があります。今学期の講義では、ゲーム理論の基礎と寡占市場理論およびその経済政策・競争政策的な問題を講義したいと思います。経済理論とともに、その現実への応用に興味のある学生の積極的な受講を期待します。

Industrial Organization is applied microeconomics related to the strategy of firm and the structure of market. In this course, students learn about the introduction of Game theory, Oligopoly market and the application to economic and/or competition policy.

2. 学修の到達目標/Goal of study:

ゲーム理論の基礎概念を理解できるようになる。

寡占市場の理論を理解できるようになる。

独占禁止政策の基礎的な概念を理解できるようになる。

Students will understand the basic concept of Game theory.

Students will understand the theory of oligopoly market.

Students will understand the basic concept of competition policy.

3. 授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class:

授業開講形態: BCP レベルが1または2のときは対面授業、BCP レベルが3以上になった場合には Google Meet によるオンライン授業とすることを予定しています。

Style of this Class: Online class using Google Meet and/or normal meeting face-to-face class

Google Classroom のクラスコード「mfbgcc6」(講義コード EB312)、「r6c46dc」(講義コード EB312X)。

Google Classroom's class code: mfbgcc6 (EB312), r6c46dc (EB312X)

現在のところ、次の内容で授業を進めていこうと考えています。

第1回 イントロダクション

第2回-第3回 ゲーム理論の基礎

第4回 クールノー寡占市場

第5回 シュタッケルベルク寡占市場

第6回 ベルトラン寡占市場

第7回 クレップス・シャインクマン・モデル

第8回-第9回 カルテル

第10回 集中度

第11回 市場範囲の確定

第12回 合併

第13回 企業結合規制

第14回 寡占企業の戦略的行動

第15回 垂直的な統合と制限

学生の反応・理解度、教員の健康状態等の影響によって内容が変更される可能性があります。

The contents and schedule are as shown below:

#1 Introduction

#2-#3 The basic concept of Game theory

#4 Cournot oligopoly model

#5 Stackelberg oligopoly model

#6 Bertrand oligopoly model

#7 Kreps and Scheinkman model

#8-#9 Cartel

#10 Concentration

#11 Market definition

#12 Merger and Acquisition (M&A)

#13 The regulation of Business Combination

#14 Strategic behavior of firms

#15 Vertical integration and restraint

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○"Indicates the practical business

5. 使用言語/Language Used in Course :

日本語

Japanese

6. 成績評価方法/Evaluation method :

1 または 2 回のレポートと、理解度確認セッションの成績に基づいて評価します。最終成績に占めるウェイトは、レポートが 20%、理解度確認セッションが 80% です。

担当教員の健康状態によっては変更になる可能性があります。

7. 教科書および参考書/Textbook and references :

プラクティカル産業組織論	泉田成美・柳川隆	有斐閣	2008 年	978-4-641- 12372-4	教科書
--------------	----------	-----	-----------	-----------------------	-----

8. 関連URL/URL :

9. 授業時間外学修/Preparation and Review :

十分な予習と復習を必要とします。

10. その他/In addition :

メディア授業科目 /Course of Media Class:

「ミクロ経済分析」「経済経営数学」「【トピックス経済学】経済政策／産業組織論 I」を履修していることが望ましい。

E-mail: shigemi.izumida.d1@tohoku.ac.jp

オフィス・アワー；金 12:15-13:00

履修者が 300 名を超えた場合、経済学部以外の学部からの履修を認めない場合があります。

損害保険概論/Introduction to General insurance (non-life insurance)

担当教員/Instructor: 生駒 新一/SHINICHI IKOMA

曜日・講時/Day/Period: 後期 火曜日 4 講時

対象学年/Eligible Participants: 2・3・4,

科目ナンバリング/Course Numbering: EAL-EC0225J, 単位数/Credit(s): 2

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class:

この授業の目的は、損害保険全般について幅広く学ぶとともに、各種のリスクに注目したうえで、リスクに対する備えについて考える機会とする。

授業は、損害保険の仕組みなどの概要、損害保険商品の内容とその社会的・経済的な役割を学ぶとともに、損害保険業界をとりまく環境や展望などについても概観する。

The objective of the class is to provide students with the opportunities to gain extensive knowledge on general insurance and to contemplate on risk preparedness against a backdrop of emergence of various risks in the society. The class will also provide the students with the basic mechanism of how general insurance works, the content and socio-economic function of general insurance products as well as the current situation and the future prospects of the general insurance industry.

2. 学修の到達目標/Goal of study:

損害保険全般の知識の習得と、将来、社会人として損害保険を効果的に活用できる知識の習得を目指す。

The goal of the study is to obtain general understanding of general insurance including the knowledge necessary to effectively utilize general insurance products in our social lives.

3. 授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class:

この授業は、一般社団法人 日本損害保険協会 (<https://www.sonpo.or.jp/>) が提供する。

各回の授業は、日本損害保険協会の講師を中心に、実務に精通する(実務経験を有する)様々な損害保険関係者がオムニバス形式で専門テーマの講義を行なう。

The class is sponsored by the General Insurance Association of Japan (<https://www.sonpo.or.jp/en/>).

The class will be provided in an "omnibus format" where different lecturers, mainly from the General Insurance Association, with expertise in respective areas will deliver lectures on the given themes.

講義は、原則、対面授業とするが講義室の定員を超える登録があった場合は、対面とオンラインのローテーション方式あるいは全講義をオンライン方式とすることがある(オンライン授業はオンデマンド方式)。

なお、講義で使用する資料は、原則として Google Classroom (classroom コード:) または ISTU に事前添付する。

1. ガイダンス
2. 保険の仕組み、役割
3. 保険に関する法律(保険業法・保険法)
4. 防災・減災(報道の視点を中心に)
5. すまいの保険(火災保険)
6. すまいの保険(地震保険)
7. くるまの保険(自賠責保険)
8. くるまの保険(自動車保険)
9. からだの保険(傷害保険・医療保険・海外旅行保険)
10. 企業分野の保険
11. 保険会社の業務
12. 損害調査業務
13. 代理店の業務
14. 損害保険会社の経営
15. 理解度確認セッション

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

○

5. 使用言語/Language Used in Course:

講義、理解度確認セッションともに日本語

6. 成績評価方法/Evaluation method:

理解度確認セッション(筆記)を8割とする。

その他2割はいくつかの講義の際に授業の所感を確認するので、その提出回数・記載の内容を勘案して配点する。

確認方法は、オンライン授業は電子メール、対面授業は所定の用紙による提出とする。

7. 教科書および参考書/Textbook and references:

8. 関連URL/URL :

9. 授業時間外学修/Preparation and Review :

10. その他/In addition :

メディア授業科目 /Course of Media Class:

この科目は一般社団法人 日本損害保険協会により提供されています。

ツーリズムとインバウンドの経済学 I / Economics of Tourism and Inbound 1

担当教員/Instructor : 吉田 浩/HIROSHI YOSHIDA

曜日・講時/Day/Period : 前期 木曜日 3 講時

対象学年/Eligible Participants : 2・3・4,

科目ナンバリング/Course Numbering : EAL-ECM228J, 単位数/Credit(s) : 2

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class :

- ・インバウンドとは、訪日外国人観光客のことです。新型コロナウイルスの流行により、観光経済は大きな打撃を受けました。政府（観光庁）をはじめ、全国の各自治体でポストコロナ GO TO キャンペーン等インバウンドにもとづく地域経済の回復が求められています。
- ・このような社会情勢に対応して、地域の観光事業を推進できる人材を育成するため、観光産業への理解の促進を図る講義と企画をセットした教育を行います。
- ・観光、運輸、サービス関係だけでなく、金融、官公庁、製造業に就職する人も、インバウンドの知識はビジネスチャンスや地域振興に有用です。

This lecture aims to lecture the economic aspects of tourism as an industry, Especially we aim to promote the tourism in Tohoku area through real activities, even in the station and trains.

2. 学修の到達目標/Goal of study :

- ・観光経済学、インバウンドの内容を理解し、観光を産業としてみる知識の習得。
- ・本年度は、学生ならではの若くフレッシュな発想で、東北地方のポストコロナのインバウンドに役に立つアイデアを話し合い、企画します。
- ・学期末に皆さんのユニークな企画を提案し、商品化や政策立案のヒントとして活用してもらう予定です。
- ・自分のアイデアや発想を形にするチャンスですので、好奇心を持って楽しんで受講してください。
- ・Acquisition of knowledge about tourism economics, understanding of inbound tourism, and considering tourism as an industry.
- ・This year, we will discuss and develop useful ideas for post-corona inbound in the Tohoku region with your unique ideas.
- ・At the end of the semester, we plan to propose your unique projects and use them as hints for commercialization and policy making.
- ・Because it is an opportunity to give form to your own ideas and ideas, I hope you will be curious and enjoy the course.

3. 授業内容・方法と進捗予定/Contents and progress schedule of the class :

- 1 イントロダクション (1)
- 2 イントロダクション (2)
- 3 東北の観光における課題
- 4 GW の課題
- 5 イベント企画グループワーク 1
- 6 イベント企画グループワーク 2
- 7 イベント企画グループワーク 3
- 8 イベント実施 ; JR 仙台駅
- 9 仙台・宮城の観光資源
- 10 JR 事業紹介
- 11 イベント企画グループワーク 4
- 12 イベント企画グループワーク 5
- 13 イベント企画グループワーク 6
- 14 イベント実施 : JR 陸羽東線
- 15 課題報告

- 1 Introduction (1)
- 2 Introduction (2)
- 3 Issues in tourism in Tohoku district
- 4 Homework of the Golden Week Holidays
- 5 Group work for event planning 1
- 6 Group work for event planning 2
- 7 Group work for event planning 3
- 8 Executing the event in JR Sendai Station
- 9 Learning Tourism resources in Sendai and Miyagi
- 10 Introducing the Business of the JR East.
- 11 Group work for event planning 4
- 12 Group work for event planning 5
- 13 Group work for event planning 6
- 14 Executing the event in JR Rikuu East Line
- 15 Project final report

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

○

5. 使用言語/Language Used in Course :

日本語

6. 成績評価方法/Evaluation method :

グループワークにもとづき

イベント実施 ; JR 仙台駅

イベント実施 : JR 陸羽東線

を行い、結果をレポート をオンラインで提出。

筆記試験はありません。

Based on your attendance and results of the group work for idea planning and execution. You put the final report.

We do not plan to execute a writing exam.

7. 教科書および参考書/Textbook and references :

8. 関連URL/URL :

Google Class

<https://classroom.google.com/c/NTg40Dgw0DA00DY3?cjc=ykr3wvc>

9. 授業時間外学修/Preparation and Review :

地域経済に関するニュースと東北の観光情報の積極的収集を心がけてください。

10. その他/In addition :

メディア授業科目 /Course of Media Class:

1. 本講義は、J R 東日本のご厚意で寄付講義として実施されるものです。

2. イベント企画に参加が必要です。

1. This lecture is powered by the Japan East Railway company (JR East)

2. You can not obtain a credit without participating the event activities.

ツーリズムとインバウンドの経済学Ⅱ/Economics of Tourism and Inbound 2

担当教員/Instructor: 吉田 浩/HIROSHI YOSHIDA

曜日・講時/Day/Period: 後期 木曜日 4 講時

対象学年/Eligible Participants: 2・3・4,

科目ナンバリング/Course Numbering: EAL-ECM229J, 単位数/Credit(s): 2

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class:

- ・インバウンドとは、訪日外国人観光客のことです。新型コロナウイルスの流行により、観光経済は大きな打撃を受けました。政府（観光庁）をはじめ、全国の各自治体でポストコロナ GO TO キャンペーン等インバウンドにもとづく地域経済の回復が求められています。
- ・このような社会情勢に対応して、地域の観光事業を推進できる人材を育成するため、観光産業への理解の促進を図る講義と企画をセットした教育を行います。
- ・観光、運輸、サービス関係だけでなく、金融、官公庁、製造業に就職する人も、インバウンドの知識はビジネスチャンスや地域振興に有用です。

This lecture aims to lecture the economic aspects of tourism as an industry. Especially we aim to promote tourism in the Tohoku area through real activities, events in the station and trains.

2. 学修の到達目標/Goal of study:

- ・観光経済学、インバウンドの内容を理解し、観光を産業としてみる知識の習得。
- ・本年度は、学生ならではの若くフレッシュな発想で、東北地方のポストコロナのインバウンドに役に立つアイデアを話し合い、企画します。
- ・学期末に皆さんのユニークな企画を提案し、商品化や政策立案のヒントとして活用してもらう予定です。
- ・自分のアイデアや発想を形にするチャンスですので、好奇心を持って楽しんで受講してください。
- ・Acquisition of knowledge about tourism economics, understanding of inbound tourism, and considering tourism as an industry.
- ・This year, we will discuss and develop useful ideas for post-corona inbound in the Tohoku region with your unique ideas.
- ・At the end of the semester, we plan to propose your unique projects and use them as hints for commercialization and policy making.
- ・Because it is an opportunity to give form to your own ideas and ideas, I hope you will be curious and enjoy the course.

3. 授業内容・方法と進捗予定/Contents and progress schedule of the class:

- 1 イントロダクション (1)
- 2 イントロダクション (2)
- 3 東北の観光における課題
- 4 イベント企画グループワーク 1
- 5 イベント企画グループワーク 2
- 6 イベント企画グループワーク 3
- 7 イベント実施; JR 仙台駅
- 8 仙台・宮城の観光資源
- 9 仙台市ビジネス表彰コンテスト応募
- 10 JR 事業紹介
- 11 イベント企画グループワーク 3
- 12 イベント企画グループワーク 4
- 13 イベント企画グループワーク 5
- 14 イベント実施: JR 陸羽東線 (予定)
- 15 課題報告

- 1 Introduction (1)
- 2 Introduction (2)
- 3 Issues in tourism in Tohoku district
- 4 Homework of the Golden Week Holidays
- 5 Group work for event planning 1
- 6 Group work for event planning 2
- 7 Group work for event planning 3
- 8 Executing the event in JR Sendai Station
- 9 Applying business idea competition in Sendai city
- 10 Introducing the Business of the JR East.
- 11 Group work for event planning 4
- 12 Group work for event planning 5
- 13 Group work for event planning 6
- 14 Executing the event in JR Rikuu East Line (tentative)
- 15 Project final report

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

○

5. 使用言語/Language Used in Course :

日本語

6. 成績評価方法/Evaluation method :

グループワークにもとづき

イベント実施 ; JR 仙台駅

イベント実施 : JR 陸羽東線 (予定)

を行い、結果をレポート をオンラインで提出。

筆記試験はありません。

Based on your attendance and results of the group work for idea planning and execution. You put the final report.

We do not plan to execute a writing exam.

7. 教科書および参考書/Textbook and references :

8. 関連URL/URL :

Google Class

<https://classroom.google.com/c/NTg40Dcz0DEwMTU4?cjc=rnccacz>

9. 授業時間外学修/Preparation and Review :

地域経済に関するニュースと東北の観光情報の積極的収集を心がけてください。

10. その他/In addition :

メディア授業科目 /Course of Media Class:

1. 本講義は、J R 東日本のご厚意で寄付講義として実施されるものです。

2. イベント企画に参加が必要です。

1. This lecture is powered by the Japan East Railway company (JR East)

2. You can not obtain a credit without participating the event activities.

生命保険経営概論/Introduction to Life Insurance business management

担当教員/Instructor: 河島 鉄郎・高浦 康有/TETSURO KAWASHIMA,

YASUNARI TAKAURA

曜日・講時/Day/Period: 前期 木曜日 5 講時

対象学年/Eligible Participants: 2・3・4,

科目ナンバリング/Course Numbering: EAL-ECM213J, 単位数/Credit(s): 2

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class:

Google Classroom: classroom コードは「gi6eidi」

この授業の目的は、以下の3点。

1. 各種基礎知識（金融工学、経営学、財務管理会計）が会社運営の実務にどう活用されているかを学習。
2. 商品開発、リスク管理など生命保険分野の業務全般に関わる実践的知識と事業環境の動向に関わる知識習得。
3. 今後、学生が体験する企業インターンシップや就職活動の事前準備としての各種情報提供および意見交換。

Following 3 points are the objectives of this lecture.

1. Learn how each basic knowledge (Financial Engineering, Business Economics, Financial Management Economics) is used in business operation.
2. Acquire working knowledge in all aspects of life insurance business such as product development, risk management and current business environment trend.
3. Dialogue and various information sharing for preparing company's internship program and job-hunting.

2. 学修の到達目標/Goal of study:

この授業の到達目的は、以下の3点。

1. 会社運営の実務に必要とされる各種基礎知識について数値を用いた演習及びその理解。
2. 業務全般に関して授業を通じて得た知識を用い、自らの考え方をロジカルに構成できること。
3. 卒業後の人生設計において、一定の指針を身に付けられること。

Following 3 points are the goal of study.

1. Practice using the value of basic knowledge needed in actual business operation, and understand them.
2. Enable to construct your own logical thinking in all aspects of business using the knowledge achieved in this course.
3. Establish a guiding principle for making a life plan after graduation.

3. 授業内容・方法と進捗予定/Contents and progress schedule of the class:

講義の流れ: 1つの講義は4つのパーツで構成。

- A) 各種基礎知識（例: 統計学）から実務で活用されているアイテムを復習/学習。
- B) それらが実務（例: 商品開発）においてどう活用されているか紹介。
- C) 事例に対し、皆様の視点から批評（肯定的/否定的等）を実施し、自らがその実務の立場に立った場合どうするか考察。
- D) 社員の立場からの各種情報提供/意見交換（例: 会社生活/就職活動等）。

授業スケジュール。

1. ガイダンス
2. 確率・統計 1/2
3. 確率・統計 2/2
4. 金融 1/2
5. 金融 2/2
6. 財務会計 1/2
7. 財務会計 2/2
8. 管理会計
9. 経済 1/2
10. 経済 2/2
11. マーケティング 1/2
12. マーケティング 2/2
- 13-15. サマリ

Each lecture is constructed in four parts.

- A) Learn/ review useful cases from each basic knowledge (ex. Statistics).
- B) Introduce how these topics are practically used in life insurance business (ex. Product development).
- C) Consider how you would react actually when you are responsible for this business, making a comment (positive/negative, etc.) from each point of view.
- D) Dialogue/ various information sharing from AXA Life employees (ex: Business career/Job-hunting, etc.)

Progress schedule of the class.

1. Guidance
2. Probability and Statistics 1/2
3. Probability and Statistics 2/2
4. Finance 1/2

5. Finance2/2
6. Financial Accounting 1/2
7. Financial Accounting 2/2
8. Managment Accounting
9. Economics 1/2
10. Economics 2/2
11. Marketing 1/2
12. Marketing 2/2
- 13-15. Summary

4. 実務・実践的授業/Practicalbusiness

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"○"Indicatesthe practicalbusiness

○

5. 使用言語/Language Used in Course :

授業及びレポート共に日本語とする。

Lecture and report both in Japanese.

6. 成績評価方法/Evaluation method :

以下3点から総合的に判断（最終理解度確認セッションは実施しない）

1. 出席状況
2. 各授業後に出されるレポート
3. 全体を通した最終レポート

Comprehensively evaluated by following 3 points (No test nor session for final comprehension);

1. Attendance record
2. Each report submitted after the lecture
3. Final report

7. 教科書および参考書/Textbook and references :

8. 関連URL/URL :

9. 授業時間外学修/Preparation and Review :

毎授業後に期限を設けて、課題を設定する予定。

An assignment will be set with deadline after each lecture.

10. その他/In addition :

メディア授業科目 /Course of Media Class:

ビジネスデータ科学/Business Data Science

担当教員/Instructor : 高橋 蔵人/KURANDO TAKAHASHI

曜日・講時/Day/Period : 前期 木曜日 4 講時. 前期 木曜日 5 講時

対象学年/Eligible Participants : 2・3・4,

科目ナンバリング/Course Numbering : EAL-MAN227J, 単位数/Credit(s) : 2

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class :

Google Classroom : dvcs36v

大学が取り組む AI 人材育成には大きな課題が 2 つあります。

1 つ目、AI を扱うためには Python 等、プログラミングのスキルが必須であること。よってプログラミングができない、もしくは苦手な学生が取り残されるということ。2 つ目に、AI が「いま」、ビジネスや社会の分野でどのように活用されているかについて、具体例を持って教えることが難しいということ。

「ビジネスデータ科学」は、2019 年から上述の課題を解決するために開講され、本年度で 5 年目の講義です。当講義を受講することで、経済学部等文系学部生でも AI (機械学習) を扱うことができるようになります。またビジネスの抱える課題を、データや AI (機械学習) を活用し、どのように解決するのかを捉えることができますようになります。授業では、AI 専門家だけでなく数クリックのマウス操作で、AI の学習済みモデルを構築することができる自動機械学習ソフトウェア (「Learning Center」) を活用します。プログラミング知識のない学生でも、AI 学習済みモデルの一連の流れを簡単に「体験」することができ、AI に興味を持つ学生数を飛躍的に向上できると考えております。

本年度も AI をビジネスで活用している大手企業などとセッションを設ける予定です。また、地元企業などとも連携し、企業が抱える課題解決や新規ビジネス創出に、どのように AI を活用するかといった提案をしてもらう予定です。

<English>

Not only Japan, but worldwide, lack of number of Data Scientists is the serious issue. To solve the issue, we, aiforce solutions Inc., open the Business Data Science course in order to educate students to have AI reteracy.

"Learning Center", an automated machine learning tool developed by AIinside inc, will be used in the course therefore no programing skill is required.

At the end of the course students will have to present to local companies to solve their issues using AI.

2. 学修の到達目標/Goal of study :

学修の到達目標は、大きく 2 つです。

・複数の機械学習・深層学習アルゴリズムを利用して、自らデータの前処理、可視化、モデリングができるようになること (プログラミング知識不問。自動機械学習ソフトウェア (AMATERAS RAY) を活用します)

・AI でできることを理解したうえで、AI を活用した企業の課題解決や新規ビジネス創出の提案ができるようになること

<English>

・Students will be able to predict/classify itmes using maching learning and deep learning algorithms.

・Students will be able to present AI solutions to companies.

3. 授業内容・方法と進捗予定/Contents and progress schedule of the class :

授業は基本的に講義・ワークショップ・ハンズオン形式で進めます。内容はビジネスの実業務で、AI コンサルタントやデータサイエンティストが身につけるべき基本的なスキル (以下) をベースに、適宜履修生の状況に合わせる予定です。

<English>

The course will be based on lectures , workshops and presentations. The contents may be changed according to students' understanding of the contents.

第 1 回

1. オリエンテーション・Q&A
2. オリエンテーション・Q&A

第 2 回

3. 【ビジネス構想力】デジタル時代ビジネスモデルの理解① : DX 概論
4. 【ビジネス構想力】デジタル時代ビジネスモデルの理解② : AI の機能理解

第 3 回

5. 【ビジネス推進力】ビジネス課題解決手法 : 問題解決手法 (コンサルティングメソドロジー)
6. 【データサイエンス】AI テクノロジー概論

第 4 回

7. 【データサイエンス】現状分析 : データから課題を見出す
8. 【データサイエンス】現状分析 : データから課題を見出す

第5回

9. 【ビジネス構想力】ビジネス環境の理解：地元企業を理解する
10. 【データサイエンス】AI（機械学習）のビジネス活用

第6回

11. 【データサイエンス】AI（機械学習）でAIモデルを作ってみよう①
12. 【データサイエンス】AI（機械学習）でAIモデルを作ってみよう②

第7回

13. グループワーク① - プレゼンテーション準備
14. グループワーク② - プレゼンテーション準備

第8回

15. 地元企業に対し、データやAIを活用したプレゼンテーション

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicate the practical business

○

5. 使用言語/Language Used in Course :

日本語

6. 成績評価方法/Evaluation method :

提出物・小テスト・出席 30%
プレゼンテーション 40%
データ分析課題（学習済みモデルの構築・ケース） 30%

7. 教科書および参考書/Textbook and references :

シン・ニホン	安宅和人	NewsPicks パブリッシング	2020	9784910063041	参考図書
イシューからはじめよ	安宅和人	英治出版	2010	9784862760852	参考図書
仕事ではじめる機械学習	有賀 康顕	オライリージャパン	2018	4873118255	参考図書

8. 関連URL/URL :

9. 授業時間外学修/Preparation and Review :

参考図書について一点。文章は難しく感じるかもしれません。「予習で自分で教科書を読んで理解しよう」とは考えないでください。授業で取り上げ、かみ砕いて説明した箇所を、後で自分で見返してみる、という姿勢でいてください。

講義後半では、企業に対し、AI活用の提案をするため、時間外での企業調査やデータ分析が想定されます。

10. その他/In addition :

メディア授業科目 /Course of Media Class:

Topics in Economic Theory/Topics in Economic Theory

担当教員/Instructor: 図斎 大/DAI ZUSAI

曜日・講時/Day/Period: 後期 木曜日 2 講時

対象学年/Eligible Participants: 3・4,

科目ナンバリング/Course Numbering: EAL-ECM326E, 単位数/Credit(s): 2

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class:

This course is a cross listing of a graduate (GPEM) course with the same course title/subject. It will be taught in English and will follow the syllabus of the graduate course. Find it in the graduate course catalog and refer to it. Below is only an advertisement in Japanese.

このコースは修士・学部上級レベルの経済理論（特にゲーム理論）と必要な数学をすでに習得している学生を対象に、理論分野での論文・研究書を精読する授業です。広く浅い知識を獲得するよりも、研究者として学術的に貢献することをゴールとする学生に対して、既存研究を批判的かつ建設的に深く論理の深層まで理解し、そしてそれを応用あるいは発展させるための素養を訓練することを目標にします。

科目名を同じくする大学院特別講義と同じ授業であり、英語の講義となります。授業の公式なポリシーとなるシラバスのすべての項目について大学院のシラバスに従うので、(むしろそちらこそ) 必ず読み理解しておいて下さい。また外部のウェブサイトを利用するので、「その他」の見出し以下の指示に従って下さい。

2. 学修の到達目標/Goal of study:

3. 授業内容・方法と進捗予定/Contents and progress schedule of the class:

大学院シラバスを参照。

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

5. 使用言語/Language Used in Course:

クラスでは英語を専ら利用します。もしも日本語で同様の内容を習得しているか自信があれば、英語のトレーニングとして活用できるでしょう。

6. 成績評価方法/Evaluation method:

大学院シラバスを参照。

7. 教科書および参考書/Textbook and references:

大学院シラバスを参照。

活かすゲーム理論

浅古・図斎・森谷

有斐閣

2023

978-4-641-
200005-0

参考書

8. 関連URL/URL:

9. 授業時間外学修/Preparation and Review:

参考文献を読むことを含めた予復習、そしてクラスの議論への積極的参加が要求されます。講義や他の受講者のプレゼンテーションを聞くだけの受け身な受講や、プレゼンテーションなどの参加義務の放棄がないように計画してください。

10. その他/In addition:

メディア授業科目 /Course of Media Class:

米国で広く使われている Canvas という LMS を使います(対面授業を行うとしても)。東北大の履修システムとはリンクしておらず、担当教員から個別に招待を送る必要があります。したがって、大学院シラバスの「関連 URL」の指示に従い、招待の request form に答えることが、(教務への履修登録と共に) 受講のために必要となる第一のプロセスです。教務への履修登録をしつつも request form に答えない場合でも、履修取り消しとはみなしません。(当然、そのまま学期が終わった場合には、課題・試験を未了で終わるので 0 点での不合格とします。) したがって、履修を取り消したい場合には必ず教務係での公式な取り消しの手続きと教官への連絡を忘れぬよう。

Math for Formal Econ/Mathematics for formal economic modeling and analysis

担当教員/Instructor: 図斎 大/DAI ZUSAI

曜日・講時/Day/Period: 前期 水曜日 1 講時

対象学年/Eligible Participants: 3・4,

科目ナンバリング/Course Numbering: EAL-ECM328E, 単位数/Credit(s): 2

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class:

This course is a cross listing of a graduate (GPEM) course with the same course title/subject. It will be taught in English and will follow the syllabus of the graduate course. Find it in the graduate course catalog and refer to it. Below is only an advertisement in Japanese.

科目名を同じくする大学院特別講義と同じ授業であり、英語の講義となります。授業の公式なポリシーとなるシラバスのすべての項目について大学院のシラバスに従うので、(むしろそちらこそ) 必ず読み理解しておいて下さい。また外部のウェブサイトを利用するので、「URL」の見出し以下の指示に従って下さい。以下は、授業の公式なポリシーというよりも、日本語での(特に学部生への) 宣伝文として理解してください。

経済学においては数学は、計算・数理的分析のための道具であるとともに、そもそもモデルや分析の論理を表現する言語です。このコースでは数学を読み書きする言語として慣れ親しむことを最重点の目標に置きます。具体的な数学の内容としては最適化・均衡の存在といった経済理論の基礎に必要となることをカバーし、また応用例においてはミクロ経済理論・ゲーム理論を主に取り上げます。抽象的な問題・証明問題を中心として論理的・記法的な厳密さに重きを置き、それらについて意識的な訓練を行います。既に計算手法は習得したものの、例えば学術論文や大学院レベルの教科書を読むのには自信がまだないという学生をターゲットにしています。また、授業等では英語を用います。副次的ですが、数学については(抽象数学・論理的厳密さについても) 自信があるという方でも、数学をコミュニケーションの助けとして英語に慣れるきっかけになるでしょう。

2. 学修の到達目標/Goal of study:

大学院シラバスを参照。

3. 授業内容・方法と進捗予定/Contents and progress schedule of the class:

大学院シラバスを参照。

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

5. 使用言語/Language Used in Course:

クラスでは英語を専ら利用します。もしも日本語で同様の内容を習得しているか自信があれば、英語のトレーニングとして活用できるでしょう。

6. 成績評価方法/Evaluation method:

大学院シラバスを参照。

7. 教科書および参考書/Textbook and references:

8. 関連URL/URL:

9. 授業時間外学修/Preparation and Review:

参考文献を読むことを含めた予復習、そしてクラスの議論への積極的参加が要求されます。講義や他の受講者のプレゼンテーションを聞くだけの受け身な受講や、プレゼンテーションなどの参加義務の放棄がないように計画してください。

10. その他/In addition:

メディア授業科目 /Course of Media Class:

米国で広く使われている Canvas という LMS を使います(対面授業を行うとしても)。東北大の履修システムとはリンクしておらず、担当教員から個別に招待を送る必要があります。したがって、大学院シラバスの「関連 URL」の指示に従い、招待の request form に答えることが、(教務への履修登録と共に) 受講のために必要となる第一のプロセスです。受講しようか迷っている方もその form から問い合わせてください。教務への履修登録をしつつも request form に答えない場合でも、履修取り消しとはみなしません(当然、そのまま学期が終わった場合には、課題・試験を未了で終わるので 0 点での不合格になります)。したがって、履修を取り消したい場合には必ず教官へ連絡してください。

Computational model/Computational modeling and simulation

担当教員/Instructor: 図斎 大/DAI ZUSAI

曜日・講時/Day/Period: 前期 木曜日 2 講時

対象学年/Eligible Participants: 3・4,

科目ナンバリング/Course Numbering: EAL-ECM329E, 単位数/Credit(s): 2

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class:

This course is a cross listing of a graduate (GPEM) course with the same course title/subject. It will be taught in English and will follow the syllabus of the graduate course. Find it in the graduate course catalog and refer to it. Below is only an advertisement in Japanese.

同じ科目名の大学院特別講義と同じ授業であり、英語の講義となります。授業の公式なポリシーとなるシラバスのすべての項目について大学院のシラバスに従うので、(むしろそちらこそ) 必ず読み理解しておいて下さい。また外部のウェブサイトを利用するので、「URL」の見出し以下の指示に従って下さい。以下は、授業の公式なポリシーというよりも、日本語での(特に学部生への) 宣伝文として理解してください。

このコースは、数学の代わりにプログラミングによって経済理論のモデルの立て方を学びます。具体的には Python というプログラミング言語を用いて、ゲーム理論・市場均衡理論での標準的なモデルの構造を理解し、そしてさらには(時間の許す限り) いくつかの学術論文を題材にして理論モデルをプログラミングで表現することを目指します。そうして組み立てた計算モデルをシミュレーションで分析します。(近似的なシミュレーションを厳密な理論解と接続するために、私の専門である進化・学習動学に関するゲーム理論を随時紹介します。) コンピューターへの慣れ(たとえば新しいアプリのインストールを自力でできるとか、必要に応じて技術的情報をインターネットや本から自習するとか) は前提になりますが、Python 自体の知識は特に要求しません。ただ主眼は経済理論のモデリング自体にあります。従って、Python について体系的に学びたい、高度な技術(特に何らかのライブラリ)を教わりたいという方は、そこに行きつくまでのきっかけとして捉えてください。またこの授業では英語を使います。経済理論・プログラミングに自信のある方なら、それを武器にして英語に慣れ親しむことを目的としてこの授業をとるというのも良いでしょう。最後に、もしも大学院レベルの学習に向けてもっと英語で準備したい、あるいは特に証明問題などで数学的リテラシーを磨きたい方は、Mathematics for Formal Economic Modeling の受講も検討してください。

2. 学修の到達目標/Goal of study:

大学院シラバスを参照。

3. 授業内容・方法と進捗予定/Contents and progress schedule of the class:

大学院シラバスを参照。

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

5. 使用言語/Language Used in Course:

クラスでは英語を専ら利用します。もしも日本語で同様の内容を習得しているか自信があれば、英語のトレーニングとして活用できるでしょう。

6. 成績評価方法/Evaluation method:

7. 教科書および参考書/Textbook and references:

大学院シラバスを参照。

活かすゲーム理論

浅古・図斎・森谷

有斐閣

2023

978-4-641-
200005-0

参考書(ゲーム理
論と進化動学の
入門)

8. 関連URL/URL:

9. 授業時間外学修/Preparation and Review:

参考文献を読むことを含めた予復習、そしてクラスの議論への積極的参加が要求されます。講義や他の受講者のプレゼンテーションを聞くだけの受け身な受講や、プレゼンテーションなどの参加義務の放棄がないように計画してください。

10. その他/In addition:

メディア授業科目 /Course of Media Class:

米国で広く使われている Canvas という LMS を使います(対面授業を行うとしても)。東北大の履修システムとはリンクしておらず、担当教員から個別に招待を送る必要があります。したがって、大学院シラバスの「関連 URL」の指示に従い、招待の request form に答えることが、(教務への履修登録と共に) 受講のために必要となる第一のプロセスです。受講しようか迷っている方もその form から問い合わせてください。教務への履修登録をしつつも request form に答えない場合でも、履修取り消しとはみなしません(当然、そのまま学期が終わった場合には、課題・試験を未了で終わるので 0 点での不合格になります)。

したがって、履修を取り消したい場合には必ず教官へ連絡してください。

ファミリー・エコノミクス/Family Economics

担当教員/Instructor: 陳 鳳明/FENGMING CHEN

曜日・講時/Day/Period: 後期 月曜日 3 講時

対象学年/Eligible Participants: 2・3・4,

科目ナンバリング/Course Numbering: EAL-EC0223J, 単位数/Credit(s): 2

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class:

世界中で出生率の低下が進行している中、子育て支援の関連政策はますます重視されている。本講義は世の中で実施されている複数の子育て支援政策に注目し、経済学見地からこれらの政策を評価する方法について学ぶ。

As birth rates continue to decline worldwide, more and more emphasis is being placed on policies related to childcare support. In this lecture, we will focus on several child-rearing support policies implemented worldwide and learn how to evaluate these policies from an economic perspective.

2. 学修の到達目標/Goal of study:

以下の2点を目標とする。

- (1) 実証研究の中で頻繁に使われている政策評価方法を修得する。
- (2) レポート作成を通じて、学術論文の書き方を修得する。

- (1) Master the policy evaluation methods frequently used in empirical research.
- (2) Learn how to write academic papers through report writing.

3. 授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class:

1. ガイダンス
2. 経済学の実証分析（因果推論の基礎）I
3. 経済学の実証分析（因果推論の基礎）II
4. 少子化の現状
5. 現金給付
6. 保育支援
7. ジェンダー
8. 育休政策
9. 幼児教育
10. 保育園通いの効果
11. 育休制度の就業支援効果
12. 育休の逆効果
13. 保育改革と母親の就業
14. 日本の保育制度
15. まとめ

1. Guidance
2. Empirical analysis of economics (fundamentals of causal inference) I
3. Empirical analysis of economics (basis of causal inference) II
4. Current status of declining birthrate
5. Cash transfers
6. Childcare support
7. Gender
8. Maternity leave policy
9. Early childhood education
10. Effects of attending preschool
11. Effects of maternity leave on employment support
12. Reverse effects of maternity leave
13. Childcare reform and maternal employment
14. Japan's childcare system
15. Summary

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

5. 使用言語/Language Used in Course:

日本語

6. 成績評価方法/Evaluation method:

各回の出席状況と期末レポート

Class participation and submission of the final report.

7. 教科書および参考書/Textbook and references:

『子育て支援の経済学』 山口慎太郎 日本評論社 2021 978-4-535- 教科書

8. 関連URL/URL :

授業に関する連絡や資料配布は Google Classroom を用いて行う。Classroom のクラスコードは【piiyvhb】である。

9. 授業時間外学修/Preparation and Review :**10. その他/In addition :**

メディア授業科目 /Course of Media Class:

Social Research Methods/Social Research Methods

担当教員/Instructor : NGUYEN KIM NGAN/NGUYEN KIM NGAN

曜日・講時/Day/Period : 前期 水曜日 4 講時

対象学年/Eligible Participants : 3・4,

科目ナンバリング/Course Numbering : EAL-ECM327E, 単位数/Credit(s) : 2

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class :

This course aims to provide the understanding of social research methods. It focuses on developing students' skills to conduct their social research.

****Please join the google classroom to update all important information about the course. Class code: 7rqqs2y

2. 学修の到達目標/Goal of study :

At the end of this course, students are expected to

- ・ Understand when and which specific research method should be used.
- ・ Grasp the concepts and implementation guidelines in qualitative, quantitative and mixed methods
- ・ Know how to draw a roadmap for conducting the social research from ideas to research design, planning and implementation

3. 授業内容・方法と進捗予定/Contents and progress schedule of the class :

In this course, while the lecturer gives lessons, students have to discuss in groups and present their ideas to deepen their understanding and improve skills. The tentative schedule is as follows.

1. Social Research Process & Strategies
2. Research Design
3. Planning a Research Project
4. Reviewing the Literature
5. Quantitative Research 1: Process & Sampling
6. Quantitative Research 2: Asking questions
7. Quantitative Research 3: Structure Observation & Content Analysis
8. Quantitative Research 4: Quantitative Data Analysis
9. Qualitative Research 1: Process & Sampling
10. Qualitative Research 2: Interviewing
11. Qualitative Research 3: Language and Document Analysis
12. Qualitative Research 4: Qualitative Data Analysis
13. The Quantitative/Qualitative Divide & Mixed Methods
14. Writing up Social Research
15. Final Report Submission

4. 実務・実践的授業/Practicalbusiness

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"○"Indicatesthe practicalbusiness

5. 使用言語/Language Used in Course :

English

6. 成績評価方法/Evaluation method :

Evaluation is based on student's attendance, discussion participation, weekly assignments, and a final report. No written examinations. The details will be announced at the first class.

7. 教科書および参考書/Textbook and references :

Social Research Methods	Bryman, A.	Oxford	2012	9780199588053	Textbook
		University Press			

8. 関連URL/URL :

9. 授業時間外学修/Preparation and Review :

Lecture slides are available on the Google Classroom. Students are advised to download and check the lecture slides in advance and review them after classes.

10. その他/In addition :

メディア授業科目 /Course of Media Class:

***Please join the google classroom to update all important information about the course. Class code: 7rqqs2y

How to describe the class environment? friendly and interactive

What to pay attention to:

- Registration should be done before the deadline (updating later)
- During the semester, the class organization is subject to change according to Covid 19 situations
- Further information is also available via Instruction Section Bulletin Board (教務係揭示板)

Introduction to Management/Introduction to Management

担当教員/Instructor : NGUYEN KIM NGAN/NGUYEN KIM NGAN

曜日・講時/Day/Period : 後期 水曜日 3 講時

対象学年/Eligible Participants : 3・4,

科目ナンバリング/Course Numbering : EAL-ECM330E, 単位数/Credit(s) : 2

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class :

Management is essential for business success in all types and sizes of organizations, organizational levels, and work areas. Once students graduate from universities and begin their careers, they will either manage or be managed. In any case, understanding management is significant.

This course introduces effective management theories and focuses on developing students' skills to work in a global workplace or become start-up leaders.

****Please join the google classroom to update all important information about the course. Class code: a7pxbvq

2. 学修の到達目標/Goal of study :

At the end of this course, students are expected to

- Understand the basics of managing in today's workplace, including external environmental factors, organization's culture, global environment; managing diversity, social responsibility, change, and disruptive innovation

- Understand the four basic functions of management (planning, organizing, leading, controlling) and factors influencing the decision making

- Develop the five key skills that employers are looking for: critical thinking, communication, collaboration, knowledge application, and social responsibility

3. 授業内容・方法と進捗予定/Contents and progress schedule of the class :

In this course, while the lecturer explains the fundamental theories, students have to discuss problem-solving through cases to deepen their understanding and improve skills. The tentative schedule is as follows.

1. Introduction
2. Influence of the External Environment and the Organization's culture
3. Managing in Global Environment and Diversity
4. Managing Social Responsibility and Ethics
5. Managing Change and Disruptive Innovation
6. Planning: Foundations of Planning & Management strategy
7. Planning: Entrepreneurial Ventures & Mid-term wrap-up (group presentations)
8. Organizing: Designing Organizational Structure
9. Organizing: Managing Human Resources
10. Organizing: Managing Groups and Teams
11. Leading: Managing Communication
12. Leading: Understanding and Managing Individual Behavior
13. Leading: Motivating employees
14. Leading: Being an Effective Leader
15. Controlling: Monitoring and Controlling & Final-term wrap-up (group presentations)

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

5. 使用言語/Language Used in Course :

English

6. 成績評価方法/Evaluation method :

Attendance & Participation 50%; Group presentations 30%; Weekly individual assignment 20%. No written examinations

7. 教科書および参考書/Textbook and references :

Management	Stephen P. Robbins & Pearson	2021	9781292340883	Textbook
	Mary Coulter			

8. 関連URL/URL :

9. 授業時間外学修/Preparation and Review :

Lecture slides are available on the Google Classroom (Class code: a7pxbvq)). Students are advised to download and check the lecture slides in advance and review them after classes.

10. その他/In addition :

メディア授業科目 /Course of Media Class:

***Please join the google classroom to update all important information about the course. Class code: a7pxbvq

How to describe the class environment? friendly and interactive

What to pay attention to:

- Registration should be done before the deadline (updating later)
- During the semester, the class organization is subject to change according to Covid 19 situations
- Further information is also available via Instruction Section Bulletin Board (教務係掲示板)

Spatial Economics/Spatial Economics

担当教員/Instructor: 曾 道智/DAO-ZHI ZENG

曜日・講時/Day/Period: 後期 火曜日 1 講時

対象学年/Eligible Participants: 3・4,

科目ナンバリング/Course Numbering: EAL-ECM333E, 単位数/Credit(s): 2

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class:

空間経済学は、伝統的な経済学に空間的要素を取り入れ、産業の集積や国際貿易などを解明する。この授業は近年著しい発展を見せた新経済地理学・新貿易理論に関する知見を重点的に紹介する。具体的には、国際経済学の新貿易理論、地域経済学の核・周辺地域モデルを紹介し、それらの応用例を講述する予定である。これらの内容を理解するには、ミクロ経済学の基礎知識が必要である。

英語で講義を行う。

Spatial economics clarifies regional industrial agglomeration and international trade by incorporating spatial factors into traditional economics. This lecture mainly focuses on New Economic Geography and New Trade Theory, which exhibit a remarkable development in recent years. Specifically, we introduce new trade theory of international economics and core-periphery models of regional economics, and then show their applications. To understand this course, you are expected to have some basic knowledge of microeconomics.

The lectures will be in English.

2. 学修の到達目標/Goal of study:

基礎理論を学び、研究フロンティアの情報を把握する。

To learn the basic theory and understand the research frontier.

3. 授業内容・方法と進捗予定/Contents and progress schedule of the class:

- 1 序論
- 2 Dixit-Stiglitz の独占的競争モデル
- 3 一要素モデル: 自国市場効果
- 4 二要素モデル: 労働と資本
- 5 新経済地理と均衡の安定性
- 6 核・周辺モデル
- 7 準線形モデル
- 8 労働費用がもたらす再分散
- 9 都市費用がもたらす再分散
- 10 多産業と企業関連モデル
- 11 異質性モデル
- 12 重力モデル
- 13 厚生測量
- 14 様々な Non-CES 研究
- 15 様々な応用

- 1 Introduction
- 2 The Dixit-Stiglitz monopolistic competition model
- 3 1-factor models: The home market effects
- 4 2-factor models: labor and capital
- 5 New Economic Geography & equilibrium stability
- 6 Core-Periphery model
- 7 Quasi-linear mode
- 8 Re-dispersion by labor costs
- 9 Re-dispersion by urban costs
- 10 Multi-industry economy
- 11 Heterogeneity models
- 12 Gravity models
- 13 Welfare analysis
- 14 Non-CES studies
15. Various applications

4. 実務・実践的授業/Practicalbusiness

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

5. 使用言語/Language Used in Course:

英語

English

6. 成績評価方法/Evaluation method:

授業への関与度(30%)、宿題(70%)に応じて評価する。

Students are evaluated based on the level of class participation (30%) and assignments (70%).

7. 教科書および参考書/Textbook and references :

空間経済学	曽道智・高塚創	東洋経済新報社	2016	978-4492314852	教科書
The Spatial Economy	Fujita, M., Krugman P and Venables A.	MIT Press	1999	978-0262561471	参考書

8. 関連URL/URL :

<http://www.se.is.tohoku.ac.jp/~zeng/index.html>

9. 授業時間外学修/Preparation and Review :

1. 授業前に公開されるスライドに基づき予習を行う。
2. 授業後は宿題によって復習する。宿題の点数は最終成績の評価に使用される。

1. Slides are used to make a preparation of lectures.
2. Home works are used to review the lectures. They are also used to evaluate your final score.

10. その他/In addition :

メディア授業科目 /Course of Media Class:○

オフィスアワー：水曜日 16：30－18：00 他にメールあるいは電話等でアポイントメントをとれば、随時対応

Office hours:Wednesday 16:30-18:00 or by appointment.

【トピックスリテラシー】外国書講読（英）/Topics of Literacy:Reading in Foreign Texts(English)

担当教員/Instructor：増田 聡/SATORU MASUDA

曜日・講時/Day/Period：前期 火曜日 2 講時

対象学年/Eligible Participants：2・3・4,

科目ナンバリング/Course Numbering：EAL-ECM223J, 単位数/Credit(s)：2

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class：

今回の外国書講読では、下記文献の輪講を行い、都市・地域計画の基礎となる都市地理学の基本概念とその適用事例を理解する。

本講義では、Google Classroom：fwk3mdi を通じて、講義に関わる諸連絡や資料配付・課題提示を行う。

In this foreign text reading, we will hold a round-table discussion on the following literature to understand the key concepts in urban geography.

【輪読文献】 Latham, A., McCormack, D., McNamara, K., & McNeill, D. (2008). Key concepts in urban geography. Sage.

【出版社による書誌情報】

Key Concepts in Urban Geography is a new kind of textbook that forms part of an innovative set of companion texts for the human geography sub-disciplines. Organized around 20 short essays, Key Concepts in Urban Geography provides a cutting edge introduction to the central concepts that define contemporary research in urban geography. <https://sk.sagepub.com/books/key-concepts-in-urban-geography>

2. 学修の到達目標/Goal of study：

- ・英語文献の輪読を通じて、都市地理学の基本概念を理解する
- ・上記の基本概念の適用例として、国内外の調査研究や計画・開発プロジェクトの事例に接する
- ・英文の読解力を高める
- ・ Understand the key concepts in urban geography through reading English text
- ・ Experience the research and planning projects using these concepts
- ・ Improve your English reading skills

3. 授業内容・方法と進捗予定/Contents and progress schedule of the class：

やや古くなった感のあるテキスト（第1版）ではあるが、基本的な英文の教科書の1つとして今回取り上げることとした。都市地理学を考える際の主要概念として論じられている20のテーマ（中心性、移動性、インフラ…）についての輪読を行う。また、各テーマの輪読担当者には、そのテーマや主要概念を用いた地理学研究や地域調査、あるいは国土計画～都市計画、都市・地域開発やまちづくりのプロジェクト等を紹介してもらい、概念適用の実際を検証する。本書は、Kindle版、paperback版（hardcover判）が存在しているが、入手方法等については開講時に相談したい。

本講義では、Google Classroom：fwk3mdi を通じて、連絡や資料配付・課題提示を行う。

- ・第1回：イントロダクション：都市地理学における主要概念とは（書籍：Introduction）
- ・第2回：概念構成の全体像と輪読分担（書籍：目次）
- ・第3～13回：個別概念の輪読（書籍：chapter 1～5）
- ・第14, 15回：受講者各人が担当した概念の適用事例の報告

Contents

Preface

Introduction

Chapter 1: Location and Movement

Centrality

Mobility

Global Cities

Transnational Urbanism

Chapter 2: Constructions

Nature

Materiality

Infrastructure

Architecture

Chapter 3: Envisioning and Experience

Diagram

Photography

Body

Virtuality

Surveillance

Chapter 4: Social and Political Organisation

Segregation

Urban Politics

Community

Chapter 5: Sites and Practices
Consumption
Media
Public Space
Commemoration

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

5. 使用言語/Language Used in Course :

英語講読・日本語解説

6. 成績評価方法/Evaluation method :

講義への参加（出席）状況と報告内容をそれぞれ 50% で評価して合算する。

7. 教科書および参考書/Textbook and references :

Key Concepts in Urban Geography	Latham, A., Sage McCormack, D., McNamara, K., & McNeill, D.	2009	978-1412930420	教科書
地理学事典	日本地理学会 丸善出版	2023	978-4621307939	参考書
オックスフォード 地理学辞典 (新装版)	田辺裕 (監修, 翻訳) 朝倉書店	2021	978-4254163636	参考書
最新地理学用語辞典	浮田典良 (編集) 原書房	2004	978-4562090549	参考書
地理学事典	日本地誌研究所 (編集) 二宮書店	1989	978-4817600882	参考書
人文地理学事典	人文地理学会 (編集), 野間・水内・田中 (編集) 丸善出版	2013	978-4621086872	参考書
日本の都市地理学 50 年	阿部和俊 (編集) 古今書院	2011	978-4772261098	参考書

8. 関連URL/URL :

Sage knowledge: Books

<https://sk.sagepub.com/books/key-concepts-in-urban-geography/n6.xml>

Amazon Japan

<https://www.amazon.co.jp/Concepts-Urban-Geography-Human-English-ebook/dp/B00J7SQJLA/>

9. 授業時間外学修/Preparation and Review :

- ・各自が輪読で担当する項目は、事前に精読し、レジメを作成すること
- ・作成したレジメは、講義開始の前日までに、Google Classroom のストリームにアップロードしておくこと
- ・自分が担当しない項目についても、読了の上で講義に参加すること

10. その他/In addition :

メディア授業科目 /Course of Media Class:

欠席の場合は、事前にメールで連絡を入れておくこと (mailto: s.masuda@tohoku.ac.jp)

【トピックスリテラシー】外国書講読（英）/Topics of Literacy:Reading in Foreign Texts(English)

担当教員/Instructor：秋田 次郎/JIRO AKITA

曜日・講時/Day/Period：前期 水曜日 2 講時

対象学年/Eligible Participants：2・3・4,

科目ナンバリング/Course Numbering：EAL-ECM223J, 単位数/Credit(s)：2

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class：

現代の経済理論は、市場経済と親和的な政治体制を暗黙裡に想定しますが、それは必ずしも現実的ではありません。この授業では、もし市場経済が前提する民主主義が崩れ独裁制が抬頭すれば、市民はどのように対処しうるかを考えます。

Modern economic theory implicitly assumes a political system that is compatible with a market economy, but this is not always realistic. In this class, we will consider how citizens might cope if democracy, on which the market economy is based, were to collapse and dictatorships were to rise.

この授業では、ジーン・シャープ著の「独裁体制から民主主義へ」の英語原著を講読し、内容を参加者に英語で報告して貰いながら英語での討議を行います。

In this class, we will read the English original of "From Dictatorship to Democracy" by Gene Sharp, have participants report the contents in English, and have further discussions in English.

授業は、対面式で行うか、あるいはそれが困難である場合には、Google Classroom を用いたリアルタイムの遠隔式で行う予定です。

Classes will be conducted face-to-face or, if this is not feasible, remotely in real time using Google Classroom.

2. 学修の到達目標/Goal of study：

- ・独裁制に対する非暴力抵抗の概念を理解します。
- ・上記のテーマについて英語で発表、討論ができるようになります。
- ・経済理論の政治学的前提について自分なりの視点を養います。

* To understand the concept of nonviolent resistance to dictatorships.

* To be able to present and discuss the above topics in English.

* To develop each participant's own perspective on the political science assumptions of economic theory.

3. 授業内容・方法と進捗予定/Contents and progress schedule of the class：

授業は、対面式で行うか、あるいはそれが困難である場合には、Google Classroom（クラスコード【egzvogj】(EB363)を用いたリアルタイムの遠隔式で行います。

Classes will be conducted face-to-face or, if this is not feasible, remotely in real time using Google Classroom (class code 【egzvogj】(EB363).

テキストの構成 Contents of the book

- 01 Facing dictatorships realistically
- 02 The dangers of negotiations
- 03 Three whence comes the power?
- 04 Dictatorships have weaknesses
- 05 Exercising power
- 06 The need for strategic planning
- 07 Planning strategy
- 08 Applying political definance
- 09 Disintegrating the dictatorship
- 10 Groundwork for durable democracy

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"○"Indicates the practical business

5. 使用言語/Language Used in Course：

日本語 and/or English

テキストは英文ですが邦訳が存在し、また日本語で書かれた参考文献も存在します。よって、それらを参考して英語発表の資料を準備することは妨げず、むしろ推奨致します。他方、報告・発表と討議は原則的に英語で行います。

Although the text is in English, Japanese translations are available, and there are also references written in

Japanese. Th

6. 成績評価方法/Evaluation method :

出席を含む通常の成績により評価します。

Evaluation will be based on regular attendance and performance in the class.

7. 教科書および参考書/Textbook and references :

From Dictatorship to Democracy (English Edition) Kindle 版	Gene Sharp (著), Matt Gaffney (編集)	Final Arbiter	2011	ASIN : B0054M8YI4	教科書
独裁体制から民主主義へー権力に対抗するための教科書 (ちくま学芸文庫)	ジーン シャープ (著), Gene Sharp (著), 瀧口 範子 (翻訳)	筑摩書房	2012		参考書
ジーン・シャープ『独裁体制から民主主義へ』 2023 年 1 月 (NHK テキスト) ムック	中見 真理 (著)	NHK 出版	2022		参考書

8. 関連URL/URL :

9. 授業時間外学修/Preparation and Review :

You are expected to prepare before class for your assigned part of the report in English.

10. その他/In addition :

メディア授業科目 /Course of Media Class:

【トピックスリテラシー】外国書講読（英）/Topics of Literacy:Reading in Foreign Texts(English)

担当教員/Instructor : 三宅 充展/MITSUNOBU MIYAKE

曜日・講時/Day/Period : 後期 木曜日 2 講時

対象学年/Eligible Participants : 2・3・4,

科目ナンバリング/Course Numbering : EAL-ECM223J, 単位数/Credit(s) : 2

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class :

将来、英文の学術論文を読みこなすことができるように、標準的なゲーム理論の教科書を原書で読むことで、読解力や語彙力を身につけることが目的である。下記の教科書のゲーム理論に関する部分を各履修者に割り当てるので、履修者は該当部分を和訳すると同時に内容の解説を行う。ここでは電子ファイルによるレジメの作成を義務付ける。さらに参加者全員で理解を深めるために質疑応答をおこなう。なおレジメは日本語だけで作成すること。テキスト本文からのコピー等は厳禁する。

In order to read the advanced scientific papers in the near future, we read a standard textbook of game theory in English. Students in this class translate some paragraphs of the textbook into Japanese and explain the contents of the paragraphs, using the handouts (in PDF or word format).

2. 学修の到達目標/Goal of study :

標準的なゲーム理論の教科書を原書で読むことができ、英文の学術論文を読みこなすことができるようになることが到達目標である。

The purpose of this lecture is to read a standard textbook of game theory in English.

3. 授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class :

- 1 初めに
- 2 選好順序と効用
 - 2-1 選好
 - 2-2 選好順序の形成
 - 2-3 実験
 - 2-4 効用関数
- 3 マッチング
 - 3-1 マッチング問題
 - 3-2 ゲール＝シャプレイのアルゴリズム
 - 3-3 ゲール＝シャプレイのアルゴリズムと安定なマッチングの選択問題

- 1 Introduction
- 2 Preferences and Utility (Preference ordering, experiments, utility functions)
- 3 Matching (matching problem, Gale-Shapley algorithm, stability problem)

4. 実務・実践的授業/Practicalbusiness

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"○"Indicatesthe practicalbusiness

5. 使用言語/Language Used in Course :

日本語

6. 成績評価方法/Evaluation method :

授業での発表およびそこでのレジメが評価対象となる。授業の中で、小テストを各単元終了時に行うので、これも評価対象とする。授業での発表50パーセント、小テスト50パーセントとする。

7. 教科書および参考書/Textbook and references :

Models in Microeconomic Theory	Martin J. Osborne and Ariel Rubinstein	OpenBook	2020	978-1-78374-920-1	テキスト
--------------------------------	--	----------	------	-------------------	------

8. 関連URL/URL :

9. 授業時間外学修/Preparation and Review :

事前に割り当てた箇所を和訳して、解説できるように準備すること。この際レジメを電子ファイルで作成すること。

10. その他/In addition :

メディア授業科目 /Course of Media Class:

教科書は、ゲームのプレイヤーが女性である版と男性である版があるが、どちらでも良い。また、2023年2月現在、当該教科書の出版社の公式ホームページから、全文のPDFが無料ダウンロード可能となっている。この教科書は多色刷りなので、無料PDFを印刷出力する方が、冊子体価格よりも大幅にコストがかかる。冊子体を必ず購入すること。

授業は対面で実施する。連絡事項の周知等のため Google クラスルームを利用する場合もある。
Google classroom のコードは
gr55epd
である。

【トピックスリテラシー】外国書講読（英）/Topics of Literacy:Reading in Foreign Texts(English)

担当教員/Instructor：菅原 歩/AYUMU SUGAWARA

曜日・講時/Day/Period：後期 火曜日 2講時

対象学年/Eligible Participants：2・3・4,

科目ナンバリング/Course Numbering：EAL-ECM223J, 単位数/Credit(s)：2

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class：

イギリス産業革命研究の現在の到達点

イギリス産業革命は、経済史研究の古典的なトピックの一つであるが、たびたび研究の最前線ともなっているテーマである。本講義では、イギリス産業革命研究の現在の第一人者であるロバート・アレンの著書と論文を原文で読み、経済史研究の先端の一端に触れることを目的とする。

The current literature on the British Industrial Revolution

The British Industrial Revolution is one of the classic topics in the study of economic history, but it is also a topic that has often been at the forefront of research. The aim of this class is to touch the cutting edge of economic history research by reading a book and an article of Robert Allen, one of the leading scholars on the British Industrial Revolution i today, in their original texts.

2. 学修の到達目標/Goal of study：

イギリス産業革命研究の現在の到達点を知る。

To know the current literature on the British Industrial Revolution.

3. 授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：

授業内容・方法：

講義の進め方

テキストの該当箇所について、授業前半で、受講者のうちの担当者が要約を発表する。

授業後半では、ディスカッションと必要に応じた講師による解説を行う。

本講義では、グーグルクラスルームも使用する。クラスコードは、owpimc5

(※なお、グーグルクラスルームへのログインと、学務情報システムでの「履修登録」は別なものなので、履修者は必ず履修期間内に学務情報システムでの履修登録も行うこと。)

進度予定：

第1回：講義のイントロダクション

第2回：Chap.1 The Industrial Revolution and the pre-industrial economy (1)

第3回：Chap.1 The Industrial Revolution and the pre-industrial economy (2)

第4回：Chap.2 The high-wage economy of pre-industrial Britain (1)

第5回：Chap.2 The high-wage economy of pre-industrial Britain (2)

第6回：Chap.3 The agricultural revolution (1)

第7回：Chap.3 The agricultural revolution (2)

第8回：Chap.4 The cheap energy economy (1)

第9回：Chap.4 The cheap energy economy (2)

第10回：Chap.5 Why England succeeded (1)

第11回：Chap.5 Why England succeeded (2)

第12回：R. C. Allen, Engels' pause (1)

第13回：R. C. Allen, Engels' pause (2)

第14回：R. C. Allen, Engels' pause (3)

第15回：理解度確認セッション（論述式）

※R. C. Allen, Engels' pause: これは、学術専門誌の論文。R. C. Allen, "Engels' pause: Technical change, capital accumulation, and inequality in the british industrial revolution", Explorations in Economic History, 46, 2009, pp. 418-435

講義の進展速度、受講者数、受講者の研究テーマなどによって、内容・進度に多少の変更を加える場合がある。

Class content：

How to proceed with the lecture.

In the first half of the each class, a summary of the relevant sections of the text will be presented by one of the students in charge.

In the second half of the each class, there will be discussion and, if necessary, commentary by the lecturer.

Google Classroom will also be used in this lecture. The class code is owpimc5

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

5. 使用言語/Language Used in Course :

日本語

6. 成績評価方法/Evaluation method :

理解度確認セッション : 40%

要約発表 : 30%

討論への貢献 : 30%

7. 教科書および参考書/Textbook and references :

The British Industrial Revolution in Global Perspective	Robert C. Allen	Cambridge University Press	2009	教科書
世界史の中の産業革命: 資源・人的資本・グローバル経済	R. C. アレン	名古屋大学出版会	2017年	参考書
Engels' pause: Technical change, capital accumulation, and inequality in the british industrial revolution	Robert C. Allen		2009	教科書

8. 関連URL/URL :

Google Classroom のクラスコードは、owpimc5

9. 授業時間外学修/Preparation and Review :

予習 : 各回のテキスト内の該当章を事前に熟読してくる。要約担当者は要約を作成する。

復習 : 討論で出た論点への考察を復習のための課題とする場合がある。理解度確認セッションの準備。

10. その他/In addition :

メディア授業科目 /Course of Media Class:

履修の条件 : 第1回の講義までにこのシラバスを読んでいること。(第1回の講義の際に確認します。) また、講義の際は必ず教科書を持参すること。

オフィスアワー : 講義中に指示します。

メールアドレス : 学生便覧の「経済学研究科教員・講師一覧表」にあります。

【トピックスリテラシー】外国書講読（中）/Topics of Literacy:Reading in Foreign Texts(Chinese)

担当教員/Instructor：日置 史郎/SHIRO HIOKI

曜日・講時/Day/Period：前期 月曜日 3講時

対象学年/Eligible Participants：2・3・4,

科目ナンバリング/Course Numbering：EAL-ECM225J, 単位数/Credit(s)：2

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class：

Google classroom:suhfo3z

目的：日本人学生が中国語経済文献を独力で読みこなす読解力を養成すること。

概要：中国語で書かれた経済書を各人が日本語に訳し、内容解釈をつける練習を繰り返す。

This course aims to improve the students' ability to read economic literature written in Chinese with accuracy and rapidity. In this class, students translate economic literature written in Chinese into Japanese and interpret the content

2. 学修の到達目標/Goal of study：

本授業を履修した学生は学部の演習論文執筆時に中国語論文を参照できるようになる。

Students will be able to read economics papers written in Chinese by themselves. Students will be able to refer to Chinese documents when they write undergraduate thesis paper.

3. 授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：

1) 授業内容：今年度は、中国の所得分配の問題について書かれた論文を読んでいく予定。あわせて中国語の政治・経済・社会面での重要用語・用法について学ぶ時間を設ける予定。

We will read Chinese papers regarding China's income distribution.

2) 樹法方法：履修者はあらかじめ指定された箇所の日本語訳と内容解釈を報告し、担当教員は訳と解釈について補足的説明を行う。

Students will report the Japanese translation and the interpretation of the pre-specified passages. The instructor will provide supplementary explanations on the translation and interpretation.

3) 進度予定：初回オリエンテーションで具体的にどの論文を読むか、どれぐらいのペースで進めるかについて、履修者と相談して決める。

In the first orientation, the instructor and students decide which papers to read and the schedule.

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"○"Indicate the practical business

5. 使用言語/Language Used in Course：

日本語と中国語、時に英語

6. 成績評価方法/Evaluation method：

出席30%、平時の履修態度と報告内容70%

7. 教科書および参考書/Textbook and references：

中国収入分配演変40年	李実・万海遠	格致出版社	2018	978-7-5432-2945-7	参考書
中国収入分配研究報告	李実・頼徳勝・羅楚亮	社会科学文献出版社	2013	978-7-5097-4437-6	参考書
中国収入差別的実証分析	李実・羅楚亮	社会科学文献出版社	2014	978-7-5097-4525-0	参考書
中国収入差距変動分析	李実・佐藤宏・史泰麗	人民出版社	2013	978-7-01-012104-8	参考書

8. 関連URL/URL：

9. 授業時間外学修/Preparation and Review：

辞書をひき、訳をつけ、内容解釈を行っておく。授業後、教員の解説を参考にして、内容をきちんと理解する。

読解対象に選定されたテキストについては、ピンインルビ付き資料を準備する予定。これで辞書引きの時間はかなり節約され

るはずである。

中国語の政治・経済・社会の重要用語については、第十四次五か年計画からチョイスした用語集を作成する予定。これらの資料を適宜予習や復習に参照してもらう。

10. その他/In addition:

メディア授業科目 /Course of Media Class:

1・2年次に中国語授業を履修していることが参加条件となる（履修していないが、基礎はわかっているという場合、教員に相談すること）。なお中国語を母語とする学生は、本授業を履修することはできない。

中級ミクロ経済学特殊講義/Intermediate Microeconomics(Special Lecture)

担当教員/Instructor：三宅 充展/MITSUNOBU MIYAKE

曜日・講時/Day/Period：前期 月曜日 1 講時. 前期 木曜日 1 講時

対象学年/Eligible Participants：3・4,

科目ナンバリング/Course Numbering：EAL-EC0360J, 単位数/Credit(s)：4

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class：

産業組織、財政金融、医療福祉、国際経済、および環境経済などの応用分野を研究する学生にミクロ経済学の基礎的事項を習得してもらいます。授業は、講義と演習セッションからなり、演習セッションでは主として講義の理解を深めるための問題演習などを行います。

It is an aim that the students will understand a microeconomics theory described in the standard textbook of the graduate school and acquire a skill for reading the scientific papers in each applied field, such as the industrial organization, public finance and international economics. In addition, it is an aim that the students will obtain the technical knowledge by solving some problems in the textbooks.

2. 学修の到達目標/Goal of study：

大学院での研究に必要なミクロ経済学の基礎的な知識と分析能力を身につけること、とくに将来 修士論文作成にあたって、独力で受講生が専攻する分野の文献サーベイができる程度の学力をつけることが到達目標です。

It is an aim that the student will acquire a skill for reading the scientific papers in each field by an own effort, when the student writes master thesis.

3. 授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：

講義と並行して問題演習を行います。

第1回 序章 授業で使用する記号、数学的定理について

第2回 選好、効用関数、および効用最大化と需要

第3回 宿題解説と問題演習(その1)

第4回 需要の変化と財の分類および交換の理論

第5回 宿題解説と問題演習(その2)

第6回 双対性アプローチとスルツキー方程式

第7回 宿題解説と問題演習(その3)

第8回 消費理論のまとめ

第9回 費用と供給および生産技術と費用

第10回 宿題解説と問題演習(その4)

第11回 生産要素の需要

第12回 宿題解説と問題演習(その5)

第13回 短期費用と長期費用

第14回 宿題解説と問題演習(その6)

第15回 費用関数の性質

第16回 宿題解説と問題演習(その7)

第17回 企業理論のまとめ

第18回 市場均衡と市場調整

第19回 宿題解説と問題演習(その8)

第20回 交換経済および生産経済における競争均衡

第21回 宿題解説と問題演習(その9)

第22回 資源配分の効率性と厚生経済学の基本定理

第23回 宿題解説と問題演習(その10)

第24回 余剰分析および数量指数と物価指数

第25回 宿題解説と問題演習(その11)

第26回 不完全競争 独占

第27回 宿題解説と問題演習(その12)

第28回 不完全競争 寡占

第29回 宿題解説と問題演習(その13)

第30回 市場の理論のまとめ

1. Preference and Consumer Choice; 2. Demand Functions;

3. Production and Cost; 4. Competitive Markets and Monopoly;

5. General Equilibrium and its Basic Welfare Properties.

4. 実務・実践的授業/Practicalbusiness

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"○"Indicatesthe practicalbusiness

5. 使用言語/Language Used in Course：

日本語

6. 成績評価方法/Evaluation method：

授業のなかでの小テストの成績(50%)と宿題レポートの成績(50%)により決定します。小テスト受験時と宿題レポート作成時

において、教科書、参考書および自筆ノートを参照して良いが、宿題の問題自体に関する他の人との相談、他人のレポート等を参考にすることは厳禁します。

7. 教科書および参考書/Textbook and references :

新版	ミクロ経済学	武隈慎一	新生社	2016	978-4-88384-239-1	教科書
演習	ミクロ経済学 第2版	武隈慎一	新生社	2017	978-4-88384-249-0	教科書

8. 関連URL/URL :

9. 授業時間外学修/Preparation and Review :

十分な予習が必要です。復習は宿題レポート作成で行なってください。

10. その他/In addition :

メディア授業科目 /Course of Media Class:

学部レベルのミクロ経済学（ミクロ経済分析）や経済経営数学の学力を前提にするので、受講生は事前に準備して下さい。また、問題演習のプレゼンを重視する授業形式の必要性から、参加者は 30 名以内に制限します。そのため、受講希望者は第 1 回目の講義に必ず出席してください。不確実性、期待効用やゲーム理論の内容は後期開講の「上級ミクロ経済学特殊講義」にて取り扱う予定です。

授業は対面で実施する。連絡事項の周知等のため Google クラスルームを利用する場合もある。

Google classroom のコードは

yvx2cse

である。これは「中級ミクロ経済学特論」と共通である。

上級ミクロ経済学特殊講義/Advanced Microeconomics(Special Lectures)

担当教員/Instructor : 大瀬戸 真次/SHINJI OHSETO

曜日・講時/Day/Period : 後期 金曜日 3 講時. 後期 金曜日 4 講時

対象学年/Eligible Participants : 3・4,

科目ナンバリング/Course Numbering : EAL-EC0361J, 単位数/Credit(s) : 4

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class :

経済学の諸分野において、ゲーム理論は経済のモデル化や分析のために必要不可欠な分析ツールとなっている。本講義では、非協力ゲーム理論の基本的な枠組みと経済学への応用を解説する。

[In many fields of economics, game theory has become an important analytical tool for modeling and analyzing the economy. In this course, the basic framework of non-cooperative game theory and its application to economics will be explained.]

2. 学修の到達目標/Goal of study :

非協力ゲーム理論の基本的な枠組みと経済学への応用を理解する。

[The students should understand the basic framework of non-cooperative game theory and its application to economics.]

3. 授業内容・方法と進捗予定/Contents and progress schedule of the class :

Google Classroom のクラスコードは nd4wg57 です。この授業についての情報は、Google Classroom を通じてお知らせします。不明な点がある場合は、遠慮なく私宛に電子メール (ohseto@tohoku.ac.jp) をお送りください。

The class code of Google Classroom is nd4wg57. More information on this course will be provided via Google Classroom. Please feel free to contact me via e-mail to ohseto@tohoku.ac.jp.

- 1-2 ゲーム理論のイントロダクション
- 3-4 戦略形ゲーム
- 5-6 支配戦略、ナッシュ均衡
- 7-8 経済学への応用：複占モデル
- 9-10 経済学への応用：共有地の悲劇
- 11-12 混合戦略
- 13-14 展開形ゲーム
- 15-16 バックワード・インダクション
- 17-18 経済学への応用：交渉モデル
- 19-20 サブゲーム完全均衡
- 21-22 繰り返しゲーム
- 23-24 オークション
- 25-26 シグナリングゲーム
- 27-28 ゲーム理論のトピックス 1
- 29-30 ゲーム理論のトピックス 2

- [1-2 Introduction
- 3-4 Strategic form games
- 5-6 Dominant strategies, Nash equilibria
- 7-8 Duopoly model
- 9-10 Tragedy of commons
- 11-12 Mixed strategies
- 13-14 Extensive form games
- 15-16 Backward induction
- 17-18 Bargaining model
- 19-20 Subgame perfect equilibria
- 21-22 Repeated games
- 23-24 Auction
- 25-26 Signaling games
- 27-28 Topics on game theory 1
- 29-30 Topics on game theory 2]

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

5. 使用言語/Language Used in Course :

日本語

6. 成績評価方法/Evaluation method :

平常点（小テスト、宿題、報告等）と理解度確認セッションの成績によって評価する。状況により、平常点（小テスト、宿題、報告等）のみによって評価する場合がある。

7. 教科書および参考書/Textbook and references :

8. 関連URL/URL :

9. 授業時間外学修/Preparation and Review :

事前に資料が配布された場合は読んでおくこと。授業中に行った練習問題の復習をすること。

10. その他/In addition :

メディア授業科目 /Course of Media Class:

連絡先: ohseto@tohoku.ac.jp

オフィスアワー: 金曜日 16:20-17:20

中級マクロ経済学特殊講義/Intermediate Macroeconomics(Special Lecture)

担当教員/Instructor：小寺 寛彰/TOMOAKI KOTERA

曜日・講時/Day/Period：前期 火曜日 3 講時. 前期 水曜日 3 講時

対象学年/Eligible Participants：3・4,

科目ナンバリング/Course Numbering：EAL-EC0362J, 単位数/Credit(s)：4

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class：

主に、動学マクロ経済モデルの解法の習得及び様々なモデルの学習を目的とする。このコースでは、数学、特に微分を多用する。これにより、マクロ経済学のより深い理解を目指す。

The goal of this course is to study standard dynamic macroeconomic models. The course makes extensive use of mathematics, mainly differential calculus. This allows both a deeper analysis of the microeconomic foundations of macroeconomic theory, and a more quantitative analysis of the models presented.

2. 学修の到達目標/Goal of study：

このコースを通して、以下の習得を主に目指す。

1. 経済全体のメカニズム、および、総生産、雇用、賃金、利子率がどのように決まるかが、説明できる。
2. 基本的なモデル（経済成長、消費と貯蓄、景気循環など）を根底にある要因を描写できる。
3. 政府の政策や、外的ショックの経済への効果を厳密に評価できる。
4. 今、話題になっている諸問題(コロナウィルス)と経済モデルを用いて、分析できる。

Explain how the economy works at aggregate level and how total output, employment, wages, interest rates are determined.

- ・ Describe the factors underlying economic growth, consumption/savings behavior, and business cycles.
- ・ Assess rigorously the effects of various government policies and outside shocks on these features of the economy.

3. 授業内容・方法と進捗予定/Contents and progress schedule of the class：

以下の内容を取り扱う予定である。

- (1) マクロ経済学の潮流
- (2) 一般均衡モデル(静学)の解法
- (3) ソローの成長モデル
- (4) 最適成長モデル
- (5) 内生的経済成長モデル
- (6) 消費-貯蓄モデル
- (7) 動学的一般均衡モデル
- (8) 景気循環(RBC) モデル
- (9) 貨幣経済
- (10) 世代重複(OLG) モデル
- (11) 労働サーチとマッチング
- (12) コロナウィルスの経済分析

※時間があれば、その他の重要なトピックを扱う予定である。

I plan to cover the following topics:

- (1) General Equilibrium Model (Static).
- (2) Solow Growth Model.
- (3) Optimal Growth Model.
- (4) Endogenous Growth Model.
- (5) Consumption-Savings.
- (6) Dynamic General Equilibrium Model.
- (7) Real Business Cycle Model.
- (8) Money.
- (9) Overlapping Generations Model.
- (10) Labor Search and Matching.
- (11) Macroeconomics of COVID-19.

※May cover another topic if time remains.

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

5. 使用言語/Language Used in Course：

講義は日本語で行う。但し、スライドは英語を使用する。

受講者が提出する課題、および理解度確認セッションは英語で出題するが、解答は、英語でも日本語でもどちらでも構わない。

6. 成績評価方法/Evaluation method :

試験（80％）と課題提出（20％）。試験は、学期中、理解度確認期間の2回、実施する。課題は、ほぼ全てのトピックの最後に問題を課し、提出を求める。

7. 教科書および参考書/Textbook and references :

Advanced Macroeconomics	David Romer	McGraw Hill	2012	9780073511375	参考書
Recursive macroeconomic theory	Lars Ljungqvist, Thomas J. Sargent	MIT Press	2012	9780262018746	参考書
『The ABCs of RBCs : an introduction to dynamic macroeconomic models	George McCandless	Harvard University Press	2008	9780674028142	参考書
Introduction to modern economic growth	Daron Acemoglu	Princeton University Press	2009	9780691132921	参考書

8. 関連URL/URL :

Google Classroom にスライドを事前にアップする予定である。

9. 授業時間外学修/Preparation and Review :

課題を通して、各トピックの本質を理解してもらう。

10. その他/In addition :

メディア授業科目 /Course of Media Class:

コロナウィルスの感染リスクを考慮し、オンデマンドで授業を展開することもありうる。

また、数値計算の課題は、出さない。

上級マクロ経済学特殊講義/Advanced Macroeconomics(Special Lectures)

担当教員/Instructor: 北川 章臣/AKIOMI KITAGAWA

曜日・講時/Day/Period: 後期 月曜日 2 講時. 後期 水曜日 3 講時

対象学年/Eligible Participants: 3・4,

科目ナンバリング/Course Numbering: EAL-EC0363J, 単位数/Credit(s): 4

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class:

今日、大学院レベルのマクロ経済学において標準的な理論モデルと見做されている動学的確率的一般均衡モデル (Dynamic Stochastic General Equilibrium Models, 以下、DSGE モデル) について解説するとともに、実習を通じてその手法を習得する。

This lecture explains the DSGE models, now regarded as a standard tool for analyzing business cycles.

2. 学修の到達目標/Goal of study:

- ・ 動学最適化の考え方・方法を習得する。
- ・ DSGE に分類されるマクロモデルから得られる主要結果を理解する。
- ・ 数値解析の分析手法を習得する。

Students are expected to master the following:

1. methods of dynamic optimization
2. results obtained from DSGE models
3. methods of numerical analysis

3. 授業内容・方法と進捗予定/Contents and progress schedule of the class:

授業は対面方式で実施する。授業に関するより詳細な情報や教材は Google Classroom を通じて提供するので、履修を考えている人は Google Classroom の上級マクロ経済学特論のページを授業開始前にチェックしておくこと (クラスコード: iifdnoga)。

Classes will be conducted in real-time remotely using Google Meet. Detailed information and teaching materials will be provided through Google Classroom (class code: ifdnoga).

授業では、以下の内容を講義する。

1. DSGE モデルとは?
2. 動学最適化
 - (ア) 不確実性のない場合
 - (イ) 不確実性のある場合
3. 非貨幣的な DSGE モデル
4. 貨幣的な DSGE モデル

また、講義とは別に、MATLAB を用いたコンピューター実習を実施する予定である。

Contents:

1. What is the DSGE model?
2. Dynamic optimization with or without uncertainty
3. Non-monetary DSGE models
4. Monetary DSGE models

Students will have not only lectures but also practical training using MATLAB.

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

5. 使用言語/Language Used in Course:

日本語

Japanese

6. 成績評価方法/Evaluation method:

筆記試験とほぼ毎回課される宿題の提出状況によって評価する。

Students will be evaluated based on the results of homework and closed-book examination.

7. 教科書および参考書/Textbook and references:

The ABCs of RBCs: An Introduction to Dynamic Macroeconomic Models	George McCandless	Harvard University Press	2008	978-0-674-02814-2	参考書
Monetary Policy, Inflation, and the Business Cycle: An Introduction to the New Keynesian Framework and Its Applications, 2nd ed.	Jordi Gali	Princeton University Press	2015	978-0-691-16478-6	参考書
動学マクロ経済学へのいざない	蓮見亮	日本評論社	2020	978-	参考書

8. 関連URL/URL :

<https://classroom.google.com/u/0/c/NTg40Dgw0TU3NTUy>

9. 授業時間外学修/Preparation and Review :

理解を確実にするためにほぼ毎回宿題を課する予定である。

Homework will be assigned to every class.

10. その他/In addition :

メディア授業科目 /Course of Media Class:

授業には数値計算ソフト Matlab とそのアドインである Dynare をインストールしたノートパソコンを持参すること。

Students must bring a note PC with MATLAB and Dynare to class.

中級計量経済学特殊講義 I /Intermediate Econometrics (Special Lectures)I

担当教員/Instructor : KO I A T M E N G /KO IAT MENG

曜日・講時/Day/Period : 前期 火曜日 2 講時

対象学年/Eligible Participants : 3・4,

科目ナンバリング/Course Numbering : EAL-EC0364E, 単位数/Credit(s) : 2

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class :

This course is a one-semester introduction to probability theory and statistics for economists. The course will cover fundamental knowledge of probability and statistics for the preparation of subsequent econometrics courses. Simple R programs will be used and taught.

2. 学修の到達目標/Goal of study :

The students are expected to have a deep understanding of probability and statistics, especially in conducting economic data analysis. Good command of knowledge covered in this course will also facilitate studying other economic courses.

3. 授業内容・方法と進捗予定/Contents and progress schedule of the class :

Foundation of Probability (Hansen Chapter 1)

- Random outcomes and events
- Probability measure
- Conditional probability and independence

Random Variables and Univariate Distributions (Hansen Chapter 2)

- Random variables: discrete & continuous
- Distribution functions
- Moments

Important Parametric Distributions (Hansen Chapter 3 & 5)

- Discrete distributions
- Continuous distributions

Random Vectors and Multivariate Distributions (Hansen Chapter 4 & 5)

- Joint distributions
- Conditional distributions
- Independence and correlation
- Conditional expectation

Sampling Theory and Statistics (Hansen Chapter 6)

- Population, random sample, and statistics
- Sampling distribution of statistics

Law of Large Numbers and Central Limit Theory (Hansen Chapter 7 & 8)

- Asymptotic limits & LLN
- Convergence in distribution & CLT

Parameter estimation and evaluation (Hansen Chapter 10 & 11)

- Population and distribution model
- Maximum likelihood estimation
- (Generalized) Method of Moments
- Mean squared error and best unbiased estimators

Hypothesis Testing (Hansen Chapter 13)

- Hypothesis testing related concepts

Note: We may not be able to cover all topics due to time constraints. The contents will be adjusted accordingly.

4. 実務・実践的授業/Practicalbusiness

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"○"Indicatesthe practicalbusiness

5. 使用言語/Language Used in Course :

English

6. 成績評価方法/Evaluation method :

Assignments (40%)
Mid-term exam (30%)
Final exam (30%)

7. 教科書および参考書/Textbook and references :

8. 関連URL/URL :

Google Classroom: bdv36v6

9. 授業時間外学修/Preparation and Review :

10. その他/In addition :

メディア授業科目 /Course of Media Class:

The author's earlier draft of the book will be uploaded on google classroom.

中級計量経済学特殊講義Ⅱ/Intermediate Econometrics (Special Lectures)Ⅱ

担当教員/Instructor : KO IAT MENG/KO IAT MENG

曜日・講時/Day/Period : 後期 火曜日 2 講時

対象学年/Eligible Participants : 3・4,

科目ナンバリング/Course Numbering : EAL-EC0365E, 単位数/Credit(s) : 2

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class :

This course is a one-semester introduction to econometrics. The course will cover fundamental knowledge of linear regression in economic data analysis. Necessary probability and statistic concepts will be taught and reviewed. Empirical applications, rather than theoretical proofs, will be emphasized. Empirical examples will be demonstrated in class. The R program will be taught and used throughout the course.

Textbook

Wooldridge, J. M. (2016). Introductory econometrics: A modern approach, 6th ed., Cengage.
(E-Book available from the university library website)

2. 学修の到達目標/Goal of study :

The students are expected to have a deep understanding of modern econometric methods in economic data analysis. Also, the course is designed as a prerequisite for advanced econometrics courses. The students will be able to apply basic econometric tools in empirical research (cross-sectional data) after the course.

3. 授業内容・方法と進捗予定/Contents and progress schedule of the class :

1. Economic data structure (Wooldridge Chapter 1 and Appendix B & C)

Basic probability & statistics for econometrics

Conditional expectation (conditional mean)

Causality & Ceteris Paribus

2. Linear regression model estimation (Wooldridge Chapter 2 & 3)

Simple & multiple regression

Gauss-Markov Assumptions

Unbiasedness, Efficiency, BLUE

3. Multiple regression inference (Wooldridge Chapter 4)

Classical linear model (CLM) Assumptions

t and F tests

4. Large sample regression model (Wooldridge Chapter 5) and Consistency (Wooldridge Appendix C-3)

Asymptotic normality

Large sample inference

5. Multicollinearity (Wooldridge Chapter 3, 3-4a) and Heteroskedasticity (Wooldridge Chapter 8)

Robust standard error & inference

Diagnostic tests for Heteroskedasticity

Weighted Least Square (WLS) estimator

6. Endogeneity (Wooldridge Chapter 15)

Instrumental variable & 2SLS

Testing for endogeneity & overidentification

7. Miscellaneous topics (Wooldridge Chapter 6)

Beta Coefficients

Functional forms

Goodness-of-fit & selection of regressors

8 Regression with qualitative information (Wooldridge Chapter 7)

Dummy regressors

Linear probability model

9 Model specification, measurement error, and sample issues (Wooldridge Chapter 9)

Not all topics in each chapter will be covered. Please refer to the lecture notes distributed during the class.

4. 実務・実践的授業/Practicalbusiness

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

5. 使用言語/Language Used in Course :

English

6. 成績評価方法/Evaluation method :

Assignments (30%)

Mid-term exam (30%)

Final exam (40%)

7. 教科書および参考書/Textbook and references :

Introductory Econometrics: A Wooldridge Cengage Learning 2016
modern approach 5e

8. 関連URL/URL :

Google Classroom: p7wm7sv

Download the text as E-Book from the library website

9. 授業時間外学修/Preparation and Review :

10. その他/In addition :

メディア授業科目 /Course of Media Class:

上級計量経済学特殊講義 I /Advanced Econometrics(Special Lectures)I

担当教員/Instructor : KO IAT MENG/KO IAT MENG

曜日・講時/Day/Period : 前期 水曜日 2 講時

対象学年/Eligible Participants : 3・4,

科目ナンバリング/Course Numbering : EAL-EC0366E, 単位数/Credit(s) : 2

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class :

This course is one-semester advanced level econometrics. The prerequisites are Econometrics I and II. This course should be regarded as the entry level econometrics course for PhD program. Students are required to complete the two courses before enrolling in this one. In this course, we will study econometrics in greater depth with both old topics (such as linear regression) and new topics (such as panel data model). Mathematical tools, for example, vector and matrix, are extensively used in deriving estimations and inferences. Random sample (independence) is assumed in most of the topics. Dependent sample will be covered in Advanced Econometrics II.

2. 学修の到達目標/Goal of study :

The students are expected to have a much deeper understanding of modern econometrics. The topics covered in this course are essential for rigorous economic research either empirically or theoretically.

3. 授業内容・方法と進捗予定/Contents and progress schedule of the class :

Conditional Expectation and Projection (Hansen Chapter 2 & 3; Hong Chapter 2; Wooldridge Chapter 2)

- Conditional Expectation
- Best predictor under MSE criteria
- Linear projection and Least Squares Estimator
- Correct model specification

Single-Equation Linear Model (Hansen Chapter 4-7, 9; Hong Chapter 3-4; Wooldridge Chapter 3-4)

- Classical linear regression models: OLS and MLE
- Large sample linear regression models: OLS and Method of Moment
- Hypothesis testing

Single-Equation Linear Model with Instrumental Variables Estimation (Hansen Chapter 12 & 13; Wooldridge Chapter 5)

- Generalized method of moment under i.i.d.
- Two-stage least squares estimation

Multiple-Equation Model (Hansen Chapter 11; Wooldridge Chapter 7)

- Seemingly Unrelated Regressions: OLS and GLS

Linear Unobserved Effects Panel Data Models (Hansen Section 17.1-17.27; Wooldridge Chapter 10)

- FD, FE, RE methods

4. 実務・実践的授業/Practicalbusiness

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○"Indicates the practicalbusiness

5. 使用言語/Language Used in Course :

English

6. 成績評価方法/Evaluation method :

Assignments (40%)

Mid-term exam (30%)

Final exam (30%)

7. 教科書および参考書/Textbook and references :

Econometrics	Hansen, Bruce E.	2022
Foundations of Modern Econometrics: A Unified Approach	Hong, Yongmiao	World Scientific Pub Co. 2020
Econometric Analysis of Cross Section and Panel Data	Wooldridge, Jeffrey M.	MIT Press. 2002

8. 関連URL/URL :

Google Classroom: ipfaqju

9. 授業時間外学修/Preparation and Review:

10. その他/In addition:

メディア授業科目 /Course of Media Class:

Lecture slides will be distributed. No single textbook will be exactly followed. Selected chapters from different textbooks will be listed as reading materials.

上級計量経済学特殊講義Ⅱ/Advanced Econometrics(Special Lectures)Ⅱ

担当教員/Instructor: KO IAT MENG/KO IAT MENG

曜日・講時/Day/Period: 後期 水曜日 4 講時

対象学年/Eligible Participants: 3・4,

科目ナンバリング/Course Numbering: EAL-EC0391E, 単位数/Credit(s): 2

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class:

This course is one-semester advanced level econometrics. The prerequisites are Econometrics I, II, and Advanced Econometrics I. This course should be regarded as the second PhD level econometrics course and will cover various asymptotic theories, with an emphasis in dependent samples. Time series econometric models will be covered.

2. 学修の到達目標/Goal of study:

The students are expected to have a much deeper understanding of modern econometrics. The topics covered in this course are essential for rigorous economic research either empirically or theoretically.

3. 授業内容・方法と進捗予定/Contents and progress schedule of the class:

Asymptotic Theory with Dependent Sample (Hayashi Chapter 2; Hansen Chapter 14; Hong Chapter 5)

- Stationary and Ergodicity
- Martingale and Martingale Difference
- WLLN and CLT for ergodic time series

Linear Time Series Regression Models (Hansen Chapter 14; Hong Chapter 5)

- Static, (Autoregressive) Distributed Lag
- Granger Causality

ARMA Linear Processes & GARCH (Hamilton Chapter 3-5, 21; Hansen Chapter 14; Hayashi Chapter 6; Hong Chapter 9)

- Wold decomposition
- GARCH
- MLE & QMLE

Dynamic Panel Data Model (Hayashi Chapter 3; Hansen Section 17.36-17.42)

- Generalized method of moment
- Anderson-Hsiao, Arellano-Bond
- Blundell-Bond

VAR Model (Hamilton Chapter 11; Hansen Chapter 15)

Unit-Root Econometrics (Hamilton Chapter 17; Hansen Chapter 16; Hayashi Chapter 9)

- Functional CLT
- Unit root test

Cointegration (Hamilton Chapter 19; Hansen Chapter 16; Hayashi Chapter 10)

Note: We may not be able to cover all topics due to time constraints. The contents will be adjusted accordingly.

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

5. 使用言語/Language Used in Course:

English

6. 成績評価方法/Evaluation method:

Assignments (40%)

Mid-term exam (30%)

Final exam (30%)

7. 教科書および参考書/Textbook and references:

Time Series Analysis	Hamilton, James D.	Princeton University Press	1994
Econometrics	Hansen, Bruce E.		2022
Econometrics	Hayashi, Fumio	Princeton University Press	2000
Foundations of Modern Econometrics: A Unified Approach	Hong, Yongmiao	World Scientific Pub Co	2020

8. 関連URL/URL :

Google Classroom: wgyq5s5

9. 授業時間外学修/Preparation and Review :

10. その他/In addition :

メディア授業科目 /Course of Media Class:

Lecture slides will be distributed. No single textbook will be exactly followed. Selected chapters from different textbooks will be listed as reading materials.

政治経済学特殊講義/Political Economy(Special Lectures)

担当教員/Instructor: 黒瀬 一弘, 守 健二/KAZUHIRO KUROSE

曜日・講時/Day/Period: 後期 木曜日 1 講時

対象学年/Eligible Participants: 3・4,

科目ナンバリング/Course Numbering: EAL-EC0367E, 単位数/Credit(s): 2

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class:

The purpose of this course is to provide students with the basic theories of Marxian and other non-mainstream economics by using mathematical methods.

The course not only provides different explanation concerning the same phenomena (e.g. positiveness of prices) from the mainstream economics but also deals with the phenomena which are not explained in the orthodox textbooks.

Given the tendency that unequal distribution of income and wealth is growing all over the world, Marxian as well as other non-mainstream economics are recently revisited. Due to this course, it is expected that the different ways of thinking about capitalist economies from the mainstream are possible.

2. 学修の到達目標/Goal of study:

This course has an ambitious goal of acquiring such knowledge and skills as follows:

- 1) basic properties of linear economic models
- 2) understanding of alternative ways in order to theorise capitalism by using the models
- 3) value, prices, and choice of technique, and the paradox of capital theory
- 4) economic growth based on a simple two-class economy

3. 授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class:

All information of this course will be announced through Google classroom. Thus, don't fail to register for Google classroom if you wish to take this course.

This course is divided into two parts, the first of which is charged by Prof. Mori and the second of which is by Prof. Kurose. The first part deals with the Classical-Marxian value and price; the contents are given as follows:

- 1) Input-Output Analysis
- 2) Labor theory of value
- 3) Price of production
- 4) Hawkins-Simon condition
- 5) Sraffian price theory
- 6) Perron-Frobenius theorem

On the basis of the first part, the second one deals with the choice of technique, income distribution, paradox of capital theory, and economic growth models, and argues the relevance of these models. The contents of the second part are given as follows:

- 1) Leontief production model with multiple alternative techniques
- 2) Capital paradox
- 3) Growth and distribution in a two-class economy

The lecture-notes and other material are uploaded to Google classroom, the code of which is given as follows:

aeaiedh

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

5. 使用言語/Language Used in Course:

English

6. 成績評価方法/Evaluation method:

The first part charged by Prof. Mori: Homework (70%)+Examination (30%)

The second part charged by Prof. Kurose: Homework (30%)+Examination. (70%)

7. 教科書および参考書/Textbook and references:

Radical Political Economy	Robin Hahnel	Routledge	2017
Equilibrium, Stability and Growth	Michio Morishima	Clarendon Press	1964
Marx's Economics	Michio Morishima	Cambridge University Press	1973
Theory of Production	H. Kurz and N. Salvadori	Cambridge University Press	1995
The Economics of Input-Output Analysis	Thijs ten Raa	Cambridge University Press	2005

Lectures on the Theory of Production	Luigi L. Pasinetti	Columbia University Press	1977	
Theory of Economic Growth	Michio Morishima	Clarendon Press	1969	
Capital Theory and Dynamics	Edwin Burmeister	Cambiridge University Press	1981	
Capital I～III	K, Marx	Foreign Languages Publishing House	1954-1959	
Production, Value and Income Distribution	Enrico Bellino	Routledge	2022	9780367273354

8. 関連URL/URL :

9. 授業時間外学修/Preparation and Review :

Sufficient preparation and review are necessary.

10. その他/In addition :

メディア授業科目 /Course of Media Class:

Basic knowledge of linear algebra is prerequisite.

経済学史特殊講義/History of Political Economy (Special Lectures)

担当教員/Instructor : 古谷 豊/YUTAKA FURUYA

曜日・講時/Day/Period : 前期 月曜日 2 講時

対象学年/Eligible Participants : 3・4,

科目ナンバリング/Course Numbering : EAL-EC0368E, 単位数/Credit(s) : 2

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class :

Introduction to Economics:

If you are interested in the story behind Micro and Macro Economics you are learning, or if you have faced challenges in coming to grips with some of the conceptual foundations of modern Economic theory, you may find this course beneficial. Past students have told me that the course improved their understanding of current economic theory by tracing its historical evolution. They have shared that the course served as a complement and guide to their Micro and Macro Economics studies.

The discipline of Economics has a complex history marked by contradictions. On one hand, it is a history of disagreement and changes, but on the other, it is a persistent effort to address crucial questions facing society. This interplay of discontinuity and continuity has shaped Economics into the theory we study today. By tracing the evolution of the science, we can gain a deeper understanding of its essence and how it has developed into its current form.

2. 学修の到達目標/Goal of study :

Upon completion of this course, you will be able to:

- develop an in-depth understanding of the context of contemporary economic theory
- acquire knowledge of the various schools of economic thought
- understand why economics has changed over time

3. 授業内容・方法と進捗予定/Contents and progress schedule of the class :

This course will be held in-person. We will use Google Classroom for communication and assignments.

1. Schedule of the course:

Week 01 April 10 (course introduction)

Week 02 April 17 Thomas Mun.

Week 03 April 24 Adam Smith.

Week 04 May 1 David Ricardo.

Week 05 May 8 Malthus and Sismondi.

Week 06 May 15 Friedrich List.

Week 07 May 22 (midterm exam followed by a brief explanation session)

Week 08 May 29 Karl Marx.

Week 09 June 5 Léon Walras.

Week 10 June 12 Alfred Marshall.

Week 11 June 19 J. M. Keynes.

Week 12 June 26 Hicks and Samuelson.

Week 13 July 3 Milton Friedman.

Week 14 July 10 New Neoclassical Synthesis.

Week 15 July 24 (final exam followed by a brief explanation session)

2. Weekly routine:

- Prior to each class session, you will review the designated readings and share your insights with others via Google Classroom.
- The class will commence with quizzes based on the assigned readings;
- followed by a lecture from me on the topic for the week.
- The final segment of the class, lasting ten to fifteen minutes, will be dedicated to class discussion.

3. Readings:

The assigned readings for each class typically range from 6,000 to 7,000 words, with slight variations from week to week. You are not required to spend an excessive amount of time meticulously reviewing the readings. A quick overview should suffice to enhance your grasp of the weekly lectures.

Upon completing your brief review, kindly share your takeaway/insight in a brief post on Google Classroom, consisting of one or two sentences.

4. Reading Quizzes:

There will be three to five quizzes of moderate ease. The format of the quizzes will be fill-in-the-blank, multiple choice, true/false, etc.

Please arrive on time for the quizzes, as no make-up quizzes will be given.

5. Class discussion:

A moderator for each week will be sought in advance. The role of the moderator will be to facilitate the discussion and encourage a productive exchange of ideas regarding the topic of the day.

In courses such as the history of economic thought, it is inevitable that certain topics may arise that some participants may find uncomfortable. As we engage in class discussions, I kindly ask you all to acknowledge that diverse perspectives and opinions may be present. Please maintain a considerate demeanor towards those with whom you may have differing viewpoints.

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

5. 使用言語/Language Used in Course :

English

6. 成績評価方法/Evaluation method :

30% Active class participation
20% Reading quizzes
20% Midterm exam
30% Final exam

Make sure not to miss the scheduled exams. The only acceptable justification for missing the midterm or final exams is a verified medical emergency, supported by a p

7. 教科書および参考書/Textbook and references :

8. 関連URL/URL :

9. 授業時間外学修/Preparation and Review :

Leaf through the designated readings and share your insights with others via Google Classroom before each class.

10. その他/In addition :

メディア授業科目 /Course of Media Class:

Please make sure to attend the first class, which will take place from 10:30 to 12 on April 10th, in Seminar Room 1.

The rules in this course involving the new coronavirus will be announced at the first class.

戦略と組織特殊講義/Strategy and Organization(Special Lectures)

担当教員/Instructor：山崎 喜代宏/KIYOHRO YAMAZAKI

曜日・講時/Day/Period：後期 月曜日 6 講時

対象学年/Eligible Participants：3・4,

科目ナンバリング/Course Numbering：EAL-MAN360J, 単位数/Credit(s)：2

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class：

本授業は、経営学の教員で担当する講義であり、それぞれの教員の研究分野に関する講義をオムニバス形式で提供する。今日、経営学の分野でどのような研究が行われているかを幅広く紹介するので、この講義を通じて受講者は、自らの研究の視野を広げてほしい。対象は修士学生であるが、学部生、博士課程、他分野の学生に対しても開かれている。

In this omnibus lecture series on strategy and organization, eight professors of different specialties deliver various themes. By introducing up-to-date academic development in each sub-field of business management, students would have a chance to broaden their perspectives when selecting and conducting their research projects. This course is designed initially for master course students, but we also welcome undergraduate students, students of the Ph.D. course, and other majors.

2. 学修の到達目標/Goal of study：

経営学関連の研究について、広く知識を得ること。

レポート作成を通じて、それぞれの分野についての理解を深めつつ、研究論文の書き方を学ぶこと。

You should understand the wide range of concurrent research developments in a business management field by the end of this course. You are required to write and submit a report for eight different sub-themes, which would help to enhance your understanding and achievement.

3. 授業内容・方法と進捗予定/Contents and progress schedule of the class：

授業内容、日程については下記の通りであり、対面講義で行う。

ただし変更の可能性もあるので、随時、授業内および Google Classroom(ndhbae7) のアナウンスに注意を払うこと。

The contents and schedule of this class are as follows

It will be conducted through face-to-face lectures.

When there are any changes, we will announce you via the classroom.

Please pay close attention to the announcement in the Google classroom (class code: ndhbae7) as well.

*その他、外部講師、講演会への参加を随時アナウンスをする。

10月2日		
10月16日	山崎	オリエンテーション
10月23日	山崎	戦略論
10月30日	山崎	戦略論
11月6日	金	国際経営
11月13日	金	国際経営
11月20日	福嶋	地域企業・ベンチャー
11月27日	福嶋	地域企業・ベンチャー
12月4日	藤本	組織論
12月11日	高浦	企業倫理入門
12月18日	高浦	CSR 入門
12月25日	一小路	マーケティング
1月15日	西出	非営利組織論
1月22日	西出	非営利組織論
1月29日		

4. 実務・実践的授業/Practicalbusiness

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○"Indicates the practicalbusiness

5. 使用言語/Language Used in Course：

日本語/英語

6. 成績評価方法/Evaluation method：

- ・各教員が課題を出し、成績評定をしたものを、単純平均し、得点とする。
- ・出席は必須。ただしどうしても出席できない場合は、その回の担当教員に事情を説明し、代替措置の有無について問い合わせをすること。

7. 教科書および参考書/Textbook and references：

8. 関連URL/URL :

<https://classroom.google.com/u/1/c/NTg40Dgw0TkzMjQw>

9. 授業時間外学修/Preparation and Review :

- ・授業の資料は各担当教員から指示および提供され、事前課題が出されることがあるので、Google Classroom のアナウンスの内容に従うこと。
- ・授業で紹介されたり、興味をもった分野の論文・書籍を読むこと。
- ・授業で課されたレポートや宿題は必ず提出すること。

10. その他/In addition :

メディア授業科目 /Course of Media Class:

- ・第一回目のオリエンテーションには必ず参加すること（やむを得ず欠席する場合には、窓口教員：山崎まで事前にメールで連絡すること）（kiyohiro.yamazaki.e1@tohoku.ac.jp）。

経済史特殊講義/Economic History(Special Lectures)

担当教員/Instructor：菅原 歩/AYUMU SUGAWARA

曜日・講時/Day/Period：前期 水曜日 3 講時

対象学年/Eligible Participants：3・4,

科目ナンバリング/Course Numbering：EAL-EC0370J, 単位数/Credit(s)：2

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class：

歴史学（外国史）の方法論

経済史研究においては、経済学を理解と歴史学の理解の両方が必要となる。本講義では、その2つのうちの歴史学の方法論に特に焦点を当てる。

Methodology of Historical Research (for Foreign History)

The study of economic history requires both an understanding on economics and an understanding on historical research. This course will focus specifically on the methodology of historical part of the two.

2. 学修の到達目標/Goal of study：

外国史および国際関係史に関して、大学院の専門レベルでの論文作成のための実証的な歴史研究の方法を知る。

The goal is to know how to conduct empirical historical research for dissertations at the graduate level on foreign history and the history of international relations.

3. 授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：

授業内容・方法：

講義の進め方

テキストの該当箇所について、授業前半で、受講者のうちの担当者が要約を発表する。

第1回では要約発表はなし。ただし、受講者は第1回への出席前に、教科書の

「日本語版の読者へ」、「はじめに」、「訳者あとがき」を読了していること。

したがって、受講者は、必ず教科書を持参すること。

授業後半では、ディスカッションと必要に応じた講師による解説を行う。

本講義では、グーグルクラスルームも使用する。クラスコードは、bj6pb2b

(※なお、グーグルクラスルームへのログインと、学務情報システムでの「履修登録」は別なものであるため、履修者は必ず履修期間内に学務情報システムでの履修登録も行うこと。)

進度予定：

第1回：講義のイントロダクションと教科書「日本語版の読者へ」、「はじめに」、「訳者あとがき」

第2回：教科書第1章「歴史研究の理論」(1)

第3回：教科書第1章「歴史研究の理論」(2)

第4回：教科書第2章「外交史と国際関係理論」(1)

第5回：教科書第2章「外国史と国際関係理論」(2)

第6回：教科書第3章「歴史研究の批判的分析」(1)

第7回：教科書第3章「歴史研究の批判的分析」(2)

第8回：教科書第4章「文献分析で解釈を向上させる」(1)

第9回：教科書第4章「文献分析で解釈を向上させる」(2)

第10回：教科書第5章「文書を使いこなす」(1)

第11回：教科書第5章「文書を使いこなす」(2)

第12回：教科書第6章「プロジェクトを始める」

第13回：教科書第7章「書き上げる」

第14回：討論および進度調整

第15回：理解度確認セッション（論述式）

講義の進展速度、受講者数、受講者の研究テーマなどによって、内容・進度に多少の変更を加える場合がある。

必要に応じて、別途関連文献（教科書中の参考文献など）を取り上げて追加で取り上げる場合がある。

Class contents:.

How to proceed with the lecture.

In the first half of the class, a summary of the relevant sections of the text will be presented by one of the students in charge.

Therefore, students must bring the textbook.

In the second half of the class, there will be discussion and, if necessary, commentary by the lecturer.

Google Classroom will also be used in this class. The class code is bj6pb2b.

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

5. 使用言語/Language Used in Course :

日本語

6. 成績評価方法/Evaluation method :

理解度確認セッション : 40%

要約発表 : 30%

討論への貢献 : 30%

7. 教科書および参考書/Textbook and references :

国際関係史の技法 : 歴史研究の	マーク・トラクテンバ	ミネルヴァ書房	2022	教科書
組み立て方	ーグ		年	

8. 関連URL/URL :

Google Classroom のクラスコードは、bj6pb2b

9. 授業時間外学修/Preparation and Review :

予習 : 各回のテキスト内の該当章を事前に熟読してくる。要約担当者は要約を作成する。

復習 : 討論で出た論点への考察を復習のための課題とする場合がある。理解度確認セッションの準備。

10. その他/In addition :

メディア授業科目 /Course of Media Class:

履修の条件 : 第1回の講義までにこのシラバスを読んでいること。(第1回の講義の際に確認します。) また、講義の際は必ず教科書を持参すること。

オフィスアワー : 講義中に指示します。

メールアドレス : 学生便覧の「経済学研究科教員・講師一覧表」にあります。

(※経済史特殊講義の受講者も、必ず経済史「特論」の方のGoogle Classroom、bj6pb2bにログインして下さい。)

経営史特殊講義/Business History(Special Lectures)

担当教員/Instructor : 結城 武延/TAKENOBU YUKI

曜日・講時/Day/Period : 後期 月曜日 4 講時

対象学年/Eligible Participants : 3・4,

科目ナンバリング/Course Numbering : EAL-MAN362J, 単位数/Credit(s) : 2

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class :

経営史とは、企業がその時代に直面した経営上の問題をどのように解決したのか、また企業行動にどのような背景があり、それはいかなる成果に帰結したのかを解明する学問である。本講義では、発展途上国における産業の形成・発展・変容について、戦前日本を事例として、多様な視点で学ぶ。

Business history is the study of how companies solved the business problems they faced in their time, the background to their actions, and the results they achieved. In this lecture, we will study industries' formation, development, and transformation from various perspectives in developing countries.

2. 学修の到達目標/Goal of study :

- (1) 歴史の中で企業の果たす意義と可能性を考える。
- (2) 経営環境や歴史的条件などの制約の中で、経営者の意思や主体的な選択が、歴史にどのような影響を与えたのかを学ぶ。
- (3) 企業の経営戦略や組織構造が決定される要因や因果関係について理解する。

To understand the formation process of the stock company system by focusing on management's will and independent choice.

3. 授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class :

- 第1回 : インTRODクシヨN/Introduction
第2-6回 : 産業の形成/The formation of the industry
第7-10回 : 産業の発展/The development of the industry
第11-14回 : 産業の変容/The transformation of the industry
第15回 : まとめ/Conclusion

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

5. 使用言語/Language Used in Course :

日本語/Japanese

6. 成績評価方法/Evaluation method :

平常点 : 60%、レポート : 40%

Participation 60%, Term papers 40%

7. 教科書および参考書/Textbook and references :

8. 関連URL/URL :

9. 授業時間外学修/Preparation and Review :

- 予習 : 理解度を深めるためにも事前学習が望まれる。
復習 : 前回までの知識を前提として授業をすすめるため、復習は必須である。

10. その他/In addition :

メディア授業科目 /Course of Media Class:

使用言語 : 講義は日本語で行い、レポートは日本語か英語とする。

履修の条件 : 特になし

参考書 : 購入する必要はありません。レジュメを配布します。

連絡先 : takenobu.yuki.cl@tohoku.ac.jp

教員 HP : <https://sites.google.com/site/takenobuyuki1981/home>

BCP レベル 1 の場合は、「対面授業」を原則とする。

BCP レベル 2 以上の場合は、「オンライン授業」を原則とする。

参加者は Google クラウドを必ず参加登録すること。

クラスコードは「v3n6ami」

Language: Japanese.

Course Requirements: None.

Reference books: No need to buy. My resume will be distributed.

Contact: takenobu.yuki.c1@tohoku.ac.jp

Faculty website: <https://sites.google.com/site/takenobuyuki1981/home>

For BCP level 1, face-to-face classes are the general rule.

For BCP level 2 and above, "online class" shall be the principle.

Participants must register for the Google Classroom.

The class code is v3n6ami

国際金融論特殊講義/International Finance(Special Lectures)

担当教員/Instructor : 秋田 次郎/JIRO AKITA

曜日・講時/Day/Period : 後期 金曜日 2 講時

対象学年/Eligible Participants : 3・4,

科目ナンバリング/Course Numbering : EAL-EC0372E, 単位数/Credit(s) : 2

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class :

The purpose of the course is to provide students with an overview of International Economics including International Finance / Open Economy Macroeconomics.

Classes will be conducted face-to-face or, if this is not feasible, remotely on demand using Google Classroom. Teaching materials will also be provided through Google Classroom.

2. 学修の到達目標/Goal of study :

Firm grasp of the theories and policies of both trade theory microeconomics and open economy macroeconomics. Trade theory explains why and how countries gain from trade. Trade policy involves governments' strategic policy. Open economy macroeconomic theory explains the determinations of foreign exchange rates and outputs. International macroeconomic policy puts special emphasis on the importance of macroeconomic policy coordination across the countries.

3. 授業内容・方法と進捗予定/Contents and progress schedule of the class :

Classes will be conducted face-to-face or, if this is not feasible, remotely on demand using Google Classroom. Teaching materials will also be provided through Google Classroom (class code 【mnqhdcl】 (EM0409)、【7lhcybs】 (EB417)).

The course basically proceeds along the contents of the widely used Krugman-Obstfeld undergraduate textbook (International Economics: Theory and Policy). While quickly reviewing the undergraduate materials, graduate level materials will be supplemented wherever it suits the goals.

- 1) Chapter 2: World Trade: An Overview
- Chapter 3: Labor Productivity and Comparative Advantage: The Ricardian Model
- 2) Chapter 4: Specific Factors and Income Distribution ,
- Chapter 5: Resources and Trade: The Heckscher-Ohlin Model
- 3) Chapter 6: The Standard Trade Model
- Chapter 7: External Economies of Scale and the International Location of Production
- 4) Chapter 8: Firms in the Global Economy: Export Decisions, Outsourcing, and Multinational Enterprises
- Chapter 2-8 Review (International Trade Theory)
- 5) Chapter 9: The Instruments of Trade Policy
- Chapter 10: The Political Economy of Trade Policy
- 6) Chapter 11: Trade Policy in Developing Countries
- Chapter 12: Controversies in Trade Policy
- 7) Chapter 09-12 Review (International Trade Policy)
- 8) Chapter 13: National Income Accounting and the Balance of Payments
- Chapter 14: Exchange Rates and the Foreign Exchange Market: An Asset Approach
- 9) Chapter 15: Money, Interest Rates, and Exchange Rates
- Chapter 16: Price Levels and the Exchange Rate in the Long Run
- 10) Chapter 17: Output and the Exchange Rate in the Short Run .
- Chapter 18: Fixed Exchange Rates and Foreign Exchange
- 11) Chapter 13-18 Review: (Exchange Rates and Open Economy Macroeconomics)
- 12) Chapter 19: International Monetary Systems: An Historical Overview
- Chapter 20: Optimum Currency Areas and the European Experience
- 13) Chapter 21: Financial Globalization: Opportunity and Crisis
- Chapter 22: Developing Countries: Growth, Crisis, and Reform
- 14) Chapter 19-22 Review (International Macroeconomic Policy)
- 15) Overall Review and Extensions

4. 実務・実践的授業/Practicalbusiness

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○"Indicates the practicalbusiness

5. 使用言語/Language Used in Course :

English

6. 成績評価方法/Evaluation method :

Evaluation or comprehension confirmation will be performed based on the grades of assignments submitted in time for the deadline set after each class.

7. 教科書および参考書/Textbook and references :

International Economics:	Krugman, Obstfeld	Prentice Hall	ISBN-10:
Theory and Policy	and Melitz		0132146657

8. 関連URL/URL :

9. 授業時間外学修/Preparation and Review :

The course consists of formal lectures.

Thorough preparation before and review after each lecture is expected on the part of attendants.

10. その他/In addition :

メディア授業科目 /Course of Media Class:

Previous exposure to undergraduate level microeconomics and macroeconomics is prerequisite. Familiarity with mathematics for economists is preferable.

Office hour : via Google Classroom.

環境経済学特殊講義/Environmental Economics(Special Lectures)

担当教員/Instructor : 日引 聡/AKIRA HIBIKI

曜日・講時/Day/Period : 後期 月曜日 3 講時

対象学年/Eligible Participants : 3・4,

科目ナンバリング/Course Numbering : EAL-EC0375E, 単位数/Credit(s) : 2

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class :

This course applies standard microeconomic theory and concepts to understand the role of environmental policy. The students should have completed Calculus and microeconomics courses of advanced undergrad level before taking this class.

Google Classroom Class Code : t2gi3bq

2. 学修の到達目標/Goal of study :

At the end of the course, students should be able to understand the basic knowledge of environmental economics.

3. 授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class :

(Class 1) External cost (negative externality) and the market failure : Case of pollution

(Class 2) The optimal environmental policy in the case of pollution under the competitive market.

(Class 3) External benefit and the market failure : case of afforestation

(Class 4) The optimal environmental policy in the case of external benefit under the competitive market

(Class 5) Optimal market size in the case of negative externality under the competitive market and the long term optimal environmental policy

(Class 6) The optimal environmental policy in the monopolistic market.

(Class 7-8) Incentive of adoption of environmental friendly technology (or investment) and environmental policy

(Class 9-10) Choice of environmental policy instruments under uncertainty: environmental tax or command and control

(Class 11-12) Emission trading scheme

(Class 13) Information provision and choice of quality by producers

(Class 14-15) Economic analysis of liability law toward the (environmental) accident: how do the injurers and the victims be responsible for the damage respectively? What is the optimal liability rule to induce them to choose the optimal accident avoidance behavior?

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

5. 使用言語/Language Used in Course :

English

6. 成績評価方法/Evaluation method :

Based on the final examination (70%) and quizzes (30%)

7. 教科書および参考書/Textbook and references :

8. 関連URL/URL :

9. 授業時間外学修/Preparation and Review :

The students are expected to read materials distributed in the class beforehand.

10. その他/In addition :

メディア授業科目 /Course of Media Class:

(1) This course will be taught in English. The materials for the lectures are distributed in the class. The students must have basic knowledge of microeconomics.

(2) This course will be conducted face-to-face, when BCP level is 0 or 1. Otherwise it will be conducted online.

(3) Office hour : by appointment (email : hibiki@tohoku.ac.jp)

加齢経済特殊講義/Aging Economy(Special Lectures)

担当教員/Instructor: 吉田 浩/HIROSHI YOSHIDA

曜日・講時/Day/Period: 前期 月曜日 2 講時

対象学年/Eligible Participants: 3・4,

科目ナンバリング/Course Numbering: EAL-EC0376E, 単位数/Credit(s): 2

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class:

高齢社会の諸問題を近代経済学の知見で分析すること

人口高齢化が経済に及ぼす影響を理解する

To understand the effect of aging on economy.

経済体制が人口構造に及ぼす影響を理解する

To understand the effect of economic system on population structure; aging, low fertility...

高齢化の経済分析の手法を理解する

To know the skill for analyzing the economics of aging.

経済理論: Economic theory

分析技法: Technique of analyzing (programming, calculation..)

2. 学修の到達目標/Goal of study:

高齢社会の諸問題を経済モデルで分析、説明できるようになる。

3. 授業内容・方法と進捗予定/Contents and progress schedule of the class:

(1) Economics of population aging, demand for children, economics of gender;

(2) Generational equity using the Generational Accounts;

(3) Economics of Household, time allocation, life time optimization;

(4) Economic effect of public pension.

公的年金、介護保険、少子化問題、家計の行動、世代会計など

Part A: Basic Knowledge

1. 高齢社会の基礎知識 (定義、用語、高齢化の原因、国際比較等); Basic knowledge of ageing society, words definition, reason of aging, international comparison...

2. 高齢化のマクロ経済への影響 (経済全体からの視点・・・労働力の問題、資本の問題); Effect of aging on Macroeconomics (labor supply, capital accumulation)

3. 高齢化社会と財政 (財政赤字の適切な指標、財政運営の考え方); Aging and fiscal policy; adequate index for evaluating budget of public sector management.

4. 高齢社会政策 (社会保障政策と高齢化、年金、介護) Social welfare, social security policy under the aging society; public pension, long term nursing care.

5. 経済政策上の対応策 (租税の基本理論、高齢社会にふさわしい税制) Aging and tax policy; basic theory of taxation, tax system fit for the aging society.

6. 事業の効率化 (事業の効率化とは、自治体の合併、行政評価の視点); Efficiency of public program, Reorganization of the local government, communities, evaluation of public policy,

PartB 経済理論と分析技法 (Theory and Skills)

1. 少子化モデル: Demand for Children

$u=U(c1, c2)u=U(c, n)$ number of children

2. 1.2 期間消費者モデル: Tow period consumer model

ライフサイクルモデル: A life cycle model

若年労働期と老年退職期: Working young period and Retired old period

消費行動と貯蓄: consumption and saving

貯蓄と資本蓄積: saving and capital accumulation $Y-C=S=I=\Delta K$

3. 課税と経済厚生: Taxation and economic welfare

消費課税か所得課税か: Tax on consumption vs. on income

経済厚生への影響: effect on economic welfare

資本蓄積への影響: effect on capital accumulation

4. 労働供給モデル: model of labor supply

時間配分理論: time allocation theory $T=Working\ hours + time\ for\ Leisure$

社会保障と労働供給: Social security benefit and labor supply

5. 資本蓄積と生産関数: capital accumulation and production function

$Y=F(K, L)=K^\alpha L^{1-\alpha}$ $K(t+1)=(1-\delta)K(t)+I(t)$

人口高齢化の影響: Effect of papulation aging

Effect on labor supply: labor shortage

Effect on capital supply: capital shortage

4. 実務・実践的授業/Practicalbusiness

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○"Indicatesthe practicalbusiness

5. 使用言語/Language Used in Course:

Japanese, English

6. 成績評価方法/Evaluation method :

理解度確認セッション（筆記）、教科書と自筆ノートの持ち込み可
Home works

7. 教科書および参考書/Textbook and references :

授業中に資料配布

8. 関連URL/URL :

Google Class

<https://classroom.google.com/c/NTg40Dgw0TU3NjQx?cjc=yoal7ac>

9. 授業時間外学修/Preparation and Review :

(1) You should have the basic knowledge of macro economics, microeconomics, econometrics.

(2) Office hour; 13:00-14:30 every Tuesday. (You have to reserve in advance.)

(3) Report home works in the google class

10. その他/In addition :

メディア授業科目 /Course of Media Class:

Google Class Code :yoal7ac

<https://classroom.google.com/c/NTg40Dgw0TU3NjQx?cjc=yoal7ac>

福祉経済特殊講義/Welfare Economy(Special Lectures)

担当教員/Instructor : 若林 緑/MIDORI WAKABAYASHI

曜日・講時/Day/Period : 後期 水曜日 2 講時

対象学年/Eligible Participants : 3・4,

科目ナンバリング/Course Numbering : EAL-EC0377E, 単位数/Credit(s) : 2

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class :

This course focuses on the social security system and public finance.
Current policy issues in Japan (especially, social security system) are also discussed.

2. 学修の到達目標/Goal of study :

We study the role of the government in the economy and why government intervention is needed.

Also, you can understand Japanese social security system and discuss not only system itself but also argue the pros and cons of the system.

Also, I introduce general topics of welfare economics (for example, the reasons for government intervention in the economy and social insurance). Next, I talk about special topics of social security, especially in Japan. I would also like to talk about family economics and education economics. This class also study applied microeconometrics.

3. 授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class :

- 1) 2) Introduction to Welfare Economics and Social Security
- 3) 4) Data Analysis
- 5) -7) Social Insurance and Redistribution
- 8) - 10) Social Security
- 11)-12) Public Assistance
- 13)-15) Family Economics (including Nursing Care)

The order and contents might be changed depending on procedures.

Students need to present each subsection first. Students need to prepare power point presentation slides.

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

5. 使用言語/Language Used in Course :

English

6. 成績評価方法/Evaluation method :

Presentation 50%

Minitest and Exam 50%

7. 教科書および参考書/Textbook and references :

Public Finance and Public Policy	Jonathan Gruber	Macmillan	2022	978-1319466923	Textbook
----------------------------------	-----------------	-----------	------	----------------	----------

8. 関連URL/URL :

9. 授業時間外学修/Preparation and Review :

You have to be interested in Social security systems and public policy.

10. その他/In addition :

メディア授業科目 /Course of Media Class:

Basic level of microeconomics, macroeconomics, and econometrics are required

応用データ科学特殊講義/Applied Data Science(Special Lectures)

担当教員/Instructor : 李 銀星/YINXING LI

曜日・講時/Day/Period : 前期 金曜日 2 講時

対象学年/Eligible Participants : 3・4,

科目ナンバリング/Course Numbering : EAL-MAN370E, 単位数/Credit(s) : 2

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class :

Google classroom コード : olwjxzb

目的 :

本講義では、プログラミング言語 python の基礎、及び python を用いたデータ分析のスキルを習得する。

本講義は主に PBL (Problem-based learning) の形で、実データ分析に基づいた学習を行う。

概要 :

近年ではデータ科学およびデータ分析に基づいた現実問題への解決が注目されつつある。本講義では実データ分析を例とする学習を通じて、受講生にデータ分析の知識、および分析スキルを身に着けることを目的とする。

In this course, students will learn the basic knowledge of the programming language python, as well as the data analysis skill via the empirical application.

2. 学修の到達目標/Goal of study :

1. プログラミング言語 python の基本知識を理解する。
2. 回帰分析などの基本的機械学習の手法を理解する。
3. 実データを用いて、データ処理、分析、結果の解釈を含めたデータに基づいた応用分析ができるようになる。

1. Understanding the basic knowledge of the programming language python.
2. Understanding the basic machine learning methods, i.e., regression analysis.
3. Understanding the whole data analysis process including data pre-processing, analysis and the interpretation for the results based on the real data.

3. 授業内容・方法と進捗予定/Contents and progress schedule of the class :

【授業の内容・方法】 Colab におけるオンライン教材を中心とする。

【進捗予定】

1. python の環境設定
2. python の基礎およびデータ処理
3. データ分析の基本
4. 予測問題の分析
5. 分類問題の分析
6. クラスタリング分析
7. テキスト解析と正規表現
8. テキストを用いたデータ分析
9. 深層学習の基本
10. ニューラルネットワークの応用
11. 時系列データ分析
12. 画像処理と解析
13. Attention と Transformer
14. 強化学習 (i)
15. 強化学習 (ii)

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

5. 使用言語/Language Used in Course :

日本語、英語

Japanese, English

6. 成績評価方法/Evaluation method :

毎週の課題の完成状況、最終レポートの完成度、および出席率に基づいて総合的に評価評価する。

The final evaluation is based on the attendance rate, weekly and final report.

7. 教科書および参考書/Textbook and references :

8. 関連URL/URL :

9. 授業時間外学修/Preparation and Review :

授業外でのプログラミング練習も望まれる。

10. その他/In addition :

メディア授業科目 /Course of Media Class:

オペレーションズ・リサーチ特殊講義/Operations Research(Special Lectures)

担当教員/Instructor: 鈴木 賢一/KENICHI SUZUKI

曜日・講時/Day/Period: 後期 火曜日 5 講時

対象学年/Eligible Participants: 3・4,

科目ナンバリング/Course Numbering: EAL-EC0380E, 単位数/Credit(s): 2

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class:

For any organization, the ability to manage projects is a critical factor in achieving its goals. Therefore, the study of project management, including how to plan, monitor and control projects, has been of interest to scholars and practitioners from various disciplinary backgrounds. This course has three major subjects: project planning, project monitoring, and risk analysis. In the Project planning part, we first introduce the classical PERT/CPM techniques as temporal analysis tools. Then we incorporate the resource allocation into the planning problem and extend it to the problem with uncertainty. A widely accepted approach for monitoring and controlling a project is earned value management (EVM) which uses the cost and the time as criteria for project progress. In the EVM framework, many indices exist for monitoring projects, and we will introduce how to use them for controlling and forecasting. As the third subject, risk analysis of projects will be introduced. We redefine the scheduling problem incorporating uncertainty. We present several approaches to identify the risk structure of projects and evaluate the impact of individual risk factors.

2. 学修の到達目標/Goal of study:

Students are expected to understand

- Classical PERT/CPM and more advanced technique for time management of projects
- EVM and related technique for monitoring projects
- techniques for buffer management

3. 授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class:

The topics included in the course are as follows:

- 1 Introduction
- 2 Program Evaluation and Review Technique (PERT) and temporal analysis (1)
- 3 Program Evaluation and Review Technique (PERT) and temporal analysis (2)
- 4 Critical path method (CPM)
- 5 Resource Constrained Project Management (1)
- 6 Resource Constrained Project Management (2)
- 7 Heuristic Method (1)
- 8 Earned Value Management (1)
- 9 Earned Value Management (2)
- 10 Stochastic PERT
- 11 Risk indicators
- 12 Analytic Approximation
- 13 Risk factors
- 14 Project Portfolio Management
- 15 Review of the course

In each session, the concept of the models and methods will be explained, and occasionally, applications to the actual cases are provided. The topics are organized considering their interconnectivity, although the course can be loosely divided into several sections. At the each end of the sections, students will be given an assignment.

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

5. 使用言語/Language Used in Course:

English

6. 成績評価方法/Evaluation method:

Attendance (30%),
Assignments (70%)

7. 教科書および参考書/Textbook and references:

8. 関連URL/URL :

9. 授業時間外学修/Preparation and Review :

10. その他/In addition :

メディア授業科目 /Course of Media Class:

All the participants are required to have basic knowledge of mathematical analysis, linear algebra, statistics and probability theory.

財政特殊講義/Public Finance(Special Lectures)

担当教員/Instructor : 佐々木 伯朗/NORIO SASAKI

曜日・講時/Day/Period : 前期 木曜日 2 講時

対象学年/Eligible Participants : 3・4,

科目ナンバリング/Course Numbering : EAL-EC0381E, 単位数/Credit(s) : 2

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class :

Using basic economic theories, this course compare standard theory of public finance established by R.A. Musgrave and critical theory of public finance represented by R. Goldscheid and J. Schumpeter. In addition, recent fiscal situation of main countries will be discussed.

2. 学修の到達目標/Goal of study :

To understand normative economic roles of the public sector and allocation of the roles among each part of the public sector. To understand criticisms of the normative theory and their foundations from fiscal sociology. To know the differences of both thoughts and have own opinions.

3. 授業内容・方法と進捗予定/Contents and progress schedule of the class :

1. Resource allocation
2. Income redistribution
3. Economic stabilization and growth
4. Fiscal federalism
5. Critiques of Musgrave's fiscal theory
6. Emergence of fiscal sociology
7. Schumpeter's Tax State
8. Interpretation of fiscal sociology from modern economic perspective

Materials:

Musgrave, R and P. Musgrave(1973) Public finance in theory and practice, New York: McGraw-Hill.

Musgrave, R. (1992) "Schumpeter's crisis of the tax state: an essay in fiscal sociology", Journal of Evolutionary Economics, 2, 89-113.

O'Connor, J. (1973) The Fiscal Crisis of the State, New York: St. Martin's Press.

Schumpeter, J. (1918) "The crisis of the tax state" in R. Swedberg(ed.) The economics and sociology of capitalism, Princeton, N.J.: Princeton University Press.

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

5. 使用言語/Language Used in Course :

English

6. 成績評価方法/Evaluation method :

Attendance with minute paper 30%

A few reports 30%

Final examination 40%

7. 教科書および参考書/Textbook and references :

8. 関連URL/URL :

9. 授業時間外学修/Preparation and Review :

Students are expected to read materials themselves as far as they can.

10. その他/In addition :

メディア授業科目 /Course of Media Class:

For clear understanding, it is recommended to have knowledge of basic micro and macroeconomics in undergraduate level. Announcements of the class are informed in Google Classroom.

Class code: x3og6qa

経済統計学特殊講義/Economic Statistics(Special Lectures)

担当教員/Instructor : 松田 安昌/YASUMASA MATSUDA

曜日・講時/Day/Period : 前期 月曜日 2 講時

対象学年/Eligible Participants : 3・4,

科目ナンバリング/Course Numbering : EAL-EC0392E, 単位数/Credit(s) : 2

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class :

Google classroom code:

<https://classroom.google.com/c/NTg40Dc1Mjc3Mzk5?cjc=3wid3sd>

Please check the classroom for the latest information.

Title: theory of statistical estimation in terms of both classical frequentist and Bayesian viewpoints.

Abstract:

This class gives a mathematical foundation for data science applications. There have been two view points in statistical estimation, i.e. frequentist and Bayesian perspectives. In real applications of data science, we often ignore the perspectives and just choose an estimation method without enough considerations. I will give them a detailed account in such a way that would provide you with good knowledge on the choice. The lectures mainly focus on theoretical work rather than empirical or computational applications.

Remark: Our department has several faculty working on data science. I recommend you to choose a good combination among the subjects below on your interests.

Y. Matsuda, Statistics,

S. Ko, Econometrics

T. Ishigaki, Marketing

Y. Li, Computational statistics,

T. Ishihara, Micro Econometrics, Causal Inference,

2. 学修の到達目標/Goal of study :

MLE(maximum likelihood estimation) is the most important principle that has been generally applied in data science. The goal is to learn the goodness of MLE in terms of

1. consistency (law of large numbers)
2. efficiency (central limit theorems)
3. applications to statistical inference

3. 授業内容・方法と進捗予定/Contents and progress schedule of the class :

1. Statistical decision theory
2. sufficient statistics
3. Maximum Likelihood Estimation (MLE)
 - 3.1. Law of Large Numbers
 - 3.2. Consistency of MLE
 - 3.3. Central Limit Theorems
 - 3.4. Asymptotic efficiency of MLE
4. Bayesian Estimation
 - 4.1 prior and posterior distributions
 - 4.2 choice of priors
 - 4.3 Bayesian methods in statistical decision theory

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

5. 使用言語/Language Used in Course :

6. 成績評価方法/Evaluation method :

grades of homework, which will be assigned every a few weeks

7. 教科書および参考書/Textbook and references :

Theory of point estimation	Lehman, E. L.	Springer	2000	B000YHB89Q
現代数理統計学	竹村 彰通	学術図書出版		4780608600

8. 関連URL/URL :

9. 授業時間外学修/Preparation and Review :

10. その他/In addition :

メディア授業科目 /Course of Media Class:

産業発展論特殊講義/Industrial Development(Special Lectures)

担当教員/Instructor : 川端 望/NOZOMU KAWABATA

曜日・講時/Day/Period : 後期 火曜日 4 講時

対象学年/Eligible Participants : 3・4,

科目ナンバリング/Course Numbering : EAL-EC0385J, 単位数/Credit(s) : 2

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class :

事例を通して、産業調査の方法とその背後にある認識論を学び、実態調査に基づく定性的研究法への理解を深める。

In this class, students learn industrial research methods and the epistemology behind them through case studies to deepen their understanding of qualitative research methods based on factual surveys.

2. 学修の到達目標/Goal of study :

- * 実態調査に基づく定性的研究法の意義と限界について理解すること。
- * 産業調査に基づく研究成果の意義と限界について理解すること。
- * 産業調査の計画立案と質問票作成を行うスキルを身に着けること。

*To understand the significance and limitations of qualitative research methods based on surveys of actual conditions.

*To understand the significance and limitations of research findings based on industrial surveys.

*To acquire skills in planning industrial surveys and preparing questionnaires.

3. 授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class :

本講義は、川端が過去 30 年間に実施してきた産業調査について紹介し、議論する。調査がどのような背景を持って実施されたか、調査では何を明らかにしようとしたか、調査はどのように行われたか、調査結果はどのように研究に活かされたか、調査と研究の意義と限界はどこにあったか、を受講者とともに検討する。

< 予定スケジュール >

1. ガイダンスー産業論における生産力と生産関係の認識
2. 日本企業の製品開発調査 (1992-1995)
3. 日米合弁鉄鋼企業調査 (1994)
4. 日本企業の生産システム調査 (1993-1998)
5. 山西省鉄鋼業と環境問題調査 (1999-2006)
6. 初期産業発展論ゼミ工場調査 (日産自動車, NKK, 日立製作所, トヨタ自動車, デンソー, 豊田自動織機) (1998-2000)
7. ベトナム国市場経済化支援計画策定調査(石川プロジェクト) (2000-2001)
8. NEU-JICA 共同研究・ベトナム開発フォーラム (VDF)によるベトナム鉄鋼業調査 (2001-2007)
9. タイ鉄鋼業調査 (NEU-JICA, アジア経済研究所) (2003-2008)
10. 東アジア鉄鋼一貫企業比較調査 (科研費等) (2007-2012)
11. 大連市ソフトウェア・ITES 産業調査 (2010-2014)
12. 東北地方自動車産業調査 (2010-2016)

This lecture will introduce and discuss industrial surveys conducted by Kawabata over the past 30 years. Together with the participants, we will examine the background of the surveys, what the surveys sought to reveal, how the surveys were conducted, how the survey results were used in research, and what the significance and limitations of the surveys and research were.

Tentative schedule

1. Guidance: Recognition of productive forces and production relations in industry studies
2. Survey of Product Development in Japanese Companies (1992-1995)
3. Survey of U.S.-Japan joint venture steel companies (1994)
4. Survey on Production System of Japanese Enterprises (1993-1998)
5. Survey of the Steel Industry and Environmental Issues in Shanxi Province, China (1999-2006)
6. Survey of factories by Laboratory of Industrial Development (Nissan Motor, NKK, Hitachi, Toyota Motor, Denso, Toyota Industries (1998-2000)
7. Study on the development of a plan to support the transition to a market economy in Vietnam (Ishikawa Project) (2000-2001)
8. Survey of the Iron and Steel Industry in Viet Nam by NEU-JICA Joint Study and Vietnam Development Forum (VDF), etc. (2001-present)
9. Survey on the Iron and Steel Industry in Thailand (NEU-JICA, Institute of Developing Economies) (2003-2008)
10. Comparative Survey of Integrated Iron and Steel Companies in East Asia (2007-2012)
11. Survey of the Software and ITES Industry in Dalian City, China (2010-2014)
12. Survey of the Automobile Industry in North East Area, Japan (2010-2016)

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

5. 使用言語/Language Used in Course :

日本語。

6. 成績評価方法/Evaluation method :

平常点 : 50 点

レポート : 50 点

7. 教科書および参考書/Textbook and references :

日本企業の研究開発システム	大阪市立大学経済研究所 明石芳彦・植田浩史編	東京大学出版会	1995	9784130401456	教科書
日本企業の生産システム	坂本清編著	中央経済社	1998	9784502348457	教科書
東アジア鉄鋼業の構造とダイナミズム	川端望	ミネルヴァ書房	2005	9784623045181	教科書
ベトナムの工業化戦略	大野健一・川端望編	日本評論社	2003	9784535552920	教科書
アジア諸国の鉄鋼業 (雑誌論文, 調査報告書は別途指定する)	佐藤創編	アジア経済研究所	2008	9784258045716	教科書

8. 関連URL/URL :

9. 授業時間外学修/Preparation and Review :

教科書の一部と、雑誌論文、調査報告書を予習文献に指定する。指定した文献を予習すること。入手方法についてはガイダンスで説明する。

10. その他/In addition :

メディア授業科目 /Course of Media Class:

地域計画特殊講義/Regional Planning(Special Lectures)

担当教員/Instructor: 増田 聡/SATORU MASUDA

曜日・講時/Day/Period: 前期 月曜日 6 講時

対象学年/Eligible Participants: 3・4,

科目ナンバリング/Course Numbering: EAL-EC0386J, 単位数/Credit(s): 2

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class:

本年度の経済学研究科・地域計画特論（経済学部・地域計画特殊講義）は、「都市・地域計画」及び関連領域の理論と実践に関するテキストを複数取り上げ、批判的に輪講する。この分野は、建築・土木・造園等の物的計画（Physical Planning）に基礎を置くものから、観光学、行政学や政策科学、社会学、地域経済学、福祉政策的視点で研究されたものまで多様なアプローチが存在している。今回は、受講生の専門領域や関心の所在に応じてテキストを選択し、比較検討の対象としたい。さらに、現実の実践例についても適宜紹介してもらう予定であるが、今のところ（講義開始当初は）、下記の2冊の中から1つを選び輪講を始めることを考えている。

- ・板垣勝彦（2023）『都市行政の変貌と法』第一法規
- ・北原糸子（2023）『震災復興はどう引き継がれたか：関東大震災・昭和三陸津波・東日本大震災』藤原書店

本講義は、Google Classroom: cfztlmcw を通じて、講義関連の連絡・情報提供や資料配付・課題提示を行う。
学部講義 [EB435] 地域計画特殊講義でも、上位と同じ Classroom を利用する（jaaq3vj は利用しない）、

This year's Regional Planning Special Lectures will feature several textbooks on "urban and regional planning" and related topics. This field is mainly based on the physical planning of architecture, civil engineering, landscaping, and also has various connections with tourism, administration and policy science, sociology, regional economics, and welfare policy. The selection of textbooks should be based on the student's area of specialization and interest.

2. 学修の到達目標/Goal of study:

- ・都市計画・地域開発・まちづくり・地域デザイン等に関わる多様な論点と、その理論的背景を理解する
- ・計画実践例の展開過程を追い、計画・実施組織や方法論の特徴を、地域いえきぶんみゃくの中で把握する
- ・上記の理論化と政策立案・施策実施との関係性を理解する
- ・ Understand various issues and theoretical backgrounds of city planning, regional development, community organization, regional design, and so on.
- ・ Follow the developing process of some plans, and grasp the characteristics of the planning institution and methodologies in a regional contexts.
- ・ Understand the relationship between the planning theory and practice.

3. 授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class:

○講義方法

下記の参考文献欄に示したもの他、参加者からの提案も踏まえて、初回に教科書・参考書の候補を持ち寄り、その中から選定する。各回の講義は、報告者と討論者を中心とする輪講形式で行う。報告者は文献内容の要約紹介を、討論者は内容に対するコメントと関連事例の報告をそれぞれ担当する。各回の報告担当は第2回講義開講時に決定し、報告者は発表の前週にレジメを、討論者は当日コメントを準備しておくこと。レジメ作成では、地図・統計表・その他関連資料を自ら発掘し添付することが望ましい。

○進捗予定

- ・第1回 ガイダンス・テキスト選択
- ・第2回 参加者の研究テーマ紹介と作業分担
- ・第3～13回 報告と討論（毎回二人程度）
- ・第14, 15回 総括

○Lecture style

In addition to those texts listed in the reference below, based on the suggestions of participants, we select textbooks at the beginning of the course. Each session will be held in a round-table manner centered on the reporter and debaters. The reporter is responsible for summarizing the contents of the literature, and the debaters are responsible for commenting on the contents and introducing supplemental cases. It is desirable to find and attach maps, statistical tables, and other related materials.

○Schedule

- ・ 1st session: Guidance and text selection
- ・ 2nd: Introduction of participants' research topics and work sharing
- ・ 3rd to 13th: Reports and discussions (about 2 people each time)
- ・ 14th and 15th: Review and summary

○板垣勝彦（2023）『都市行政の変貌と法』第一法規 の場合

第1部 都市空間の再構成

- 第1章 都市行政と住宅法
- 第2章 用途地域規制の過去、現在、未来
- 第3章 コンパクトシティの法的コントロール
- 第4章 都市の駅とまちづくりにおける行政と法
- 第5章 歴史と共に生きるまちづくり

- 第6章 道路占用許可の規制緩和と屋外都市空間の多目的利用
- 第7章 地下空間の公共的利用と法
- 第2部 都市居住の変容
 - 第1章 新型コロナウイルスと都市生活
 - 第2章 高齢者の住まいと地域包括ケアの法律学
 - 第3章 高齢社会における管理不全不動産の諸問題
 - 第4章 外国人居住と行政法
 - 第5章 「住みこなし」の法律学
- 第3部 都市紛争の相貌
 - 第1章 長期にわたる都市計画制限の見直しと損失補償
 - 第2章 場外車券発売施設の設置と地域住民の原告適格
 - 第3章 農地の競売と買受適格証明書
 - 第4章 3号道路の判定と処分性
- 第4部 都市を支える基盤
 - 第1章 セーフティネットとしての公営住宅
 - 第2章 改良住宅の使用権確認等請求事件
 - 第3章 都市公園の公告
 - 第4章 水道コンセッションと保障責任
 - 第5章 工業用水道の廃止負担金
 - 第6章 内水氾濫と国家賠償——下水道と河川管理の交錯——

○北原糸子（2023）『震災復興はどう引き継がれたか：関東大震災・昭和三陸津波・東日本大震災』

- 第Ⅰ部 「近代復興」の起点・継承・その終焉
 - 関東大震災・昭和三陸津波・東日本大震災
 - 序 関東大震災と東日本大震災をつなぐ昭和三陸津波
 - 第1章 昭和三陸津波 東北の震災近代復興
 - 第2章 昭和三陸津波 リーダーの存在と復興への道
 - 第3章 「近代復興」の終焉・東日本大震災——その起点・関東大震災からの系譜
- 第Ⅱ部 関東大震災の社会史
 - はじめに
 - 序章 メディアが捉えた震災
 - 第1章 関東大震災の救護と復興計画
 - 第2章 震災地の罹災者・東京——救護の力
 - 第3章 バラック設置から閉鎖まで
 - 第4章 地方へのがれる避難民
 - 第5章 震災義捐金を活かす
 - 終章 帝都復興計画の行方
- 第Ⅲ部 関東大震災・資料篇
 - 1 関東大震災における避難者の動向——「震災死亡者調査票」の分析を通して
 - 2 関東大震災における下賜金について

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○"Indicates the practical business

5. 使用言語/Language Used in Course :

日本語

6. 成績評価方法/Evaluation method :

平常の報告・討論（講義への貢献 50%）と、レポート（学期末他 50%）により評価する。

7. 教科書および参考書/Textbook and references :

都市行政の変貌と法	板垣勝彦	第一法規	2023	978-4474091825	候補
震災復興はどう引き継がれたか：関東大震災・昭和三陸津波・東日本大震災	北原糸子	藤原書店	2023	978-4865783766	候補
まちづくりの統計学	宇都宮浄人	宇都宮浄人	2022	978-4761528065	昨年度採用
産業政策のつくり方	大野健一	有斐閣	2013	978-4641164185	
地域再生の失敗学	飯田・木下・川崎・入山ほか	光文社新書	2016	978-4334039158	
都市縮小時代の土地利用計画：多様な都市空間創出へ向けた課題と対応策	浅野・海道・中西・秋田ほか	学芸出版社	2017	978-4761540920	
都市をつくりかえるしくみ	門性をつなぐ参画のしくみ研究会編	彰国社	2016	978-4395320813	
まちづくりとしての地域包括ケアシステム：持続可能な地域共生社会をめざして	辻哲夫・田城孝雄・内田要編	東京大学出版会	2017	978-4130511421	
災害復興法学	岡本正	慶応義塾大学出版会	2014	978-4766421637	
復興の空間経済学：人口減少時代の地域再生	藤田昌久・浜口伸明・亀山嘉大	日本経済新聞	2018	978-4532134785	

8. 関連URL/URL :

9. 授業時間外学修/Preparation and Review :

- ・報告者は担当箇所を要約し、発表前週の講義修了時にレジメを印刷・配布すること。
- ・討論者は前週に配られたレジメを予習し、コメント等を準備しておくこと。
- ・他の参加者は、レジメ読了の上、講義に参加すること。

○その他の参考図書

- ・日本建築学会編 (2004～)『まちづくりの方法』まちづくり教科書シリーズ 1～10、丸善
- ・日本建築学会編 (2014)『コンパクト建築設計資料集成：都市再生』、丸善
- ・伊藤智章 (2016)『地図化すると世の中が見えてくる』、ベレ出版
- ・Adam Sheppard

10. その他/In addition :

メディア授業科目 /Course of Media Class:

特に履修の条件はない。オフィスアワーは相談の上決定する。講義内容や文献等に関して質問がある場合は、事前にメール (s.masuda@tohoku.ac.jp) で連絡の上、研究室 (川内南・経済学研究棟 513 号室) まで。

人材マネジメント論特殊講義/Human Resource Management(Special Lectures)

担当教員/Instructor: 藤本 雅彦/MASAHIKO FUJIMOTO

曜日・講時/Day/Period: 前期 月曜日 3 講時

対象学年/Eligible Participants: 3・4,

科目ナンバリング/Course Numbering: EAL-MAN364J, 単位数/Credit(s): 2

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class:

この授業では、人的資源管理について、歴史的な形成過程から今日の仕組みや課題などを幅広く取り上げる。現代企業の人材マネジメントを理解するためには、歴史のおよびグローバルな視点から考察することが肝要である。そこで、この授業では様々な視点からの概念モデルや理論を通してとりわけ日本企業の人材マネジメントについて幅広く論じる。

In this course, I take up human resource management through various scope and approach, and especially Japanese human resource management.

2. 学修の到達目標/Goal of study:

今日の人材マネジメントに関して、複眼的な視点から自分の言葉でその全体像を論じられるようになることが到達目標である。

The purpose of this course is to be able to speech whole of today's human resource management from several view point.

3. 授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class:

授業形態は、対面で時間割通りにリアルタイムで行う。

授業の内容は、基本的な理論や概念モデルを図解したレジュメに基づいて講述を中心とする授業を行う。使用するレジュメは、以下の Google Classroom にアクセスして事前にダウンロードして準備すること。

クラスコード: soo5rxj

<https://classroom.google.com/c/NTg40Dgw0Tc4MDEz?cjc=soo5rxj>

主な授業内容のテーマは以下の通りである。

- ・ 人材マネジメントの変遷とフレームワーク
- ・ 今日の労働市場と人材ポートフォリオ
- ・ 日本企業における人材の採用と退職、配置と昇進、評価と処遇
- ・ 人材育成とキャリアマネジメント

This course will be held by face to face on real time.

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

5. 使用言語/Language Used in Course:

日本語 (Japanese)

6. 成績評価方法/Evaluation method:

講義内容を踏まえた課題レポートによって評価 (100%) する。

7. 教科書および参考書/Textbook and references:

8. 関連URL/URL:

<https://classroom.google.com/c/NTg40Dgw0Tc4MDEz?cjc=soo5rxj>

9. 授業時間外学修/Preparation and Review:

あらかじめダウンロードしたレジュメを見ながら当日の授業内容をイメージしておくこと。

10. その他/In addition:

メディア授業科目 /Course of Media Class:

レジュメを使用するので特定の教科書はないが、レジュメに参考文献が明記されているので復習の際にはそれらを活用すること。

マーケティング管理論特殊講義/Marketing Management (Special Lectures)

担当教員/Instructor : 一小路 武安/TAKEYASU ICHIKOHJI

曜日・講時/Day/Period : 後期 水曜日 2 講時

対象学年/Eligible Participants : 3・4,

科目ナンバリング/Course Numbering : EAL-MAN365J, 単位数/Credit(s) : 2

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class :

学生はマーケティングを学ぶ上で標準的な教科書である「マーケティング・マネジメント」(コトラー&ケラー)を題材に、マーケティングの基本的な理論について理解する。
Students will understand the basic theories of marketing using the standard textbook on marketing, "Marketing Management" (Kotler & Keller) as their subject.

2. 学修の到達目標/Goal of study :

マーケティングの基本的な理論を理解したうえで、その理論を用いて現実の事象を分析できるようになる。
Students will be able to understand the basic theories of marketing and then use those theories to analyze real-world events.

3. 授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class :

指定された教科書に関して各章ごとに批判的に読み進める。
Students will critically read each chapter of the assigned textbook.

発表者は各章に関して発表資料を作成し、他の学生に印刷して配布したうえで発表する。
The presenter will prepare presentation materials for each chapter, print and distribute them to the other students, and then present them.

その他の受講生は各章に監視して疑問点や議論点を作成(1枚以内)したうえで、担当教員に提出する。
Other students should prepare questions and discussion points (no more than one page) on each chapter and submit them to the instructor.

発表後、参加者の間で質疑応答や議論を行う。
After the presentation, there will be a question and answer session and discussion among the participants.

必要な連絡はGoogle Classroomを通じて行う。
Any necessary communication will be done through Google Classroom.

本講義は大学院との合併科目であるため、関連する情報は「マーケティング管理論特論」(EM0038)にて提示する。
As this course is a joint course with the graduate school, relevant information will be presented in "Advanced Marketing Management Theory" (EM0038).

当該科目のクラスコードである qed52v1 を検索してほしい。
Please search for the class code of that course, qed52v1.

クラスルームにアクセスできない場合は、教員に直接メール (takeyasu.ichikohji.c7@tohoku.ac.jp) してほしい。
If you cannot access the class room, please email the instructor directly at takeyasu.ichikohji.c7@tohoku.ac.jp.

初回講義はGoogle Meetを用いる。クラスにあるMeetのリンクにアクセスすること。
The first lecture session will be conducted in Google Meet. Access the Meet link in the class.

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

5. 使用言語/Language Used in Course :

日本語

6. 成績評価方法/Evaluation method :

平常成績による。

7. 教科書および参考書/Textbook and references :

コトラー&ケラーのマーケティング・マネジメント 第12版	Philip Kotler & Kevin Lane Keller	2014	4621066161	教科書
------------------------------	-----------------------------------	------	------------	-----

8. 関連URL/URL :

9. 授業時間外学修/Preparation and Review :

事前学習：各章に関する事前理解並びに疑問点・議論点の考察

事後学習：議論を踏まえたうえでのトピックの整理

10. その他/In addition :

メディア授業科目 /Course of Media Class:

国際経営特殊講義/International Business(Special Lectures)

担当教員/Instructor : 金 熙珍/HEEJIN KIM

曜日・講時/Day/Period : 前期 火曜日 2 講時

対象学年/Eligible Participants : 3・4,

科目ナンバリング/Course Numbering : EAL-MAN369E, 単位数/Credit(s) : 2

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class :

Business today is by all measures global. No business or industry of any size is immune from the global environment. The primary objective of this course is to explore the distinctive nature of international business. The course will cover basic theory and empirical researches of major and current issues of international business.

2. 学修の到達目標/Goal of study :

1. To understand challenges of MNCs (Multinational Companies) competing in diversified global markets.
2. To understand the current issues involved in emerging market strategy.

3. 授業内容・方法と進捗予定/Contents and progress schedule of the class :

Tentative schedules and examples of readings (The readings are subject to change)

1) Introduction to course (13th April)

2) Globalization of a firm (1)

[Readings]

①Vahlne, J. Ivarsson, I. and Johanson, J. (2011) The tortuous road to globalization for Volvo's heavy truck business: Extending the scope of the Uppsala model, *International Business Review* 20, 1-14.

②Saraseno, T. (2014) Voices from the Front Lines, *Harvard Business Review*, 2-7.

3) Globalization of a firm (2)

[Readings]

①Matusitz, J. (2011) Disney's successful adaptation in Hong Kong: A glocalization perspective, *Asia Pacific Journal of Management* 28, 667-681.

②Khanna, T. (2014) Contextual Intelligence, *Harvard Business Review*, 4-11.

4) IB and Culture

[Readings]

①Hofstede, G. (1983). The cultural relativity of organizational practices and theories, *Journal of International Management Studies*, 14(2), 75-89.

②Hofstede, G. (2007). Asian management in the 21st century, *Asia Pacific Journal of Management* 24, 411-420.

③Shook, J. (2010) How to change a culture: Lessons from NUMMI, *MIT Sloan Management Review*, 63-68.

5) IB and Language

[Readings]

①Neeley, T. and Kaplan R.S. (2014) What's your language strategy?, *Harvard Business Review*, 2-8.

②Maddux, W.W., Kim, P.H., Okumura, T. and Brett, J.M. (2012) Why "I'm sorry" doesn't always translate, *Harvard Business Review*, 2

③Harzing, A., Koster, K. and Magner, U. (2011) Babel in business: The language barrier and its solutions in the HQ-subsidiary relationship, *Journal of World Business* 46, 279-287.

6) IHRM (International Human Resource Management)

[Readings]

①Schuler, R.S., Jackson, S.E. and Tarique, I. (2011) Global talent management and global talent challenges: strategic opportunities for IHRM, *Journal of World Business* 46, 506-516.

②Unruh, G.C. and Cabrera, A. (2013) Join the global elite, *Harvard Business Review*, 2-6.

③Grant, E.A. (2008) How to retain talent in India, *MIT Sloan Management Review*

7) Global Marketing

[Readings]

①Buzzell, R.D. (1968) Can you standardize multinational marketing?, *Harvard Business Review*, 102-112.

②Levitt, T. (1983) The Globalization of Markets, *Harvard Business Review*, 2-11.

8) Emerging Market Strategy (1)

①Prahalad, C.K. and Lieberthal, K. (1998) The End of Corporate Imperialism, *Harvard Business Review*, 2-11.

②Radjou, N. and Prabhu, J. (2012) Mobilizing for growth in emerging markets, *MIT Sloan Management Review*, 81-88.

③Shankar, S. and Ormiston, C. (2008) How to win in emerging markets, *MIT Sloan Management Review*, 19-23.

9) Emerging Market Strategy (2)

①London, T. and Hart, S.L. (2004) Reinventing strategies for emerging markets: beyond the transnational model, *Journal of International Business Studies*, 350-370.

②Mahajan, V. (2013) Understanding the Arab Consumer, *Harvard Business Review*, 2-6.

③Park, S.H. and Vanhonacker, W. R. (2007) The challenge for multinational corporations in China: Think local, act global, *MIT Sloan Management Review*, 8-15.

10) Emerging Market Strategies of Japanese Firms

①Shintaku, J. and Amano, T. (2009) Emerging market strategies of Japanese firms: Reshaping the strategies in the growing markets, *MMRC Discussion Paper Series*, 1-33.

②Wakayama, T., Shintaku, J. and Amano, T. (2012) What Panasonic learned in China, *Harvard Business Review*, 2-6.

11) Semiglobalization

①Ghemawat, P. (2001) Distance still matters: the hard reality of global expansion, Harvard Business Review, 1-11.

②Ghemawat, P. (2003) Semiglobalization and international business strategy, Journal of International Business Studies 34, 138-152.

12) Reverse Innovation

[Readings]

①Immelt, J.R., Govindarajan, V. and Trimble, C. (2009) How GE is disrupting itself, Harvard Business Review, 3-11.

②Markides, C.C. (2012) How Disruptive Will Innovations from Emerging Markets Be?, MIT Sloan Management Review, 23-25.

③Simanis E. and Hart, S. (2009) Innovation from the inside out, MIT Sloan Management Review, 77-86.

④Steinfeld, E.S. and Beltoft, T. (2014) Innovation lessons from China, MIT Sloan Management Review, 49-55.

13) BoP(Bottom of the Pyramid) Business and MNC

①Prahalad, C.K. and Hammond, A. (2002) Serving the worlds' poor, profitably, Harvard Business Review, 4-11.

②London, T. (2009) Making better investments at a base of the pyramid, Harvard Business Reivew, 1-11.

③Rangan, V. K. , Chu, M. and Petkoski, D. (2011) Segmenting the base of the pyramid, Harvard Business Review, 2-6.

④Simanis, E. (2012) Reality check at the bottom of the pyramid, Harvard Business Review, 2-6.

14) Catch up & Review

15) Catch up & Review

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"○"Indicate the practical business

5. 使用言語/Language Used in Course :

6. 成績評価方法/Evaluation method :

1. Readings summary (for every lecture): one page summary for one reading 50%

2. Presentation and participation to class discussions 50%

7. 教科書および参考書/Textbook and references :

8. 関連URL/URL :

9. 授業時間外学修/Preparation and Review :

10. その他/In addition :

メディア授業科目 /Course of Media Class:

Readings will be sent by e-mail in advance of the lecture. As lectures do not conform to the structure adopted by standard textbooks, it is very important to attend class.

Class participation is critical. Effective interactions will enhance the learning experience of all class members.

日本経済史特殊講義/History of Japanese Economy (Special Lectures)

担当教員/Instructor: 酒井 一輔/KAZUHO SAKAI

曜日・講時/Day/Period: 前期 火曜日 5 講時

対象学年/Eligible Participants: 3・4,

科目ナンバリング/Course Numbering: EAL-EC0388J, 単位数/Credit(s): 2

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class:

日本における近代経済成長の始動と展開を体系的に把握する。もって、日本経済史を専門的に研究していくために必要な知見と方法を獲得する。

In this course, students will systematically learn to understand the start and development of modern economic growth in Japan. In this way, students will acquire the knowledge and methods necessary for the academic research of Japanese economic history.

2. 学修の到達目標/Goal of study:

労働、人口、金融、農業、工業、商業などの側面から江戸～明治・大正期の日本経済史を深く理解すること。
日本経済史分野の専門的議論を正確に理解し、研究上の論点を整理し、新たな課題を抽出すること。

Students are expected to achieve the following:

1. To understand the Japanese economic history from the Edo to Meiji/Taisho periods from the perspectives of labor, population, finance, agriculture, industry, and commerce.
2. To accurately understand academic discussions in the study of Japanese economic history, organize academic issues, and extract new academic themes.

3. 授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class:

各回の授業は輪読形式で実施する。

1. 授業時間の前半では、教科書の該当箇所について、担当者（受講生のなかから担当者を事前に決定する）が内容要約等を発表する。
2. 授業時間の後半では、講師による解説と参加者によるディスカッションを行う。

進度の予定は次の通りを予定している。

1. ガイダンス
2. マクロ経済と政府の役割 (1) 16 世紀末～19 世紀前半
3. 労働と人口 (1) 人口と都市化、移動と就業
4. 金融 (1) 農業金融の矛盾と公債市場の安定
5. 農業と土地利益 (1) 経済性成長と社会的安定の相克
6. 鉱工業 (1) 農村工業の拡大と鉱業の自立
7. 商業とサービス (1) 近世日本の市場と商業
8. マクロ経済と政府の役割 (2) 19 世紀後半から第一次世界大戦前 (1913)
9. 労働と人口 (2) 移動の自由と技能の形成
10. 金融 (2) 近代的金融システムの形成と企業金融
11. 農業と土地利益 (2) 明治の農業と都市不動産業
12. 鉱工業 (2) 産業革命期の鉱工業
13. 商業とサービス (2) 交通革命と明治の商業
14. 総合討論
15. 理解度確認セッション

This class will be conducted in a reading the textbooks by turns.

In the first half of the class time, one student, pre-selected from among the students, will present a summary of a chapter in the textbook.

In the second half of the class time, the instructor will provide explanations and participants will discuss.

Class schedule:

1. Introduction
2. Macroeconomics and the Role of Government (1) Late 16th century to mid-19th century
3. Labor and Population (1) Population and Urbanization, Migration and Nature
4. Finance (1) Contradictions in Agricultural Finance and Stability of the Bond Market
5. Agriculture and land use (1) Conflict between economic growth and social stability
6. Mining and manufacturing (1) Expansion of rural industry and independence of mining
7. Commerce and Services (1) Markets and Commerce in Early Modern Japan
8. Macroeconomics and the Role of Government (2) Late 19th Century to Before World War I (1913)
9. Labor and Population (2) Freedom of Movement and Formation of Ability
10. Finance (2) Formation of Modern Financial System and Corporate Finance
11. Agriculture and Land Utilities (2) Agriculture and the Urban Real Estate Industry in the Meiji Period
12. Mining and manufacturing (2) Mining and manufacturing during the industrial revolution
13. Commerce and Services (2) Transportation Revolution and Meiji Commerce
14. General discussion
15. Comprehension check session

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

5. 使用言語/Language Used in Course :

日本語 Japanese

6. 成績評価方法/Evaluation method :

発表の内容 (50%)、ディスカッションへの貢献 (30%)、理解度確認セッションの得点 (20%) により評価します。

Presentation (50%), Discussion (30%), Examination (20%)

7. 教科書および参考書/Textbook and references :

日本経済の歴史 第2巻	深尾京二・中村尚史・中林真幸編	岩波書店	2017	978-4-00-011402-8	教科書
日本経済の歴史 第3巻	深尾京二・中村尚史・中林真幸編	岩波書店	2017	978-4-00-011403-5	教科書

8. 関連URL/URL :

9. 授業時間外学修/Preparation and Review :

予習：各回のテキスト内の該当章を事前に熟読してくる。要約担当者は要約を作成する。

復習：理解度確認セッションの準備。

10. その他/In addition :

メディア授業科目 /Course of Media Class:

1. 受講者には次のことが義務付けられるので、その点をよく理解したうえで履修してください。

(1) 最低限1回以上、発表すること。

(2) 毎回の授業では、該当箇所を事前に読んだうえで臨むこと。

(3) 必ず教科書を入手すること。

2. 履修希望者は必ず初回授業に出席してください。

3. 大学院開講の「日本経済史特論」と合同の授業です。

資本市場の役割と証券投資/Role of the Capital Markets and the Securities Investment

担当教員/Instructor: 石川 学/MANABU ISHIKAWA

曜日・講時/Day/Period: 後期 木曜日 4 講時

対象学年/Eligible Participants: 3・4,

科目ナンバリング/Course Numbering: EAL-EC0322J, 単位数/Credit(s): 2

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class:

現代の経済では、金融・資本市場の果たす役割は極めて大きく、経済活動を行う人々が金融・資本市場の果たす役割を十分に理解しておくことが重要となっている。金融リテラシーをはじめ、現実的な金融・資本市場の潮流を知り、新しい金融市場の課題や役割を体系的に学び、実践的な力を身につけることが本講義の目標である。本講義は野村證券株式会社の寄付講義です。

"In modern economy, the roles of financial and capital markets are remarkably important. It is important for agents conducting economic activities to acquire knowledge about those roles. The goals of this lecture are as follows:

- ・ To understand the financial literacy
- ・ To understand the trends of real financial and capital markets
- ・ To acquire practical skills regarding financial literacy

This lecture is donated by NOMURA SECURITIES CO., LTD."

2. 学修の到達目標/Goal of study:

金融リテラシーをはじめ、現実的な金融・資本市場の潮流を知り、新しい金融市場の課題や役割を体系的に学び、実践的な力を身につける。

Learn about real financial and capital market trends, including financial literacy, systematically learn the challenges and roles of new financial markets, and acquire practical skills.

3. 授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class:

対面授業

- ①「金融リテラシーとは」
- ②「グローバル化する世界と資本市場の果たす役割」
- ③「金融機関が果たす役割と社会課題」
- ④「経済成長と金融・資本市場」
- ⑤「証券投資のリスク・リターンを考える」
- ⑥「投資信託について考える」
- ⑦「コーポレートガバナンスの潮流」
- ⑧「ベンチャーファイナンスの潮流」
- ⑨「M&A と投資銀行ビジネスの役割」
- ⑩「金融のデジタル化とフィンテック」
- ⑪「長寿化と投資／超高齢化時代の到来と金融サービス業」
- ⑫「ESG 投資とサステナブル・ファイナンス」
- ⑬「サステナブルな社会構築に向けた具体的な取り組みとインパクト」
- ⑭「グローバルマーケットと今後の成長テーマ」
- ⑮理解度確認セッション

face-to-face class

- (1) What is financial literacy
- (2) "The Globalizing World and the Role of Capital Markets"
- (3) "Roles of Financial Institutions and Social Issues"
- (4) "Economic Growth and Financial/Capital Markets"
- (5) "Think about the risk and return of securities investment"
- (6) "Think about investment trusts"
- (7) "Corporate Governance Trends"
- (8) "Trends in Venture Finance"
- (9) M&A and the role of the investment banking business
- (10) "Digitalization of Finance and Fintech"
- (11) "Longevity and Investment/Advent of the Super-Aging Era and the Financial Services Industry"
- (12) "ESG Investment and Sustainable Finance"
- (13) "Specific initiatives and impacts toward building a sustainable society"
- (14) "Global market and future growth themes"
- (15) Comprehension confirmation session

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

○

5. 使用言語/Language Used in Course:

講義、理解度確認セッションは日本語で行います。

Lectures and comprehension check sessions will be conducted in Japanese.

6. 成績評価方法/Evaluation method :

出席 50 点、理解度確認セッション 50 点で成績評価します。

Grading will be based on 50 points for attendance and 50 points for the comprehension check session.

7. 教科書および参考書/Textbook and references :

8. 関連URL/URL :

9. 授業時間外学修/Preparation and Review :

金融資本市場・経済に関するトピックを取り上げる機会が多いので、日経新聞等の経済情報に日頃から目を通しておくことが望ましい。

Since there are many opportunities to take up topics related to the financial and capital markets and the economy, the Nikkei newspaper and other economic information sources

It is desirable

10. その他/In addition :

メディア授業科目 /Course of Media Class:

基本的には対面講義で行います。また資料は ISTU に掲示します。

It is basically a face-to-face class. Materials will also be posted on ISTU.

連絡先

野村證券株式会社 仙台支店 法人課 桐澤 済

直通 : 022-225-4403

FAX : 022-223-2225

e-mail: wataru.kirisawa@nomura.com

キャリアワークショップ/Career Workshop

担当教員/Instructor: 宇野 健司/KENJI UNO

曜日・講時/Day/Period: 前期 木曜日 3 講時

対象学年/Eligible Participants: 2・3・4,

科目ナンバリング/Course Numbering: EAL-MAN228J, 単位数/Credit(s): 2

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class:

Google classroom クラスコード: fje14nl

キャリアワークショップ「問題解決のための思考法」(通称「宇野ゼミ」)

実務経験豊富な社会人教員が担当するケース・スタディ形式の授業です。

個人のキャリア形成、企業の組織論、経営戦略論など、実践的なテーマを取り上げ、講義(インプット)よりも、ディスカッション(アウトプット)形式に重きをおいて授業を行います。

学生主導で多様な意見を出し合い、論点を立てて議論を行った上で、講師が関連する知見を提供し、学生の気づき、視野の広がり、理解の深まりを促し、自発的な学習への意欲を引き出すことを目指します。

具体的には、毎回異なる事例(ケース①~⑩)を題材に、学生がディスカッションを行い、その後、講師が総括します。

第1回および第2回の授業では、「オリエンテーション&模擬ディスカッション」を行い、集団での議論の進め方のポイント、コミュニケーション・スキルの身につけ方、主体的なディスカッションを行う上での意識の持ち方などについて、予備的な素養を共有します。

第6回および第10回の授業では、講師の体験談をもとにしたキャリア形成の仕方(就職活動を含む)、海外大学への留学、自己啓発、視野の広げ方など、卒業後にも役立つ視点について、Q&Aを含めたセッションを行う予定です。

< As for information about this class, we use "Classroom." We also utilize "ZOOM" as a tool of real-time online class session. If you have any question, please contact the following e-mail address. kenji.uno@dir.co.jp >

Known as "Uno seminar." This class offers a case method type of lessons by a business professional.

Covering practical themes such as personal career formation, corporate organization theory, and business strategy, this class will utilize discussion rather than lecture.

Students are required to lead discussions actively, and the lecturer provides relevant knowledge, broadens perspective, deepens understanding, and motivates positive behavior.

A maximum of 30 students participate discussions (Case1 to 10) each time, and the lecturer summarizes later in each class.

In the 1st and 2nd classes, we will have "Orientation and introductory discussion." In the 6th and 10th classes, sessions about how to form your career will be held.

2. 学修の到達目標/Goal of study:

ディスカッションを通じ、「自分の意見を堂々と表明する」「他人の意見を尊重し、誠意を持って傾聴する」「批評・批判よりも、問題解決型の前向きな意見交換を行う」「柔軟かつ適切に議論をまとめる」など、社会人になってからも必要なコミュニケーション・スキルを育成します。

また講師の体験談(就職活動、海外大学院留学、専門スキル習得、会社の実務と仕事のやり方など)をもとに、「将来のキャリアをどう築いて行けば良いのか?」などについても、現実的なアドバイスを与えます。

授業の目標は、以下の3点に集約されます。

- (1) ディスカッション・スキルを身に付けること
- (2) 自分のキャリアについて考えること
- (3) 多様なクラスメイトや社会人講師から刺激を受け、共に意識を高め合い、将来に向けて自発的に行動できるようになること

Course Goals

Through discussion, "Express opinion confidently" "Respect other people's opinion and listen in good faith" "Exchange problem-oriented ideas rather than critiques" and "Foster communication appropriately." Those skills are necessary even after graduation.

Also, based on the experiences of the lecturer (job hunting, studying abroad in overseas graduate schools,

acquiring specialized skills, business practices and working methods, etc.), students learn “how to build up future career.”

The goals of the class are summarized as follows:

- (1) Acquire discussion skills
- (2) Think about your career
- (3) Motivate each other and act voluntarily for the future

3. 授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class :

- 第1回 オリエンテーション&模擬ディスカッション (1)
- 第2回 オリエンテーション&模擬ディスカッション (2)
- 第3回 ケース① (導入事例①)
- 第4回 ケース② (導入事例②)
- 第5回 ケース③ (導入事例③)
- 第6回 人生設計の話
- 第7回 ケース④ (個人のキャリア形成①)
- 第8回 ケース⑤ (個人のキャリア形成②)
- 第9回 ケース⑥ (個人のキャリア形成③)
- 第10回 将来のキャリア形成の話
- 第11回 ケース⑦ (企業の組織論①)
- 第12回 ケース⑧ (企業の組織論②)
- 第13回 ケース⑨ (企業の経営戦略論①)
- 第14回 ケース⑩ (企業の経営戦略論②)
- 第15回 まとめ

- 1st Orientation & introductory discussion (1)
- 2nd Introductory discussion (2)
- 3rd Case 1 (Introduction Case 1)
- 4th Case 2 (Introduction Case 2)
- 5th Case 3 (Introduction Case 3)
- 6th Talk of career management (1)
- 7th Case 4 (Personal Career Formation 1)
- 8th Case 5 (Personal Career Formation 2)
- 9th Case 6 (Personal Career Formation 3)
- 10th Talk of career management (2)
- 11th Case 7 (Corporate Organization 1)
- 12th Case 8 (Corporate Organization 2)
- 13th Case 9 (Corporate Management Theory 1)
- 14th Case 10 (Corporate Management Theory 2)
- 15th Summary

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: “○” Indicates the practical business

○

5. 使用言語/Language Used in Course :

日本語

6. 成績評価方法/Evaluation method :

授業出席・参加度 100%。レポート、テストは実施しません。

7. 教科書および参考書/Textbook and references :

授業内で指示します。

8. 関連URL/URL :

<https://www.sentankyo.jp/articles/123f8570-5cfc-427f-8fad-de507f012883>

<https://todai-umeet.com/article/56143>

9. 授業時間外学修/Preparation and Review :

授業内で指示します。

10. その他/In addition :

メディア授業科目 /Course of Media Class:○
経済学部以外の学生も、歓迎します。

(週1回の授業なので、他学部からも履修しやすいと思います。必要なら個別に相談に応じますので、下記のメールアドレスに気軽に連絡して来て下さい。)

本授業は、全てリアルタイムでのオンラインで行います。(自宅やWi-Fiがある好きな場所から受講して構いません。)

授業のZOOMアカウント:

<https://zoom.us/j/94576419203>

ミーティングID: 945 7641 9203

(授業の5分前ぐらいにアクセスしておいて下さい)

教員のメールアドレス:

k7c7u7y7j7@gmail.com

(何か質問があれば、誰でも気軽に連絡して来て下さい)

<参考>

(「宇野ゼミ」は東大、北大、上智大でも受講生アンケートでも最上位に例年ランクされ、各大学で表彰を受けています。学生からのコメントは下記の通りです。)

◎宇野先生が、経験から様々な話をしてくれ、この授業で話を聴くだけでも(もちろん積極的な参加でその何倍も得るものがあるが)とても勉強になるし、就活ができる。

◎挑戦すればするだけ成長に繋がれる授業であり、就活始めるにも良いきっかけとなる。就活が終わっていても非常に学びを得られる機会が多くあり、満足度が凄く高い授業である。

◎学生たちが話すことがメインの授業であり、さまざまな学生と話すことで多様な価値観や意見を知ることができた。また学生同士の親睦を深めることができ、コロナ禍で機会が減った対話を積極的に行う事が出来た。必修にしても良いと感じるほど、受講を勧めたい。

◎これから就職活動を控えている身としてはとても役に立つ今までで一番いい授業だと感じた。

◎何よりクラス全体の雰囲気がとても和やかで、良い意味で授業感がなくとても楽しい講義であった。履修して良かったと心の底から思う。

◎講師の宇野先生が学生の就活支援に非常に熱心で気さくな人柄であるため、この授業はこれから就活を行う、あるいは就活を始めたばかりの学生に役立つと思う。これまでに最も印象に残る授業だった。

◎むしろWEB開講の方が適していると思う。授業内外で履修学生とコミュニケーションをとることで、良い刺激を受けることができる。大学としての勉強に加えて、社会に出て役立つ実用的なスキルが身につく。教員の対応も真摯であり、非常に優れた授業であると感じた。

◎この授業にしかできないこと、(発言を積極的にする、就活の役に立つケースを読んで授業で問題発見や解決策を考える事ができる)ができました。そして、教授からもわかりやすい説明やアドバイスをいただきました。いままで取った授業で一番良かったです。

◎宇野さんの授業は、私がこれまで受けた授業の中でも最も面白くて今後社会人になってもこの授業で身につけた知識やスキルは絶対に為になると思ったからです。大学のシラバスに宇野さんの授業を是非増やしてほしいです。この授業をとれて本当によかったなと思いました！

◎ただ授業が面白いだけではなく、先生、受講生とも仲良くなれるところが魅力的です。コロナ禍で学生が求めているニーズを把握した上で授業設計がされているので、今まで受けてきた授業の中で一番面白かったです。)

キャリアワークショップ/Career Workshop

担当教員/Instructor: 宇野 健司/KENJI UNO

曜日・講時/Day/Period: 後期 木曜日 3 講時

対象学年/Eligible Participants: 2・3・4,

科目ナンバリング/Course Numbering: EAL-MAN228J, 単位数/Credit(s): 2

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class:

Google classroom クラスコード: nwyrti

キャリアワークショップ「問題解決のための思考法」(通称「宇野ゼミ」)

実務経験豊富な社会人教員が担当するケース・スタディ形式の授業です。

個人のキャリア形成、企業の組織論、経営戦略論など、実践的なテーマを取り上げ、講義(インプット)よりも、ディスカッション(アウトプット)形式に重きをおいて授業を行います。

学生主導で多様な意見を出し合い、論点を立てて議論を行った上で、講師が関連する知見を提供し、学生の気づき、視野の広がり、理解の深まりを促し、自発的な学習への意欲を引き出すことを目指します。

具体的には、毎回異なる事例(ケース①~⑩)を題材に、学生がディスカッションを行い、その後、講師が総括します。

第1回および第2回の授業では、「オリエンテーション&模擬ディスカッション」を行い、集団での議論の進め方のポイント、コミュニケーション・スキルの身につけ方、主体的なディスカッションを行う上での意識の持ち方などについて、予備的な素養を共有します。

第6回および第10回の授業では、講師の体験談をもとにしたキャリア形成の仕方(就職活動を含む)、海外大学への留学、自己啓発、視野の広げ方など、卒業後にも役立つ視点について、Q&Aを含めたセッションを行う予定です。

< As for information about this class, we use "Classroom." We also utilize "ZOOM" as a tool of real-time online class session. If you have any question, please contact the following e-mail address. kenji.uno@dir.co.jp >

Known as "Uno seminar." This class offers a case method type of lessons by a business professional.

Covering practical themes such as personal career formation, corporate organization theory, and business strategy, this class will utilize discussion rather than lecture.

Students are required to lead discussions actively, and the lecturer provides relevant knowledge, broadens perspective, deepens understanding, and motivates positive behavior.

A maximum of 30 students participate discussions (Case1 to 10) each time, and the lecturer summarizes later in each class.

In the 1st and 2nd classes, we will have "Orientation and introductory discussion." In the 6th and 10th classes, sessions about how to form your career will be held.

2. 学修の到達目標/Goal of study:

ディスカッションを通じ、「自分の意見を堂々と表明する」「他人の意見を尊重し、誠意を持って傾聴する」「批評・批判よりも、問題解決型の前向きな意見交換を行う」「柔軟かつ適切に議論をまとめる」など、社会人になってからも必要なコミュニケーション・スキルを育成します。

また講師の体験談(就職活動、海外大学院留学、専門スキル習得、会社の実務と仕事のやり方など)をもとに、「将来のキャリアをどう築いて行けば良いのか?」などについても、現実的なアドバイスを与えます。

授業の目標は、以下の3点に集約されます。

- (1) ディスカッション・スキルを身に付けること
- (2) 自分のキャリアについて考えること
- (3) 多様なクラスメイトや社会人講師から刺激を受け、共に意識を高め合い、将来に向けて自発的に行動できるようになること

Course Goals

Through discussion, "Express opinion confidently" "Respect other people's opinion and listen in good faith" "Exchange problem-oriented ideas rather than critiques" and "Foster communication appropriately." Those skills are necessary even after graduation.

Also, based on the experiences of the lecturer (job hunting, studying abroad in overseas graduate schools,

acquiring specialized skills, business practices and working methods, etc.), students learn “how to build up future career.”

The goals of the class are summarized as follows:

- (1) Acquire discussion skills
- (2) Think about your career
- (3) Motivate each other and act voluntarily for the future

3. 授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class :

- 第1回 オリエンテーション&模擬ディスカッション (1)
- 第2回 オリエンテーション&模擬ディスカッション (2)
- 第3回 ケース① (導入事例①)
- 第4回 ケース② (導入事例②)
- 第5回 ケース③ (導入事例③)
- 第6回 人生設計の話
- 第7回 ケース④ (個人のキャリア形成①)
- 第8回 ケース⑤ (個人のキャリア形成②)
- 第9回 ケース⑥ (個人のキャリア形成③)
- 第10回 将来のキャリア設計の話
- 第11回 ケース⑦ (企業の組織論①)
- 第12回 ケース⑧ (企業の組織論②)
- 第13回 ケース⑨ (企業の経営戦略論①)
- 第14回 ケース⑩ (企業の経営戦略論②)
- 第15回 まとめ

- 1st Orientation & introductory discussion (1)
- 2nd Introductory discussion (2)
- 3rd Case 1 (Introduction Case 1)
- 4th Case 2 (Introduction Case 2)
- 5th Case 3 (Introduction Case 3)
- 6th Talk of career management (1)
- 7th Case 4 (Personal Career Formation 1)
- 8th Case 5 (Personal Career Formation 2)
- 9th Case 6 (Personal Career Formation 3)
- 10th Talk of career management (2)
- 11th Case 7 (Corporate Organization 1)
- 12th Case 8 (Corporate Organization 2)
- 13th Case 9 (Corporate Management Theory 1)
- 14th Case 10 (Corporate Management Theory 2)
- 15th Summary

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: “○” Indicates the practical business

○

5. 使用言語/Language Used in Course :

日本語

6. 成績評価方法/Evaluation method :

授業出席・参加度 100%。レポート、テストは実施しません。

7. 教科書および参考書/Textbook and references :

授業内で指示します。

8. 関連URL/URL :

<https://www.sentankyo.jp/articles/123f8570-5cfc-427f-8fad-de507f012883>

<https://todai-umeet.com/article/56143>

9. 授業時間外学修/Preparation and Review :

授業内で指示します。

10. その他/In addition :

メディア授業科目 /Course of Media Class:○
経済学部以外の学生も、歓迎します。

(週1回の授業なので、他学部からも履修しやすいと思います。必要なら個別に相談に応じますので、下記のメールアドレスに気軽に連絡して来て下さい。)

本授業は、全てオンラインで行います。(自宅やWi-Fiがある好きな場所から受講して構いません。)

授業のZOOMアカウント:

<https://zoom.us/j/94576419203>

ミーティングID: 945 7641 9203

(授業の5分前ぐらいにアクセスしておいて下さい)

教員のメールアドレス:

k7c7u7y7j7@gmail.com

(何か質問があれば、誰でも気軽に連絡して来て下さい)

<参考>

(「宇野ゼミ」は東大、北大、上智大でも受講生アンケートでも最上位に例年ランクされ、各大学で表彰を受けています。学生からのコメントは下記の通りです。)

◎宇野先生が、経験から様々な話をしてくれ、この授業で話を聴くだけでも(もちろん積極的な参加でその何倍も得るものがあるが)とても勉強になるし、就活ができる。

◎挑戦すればするだけ成長に繋がれる授業であり、就活始めるにも良いきっかけとなる。就活が終わっていても非常に学びを得られる機会が多くあり、満足度が凄く高い授業である。

◎学生たちが話すことがメインの授業であり、さまざまな学生と話すことで多様な価値観や意見を知ることができた。また学生同士の親睦を深めることができ、コロナ禍で機会が減った対話を積極的に行う事が出来た。必修にしても良いと感じるほど、受講を勧めたい。

◎これから就職活動を控えている身としてはとても役に立つ今までで一番いい授業だと感じた。

◎何よりクラス全体の雰囲気がとても和やかで、良い意味で授業感がなくとても楽しい講義であった。履修して良かったと心の底から思う。

◎講師の宇野先生が学生の就活支援に非常に熱心で気さくな人柄であるため、この授業はこれから就活を行う、あるいは就活を始めたばかりの学生に役立つと思う。これまでで最も印象に残る授業だった。

◎むしろWEB開講の方が適していると思う。授業内外で履修学生とコミュニケーションをとることで、良い刺激を受けることができる。大学としての勉強に加えて、社会に出て役立つ実用的なスキルが身につく。教員の対応も真摯であり、非常に優れた授業であると感じた。

◎この授業にしかできないこと、(発言を積極的にする、就活の役に立つケースを読んで授業で問題発見や解決策を考える事ができる)ができました。そして、教授からもわかりやすい説明やアドバイスをいただきました。いままで取った授業で一番良かったです。

◎宇野さんの授業は、私がこれまで受けた授業の中でも最も面白くて今後社会人になってもこの授業で身につけた知識やスキルは絶対に為になると思ったからです。大学のシラバスに宇野さんの授業を是非増やしてほしいです。この授業をとれて本当によかったなと思いました！

◎ただ授業が面白いだけではなく、先生、受講生とも仲良くなれるところが魅力的です。コロナ禍で学生が求めているニーズを把握した上で授業設計がされているので、今まで受けてきた授業の中で一番面白かったです。)

アセットマネジメント/Asset Management

担当教員/Instructor: 室井 芳史/YOSHIFUMI MUROI

曜日・講時/Day/Period: 後期 木曜日 3 講時

対象学年/Eligible Participants: 2・3・4,

科目ナンバリング/Course Numbering: EAL-EC0220J, 単位数/Credit(s): 2

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class:

クラスコード: nnohqjp

この授業では、日本投資顧問業協会と投資信託協会の支援によって派遣される最前線の実務家講師陣を毎回ゲストスピーカーとしてお迎えし、オムニバス形式で講義を行います。アセットマネジメントないし資産運用が如何なる社会的機能・役割を果たし、如何なる社会的責任を負うべきか、「リスク」概念を中核とする基礎的理論がどのように実践に結びつくのか、等の実際の諸問題につき、実務家による解説を通じて学んでいきます。

Google Classroom を用いたオンライン講義。クラスコード 6jdarpg

A practical talk in asset management will be given from the guest speakers.

2. 学修の到達目標/Goal of study:

アセットマネジメントないし資産運用の基礎的理論と実際についての知識を踏まえて、リスクマネジメントに纏わるビジネスの仕組みや実態について論理的に考察できる能力を養うこと。

Practical knowledge of asset management will be given.

3. 授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class:

日本投資顧問業協会・投資信託協会の寄付により運営されている講義である。

昨年度の内容は以下の通りである。(本年度の内容は9月頃に決定予定)

- 第1回: オリエンテーション
- 第2回: アセット・マネジメントとは
- 第3回: 株式、債券のリスクとリターン
- 第4回: アセット・アロケーションと分散投資
- 第5回: 投資信託
- 第6回: 不動産証券化と資産運用
- 第7回: 株式市場の分析
- 第8回: ヘッジファンド
- 第9回: 金融デリバティブ取引
- 第10回: エコノミスト・ストラテジストの業務
- 第11回: 自主規制とコード
- 第12回: PE (プライベート・エクイティ) 投資
- 第13回: 機関投資家とコーポレート・ガバナンス
- 第14回: アセット・マネジメント・ビジネスの最先端 (経営者が語る)
- 第15回: 理解度確認セッション

第1回に本講義の注意点について説明をします。

Google Classroom 上に掲載いたしますので確認をしておいてください。

Lectures on various issues in financial practice.

オンライン講義になる可能性があります。

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

○

5. 使用言語/Language Used in Course:

日本語

6. 成績評価方法/Evaluation method:

理解度確認セッションで理解度をチェックする

7. 教科書および参考書/Textbook and references:

アセットマネジメントの世界	投資信託協会・日本投資顧問業協会編	東洋経済新報社	2010	978-4492711774	参考書
---------------	-------------------	---------	------	----------------	-----

8. 関連URL/URL :

9. 授業時間外学修/Preparation and Review :

必要があれば初回の講義の際に指示致します。

10. その他/In addition :

メディア授業科目 /Course of Media Class:

特に履修の前提条件は定めませんが、新聞の経済記事など、日頃からマスメディアの情報に慣れ親しむことを求めます。

受講者が 300 人を超え、経済学部以外の同一学部から

5 名以上の履修者がいる場合、その学部生の履修を

認めない場合があります。

主として実践的教育から構成される実務・実践的授業/Practical business

地域財務金融行政論/Regional Fiscal and Financial Administration

担当教員/Instructor : 伊藤 智/

曜日・講時/Day/Period : 前期 木曜日 4 講時

対象学年/Eligible Participants : 2・3・4,

科目ナンバリング/Course Numbering : EAL-EC0221J, 単位数/Credit(s) : 2

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class :

東北財務局は、財務省と金融庁の地方出先機関として、地域経済・社会の維持・向上・安定を図るため、国の政策を地域の実情を踏まえてどのように実施し、地域に貢献しているか、その状況を当局の幹部・担当官が政策現場での経験をもとに教授するほか、併せて財務省・金融庁等で政策に直接携わっている職員を招聘して財政や金融等の政策を教授します。

In this course, officials including executives from the Tohoku Local Finance Bureau will introduce the policy of the Ministry of Finance and Financial Services Agency and how they are carried out in the local region. Also officials from the Ministry of Finance and Financial Services Agency will provide their experience on how the public finance and financial policies are decided in the central government level.

2. 学修の到達目標/Goal of study :

学生の皆様が日頃から見聞及び習得してきた財政や金融等に関する見識に、当講義における現場実践感覚の解説を加えることで、その見識等をより立体的に飛躍・向上させること、並びに社会やビジネスへの関心・興味を高めることを目標とします。

This course is designed to help students deepen their knowledge and understanding of the role of public finance and financial policies, and enhance their interest in business and society as a whole.

3. 授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class :

東北財務局の幹部・担当官のほか、財務省・金融庁で政策に直接携わっている職員を招聘し、各々の所掌業務について説明することを基本とします。また、適宜、関係機関等からゲストを招聘するほか、当局に勤務する東北大学OB・OGも登壇し、自らの経験談・心構え等を紹介します。

この講義は原則、対面授業で実施し、講義終了後にアンケートを提出していただきます。

なお、状況により、オンライン授業に切り替える場合があります。

講義に必要な資料や情報は、Classroomを使用して発信します（※Classroomコードは、【 t2j3o2e】です）。

: 財務局業務の概要等（組織概要・業務紹介、講義の概要・方法説明等）
: 我が国の予算と財政
: 予算執行調査、災害復旧制度
: 復興の取組み（福島復興加速への取組み）
: 我が国の税制の概要
: 日本経済の現状
: 東北地域の経済動向
: 金融行政概論
: 金融行政各論
: 地方創生の取組み
: 国有財産行政
: 地方財政、財政融資・地方債制度、財政融資資金の貸付等
: 国際金融、国際情勢・援助
: 会計制度

※上記の講義内容・順番を基本としつつ、機動的かつ柔軟に進めていきます。

This class will be held in an “omnibus” lecture series style.

Lectures will be provided by officials including executives from the Tohoku Local Finance Bureau, as well as officials from Ministry of Finance and Financial Services Agency etc..

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: “○” Indicates the practical business

○

5. 使用言語/Language Used in Course :

講義並びに理解度確認セッション等、当講義に関するものは全て日本語とします。

6. 成績評価方法/Evaluation method :

理解度セッション（原則、短答式）の評価点と講義出席を点数化しての合計（6:4の割合）とします。

7. 教科書および参考書/Textbook and references :

8. 関連URL/URL :

東北財務局HP→ <https://lfb.mof.go.jp/tohoku/>、財務省HP→ <https://www.mof.go.jp/>、
金融庁HP→ <https://www.fsa.go.jp/>、復興庁HP→ <https://www.reconstruction.go.jp/>、
国税庁HP→ <https://www.nta.go.jp/>、日本公認会計士協会HP→ <https://jicpa.or.jp/>、
全国信用協同組合連合会HP→ <https://www.zenshinkumiren.jp/>

9. 授業時間外学修/Preparation and Review :

特に予習は必要ありませんが、日頃から新聞報道等で経済事象(特に財政・金融)に関心を持って講義に臨んでください。
復習は講義の内容が社会にどのように関わっているか、自分なりに考察してください。
質問等は各講義終了後のアンケートで受け付け、次回以降の講義等で回答します。

10. その他/In addition :

メディア授業科目 /Course of Media Class:

この科目は東北財務局により提供されています。

連絡先 東北財務局総務部財務広報相談室

Tel 022-263-1111 (内線 3017)

E-mail THZKOUHOUKANOP@th.lfb-mof.go.jp

経済学演習 (I) A/Seminar for Economics (I)A

担当教員/Instructor : 守 健二/KENJI MORI

曜日・講時/Day/Period :

対象学年/Eligible Participants : 3,

科目ナンバリング/Course Numbering : EEC-EC0330J, 単位数/Credit(s) : 2

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class :

演習は、専門的なテーマについて少人数でかつ教員と学生との間の双方向のコミュニケーションを通じて、学生の積極的な知的探求能力を向上させようとする科目です。

Seminar is the subject that aims to improve students' proactive intellectual exploration skills on specialized topics through small-scale and interactive communication between professors and students.

2. 学修の到達目標/Goal of study :

演習に参加するすべての学生に要求されることは

- ・ 演習のテキストを精読する。
- ・ テーマについて熟慮する。
- ・ テーマについて活発に議論する。

Every student is required to

- ・ read the text carefully;
- ・ think about the themes seriously;
- ・ discusses the themes actively.

3. 授業内容・方法と進捗予定/Contents and progress schedule of the class :

担当教員の専門領域によります。『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

It depends on the supervisor's major. See the handbook (TEBIKI) for seminar.

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

5. 使用言語/Language Used in Course :

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

6. 成績評価方法/Evaluation method :

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

7. 教科書および参考書/Textbook and references :

8. 関連URL/URL :

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

9. 授業時間外学修/Preparation and Review :

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

10. その他/In addition :

メディア授業科目 /Course of Media Class:

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

経済学演習 (I) B/Seminar for Economics (I)B

担当教員/Instructor : 守 健二/KENJI MORI

曜日・講時/Day/Period :

対象学年/Eligible Participants : 3,

科目ナンバリング/Course Numbering : EEC-EC0330J, 単位数/Credit(s) : 2

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class :

演習は、専門的なテーマについて少人数でかつ教員と学生との間の双方向のコミュニケーションを通じて、学生の積極的な知的探求能力を向上させようとする科目です。

Seminar is the subject that aims to improve students' proactive intellectual exploration skills on specialized topics through small-scale and interactive communication between professors and students.

2. 学修の到達目標/Goal of study :

演習に参加するすべての学生に要求されることは

- ・ 演習のテキストを精読する。
- ・ テーマについて熟慮する。
- ・ テーマについて活発に議論する。

Every student is required to

- ・ read the text carefully;
- ・ think about the themes seriously;
- ・ discusses the themes actively.

3. 授業内容・方法と進捗予定/Contents and progress schedule of the class :

担当教員の専門領域によります。『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

It depends on the supervisor's major. See the handbook (TEBIKI) for seminar.

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

5. 使用言語/Language Used in Course :

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

6. 成績評価方法/Evaluation method :

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

7. 教科書および参考書/Textbook and references :

8. 関連URL/URL :

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

9. 授業時間外学修/Preparation and Review :

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

10. その他/In addition :

メディア授業科目 /Course of Media Class:

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

経済学演習（Ⅱ）A/Seminar for Economics (II)A

担当教員/Instructor：守 健二/KENJI MORI

曜日・講時/Day/Period：

対象学年/Eligible Participants：4,

科目ナンバリング/Course Numbering：EEC-EC0430J, 単位数/Credit(s)：2

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class：

演習は、専門的なテーマについて少人数でかつ教員と学生との間の双方向のコミュニケーションを通じて、学生の積極的な知的探求能力を向上させようとする科目です。

Seminar is the subject that aims to improve students' proactive intellectual exploration skills on specialized topics through small-scale and interactive communication between professors and students.

2. 学修の到達目標/Goal of study：

演習に参加するすべての学生に要求されることは

- ・ 演習のテキストを精読する。
- ・ テーマについて熟慮する。
- ・ テーマについて活発に議論する。

Every student is required to

- ・ read the text carefully;
- ・ think about the themes seriously;
- ・ discusses the themes actively.

3. 授業内容・方法と進捗予定/Contents and progress schedule of the class：

担当教員の専門領域によります。『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

It depends on the supervisor's major. See the handbook (TEBIKI) for seminar.

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

5. 使用言語/Language Used in Course：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

6. 成績評価方法/Evaluation method：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

7. 教科書および参考書/Textbook and references：

8. 関連URL/URL：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

9. 授業時間外学修/Preparation and Review：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

10. その他/In addition：

メディア授業科目 /Course of Media Class:

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

経済学演習（Ⅱ）B/Seminar for Economics (II)B

担当教員/Instructor：守 健二/KENJI MORI

曜日・講時/Day/Period：

対象学年/Eligible Participants：4,

科目ナンバリング/Course Numbering：EEC-EC0430J, 単位数/Credit(s)：2

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class：

演習は、専門的なテーマについて少人数でかつ教員と学生との間の双方向のコミュニケーションを通じて、学生の積極的な知的探求能力を向上させようとする科目です。

Seminar is the subject that aims to improve students' proactive intellectual exploration skills on specialized topics through small-scale and interactive communication between professors and students.

2. 学修の到達目標/Goal of study：

演習に参加するすべての学生に要求されることは

- ・ 演習のテキストを精読する。
- ・ テーマについて熟慮する。
- ・ テーマについて活発に議論する。
- ・ 演習論文の完成に最善を尽くす。

Every student is required to

- ・ read the text carefully;
- ・ think about the themes seriously;
- ・ discusses the themes actively;
- ・ do your best to complete the thesis.

3. 授業内容・方法と進捗予定/Contents and progress schedule of the class：

担当教員の専門領域によります。『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

It depends on the supervisor's major. See the handbook (TEBIKI) for seminar.

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

5. 使用言語/Language Used in Course：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

6. 成績評価方法/Evaluation method：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

7. 教科書および参考書/Textbook and references：

8. 関連URL/URL：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

9. 授業時間外学修/Preparation and Review：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

10. その他/In addition：

メディア授業科目 /Course of Media Class:

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

経済学演習 (I) A/Seminar for Economics (I)A

担当教員/Instructor : 三宅 充展/MITSUNOBU MIYAKE

曜日・講時/Day/Period :

対象学年/Eligible Participants : 3,

科目ナンバリング/Course Numbering : EEC-EC0330J, 単位数/Credit(s) : 2

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class :

演習は、専門的なテーマについて少人数でかつ教員と学生との間の双方向のコミュニケーションを通じて、学生の積極的な知的探求能力を向上させようとする科目です。

Seminar is the subject that aims to improve students' proactive intellectual exploration skills on specialized topics through small-scale and interactive communication between professors and students.

2. 学修の到達目標/Goal of study :

演習に参加するすべての学生に要求されることは

- ・ 演習のテキストを精読する。
- ・ テーマについて熟慮する。
- ・ テーマについて活発に議論する。

Every student is required to

- ・ read the text carefully;
- ・ think about the themes seriously;
- ・ discusses the themes actively.

3. 授業内容・方法と進捗予定/Contents and progress schedule of the class :

担当教員の専門領域によります。『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

It depends on the supervisor's major. See the handbook (TEBIKI) for seminar.

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

5. 使用言語/Language Used in Course :

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

6. 成績評価方法/Evaluation method :

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

7. 教科書および参考書/Textbook and references :

8. 関連URL/URL :

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

9. 授業時間外学修/Preparation and Review :

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

10. その他/In addition :

メディア授業科目 /Course of Media Class:

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

経済学演習 (I) B/Seminar for Economics (I)B

担当教員/Instructor : 三宅 充展/MITSUNOBU MIYAKE

曜日・講時/Day/Period :

対象学年/Eligible Participants : 3,

科目ナンバリング/Course Numbering : EEC-EC0330J, 単位数/Credit(s) : 2

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class :

演習は、専門的なテーマについて少人数でかつ教員と学生との間の双方向のコミュニケーションを通じて、学生の積極的な知識の探求能力を向上させようとする科目です。

Seminar is the subject that aims to improve students' proactive intellectual exploration skills on specialized topics through small-scale and interactive communication between professors and students.

2. 学修の到達目標/Goal of study :

演習に参加するすべての学生に要求されることは

- ・ 演習のテキストを精読する。
- ・ テーマについて熟慮する。
- ・ テーマについて活発に議論する。

Every student is required to

- ・ read the text carefully;
- ・ think about the themes seriously;
- ・ discusses the themes actively.

3. 授業内容・方法と進捗予定/Contents and progress schedule of the class :

担当教員の専門領域によります。『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

It depends on the supervisor's major. See the handbook (TEBIKI) for seminar.

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

5. 使用言語/Language Used in Course :

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

6. 成績評価方法/Evaluation method :

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

7. 教科書および参考書/Textbook and references :

8. 関連URL/URL :

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

9. 授業時間外学修/Preparation and Review :

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

10. その他/In addition :

メディア授業科目 /Course of Media Class:

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

経済学演習（Ⅱ）A/Seminar for Economics (II)A

担当教員/Instructor：三宅 充展/MITSUNOBU MIYAKE

曜日・講時/Day/Period：

対象学年/Eligible Participants：4,

科目ナンバリング/Course Numbering：EEC-EC0430J, 単位数/Credit(s)：2

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class：

演習は、専門的なテーマについて少人数でかつ教員と学生との間の双方向のコミュニケーションを通じて、学生の積極的な知の探求能力を向上させようとする科目です。

Seminar is the subject that aims to improve students' proactive intellectual exploration skills on specialized topics through small-scale and interactive communication between professors and students.

2. 学修の到達目標/Goal of study：

演習に参加するすべての学生に要求されることは

- ・ 演習のテキストを精読する。
- ・ テーマについて熟慮する。
- ・ テーマについて活発に議論する。

Every student is required to

- ・ read the text carefully;
- ・ think about the themes seriously;
- ・ discusses the themes actively.

3. 授業内容・方法と進捗予定/Contents and progress schedule of the class：

担当教員の専門領域によります。『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

It depends on the supervisor's major. See the handbook (TEBIKI) for seminar.

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

5. 使用言語/Language Used in Course：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

6. 成績評価方法/Evaluation method：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

7. 教科書および参考書/Textbook and references：

8. 関連URL/URL：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

9. 授業時間外学修/Preparation and Review：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

10. その他/In addition：

メディア授業科目 /Course of Media Class:

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

経済学演習（Ⅱ）B/Seminar for Economics (II)B

担当教員/Instructor：三宅 充展/MITSUNOBU MIYAKE

曜日・講時/Day/Period：

対象学年/Eligible Participants：4,

科目ナンバリング/Course Numbering：EEC-EC0430J, 単位数/Credit(s)：2

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class：

演習は、専門的なテーマについて少人数でかつ教員と学生との間の双方向のコミュニケーションを通じて、学生の積極的な知的探求能力を向上させようとする科目です。

Seminar is the subject that aims to improve students' proactive intellectual exploration skills on specialized topics through small-scale and interactive communication between professors and students.

2. 学修の到達目標/Goal of study：

演習に参加するすべての学生に要求されることは

- ・ 演習のテキストを精読する。
- ・ テーマについて熟慮する。
- ・ テーマについて活発に議論する。
- ・ 演習論文の完成に最善を尽くす。

Every student is required to

- ・ read the text carefully;
- ・ think about the themes seriously;
- ・ discusses the themes actively;
- ・ do your best to complete the thesis.

3. 授業内容・方法と進捗予定/Contents and progress schedule of the class：

担当教員の専門領域によります。『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

It depends on the supervisor's major. See the handbook (TEBIKI) for seminar.

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

5. 使用言語/Language Used in Course：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

6. 成績評価方法/Evaluation method：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

7. 教科書および参考書/Textbook and references：

8. 関連URL/URL：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

9. 授業時間外学修/Preparation and Review：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

10. その他/In addition：

メディア授業科目 /Course of Media Class:

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

経済学演習（Ⅰ）A/Seminar for Economics (I)A

担当教員/Instructor：北川 章臣/AKIOMI KITAGAWA

曜日・講時/Day/Period：

対象学年/Eligible Participants：3,

科目ナンバリング/Course Numbering：EEC-EC0330J, 単位数/Credit(s)：2

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class：

演習は、専門的なテーマについて少人数でかつ教員と学生との間の双方向のコミュニケーションを通じて、学生の積極的な知的探求能力を向上させようとする科目です。

Seminar is the subject that aims to improve students' proactive intellectual exploration skills on specialized topics through small-scale and interactive communication between professors and students.

2. 学修の到達目標/Goal of study：

演習に参加するすべての学生に要求されることは

- ・ 演習のテキストを精読する。
- ・ テーマについて熟慮する。
- ・ テーマについて活発に議論する。

Every student is required to

- ・ read the text carefully;
- ・ think about the themes seriously;
- ・ discusses the themes actively.

3. 授業内容・方法と進捗予定/Contents and progress schedule of the class：

担当教員の専門領域によります。『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

It depends on the supervisor's major. See the handbook (TEBIKI) for seminar.

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

5. 使用言語/Language Used in Course：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

6. 成績評価方法/Evaluation method：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

7. 教科書および参考書/Textbook and references：

8. 関連URL/URL：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

9. 授業時間外学修/Preparation and Review：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

10. その他/In addition：

メディア授業科目 /Course of Media Class:

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

経済学演習 (I) B/Seminar for Economics (I)B

担当教員/Instructor : 北川 章臣/AKIOMI KITAGAWA

曜日・講時/Day/Period :

対象学年/Eligible Participants : 3,

科目ナンバリング/Course Numbering : EEC-EC0330J, 単位数/Credit(s) : 2

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class :

演習は、専門的なテーマについて少人数でかつ教員と学生との間の双方向のコミュニケーションを通じて、学生の積極的な知識の探求能力を向上させようとする科目です。

Seminar is the subject that aims to improve students' proactive intellectual exploration skills on specialized topics through small-scale and interactive communication between professors and students.

2. 学修の到達目標/Goal of study :

演習に参加するすべての学生に要求されることは

- ・ 演習のテキストを精読する。
- ・ テーマについて熟慮する。
- ・ テーマについて活発に議論する。

Every student is required to

- ・ read the text carefully;
- ・ think about the themes seriously;
- ・ discusses the themes actively.

3. 授業内容・方法と進捗予定/Contents and progress schedule of the class :

担当教員の専門領域によります。『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

It depends on the supervisor's major. See the handbook (TEBIKI) for seminar.

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

5. 使用言語/Language Used in Course :

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

6. 成績評価方法/Evaluation method :

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

7. 教科書および参考書/Textbook and references :

8. 関連URL/URL :

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

9. 授業時間外学修/Preparation and Review :

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

10. その他/In addition :

メディア授業科目 /Course of Media Class:

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

経済学演習（Ⅱ）A/Seminar for Economics (II)A

担当教員/Instructor：北川 章臣/AKIOMI KITAGAWA

曜日・講時/Day/Period：

対象学年/Eligible Participants：4,

科目ナンバリング/Course Numbering：EEC-EC0430J, 単位数/Credit(s)：2

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class：

演習は、専門的なテーマについて少人数でかつ教員と学生との間の双方向のコミュニケーションを通じて、学生の積極的な知識の探求能力を向上させようとする科目です。

Seminar is the subject that aims to improve students' proactive intellectual exploration skills on specialized topics through small-scale and interactive communication between professors and students.

2. 学修の到達目標/Goal of study：

演習に参加するすべての学生に要求されることは

- ・ 演習のテキストを精読する。
- ・ テーマについて熟慮する。
- ・ テーマについて活発に議論する。

Every student is required to

- ・ read the text carefully;
- ・ think about the themes seriously;
- ・ discusses the themes actively.

3. 授業内容・方法と進捗予定/Contents and progress schedule of the class：

担当教員の専門領域によります。『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

It depends on the supervisor's major. See the handbook (TEBIKI) for seminar.

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

5. 使用言語/Language Used in Course：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

6. 成績評価方法/Evaluation method：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

7. 教科書および参考書/Textbook and references：

8. 関連URL/URL：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

9. 授業時間外学修/Preparation and Review：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

10. その他/In addition：

メディア授業科目 /Course of Media Class:

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

経済学演習（Ⅱ）B/Seminar for Economics (II)B

担当教員/Instructor：北川 章臣/AKIOMI KITAGAWA

曜日・講時/Day/Period：

対象学年/Eligible Participants：4,

科目ナンバリング/Course Numbering：EEC-EC0430J, 単位数/Credit(s)：2

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class：

演習は、専門的なテーマについて少人数でかつ教員と学生との間の双方向のコミュニケーションを通じて、学生の積極的な知的探求能力を向上させようとする科目です。

Seminar is the subject that aims to improve students' proactive intellectual exploration skills on specialized topics through small-scale and interactive communication between professors and students.

2. 学修の到達目標/Goal of study：

演習に参加するすべての学生に要求されることは

- ・ 演習のテキストを精読する。
- ・ テーマについて熟慮する。
- ・ テーマについて活発に議論する。
- ・ 演習論文の完成に最善を尽くす。

Every student is required to

- ・ read the text carefully;
- ・ think about the themes seriously;
- ・ discusses the themes actively;
- ・ do your best to complete the thesis.

3. 授業内容・方法と進捗予定/Contents and progress schedule of the class：

担当教員の専門領域によります。『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

It depends on the supervisor's major. See the handbook (TEBIKI) for seminar.

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

5. 使用言語/Language Used in Course：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

6. 成績評価方法/Evaluation method：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

7. 教科書および参考書/Textbook and references：

8. 関連URL/URL：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

9. 授業時間外学修/Preparation and Review：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

10. その他/In addition：

メディア授業科目 /Course of Media Class:

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

経済学演習（Ⅰ）A/Seminar for Economics (I)A

担当教員/Instructor：古谷 豊/YUTAKA FURUYA

曜日・講時/Day/Period：

対象学年/Eligible Participants：3,

科目ナンバリング/Course Numbering：EEC-EC0330J, 単位数/Credit(s)：2

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class：

演習は、専門的なテーマについて少人数でかつ教員と学生との間の双方向のコミュニケーションを通じて、学生の積極的な知的探求能力を向上させようとする科目です。

Seminar is the subject that aims to improve students' proactive intellectual exploration skills on specialized topics through small-scale and interactive communication between professors and students.

2. 学修の到達目標/Goal of study：

演習に参加するすべての学生に要求されることは

- ・ 演習のテキストを精読する。
- ・ テーマについて熟慮する。
- ・ テーマについて活発に議論する。

Every student is required to

- ・ read the text carefully;
- ・ think about the themes seriously;
- ・ discusses the themes actively.

3. 授業内容・方法と進捗予定/Contents and progress schedule of the class：

担当教員の専門領域によります。『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

It depends on the supervisor's major. See the handbook (TEBIKI) for seminar.

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

5. 使用言語/Language Used in Course：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

6. 成績評価方法/Evaluation method：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

7. 教科書および参考書/Textbook and references：

8. 関連URL/URL：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

9. 授業時間外学修/Preparation and Review：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

10. その他/In addition：

メディア授業科目 /Course of Media Class:

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

経済学演習 (I) B/Seminar for Economics (I)B

担当教員/Instructor : 古谷 豊/YUTAKA FURUYA

曜日・講時/Day/Period :

対象学年/Eligible Participants : 3,

科目ナンバリング/Course Numbering : EEC-EC0330J, 単位数/Credit(s) : 2

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class :

演習は、専門的なテーマについて少人数でかつ教員と学生との間の双方向のコミュニケーションを通じて、学生の積極的な知的探求能力を向上させようとする科目です。

Seminar is the subject that aims to improve students' proactive intellectual exploration skills on specialized topics through small-scale and interactive communication between professors and students.

2. 学修の到達目標/Goal of study :

演習に参加するすべての学生に要求されることは

- ・ 演習のテキストを精読する。
- ・ テーマについて熟慮する。
- ・ テーマについて活発に議論する。

Every student is required to

- ・ read the text carefully;
- ・ think about the themes seriously;
- ・ discusses the themes actively.

3. 授業内容・方法と進捗予定/Contents and progress schedule of the class :

担当教員の専門領域によります。『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

It depends on the supervisor's major. See the handbook (TEBIKI) for seminar.

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

5. 使用言語/Language Used in Course :

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

6. 成績評価方法/Evaluation method :

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

7. 教科書および参考書/Textbook and references :

8. 関連URL/URL :

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

9. 授業時間外学修/Preparation and Review :

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

10. その他/In addition :

メディア授業科目 /Course of Media Class:

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

経済学演習（Ⅱ）A/Seminar for Economics (II)A

担当教員/Instructor：古谷 豊/YUTAKA FURUYA

曜日・講時/Day/Period：

対象学年/Eligible Participants：4,

科目ナンバリング/Course Numbering：EEC-EC0430J, 単位数/Credit(s)：2

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class：

演習は、専門的なテーマについて少人数でかつ教員と学生との間の双方向のコミュニケーションを通じて、学生の積極的な知識の探求能力を向上させようとする科目です。

Seminar is the subject that aims to improve students' proactive intellectual exploration skills on specialized topics through small-scale and interactive communication between professors and students.

2. 学修の到達目標/Goal of study：

演習に参加するすべての学生に要求されることは

- ・ 演習のテキストを精読する。
- ・ テーマについて熟慮する。
- ・ テーマについて活発に議論する。

Every student is required to

- ・ read the text carefully;
- ・ think about the themes seriously;
- ・ discusses the themes actively.

3. 授業内容・方法と進捗予定/Contents and progress schedule of the class：

担当教員の専門領域によります。『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

It depends on the supervisor's major. See the handbook (TEBIKI) for seminar.

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

5. 使用言語/Language Used in Course：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

6. 成績評価方法/Evaluation method：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

7. 教科書および参考書/Textbook and references：

8. 関連URL/URL：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

9. 授業時間外学修/Preparation and Review：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

10. その他/In addition：

メディア授業科目 /Course of Media Class:

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

経済学演習（Ⅱ）B/Seminar for Economics (II)B

担当教員/Instructor：古谷 豊/YUTAKA FURUYA

曜日・講時/Day/Period：

対象学年/Eligible Participants：4,

科目ナンバリング/Course Numbering：EEC-EC0430J, 単位数/Credit(s)：2

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class：

演習は、専門的なテーマについて少人数でかつ教員と学生との間の双方向のコミュニケーションを通じて、学生の積極的な知的探求能力を向上させようとする科目です。

Seminar is the subject that aims to improve students' proactive intellectual exploration skills on specialized topics through small-scale and interactive communication between professors and students.

2. 学修の到達目標/Goal of study：

演習に参加するすべての学生に要求されることは

- ・ 演習のテキストを精読する。
- ・ テーマについて熟慮する。
- ・ テーマについて活発に議論する。
- ・ 演習論文の完成に最善を尽くす。

Every student is required to

- ・ read the text carefully;
- ・ think about the themes seriously;
- ・ discusses the themes actively;
- ・ do your best to complete the thesis.

3. 授業内容・方法と進捗予定/Contents and progress schedule of the class：

担当教員の専門領域によります。『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

It depends on the supervisor's major. See the handbook (TEBIKI) for seminar.

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

5. 使用言語/Language Used in Course：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

6. 成績評価方法/Evaluation method：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

7. 教科書および参考書/Textbook and references：

8. 関連URL/URL：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

9. 授業時間外学修/Preparation and Review：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

10. その他/In addition：

メディア授業科目 /Course of Media Class:

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

経済学演習（Ⅰ）A/Seminar for Economics (I)A

担当教員/Instructor：酒井 一輔/KAZUHO SAKAI

曜日・講時/Day/Period：

対象学年/Eligible Participants：3,

科目ナンバリング/Course Numbering：EEC-EC0330J, 単位数/Credit(s)：2

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class：

演習は、専門的なテーマについて少人数でかつ教員と学生との間の双方向のコミュニケーションを通じて、学生の積極的な知識の探求能力を向上させようとする科目です。

Seminar is the subject that aims to improve students' proactive intellectual exploration skills on specialized topics through small-scale and interactive communication between professors and students.

2. 学修の到達目標/Goal of study：

演習に参加するすべての学生に要求されることは

- ・ 演習のテキストを精読する。
- ・ テーマについて熟慮する。
- ・ テーマについて活発に議論する。

Every student is required to

- ・ read the text carefully;
- ・ think about the themes seriously;
- ・ discusses the themes actively.

3. 授業内容・方法と進捗予定/Contents and progress schedule of the class：

担当教員の専門領域によります。『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

It depends on the supervisor's major. See the handbook (TEBIKI) for seminar.

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

5. 使用言語/Language Used in Course：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

6. 成績評価方法/Evaluation method：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

7. 教科書および参考書/Textbook and references：

8. 関連URL/URL：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

9. 授業時間外学修/Preparation and Review：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

10. その他/In addition：

メディア授業科目 /Course of Media Class:

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

経済学演習（Ⅰ）B/Seminar for Economics (I)B

担当教員/Instructor：酒井 一輔/KAZUHO SAKAI

曜日・講時/Day/Period：

対象学年/Eligible Participants：3,

科目ナンバリング/Course Numbering：EEC-EC0330J, 単位数/Credit(s)：2

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class：

演習は、専門的なテーマについて少人数でかつ教員と学生との間の双方向のコミュニケーションを通じて、学生の積極的な知識の探求能力を向上させようとする科目です。

Seminar is the subject that aims to improve students' proactive intellectual exploration skills on specialized topics through small-scale and interactive communication between professors and students.

2. 学修の到達目標/Goal of study：

演習に参加するすべての学生に要求されることは

- ・ 演習のテキストを精読する。
- ・ テーマについて熟慮する。
- ・ テーマについて活発に議論する。

Every student is required to

- ・ read the text carefully;
- ・ think about the themes seriously;
- ・ discusses the themes actively.

3. 授業内容・方法と進捗予定/Contents and progress schedule of the class：

担当教員の専門領域によります。『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

It depends on the supervisor's major. See the handbook (TEBIKI) for seminar.

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

5. 使用言語/Language Used in Course：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

6. 成績評価方法/Evaluation method：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

7. 教科書および参考書/Textbook and references：

8. 関連URL/URL：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

9. 授業時間外学修/Preparation and Review：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

10. その他/In addition：

メディア授業科目 /Course of Media Class:

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

経済学演習（Ⅱ）A/Seminar for Economics (II)A

担当教員/Instructor：酒井 一輔/KAZUHO SAKAI

曜日・講時/Day/Period：

対象学年/Eligible Participants：4,

科目ナンバリング/Course Numbering：EEC-EC0430J, 単位数/Credit(s)：2

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class：

演習は、専門的なテーマについて少人数でかつ教員と学生との間の双方向のコミュニケーションを通じて、学生の積極的な知識の探求能力を向上させようとする科目です。

Seminar is the subject that aims to improve students' proactive intellectual exploration skills on specialized topics through small-scale and interactive communication between professors and students.

2. 学修の到達目標/Goal of study：

演習に参加するすべての学生に要求されることは

- ・ 演習のテキストを精読する。
- ・ テーマについて熟慮する。
- ・ テーマについて活発に議論する。

Every student is required to

- ・ read the text carefully;
- ・ think about the themes seriously;
- ・ discusses the themes actively.

3. 授業内容・方法と進捗予定/Contents and progress schedule of the class：

担当教員の専門領域によります。『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

It depends on the supervisor's major. See the handbook (TEBIKI) for seminar.

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

5. 使用言語/Language Used in Course：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

6. 成績評価方法/Evaluation method：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

7. 教科書および参考書/Textbook and references：

8. 関連URL/URL：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

9. 授業時間外学修/Preparation and Review：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

10. その他/In addition：

メディア授業科目 /Course of Media Class:

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

経済学演習（Ⅱ）B/Seminar for Economics (II)B

担当教員/Instructor：酒井 一輔/KAZUHO SAKAI

曜日・講時/Day/Period：

対象学年/Eligible Participants：4,

科目ナンバリング/Course Numbering：EEC-EC0430J, 単位数/Credit(s)：2

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class：

演習は、専門的なテーマについて少人数でかつ教員と学生との間の双方向のコミュニケーションを通じて、学生の積極的な知的探求能力を向上させようとする科目です。

Seminar is the subject that aims to improve students' proactive intellectual exploration skills on specialized topics through small-scale and interactive communication between professors and students.

2. 学修の到達目標/Goal of study：

演習に参加するすべての学生に要求されることは

- ・ 演習のテキストを精読する。
- ・ テーマについて熟慮する。
- ・ テーマについて活発に議論する。
- ・ 演習論文の完成に最善を尽くす。

Every student is required to

- ・ read the text carefully;
- ・ think about the themes seriously;
- ・ discusses the themes actively;
- ・ do your best to complete the thesis.

3. 授業内容・方法と進捗予定/Contents and progress schedule of the class：

担当教員の専門領域によります。『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

It depends on the supervisor's major. See the handbook (TEBIKI) for seminar.

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

5. 使用言語/Language Used in Course：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

6. 成績評価方法/Evaluation method：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

7. 教科書および参考書/Textbook and references：

8. 関連URL/URL：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

9. 授業時間外学修/Preparation and Review：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

10. その他/In addition：

メディア授業科目 /Course of Media Class:

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

経済学演習 (I) A/Seminar for Economics (I)A

担当教員/Instructor : 川名 洋/YOH KAWANA

曜日・講時/Day/Period :

対象学年/Eligible Participants : 3,

科目ナンバリング/Course Numbering : EEC-EC0330J, 単位数/Credit(s) : 2

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class :

演習は、専門的なテーマについて少人数でかつ教員と学生との間の双方向のコミュニケーションを通じて、学生の積極的な知的探求能力を向上させようとする科目です。

Seminar is the subject that aims to improve students' proactive intellectual exploration skills on specialized topics through small-scale and interactive communication between professors and students.

2. 学修の到達目標/Goal of study :

演習に参加するすべての学生に要求されることは

- ・ 演習のテキストを精読する。
- ・ テーマについて熟慮する。
- ・ テーマについて活発に議論する。

Every student is required to

- ・ read the text carefully;
- ・ think about the themes seriously;
- ・ discusses the themes actively.

3. 授業内容・方法と進捗予定/Contents and progress schedule of the class :

担当教員の専門領域によります。『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

It depends on the supervisor's major. See the handbook (TEBIKI) for seminar.

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

5. 使用言語/Language Used in Course :

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

6. 成績評価方法/Evaluation method :

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

7. 教科書および参考書/Textbook and references :

8. 関連URL/URL :

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

9. 授業時間外学修/Preparation and Review :

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

10. その他/In addition :

メディア授業科目 /Course of Media Class:

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

経済学演習 (I) B/Seminar for Economics (I)B

担当教員/Instructor : 川名 洋/YOH KAWANA

曜日・講時/Day/Period :

対象学年/Eligible Participants : 3,

科目ナンバリング/Course Numbering : EEC-EC0330J, 単位数/Credit(s) : 2

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class :

演習は、専門的なテーマについて少人数でかつ教員と学生との間の双方向のコミュニケーションを通じて、学生の積極的な知識の探求能力を向上させようとする科目です。

Seminar is the subject that aims to improve students' proactive intellectual exploration skills on specialized topics through small-scale and interactive communication between professors and students.

2. 学修の到達目標/Goal of study :

演習に参加するすべての学生に要求されることは

- ・ 演習のテキストを精読する。
- ・ テーマについて熟慮する。
- ・ テーマについて活発に議論する。

Every student is required to

- ・ read the text carefully;
- ・ think about the themes seriously;
- ・ discusses the themes actively.

3. 授業内容・方法と進捗予定/Contents and progress schedule of the class :

担当教員の専門領域によります。『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

It depends on the supervisor's major. See the handbook (TEBIKI) for seminar.

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

5. 使用言語/Language Used in Course :

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

6. 成績評価方法/Evaluation method :

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

7. 教科書および参考書/Textbook and references :

8. 関連URL/URL :

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

9. 授業時間外学修/Preparation and Review :

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

10. その他/In addition :

メディア授業科目 /Course of Media Class:

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

経済学演習（Ⅱ）A/Seminar for Economics (II)A

担当教員/Instructor：川名 洋/YOH KAWANA

曜日・講時/Day/Period：

対象学年/Eligible Participants：4,

科目ナンバリング/Course Numbering：EEC-EC0430J, 単位数/Credit(s)：2

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class：

演習は、専門的なテーマについて少人数でかつ教員と学生との間の双方向のコミュニケーションを通じて、学生の積極的な知識の探求能力を向上させようとする科目です。

Seminar is the subject that aims to improve students' proactive intellectual exploration skills on specialized topics through small-scale and interactive communication between professors and students.

2. 学修の到達目標/Goal of study：

演習に参加するすべての学生に要求されることは

- ・ 演習のテキストを精読する。
- ・ テーマについて熟慮する。
- ・ テーマについて活発に議論する。

Every student is required to

- ・ read the text carefully;
- ・ think about the themes seriously;
- ・ discusses the themes actively.

3. 授業内容・方法と進捗予定/Contents and progress schedule of the class：

担当教員の専門領域によります。『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

It depends on the supervisor's major. See the handbook (TEBIKI) for seminar.

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

5. 使用言語/Language Used in Course：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

6. 成績評価方法/Evaluation method：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

7. 教科書および参考書/Textbook and references：

8. 関連URL/URL：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

9. 授業時間外学修/Preparation and Review：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

10. その他/In addition：

メディア授業科目 /Course of Media Class:

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

経済学演習（Ⅱ）B/Seminar for Economics (II)B

担当教員/Instructor：川名 洋/YOH KAWANA

曜日・講時/Day/Period：

対象学年/Eligible Participants：4,

科目ナンバリング/Course Numbering：EEC-EC0430J, 単位数/Credit(s)：2

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class：

演習は、専門的なテーマについて少人数でかつ教員と学生との間の双方向のコミュニケーションを通じて、学生の積極的な知的探求能力を向上させようとする科目です。

Seminar is the subject that aims to improve students' proactive intellectual exploration skills on specialized topics through small-scale and interactive communication between professors and students.

2. 学修の到達目標/Goal of study：

演習に参加するすべての学生に要求されることは

- ・ 演習のテキストを精読する。
- ・ テーマについて熟慮する。
- ・ テーマについて活発に議論する。
- ・ 演習論文の完成に最善を尽くす。

Every student is required to

- ・ read the text carefully;
- ・ think about the themes seriously;
- ・ discusses the themes actively;
- ・ do your best to complete the thesis.

3. 授業内容・方法と進捗予定/Contents and progress schedule of the class：

担当教員の専門領域によります。『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

It depends on the supervisor's major. See the handbook (TEBIKI) for seminar.

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

5. 使用言語/Language Used in Course：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

6. 成績評価方法/Evaluation method：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

7. 教科書および参考書/Textbook and references：

8. 関連URL/URL：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

9. 授業時間外学修/Preparation and Review：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

10. その他/In addition：

メディア授業科目 /Course of Media Class:

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

経済学演習（Ⅰ）A/Seminar for Economics (I)A

担当教員/Instructor：小田中 直樹/NAOKI ODANAKA

曜日・講時/Day/Period：

対象学年/Eligible Participants：3,

科目ナンバリング/Course Numbering：EEC-EC0330J, 単位数/Credit(s)：2

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class：

演習は、専門的なテーマについて少人数でかつ教員と学生との間の双方向のコミュニケーションを通じて、学生の積極的な知的探求能力を向上させようとする科目です。

Seminar is the subject that aims to improve students' proactive intellectual exploration skills on specialized topics through small-scale and interactive communication between professors and students.

2. 学修の到達目標/Goal of study：

演習に参加するすべての学生に要求されることは

- ・ 演習のテキストを精読する。
- ・ テーマについて熟慮する。
- ・ テーマについて活発に議論する。

Every student is required to

- ・ read the text carefully;
- ・ think about the themes seriously;
- ・ discusses the themes actively.

3. 授業内容・方法と進捗予定/Contents and progress schedule of the class：

担当教員の専門領域によります。『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

It depends on the supervisor's major. See the handbook (TEBIKI) for seminar.

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

5. 使用言語/Language Used in Course：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

6. 成績評価方法/Evaluation method：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

7. 教科書および参考書/Textbook and references：

8. 関連URL/URL：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

9. 授業時間外学修/Preparation and Review：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

10. その他/In addition：

メディア授業科目 /Course of Media Class:

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

経済学演習 (I) B/Seminar for Economics (I)B

担当教員/Instructor : 小田中 直樹/NAOKI ODANAKA

曜日・講時/Day/Period :

対象学年/Eligible Participants : 3,

科目ナンバリング/Course Numbering : EEC-EC0330J, 単位数/Credit(s) : 2

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class :

演習は、専門的なテーマについて少人数でかつ教員と学生との間の双方向のコミュニケーションを通じて、学生の積極的な知識の探求能力を向上させようとする科目です。

Seminar is the subject that aims to improve students' proactive intellectual exploration skills on specialized topics through small-scale and interactive communication between professors and students.

2. 学修の到達目標/Goal of study :

演習に参加するすべての学生に要求されることは

- ・ 演習のテキストを精読する。
- ・ テーマについて熟慮する。
- ・ テーマについて活発に議論する。

Every student is required to

- ・ read the text carefully;
- ・ think about the themes seriously;
- ・ discusses the themes actively.

3. 授業内容・方法と進捗予定/Contents and progress schedule of the class :

担当教員の専門領域によります。『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

It depends on the supervisor's major. See the handbook (TEBIKI) for seminar.

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

5. 使用言語/Language Used in Course :

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

6. 成績評価方法/Evaluation method :

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

7. 教科書および参考書/Textbook and references :

8. 関連URL/URL :

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

9. 授業時間外学修/Preparation and Review :

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

10. その他/In addition :

メディア授業科目 /Course of Media Class:

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

経済学演習（Ⅱ）A/Seminar for Economics (II)A

担当教員/Instructor：小田中 直樹/NAOKI ODANAKA

曜日・講時/Day/Period：

対象学年/Eligible Participants：4,

科目ナンバリング/Course Numbering：EEC-EC0430J, 単位数/Credit(s)：2

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class：

演習は、専門的なテーマについて少人数でかつ教員と学生との間の双方向のコミュニケーションを通じて、学生の積極的な知的探求能力を向上させようとする科目です。

Seminar is the subject that aims to improve students' proactive intellectual exploration skills on specialized topics through small-scale and interactive communication between professors and students.

2. 学修の到達目標/Goal of study：

演習に参加するすべての学生に要求されることは

- ・ 演習のテキストを精読する。
- ・ テーマについて熟慮する。
- ・ テーマについて活発に議論する。

Every student is required to

- ・ read the text carefully;
- ・ think about the themes seriously;
- ・ discusses the themes actively.

3. 授業内容・方法と進捗予定/Contents and progress schedule of the class：

担当教員の専門領域によります。『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

It depends on the supervisor's major. See the handbook (TEBIKI) for seminar.

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

5. 使用言語/Language Used in Course：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

6. 成績評価方法/Evaluation method：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

7. 教科書および参考書/Textbook and references：

8. 関連URL/URL：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

9. 授業時間外学修/Preparation and Review：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

10. その他/In addition：

メディア授業科目 /Course of Media Class:

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

経済学演習（Ⅱ）B/Seminar for Economics (II)B

担当教員/Instructor：小田中 直樹/NAOKI ODANAKA

曜日・講時/Day/Period：

対象学年/Eligible Participants：4,

科目ナンバリング/Course Numbering：EEC-EC0430J, 単位数/Credit(s)：2

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class：

演習は、専門的なテーマについて少人数でかつ教員と学生との間の双方向のコミュニケーションを通じて、学生の積極的な知的探求能力を向上させようとする科目です。

Seminar is the subject that aims to improve students' proactive intellectual exploration skills on specialized topics through small-scale and interactive communication between professors and students.

2. 学修の到達目標/Goal of study：

演習に参加するすべての学生に要求されることは

- ・ 演習のテキストを精読する。
- ・ テーマについて熟慮する。
- ・ テーマについて活発に議論する。
- ・ 演習論文の完成に最善を尽くす。

Every student is required to

- ・ read the text carefully;
- ・ think about the themes seriously;
- ・ discusses the themes actively;
- ・ do your best to complete the thesis.

3. 授業内容・方法と進捗予定/Contents and progress schedule of the class：

担当教員の専門領域によります。『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

It depends on the supervisor's major. See the handbook (TEBIKI) for seminar.

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

5. 使用言語/Language Used in Course：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

6. 成績評価方法/Evaluation method：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

7. 教科書および参考書/Textbook and references：

8. 関連URL/URL：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

9. 授業時間外学修/Preparation and Review：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

10. その他/In addition：

メディア授業科目 /Course of Media Class:

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

経済学演習 (I) A/Seminar for Economics (I)A

担当教員/Instructor : 日置 史郎/SHIRO HIOKI

曜日・講時/Day/Period :

対象学年/Eligible Participants : 3,

科目ナンバリング/Course Numbering : EEC-EC0330J, 単位数/Credit(s) : 2

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class :

演習は、専門的なテーマについて少人数でかつ教員と学生との間の双方向のコミュニケーションを通じて、学生の積極的な知識の探求能力を向上させようとする科目です。

Seminar is the subject that aims to improve students' proactive intellectual exploration skills on specialized topics through small-scale and interactive communication between professors and students.

2. 学修の到達目標/Goal of study :

演習に参加するすべての学生に要求されることは

- ・ 演習のテキストを精読する。
- ・ テーマについて熟慮する。
- ・ テーマについて活発に議論する。

Every student is required to

- ・ read the text carefully;
- ・ think about the themes seriously;
- ・ discusses the themes actively.

3. 授業内容・方法と進捗予定/Contents and progress schedule of the class :

担当教員の専門領域によります。『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

It depends on the supervisor's major. See the handbook (TEBIKI) for seminar.

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

5. 使用言語/Language Used in Course :

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

6. 成績評価方法/Evaluation method :

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

7. 教科書および参考書/Textbook and references :

8. 関連URL/URL :

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

9. 授業時間外学修/Preparation and Review :

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

10. その他/In addition :

メディア授業科目 /Course of Media Class:

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

経済学演習 (I) B/Seminar for Economics (I)B

担当教員/Instructor : 日置 史郎/SHIRO HIOKI

曜日・講時/Day/Period :

対象学年/Eligible Participants : 3,

科目ナンバリング/Course Numbering : EEC-EC0330J, 単位数/Credit(s) : 2

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class :

演習は、専門的なテーマについて少人数でかつ教員と学生との間の双方向のコミュニケーションを通じて、学生の積極的な知の探求能力を向上させようとする科目です。

Seminar is the subject that aims to improve students' proactive intellectual exploration skills on specialized topics through small-scale and interactive communication between professors and students.

2. 学修の到達目標/Goal of study :

演習に参加するすべての学生に要求されることは

- ・ 演習のテキストを精読する。
- ・ テーマについて熟慮する。
- ・ テーマについて活発に議論する。

Every student is required to

- ・ read the text carefully;
- ・ think about the themes seriously;
- ・ discusses the themes actively.

3. 授業内容・方法と進捗予定/Contents and progress schedule of the class :

担当教員の専門領域によります。『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

It depends on the supervisor's major. See the handbook (TEBIKI) for seminar.

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

5. 使用言語/Language Used in Course :

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

6. 成績評価方法/Evaluation method :

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

7. 教科書および参考書/Textbook and references :

8. 関連URL/URL :

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

9. 授業時間外学修/Preparation and Review :

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

10. その他/In addition :

メディア授業科目 /Course of Media Class:

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

経済学演習（Ⅱ）A/Seminar for Economics (II)A

担当教員/Instructor：日置 史郎/SHIRO HIOKI

曜日・講時/Day/Period：

対象学年/Eligible Participants：4,

科目ナンバリング/Course Numbering：EEC-EC0430J, 単位数/Credit(s)：2

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class：

演習は、専門的なテーマについて少人数でかつ教員と学生との間の双方向のコミュニケーションを通じて、学生の積極的な知識の探求能力を向上させようとする科目です。

Seminar is the subject that aims to improve students' proactive intellectual exploration skills on specialized topics through small-scale and interactive communication between professors and students.

2. 学修の到達目標/Goal of study：

演習に参加するすべての学生に要求されることは

- ・ 演習のテキストを精読する。
- ・ テーマについて熟慮する。
- ・ テーマについて活発に議論する。

Every student is required to

- ・ read the text carefully;
- ・ think about the themes seriously;
- ・ discusses the themes actively.

3. 授業内容・方法と進捗予定/Contents and progress schedule of the class：

担当教員の専門領域によります。『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

It depends on the supervisor's major. See the handbook (TEBIKI) for seminar.

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

5. 使用言語/Language Used in Course：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

6. 成績評価方法/Evaluation method：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

7. 教科書および参考書/Textbook and references：

8. 関連URL/URL：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

9. 授業時間外学修/Preparation and Review：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

10. その他/In addition：

メディア授業科目 /Course of Media Class:

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

経済学演習（Ⅱ）B/Seminar for Economics (II)B

担当教員/Instructor：日置 史郎/SHIRO HIOKI

曜日・講時/Day/Period：

対象学年/Eligible Participants：4,

科目ナンバリング/Course Numbering：EEC-EC0430J, 単位数/Credit(s)：2

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class：

演習は、専門的なテーマについて少人数でかつ教員と学生との間の双方向のコミュニケーションを通じて、学生の積極的な知的探求能力を向上させようとする科目です。

Seminar is the subject that aims to improve students' proactive intellectual exploration skills on specialized topics through small-scale and interactive communication between professors and students.

2. 学修の到達目標/Goal of study：

演習に参加するすべての学生に要求されることは

- ・ 演習のテキストを精読する。
- ・ テーマについて熟慮する。
- ・ テーマについて活発に議論する。
- ・ 演習論文の完成に最善を尽くす。

Every student is required to

- ・ read the text carefully;
- ・ think about the themes seriously;
- ・ discusses the themes actively;
- ・ do your best to complete the thesis.

3. 授業内容・方法と進捗予定/Contents and progress schedule of the class：

担当教員の専門領域によります。『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

It depends on the supervisor's major. See the handbook (TEBIKI) for seminar.

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

5. 使用言語/Language Used in Course：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

6. 成績評価方法/Evaluation method：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

7. 教科書および参考書/Textbook and references：

8. 関連URL/URL：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

9. 授業時間外学修/Preparation and Review：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

10. その他/In addition：

メディア授業科目 /Course of Media Class:

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

経済学演習（Ⅰ）A/Seminar for Economics (I)A

担当教員/Instructor：大瀬戸 真次/SHINJI OHSETO

曜日・講時/Day/Period：

対象学年/Eligible Participants：3,

科目ナンバリング/Course Numbering：EEC-EC0330J, 単位数/Credit(s)：2

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class：

演習は、専門的なテーマについて少人数でかつ教員と学生との間の双方向のコミュニケーションを通じて、学生の積極的な知的探求能力を向上させようとする科目です。

Seminar is the subject that aims to improve students' proactive intellectual exploration skills on specialized topics through small-scale and interactive communication between professors and students.

2. 学修の到達目標/Goal of study：

演習に参加するすべての学生に要求されることは

- ・ 演習のテキストを精読する。
- ・ テーマについて熟慮する。
- ・ テーマについて活発に議論する。

Every student is required to

- ・ read the text carefully;
- ・ think about the themes seriously;
- ・ discusses the themes actively.

3. 授業内容・方法と進捗予定/Contents and progress schedule of the class：

担当教員の専門領域によります。『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

It depends on the supervisor's major. See the handbook (TEBIKI) for seminar.

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

5. 使用言語/Language Used in Course：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

6. 成績評価方法/Evaluation method：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

7. 教科書および参考書/Textbook and references：

8. 関連URL/URL：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

9. 授業時間外学修/Preparation and Review：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

10. その他/In addition：

メディア授業科目 /Course of Media Class:

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

経済学演習 (I) B/Seminar for Economics (I)B

担当教員/Instructor : 大瀬戸 真次/SHINJI OHSETO

曜日・講時/Day/Period :

対象学年/Eligible Participants : 3,

科目ナンバリング/Course Numbering : EEC-EC0330J, 単位数/Credit(s) : 2

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class :

演習は、専門的なテーマについて少人数でかつ教員と学生との間の双方向のコミュニケーションを通じて、学生の積極的な知的探求能力を向上させようとする科目です。

Seminar is the subject that aims to improve students' proactive intellectual exploration skills on specialized topics through small-scale and interactive communication between professors and students.

2. 学修の到達目標/Goal of study :

演習に参加するすべての学生に要求されることは

- ・ 演習のテキストを精読する。
- ・ テーマについて熟慮する。
- ・ テーマについて活発に議論する。

Every student is required to

- ・ read the text carefully;
- ・ think about the themes seriously;
- ・ discusses the themes actively.

3. 授業内容・方法と進捗予定/Contents and progress schedule of the class :

担当教員の専門領域によります。『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

It depends on the supervisor's major. See the handbook (TEBIKI) for seminar.

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

5. 使用言語/Language Used in Course :

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

6. 成績評価方法/Evaluation method :

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

7. 教科書および参考書/Textbook and references :

8. 関連URL/URL :

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

9. 授業時間外学修/Preparation and Review :

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

10. その他/In addition :

メディア授業科目 /Course of Media Class:

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

経済学演習（Ⅱ）A/Seminar for Economics (II)A

担当教員/Instructor：大瀬戸 真次/SHINJI OHSETO

曜日・講時/Day/Period：

対象学年/Eligible Participants：4,

科目ナンバリング/Course Numbering：EEC-EC0430J, 単位数/Credit(s)：2

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class：

演習は、専門的なテーマについて少人数でかつ教員と学生との間の双方向のコミュニケーションを通じて、学生の積極的な知的探求能力を向上させようとする科目です。

Seminar is the subject that aims to improve students' proactive intellectual exploration skills on specialized topics through small-scale and interactive communication between professors and students.

2. 学修の到達目標/Goal of study：

演習に参加するすべての学生に要求されることは

- ・ 演習のテキストを精読する。
- ・ テーマについて熟慮する。
- ・ テーマについて活発に議論する。

Every student is required to

- ・ read the text carefully;
- ・ think about the themes seriously;
- ・ discusses the themes actively.

3. 授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：

担当教員の専門領域によります。『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

It depends on the supervisor's major. See the handbook (TEBIKI) for seminar.

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

5. 使用言語/Language Used in Course：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

6. 成績評価方法/Evaluation method：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

7. 教科書および参考書/Textbook and references：

8. 関連URL/URL：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

9. 授業時間外学修/Preparation and Review：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

10. その他/In addition：

メディア授業科目 /Course of Media Class:

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

経済学演習（Ⅱ）B/Seminar for Economics (II)B

担当教員/Instructor：大瀬戸 真次/SHINJI OHSETO

曜日・講時/Day/Period：

対象学年/Eligible Participants：4,

科目ナンバリング/Course Numbering：EEC-EC0430J, 単位数/Credit(s)：2

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class：

演習は、専門的なテーマについて少人数でかつ教員と学生との間の双方向のコミュニケーションを通じて、学生の積極的な知的探求能力を向上させようとする科目です。

Seminar is the subject that aims to improve students' proactive intellectual exploration skills on specialized topics through small-scale and interactive communication between professors and students.

2. 学修の到達目標/Goal of study：

演習に参加するすべての学生に要求されることは

- ・ 演習のテキストを精読する。
- ・ テーマについて熟慮する。
- ・ テーマについて活発に議論する。
- ・ 演習論文の完成に最善を尽くす。

Every student is required to

- ・ read the text carefully;
- ・ think about the themes seriously;
- ・ discusses the themes actively;
- ・ do your best to complete the thesis.

3. 授業内容・方法と進捗予定/Contents and progress schedule of the class：

担当教員の専門領域によります。『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

It depends on the supervisor's major. See the handbook (TEBIKI) for seminar.

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

5. 使用言語/Language Used in Course：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

6. 成績評価方法/Evaluation method：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

7. 教科書および参考書/Textbook and references：

8. 関連URL/URL：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

9. 授業時間外学修/Preparation and Review：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

10. その他/In addition：

メディア授業科目 /Course of Media Class:

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

経済学演習 (I) A/Seminar for Economics (I)A

担当教員/Instructor: 浅野 康司/KOJI ASANO

曜日・講時/Day/Period:

対象学年/Eligible Participants: 3,

科目ナンバリング/Course Numbering: EEC-EC0330J, 単位数/Credit(s): 2

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class:

演習は、専門的なテーマについて少人数でかつ教員と学生との間の双方向のコミュニケーションを通じて、学生の積極的な知識の探求能力を向上させようとする科目です。

Seminar is the subject that aims to improve students' proactive intellectual exploration skills on specialized topics through small-scale and interactive communication between professors and students.

2. 学修の到達目標/Goal of study:

演習に参加するすべての学生に要求されることは

- ・ 演習のテキストを精読する。
- ・ テーマについて熟慮する。
- ・ テーマについて活発に議論する。

Every student is required to

- ・ read the text carefully;
- ・ think about the themes seriously;
- ・ discusses the themes actively.

3. 授業内容・方法と進捗予定/Contents and progress schedule of the class:

担当教員の専門領域によります。『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

It depends on the supervisor's major. See the handbook (TEBIKI) for seminar.

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

5. 使用言語/Language Used in Course:

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

6. 成績評価方法/Evaluation method:

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

7. 教科書および参考書/Textbook and references:

8. 関連URL/URL:

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

9. 授業時間外学修/Preparation and Review:

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

10. その他/In addition:

メディア授業科目 /Course of Media Class:

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

経済学演習 (I) B/Seminar for Economics (I)B

担当教員/Instructor: 浅野 康司/KOJI ASANO

曜日・講時/Day/Period:

対象学年/Eligible Participants: 3,

科目ナンバリング/Course Numbering: EEC-EC0330J, 単位数/Credit(s): 2

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class:

演習は、専門的なテーマについて少人数でかつ教員と学生との間の双方向のコミュニケーションを通じて、学生の積極的な知的探求能力を向上させようとする科目です。

Seminar is the subject that aims to improve students' proactive intellectual exploration skills on specialized topics through small-scale and interactive communication between professors and students.

2. 学修の到達目標/Goal of study:

演習に参加するすべての学生に要求されることは

- ・ 演習のテキストを精読する。
- ・ テーマについて熟慮する。
- ・ テーマについて活発に議論する。

Every student is required to

- ・ read the text carefully;
- ・ think about the themes seriously;
- ・ discusses the themes actively.

3. 授業内容・方法と進捗予定/Contents and progress schedule of the class:

担当教員の専門領域によります。『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

It depends on the supervisor's major. See the handbook (TEBIKI) for seminar.

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

5. 使用言語/Language Used in Course:

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

6. 成績評価方法/Evaluation method:

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

7. 教科書および参考書/Textbook and references:

8. 関連URL/URL:

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

9. 授業時間外学修/Preparation and Review:

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

10. その他/In addition:

メディア授業科目 /Course of Media Class:

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

経済学演習（Ⅱ）A/Seminar for Economics (II)A

担当教員/Instructor：浅野 康司/KOJI ASANO

曜日・講時/Day/Period：

対象学年/Eligible Participants：4,

科目ナンバリング/Course Numbering：EEC-EC0430J, 単位数/Credit(s)：2

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class：

演習は、専門的なテーマについて少人数でかつ教員と学生との間の双方向のコミュニケーションを通じて、学生の積極的な知的探求能力を向上させようとする科目です。

Seminar is the subject that aims to improve students' proactive intellectual exploration skills on specialized topics through small-scale and interactive communication between professors and students.

2. 学修の到達目標/Goal of study：

演習に参加するすべての学生に要求されることは

- ・ 演習のテキストを精読する。
- ・ テーマについて熟慮する。
- ・ テーマについて活発に議論する。

Every student is required to

- ・ read the text carefully;
- ・ think about the themes seriously;
- ・ discusses the themes actively.

3. 授業内容・方法と進捗予定/Contents and progress schedule of the class：

担当教員の専門領域によります。『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

It depends on the supervisor's major. See the handbook (TEBIKI) for seminar.

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

5. 使用言語/Language Used in Course：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

6. 成績評価方法/Evaluation method：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

7. 教科書および参考書/Textbook and references：

8. 関連URL/URL：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

9. 授業時間外学修/Preparation and Review：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

10. その他/In addition：

メディア授業科目 /Course of Media Class:

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

経済学演習（Ⅱ）B/Seminar for Economics (II)B

担当教員/Instructor：浅野 康司/KOJI ASANO

曜日・講時/Day/Period：

対象学年/Eligible Participants：4,

科目ナンバリング/Course Numbering：EEC-EC0430J, 単位数/Credit(s)：2

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class：

演習は、専門的なテーマについて少人数でかつ教員と学生との間の双方向のコミュニケーションを通じて、学生の積極的な知的探求能力を向上させようとする科目です。

Seminar is the subject that aims to improve students' proactive intellectual exploration skills on specialized topics through small-scale and interactive communication between professors and students.

2. 学修の到達目標/Goal of study：

演習に参加するすべての学生に要求されることは

- ・ 演習のテキストを精読する。
- ・ テーマについて熟慮する。
- ・ テーマについて活発に議論する。
- ・ 演習論文の完成に最善を尽くす。

Every student is required to

- ・ read the text carefully;
- ・ think about the themes seriously;
- ・ discusses the themes actively;
- ・ do your best to complete the thesis.

3. 授業内容・方法と進捗予定/Contents and progress schedule of the class：

担当教員の専門領域によります。『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

It depends on the supervisor's major. See the handbook (TEBIKI) for seminar.

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

5. 使用言語/Language Used in Course：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

6. 成績評価方法/Evaluation method：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

7. 教科書および参考書/Textbook and references：

8. 関連URL/URL：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

9. 授業時間外学修/Preparation and Review：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

10. その他/In addition：

メディア授業科目 /Course of Media Class:

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

経済学演習 (I) A/Seminar for Economics (I)A

担当教員/Instructor : 秋田 次郎/JIRO AKITA

曜日・講時/Day/Period :

対象学年/Eligible Participants : 3,

科目ナンバリング/Course Numbering : EEC-EC0330J, 単位数/Credit(s) : 2

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class :

演習は、専門的なテーマについて少人数でかつ教員と学生との間の双方向のコミュニケーションを通じて、学生の積極的な知的探求能力を向上させようとする科目です。

Seminar is the subject that aims to improve students' proactive intellectual exploration skills on specialized topics through small-scale and interactive communication between professors and students.

2. 学修の到達目標/Goal of study :

演習に参加するすべての学生に要求されることは

- ・ 演習のテキストを精読する。
- ・ テーマについて熟慮する。
- ・ テーマについて活発に議論する。

Every student is required to

- ・ read the text carefully;
- ・ think about the themes seriously;
- ・ discusses the themes actively.

3. 授業内容・方法と進捗予定/Contents and progress schedule of the class :

担当教員の専門領域によります。『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

It depends on the supervisor's major. See the handbook (TEBIKI) for seminar.

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

5. 使用言語/Language Used in Course :

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

6. 成績評価方法/Evaluation method :

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

7. 教科書および参考書/Textbook and references :

8. 関連URL/URL :

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

9. 授業時間外学修/Preparation and Review :

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

10. その他/In addition :

メディア授業科目 /Course of Media Class:

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

経済学演習 (I) B/Seminar for Economics (I)B

担当教員/Instructor: 秋田 次郎/JIRO AKITA

曜日・講時/Day/Period:

対象学年/Eligible Participants: 3,

科目ナンバリング/Course Numbering: EEC-EC0330J, 単位数/Credit(s): 2

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class:

演習は、専門的なテーマについて少人数でかつ教員と学生との間の双方向のコミュニケーションを通じて、学生の積極的な知識の探求能力を向上させようとする科目です。

Seminar is the subject that aims to improve students' proactive intellectual exploration skills on specialized topics through small-scale and interactive communication between professors and students.

2. 学修の到達目標/Goal of study:

演習に参加するすべての学生に要求されることは

- ・ 演習のテキストを精読する。
- ・ テーマについて熟慮する。
- ・ テーマについて活発に議論する。

Every student is required to

- ・ read the text carefully;
- ・ think about the themes seriously;
- ・ discusses the themes actively.

3. 授業内容・方法と進捗予定/Contents and progress schedule of the class:

担当教員の専門領域によります。『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

It depends on the supervisor's major. See the handbook (TEBIKI) for seminar.

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

5. 使用言語/Language Used in Course:

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

6. 成績評価方法/Evaluation method:

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

7. 教科書および参考書/Textbook and references:

8. 関連URL/URL:

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

9. 授業時間外学修/Preparation and Review:

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

10. その他/In addition:

メディア授業科目 /Course of Media Class:

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

経済学演習（Ⅱ）A/Seminar for Economics (II)A

担当教員/Instructor：秋田 次郎/JIRO AKITA

曜日・講時/Day/Period：

対象学年/Eligible Participants：4,

科目ナンバリング/Course Numbering：EEC-EC0430J, 単位数/Credit(s)：2

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class：

演習は、専門的なテーマについて少人数でかつ教員と学生との間の双方向のコミュニケーションを通じて、学生の積極的な知的探求能力を向上させようとする科目です。

Seminar is the subject that aims to improve students' proactive intellectual exploration skills on specialized topics through small-scale and interactive communication between professors and students.

2. 学修の到達目標/Goal of study：

演習に参加するすべての学生に要求されることは

- ・ 演習のテキストを精読する。
- ・ テーマについて熟慮する。
- ・ テーマについて活発に議論する。

Every student is required to

- ・ read the text carefully;
- ・ think about the themes seriously;
- ・ discusses the themes actively.

3. 授業内容・方法と進捗予定/Contents and progress schedule of the class：

担当教員の専門領域によります。『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

It depends on the supervisor's major. See the handbook (TEBIKI) for seminar.

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

5. 使用言語/Language Used in Course：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

6. 成績評価方法/Evaluation method：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

7. 教科書および参考書/Textbook and references：

8. 関連URL/URL：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

9. 授業時間外学修/Preparation and Review：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

10. その他/In addition：

メディア授業科目 /Course of Media Class:

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

経済学演習（Ⅱ）B/Seminar for Economics (II)B

担当教員/Instructor：秋田 次郎/JIRO AKITA

曜日・講時/Day/Period：

対象学年/Eligible Participants：4,

科目ナンバリング/Course Numbering：EEC-EC0430J, 単位数/Credit(s)：2

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class：

演習は、専門的なテーマについて少人数でかつ教員と学生との間の双方向のコミュニケーションを通じて、学生の積極的な知的探求能力を向上させようとする科目です。

Seminar is the subject that aims to improve students' proactive intellectual exploration skills on specialized topics through small-scale and interactive communication between professors and students.

2. 学修の到達目標/Goal of study：

演習に参加するすべての学生に要求されることは

- ・ 演習のテキストを精読する。
- ・ テーマについて熟慮する。
- ・ テーマについて活発に議論する。
- ・ 演習論文の完成に最善を尽くす。

Every student is required to

- ・ read the text carefully;
- ・ think about the themes seriously;
- ・ discusses the themes actively;
- ・ do your best to complete the thesis.

3. 授業内容・方法と進捗予定/Contents and progress schedule of the class：

担当教員の専門領域によります。『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

It depends on the supervisor's major. See the handbook (TEBIKI) for seminar.

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

5. 使用言語/Language Used in Course：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

6. 成績評価方法/Evaluation method：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

7. 教科書および参考書/Textbook and references：

8. 関連URL/URL：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

9. 授業時間外学修/Preparation and Review：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

10. その他/In addition：

メディア授業科目 /Course of Media Class:

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

経済学演習 (I) A/Seminar for Economics (I)A

担当教員/Instructor: 千木良 弘朗/HIROAKI CHIGIRA

曜日・講時/Day/Period:

対象学年/Eligible Participants: 3,

科目ナンバリング/Course Numbering: EEC-EC0330J, 単位数/Credit(s): 2

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class:

演習は、専門的なテーマについて少人数でかつ教員と学生との間の双方向のコミュニケーションを通じて、学生の積極的な知的探求能力を向上させようとする科目です。

Seminar is the subject that aims to improve students' proactive intellectual exploration skills on specialized topics through small-scale and interactive communication between professors and students.

2. 学修の到達目標/Goal of study:

演習に参加するすべての学生に要求されることは

- ・ 演習のテキストを精読する。
- ・ テーマについて熟慮する。
- ・ テーマについて活発に議論する。

Every student is required to

- ・ read the text carefully;
- ・ think about the themes seriously;
- ・ discusses the themes actively.

3. 授業内容・方法と進捗予定/Contents and progress schedule of the class:

担当教員の専門領域によります。『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

It depends on the supervisor's major. See the handbook (TEBIKI) for seminar.

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

5. 使用言語/Language Used in Course:

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

6. 成績評価方法/Evaluation method:

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

7. 教科書および参考書/Textbook and references:

8. 関連URL/URL:

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

9. 授業時間外学修/Preparation and Review:

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

10. その他/In addition:

メディア授業科目 /Course of Media Class:

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

経済学演習 (I) B/Seminar for Economics (I)B

担当教員/Instructor: 千木良 弘朗/HIROAKI CHIGIRA

曜日・講時/Day/Period:

対象学年/Eligible Participants: 3,

科目ナンバリング/Course Numbering: EEC-EC0330J, 単位数/Credit(s): 2

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class:

演習は、専門的なテーマについて少人数でかつ教員と学生との間の双方向のコミュニケーションを通じて、学生の積極的な知的探求能力を向上させようとする科目です。

Seminar is the subject that aims to improve students' proactive intellectual exploration skills on specialized topics through small-scale and interactive communication between professors and students.

2. 学修の到達目標/Goal of study:

演習に参加するすべての学生に要求されることは

- ・ 演習のテキストを精読する。
- ・ テーマについて熟慮する。
- ・ テーマについて活発に議論する。

Every student is required to

- ・ read the text carefully;
- ・ think about the themes seriously;
- ・ discusses the themes actively.

3. 授業内容・方法と進捗予定/Contents and progress schedule of the class:

担当教員の専門領域によります。『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

It depends on the supervisor's major. See the handbook (TEBIKI) for seminar.

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

5. 使用言語/Language Used in Course:

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

6. 成績評価方法/Evaluation method:

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

7. 教科書および参考書/Textbook and references:

8. 関連URL/URL:

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

9. 授業時間外学修/Preparation and Review:

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

10. その他/In addition:

メディア授業科目 /Course of Media Class:

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

経済学演習 (Ⅱ) A/Seminar for Economics (II)A

担当教員/Instructor: 千木良 弘朗/HIROAKI CHIGIRA

曜日・講時/Day/Period:

対象学年/Eligible Participants: 4,

科目ナンバリング/Course Numbering: EEC-EC0430J, 単位数/Credit(s): 2

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class:

演習は、専門的なテーマについて少人数でかつ教員と学生との間の双方向のコミュニケーションを通じて、学生の積極的な知的探求能力を向上させようとする科目です。

Seminar is the subject that aims to improve students' proactive intellectual exploration skills on specialized topics through small-scale and interactive communication between professors and students.

2. 学修の到達目標/Goal of study:

演習に参加するすべての学生に要求されることは

- ・ 演習のテキストを精読する。
- ・ テーマについて熟慮する。
- ・ テーマについて活発に議論する。

Every student is required to

- ・ read the text carefully;
- ・ think about the themes seriously;
- ・ discusses the themes actively.

3. 授業内容・方法と進捗予定/Contents and progress schedule of the class:

担当教員の専門領域によります。『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

It depends on the supervisor's major. See the handbook (TEBIKI) for seminar.

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

5. 使用言語/Language Used in Course:

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

6. 成績評価方法/Evaluation method:

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

7. 教科書および参考書/Textbook and references:

8. 関連URL/URL:

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

9. 授業時間外学修/Preparation and Review:

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

10. その他/In addition:

メディア授業科目 /Course of Media Class:

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

経済学演習（Ⅱ）B/Seminar for Economics (II)B

担当教員/Instructor：千木良 弘朗/HIROAKI CHIGIRA

曜日・講時/Day/Period：

対象学年/Eligible Participants：4,

科目ナンバリング/Course Numbering：EEC-EC0430J, 単位数/Credit(s)：2

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class：

演習は、専門的なテーマについて少人数でかつ教員と学生との間の双方向のコミュニケーションを通じて、学生の積極的な知的探求能力を向上させようとする科目です。

Seminar is the subject that aims to improve students' proactive intellectual exploration skills on specialized topics through small-scale and interactive communication between professors and students.

2. 学修の到達目標/Goal of study：

演習に参加するすべての学生に要求されることは

- ・ 演習のテキストを精読する。
- ・ テーマについて熟慮する。
- ・ テーマについて活発に議論する。
- ・ 演習論文の完成に最善を尽くす。

Every student is required to

- ・ read the text carefully;
- ・ think about the themes seriously;
- ・ discusses the themes actively;
- ・ do your best to complete the thesis.

3. 授業内容・方法と進捗予定/Contents and progress schedule of the class：

担当教員の専門領域によります。『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

It depends on the supervisor's major. See the handbook (TEBIKI) for seminar.

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

5. 使用言語/Language Used in Course：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

6. 成績評価方法/Evaluation method：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

7. 教科書および参考書/Textbook and references：

8. 関連URL/URL：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

9. 授業時間外学修/Preparation and Review：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

10. その他/In addition：

メディア授業科目 /Course of Media Class:

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

経済学演習 (I) A/Seminar for Economics (I)A

担当教員/Instructor: 松田 安昌/YASUMASA MATSUDA

曜日・講時/Day/Period:

対象学年/Eligible Participants: 3,

科目ナンバリング/Course Numbering: EEC-EC0330J, 単位数/Credit(s): 2

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class:

演習は、専門的なテーマについて少人数でかつ教員と学生との間の双方向のコミュニケーションを通じて、学生の積極的な知的探求能力を向上させようとする科目です。

Seminar is the subject that aims to improve students' proactive intellectual exploration skills on specialized topics through small-scale and interactive communication between professors and students.

2. 学修の到達目標/Goal of study:

演習に参加するすべての学生に要求されることは

- ・ 演習のテキストを精読する。
- ・ テーマについて熟慮する。
- ・ テーマについて活発に議論する。

Every student is required to

- ・ read the text carefully;
- ・ think about the themes seriously;
- ・ discusses the themes actively.

3. 授業内容・方法と進捗予定/Contents and progress schedule of the class:

担当教員の専門領域によります。『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

It depends on the supervisor's major. See the handbook (TEBIKI) for seminar.

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

5. 使用言語/Language Used in Course:

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

6. 成績評価方法/Evaluation method:

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

7. 教科書および参考書/Textbook and references:

8. 関連URL/URL:

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

9. 授業時間外学修/Preparation and Review:

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

10. その他/In addition:

メディア授業科目 /Course of Media Class:

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

経済学演習 (I) B/Seminar for Economics (I)B

担当教員/Instructor : 松田 安昌/YASUMASA MATSUDA

曜日・講時/Day/Period :

対象学年/Eligible Participants : 3,

科目ナンバリング/Course Numbering : EEC-EC0330J, 単位数/Credit(s) : 2

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class :

演習は、専門的なテーマについて少人数でかつ教員と学生との間の双方向のコミュニケーションを通じて、学生の積極的な知識の探求能力を向上させようとする科目です。

Seminar is the subject that aims to improve students' proactive intellectual exploration skills on specialized topics through small-scale and interactive communication between professors and students.

2. 学修の到達目標/Goal of study :

演習に参加するすべての学生に要求されることは

- ・ 演習のテキストを精読する。
- ・ テーマについて熟慮する。
- ・ テーマについて活発に議論する。

Every student is required to

- ・ read the text carefully;
- ・ think about the themes seriously;
- ・ discusses the themes actively.

3. 授業内容・方法と進捗予定/Contents and progress schedule of the class :

担当教員の専門領域によります。『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

It depends on the supervisor's major. See the handbook (TEBIKI) for seminar.

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

5. 使用言語/Language Used in Course :

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

6. 成績評価方法/Evaluation method :

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

7. 教科書および参考書/Textbook and references :

8. 関連URL/URL :

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

9. 授業時間外学修/Preparation and Review :

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

10. その他/In addition :

メディア授業科目 /Course of Media Class:

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

経済学演習（Ⅱ）A/Seminar for Economics (II)A

担当教員/Instructor：松田 安昌/YASUMASA MATSUDA

曜日・講時/Day/Period：

対象学年/Eligible Participants：4,

科目ナンバリング/Course Numbering：EEC-EC0430J, 単位数/Credit(s)：2

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class：

演習は、専門的なテーマについて少人数でかつ教員と学生との間の双方向のコミュニケーションを通じて、学生の積極的な知的探求能力を向上させようとする科目です。

Seminar is the subject that aims to improve students' proactive intellectual exploration skills on specialized topics through small-scale and interactive communication between professors and students.

2. 学修の到達目標/Goal of study：

演習に参加するすべての学生に要求されることは

- ・ 演習のテキストを精読する。
- ・ テーマについて熟慮する。
- ・ テーマについて活発に議論する。

Every student is required to

- ・ read the text carefully;
- ・ think about the themes seriously;
- ・ discusses the themes actively.

3. 授業内容・方法と進捗予定/Contents and progress schedule of the class：

担当教員の専門領域によります。『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

It depends on the supervisor's major. See the handbook (TEBIKI) for seminar.

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

5. 使用言語/Language Used in Course：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

6. 成績評価方法/Evaluation method：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

7. 教科書および参考書/Textbook and references：

8. 関連URL/URL：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

9. 授業時間外学修/Preparation and Review：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

10. その他/In addition：

メディア授業科目 /Course of Media Class:

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

経済学演習（Ⅱ）B/Seminar for Economics (II)B

担当教員/Instructor：松田 安昌/YASUMASA MATSUDA

曜日・講時/Day/Period：

対象学年/Eligible Participants：4,

科目ナンバリング/Course Numbering：EEC-EC0430J, 単位数/Credit(s)：2

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class：

演習は、専門的なテーマについて少人数でかつ教員と学生との間の双方向のコミュニケーションを通じて、学生の積極的な知的探求能力を向上させようとする科目です。

Seminar is the subject that aims to improve students' proactive intellectual exploration skills on specialized topics through small-scale and interactive communication between professors and students.

2. 学修の到達目標/Goal of study：

演習に参加するすべての学生に要求されることは

- ・ 演習のテキストを精読する。
- ・ テーマについて熟慮する。
- ・ テーマについて活発に議論する。
- ・ 演習論文の完成に最善を尽くす。

Every student is required to

- ・ read the text carefully;
- ・ think about the themes seriously;
- ・ discusses the themes actively;
- ・ do your best to complete the thesis.

3. 授業内容・方法と進捗予定/Contents and progress schedule of the class：

担当教員の専門領域によります。『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

It depends on the supervisor's major. See the handbook (TEBIKI) for seminar.

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

5. 使用言語/Language Used in Course：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

6. 成績評価方法/Evaluation method：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

7. 教科書および参考書/Textbook and references：

8. 関連URL/URL：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

9. 授業時間外学修/Preparation and Review：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

10. その他/In addition：

メディア授業科目 /Course of Media Class:

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

経済学演習 (I) A/Seminar for Economics (I)A

担当教員/Instructor : 日引 聡/AKIRA HIBIKI

曜日・講時/Day/Period :

対象学年/Eligible Participants : 3,

科目ナンバリング/Course Numbering : EEC-EC0330J, 単位数/Credit(s) : 2

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class :

演習は、専門的なテーマについて少人数でかつ教員と学生との間の双方向のコミュニケーションを通じて、学生の積極的な知識の探求能力を向上させようとする科目です。

Seminar is the subject that aims to improve students' proactive intellectual exploration skills on specialized topics through small-scale and interactive communication between professors and students.

2. 学修の到達目標/Goal of study :

演習に参加するすべての学生に要求されることは

- ・ 演習のテキストを精読する。
- ・ テーマについて熟慮する。
- ・ テーマについて活発に議論する。

Every student is required to

- ・ read the text carefully;
- ・ think about the themes seriously;
- ・ discusses the themes actively.

3. 授業内容・方法と進捗予定/Contents and progress schedule of the class :

担当教員の専門領域によります。『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

It depends on the supervisor's major. See the handbook (TEBIKI) for seminar.

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

5. 使用言語/Language Used in Course :

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

6. 成績評価方法/Evaluation method :

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

7. 教科書および参考書/Textbook and references :

8. 関連URL/URL :

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

9. 授業時間外学修/Preparation and Review :

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

10. その他/In addition :

メディア授業科目 /Course of Media Class:

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

経済学演習 (I) B/Seminar for Economics (I)B

担当教員/Instructor : 日引 聡/AKIRA HIBIKI

曜日・講時/Day/Period :

対象学年/Eligible Participants : 3,

科目ナンバリング/Course Numbering : EEC-EC0330J, 単位数/Credit(s) : 2

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class :

演習は、専門的なテーマについて少人数でかつ教員と学生との間の双方向のコミュニケーションを通じて、学生の積極的な知識の探求能力を向上させようとする科目です。

Seminar is the subject that aims to improve students' proactive intellectual exploration skills on specialized topics through small-scale and interactive communication between professors and students.

2. 学修の到達目標/Goal of study :

演習に参加するすべての学生に要求されることは

- ・ 演習のテキストを精読する。
- ・ テーマについて熟慮する。
- ・ テーマについて活発に議論する。

Every student is required to

- ・ read the text carefully;
- ・ think about the themes seriously;
- ・ discusses the themes actively.

3. 授業内容・方法と進捗予定/Contents and progress schedule of the class :

担当教員の専門領域によります。『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

It depends on the supervisor's major. See the handbook (TEBIKI) for seminar.

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

5. 使用言語/Language Used in Course :

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

6. 成績評価方法/Evaluation method :

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

7. 教科書および参考書/Textbook and references :

8. 関連URL/URL :

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

9. 授業時間外学修/Preparation and Review :

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

10. その他/In addition :

メディア授業科目 /Course of Media Class:

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

経済学演習（Ⅱ）A/Seminar for Economics (II)A

担当教員/Instructor：日引 聡/AKIRA HIBIKI

曜日・講時/Day/Period：

対象学年/Eligible Participants：4,

科目ナンバリング/Course Numbering：EEC-EC0430J, 単位数/Credit(s)：2

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class：

演習は、専門的なテーマについて少人数でかつ教員と学生との間の双方向のコミュニケーションを通じて、学生の積極的な知的探求能力を向上させようとする科目です。

Seminar is the subject that aims to improve students' proactive intellectual exploration skills on specialized topics through small-scale and interactive communication between professors and students.

2. 学修の到達目標/Goal of study：

演習に参加するすべての学生に要求されることは

- ・ 演習のテキストを精読する。
- ・ テーマについて熟慮する。
- ・ テーマについて活発に議論する。

Every student is required to

- ・ read the text carefully;
- ・ think about the themes seriously;
- ・ discusses the themes actively.

3. 授業内容・方法と進捗予定/Contents and progress schedule of the class：

担当教員の専門領域によります。『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

It depends on the supervisor's major. See the handbook (TEBIKI) for seminar.

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

5. 使用言語/Language Used in Course：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

6. 成績評価方法/Evaluation method：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

7. 教科書および参考書/Textbook and references：

8. 関連URL/URL：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

9. 授業時間外学修/Preparation and Review：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

10. その他/In addition：

メディア授業科目 /Course of Media Class:

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

経済学演習（Ⅱ）B/Seminar for Economics (II)B

担当教員/Instructor：日引 聡/AKIRA HIBIKI

曜日・講時/Day/Period：

対象学年/Eligible Participants：4,

科目ナンバリング/Course Numbering：EEC-EC0430J, 単位数/Credit(s)：2

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class：

演習は、専門的なテーマについて少人数でかつ教員と学生との間の双方向のコミュニケーションを通じて、学生の積極的な知的探求能力を向上させようとする科目です。

Seminar is the subject that aims to improve students' proactive intellectual exploration skills on specialized topics through small-scale and interactive communication between professors and students.

2. 学修の到達目標/Goal of study：

演習に参加するすべての学生に要求されることは

- ・ 演習のテキストを精読する。
- ・ テーマについて熟慮する。
- ・ テーマについて活発に議論する。
- ・ 演習論文の完成に最善を尽くす。

Every student is required to

- ・ read the text carefully;
- ・ think about the themes seriously;
- ・ discusses the themes actively;
- ・ do your best to complete the thesis.

3. 授業内容・方法と進捗予定/Contents and progress schedule of the class：

担当教員の専門領域によります。『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

It depends on the supervisor's major. See the handbook (TEBIKI) for seminar.

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

5. 使用言語/Language Used in Course：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

6. 成績評価方法/Evaluation method：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

7. 教科書および参考書/Textbook and references：

8. 関連URL/URL：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

9. 授業時間外学修/Preparation and Review：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

10. その他/In addition：

メディア授業科目 /Course of Media Class:

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

経済学演習（Ⅰ）A/Seminar for Economics (I)A

担当教員/Instructor：泉田 成美/SHIGEMI IZUMIDA

曜日・講時/Day/Period：

対象学年/Eligible Participants：3,

科目ナンバリング/Course Numbering：EEC-EC0330J, 単位数/Credit(s)：2

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class：

演習は、専門的なテーマについて少人数でかつ教員と学生との間の双方向のコミュニケーションを通じて、学生の積極的な知識の探求能力を向上させようとする科目です。

Seminar is the subject that aims to improve students' proactive intellectual exploration skills on specialized topics through small-scale and interactive communication between professors and students.

2. 学修の到達目標/Goal of study：

演習に参加するすべての学生に要求されることは

- ・ 演習のテキストを精読する。
- ・ テーマについて熟慮する。
- ・ テーマについて活発に議論する。

Every student is required to

- ・ read the text carefully;
- ・ think about the themes seriously;
- ・ discusses the themes actively.

3. 授業内容・方法と進捗予定/Contents and progress schedule of the class：

担当教員の専門領域によります。『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

It depends on the supervisor's major. See the handbook (TEBIKI) for seminar.

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

5. 使用言語/Language Used in Course：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

6. 成績評価方法/Evaluation method：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

7. 教科書および参考書/Textbook and references：

8. 関連URL/URL：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

9. 授業時間外学修/Preparation and Review：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

10. その他/In addition：

メディア授業科目 /Course of Media Class:

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

経済学演習 (I) B/Seminar for Economics (I)B

担当教員/Instructor : 泉田 成美/SHIGEMI IZUMIDA

曜日・講時/Day/Period :

対象学年/Eligible Participants : 3,

科目ナンバリング/Course Numbering : EEC-EC0330J, 単位数/Credit(s) : 2

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class :

演習は、専門的なテーマについて少人数でかつ教員と学生との間の双方向のコミュニケーションを通じて、学生の積極的な知識の探求能力を向上させようとする科目です。

Seminar is the subject that aims to improve students' proactive intellectual exploration skills on specialized topics through small-scale and interactive communication between professors and students.

2. 学修の到達目標/Goal of study :

演習に参加するすべての学生に要求されることは

- ・ 演習のテキストを精読する。
- ・ テーマについて熟慮する。
- ・ テーマについて活発に議論する。

Every student is required to

- ・ read the text carefully;
- ・ think about the themes seriously;
- ・ discusses the themes actively.

3. 授業内容・方法と進捗予定/Contents and progress schedule of the class :

担当教員の専門領域によります。『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

It depends on the supervisor's major. See the handbook (TEBIKI) for seminar.

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

5. 使用言語/Language Used in Course :

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

6. 成績評価方法/Evaluation method :

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

7. 教科書および参考書/Textbook and references :

8. 関連URL/URL :

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

9. 授業時間外学修/Preparation and Review :

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

10. その他/In addition :

メディア授業科目 /Course of Media Class:

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

経済学演習（Ⅱ）A/Seminar for Economics (II)A

担当教員/Instructor：泉田 成美/SHIGEMI IZUMIDA

曜日・講時/Day/Period：

対象学年/Eligible Participants：4,

科目ナンバリング/Course Numbering：EEC-EC0430J, 単位数/Credit(s)：2

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class：

演習は、専門的なテーマについて少人数でかつ教員と学生との間の双方向のコミュニケーションを通じて、学生の積極的な知識の探求能力を向上させようとする科目です。

Seminar is the subject that aims to improve students' proactive intellectual exploration skills on specialized topics through small-scale and interactive communication between professors and students.

2. 学修の到達目標/Goal of study：

演習に参加するすべての学生に要求されることは

- ・ 演習のテキストを精読する。
- ・ テーマについて熟慮する。
- ・ テーマについて活発に議論する。

Every student is required to

- ・ read the text carefully;
- ・ think about the themes seriously;
- ・ discusses the themes actively.

3. 授業内容・方法と進捗予定/Contents and progress schedule of the class：

担当教員の専門領域によります。『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

It depends on the supervisor's major. See the handbook (TEBIKI) for seminar.

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

5. 使用言語/Language Used in Course：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

6. 成績評価方法/Evaluation method：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

7. 教科書および参考書/Textbook and references：

8. 関連URL/URL：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

9. 授業時間外学修/Preparation and Review：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

10. その他/In addition：

メディア授業科目 /Course of Media Class:

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

経済学演習（Ⅱ）B/Seminar for Economics (II)B

担当教員/Instructor：泉田 成美/SHIGEMI IZUMIDA

曜日・講時/Day/Period：

対象学年/Eligible Participants：4,

科目ナンバリング/Course Numbering：EEC-EC0430J, 単位数/Credit(s)：2

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class：

演習は、専門的なテーマについて少人数でかつ教員と学生との間の双方向のコミュニケーションを通じて、学生の積極的な知的探求能力を向上させようとする科目です。

Seminar is the subject that aims to improve students' proactive intellectual exploration skills on specialized topics through small-scale and interactive communication between professors and students.

2. 学修の到達目標/Goal of study：

演習に参加するすべての学生に要求されることは

- ・ 演習のテキストを精読する。
- ・ テーマについて熟慮する。
- ・ テーマについて活発に議論する。
- ・ 演習論文の完成に最善を尽くす。

Every student is required to

- ・ read the text carefully;
- ・ think about the themes seriously;
- ・ discusses the themes actively;
- ・ do your best to complete the thesis.

3. 授業内容・方法と進捗予定/Contents and progress schedule of the class：

担当教員の専門領域によります。『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

It depends on the supervisor's major. See the handbook (TEBIKI) for seminar.

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

5. 使用言語/Language Used in Course：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

6. 成績評価方法/Evaluation method：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

7. 教科書および参考書/Textbook and references：

8. 関連URL/URL：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

9. 授業時間外学修/Preparation and Review：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

10. その他/In addition：

メディア授業科目 /Course of Media Class:

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

経済学演習（Ⅱ）A/Seminar for Economics (II)A

担当教員/Instructor：川端 望/NOZOMU KAWABATA

曜日・講時/Day/Period：

対象学年/Eligible Participants：4,

科目ナンバリング/Course Numbering：EEC-EC0430J, 単位数/Credit(s)：2

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class：

演習は、専門的なテーマについて少人数でかつ教員と学生との間の双方向のコミュニケーションを通じて、学生の積極的な知的探求能力を向上させようとする科目です。

Seminar is the subject that aims to improve students' proactive intellectual exploration skills on specialized topics through small-scale and interactive communication between professors and students.

2. 学修の到達目標/Goal of study：

演習に参加するすべての学生に要求されることは

- ・ 演習のテキストを精読する。
- ・ テーマについて熟慮する。
- ・ テーマについて活発に議論する。

Every student is required to

- ・ read the text carefully;
- ・ think about the themes seriously;
- ・ discusses the themes actively.

3. 授業内容・方法と進捗予定/Contents and progress schedule of the class：

担当教員の専門領域によります。『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

It depends on the supervisor's major. See the handbook (TEBIKI) for seminar.

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

5. 使用言語/Language Used in Course：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

6. 成績評価方法/Evaluation method：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

7. 教科書および参考書/Textbook and references：

8. 関連URL/URL：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

9. 授業時間外学修/Preparation and Review：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

10. その他/In addition：

メディア授業科目 /Course of Media Class:

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

経済学演習（Ⅱ）B/Seminar for Economics (II)B

担当教員/Instructor：川端 望/NOZOMU KAWABATA

曜日・講時/Day/Period：

対象学年/Eligible Participants：4,

科目ナンバリング/Course Numbering：EEC-EC0430J, 単位数/Credit(s)：2

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class：

演習は、専門的なテーマについて少人数でかつ教員と学生との間の双方向のコミュニケーションを通じて、学生の積極的な知的探求能力を向上させようとする科目です。

Seminar is the subject that aims to improve students' proactive intellectual exploration skills on specialized topics through small-scale and interactive communication between professors and students.

2. 学修の到達目標/Goal of study：

演習に参加するすべての学生に要求されることは

- ・ 演習のテキストを精読する。
- ・ テーマについて熟慮する。
- ・ テーマについて活発に議論する。
- ・ 演習論文の完成に最善を尽くす。

Every student is required to

- ・ read the text carefully;
- ・ think about the themes seriously;
- ・ discusses the themes actively;
- ・ do your best to complete the thesis.

3. 授業内容・方法と進捗予定/Contents and progress schedule of the class：

担当教員の専門領域によります。『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

It depends on the supervisor's major. See the handbook (TEBIKI) for seminar.

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

5. 使用言語/Language Used in Course：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

6. 成績評価方法/Evaluation method：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

7. 教科書および参考書/Textbook and references：

8. 関連URL/URL：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

9. 授業時間外学修/Preparation and Review：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

10. その他/In addition：

メディア授業科目 /Course of Media Class:

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

経済学演習（Ⅰ）A/Seminar for Economics (I)A

担当教員/Instructor：川端 望/NOZOMU KAWABATA

曜日・講時/Day/Period：

対象学年/Eligible Participants：3,

科目ナンバリング/Course Numbering：EEC-EC0330J, 単位数/Credit(s)：2

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class：

演習は、専門的なテーマについて少人数でかつ教員と学生との間の双方向のコミュニケーションを通じて、学生の積極的な知的探求能力を向上させようとする科目です。

Seminar is the subject that aims to improve students' proactive intellectual exploration skills on specialized topics through small-scale and interactive communication between professors and students.

2. 学修の到達目標/Goal of study：

演習に参加するすべての学生に要求されることは

- ・ 演習のテキストを精読する。
- ・ テーマについて熟慮する。
- ・ テーマについて活発に議論する。

Every student is required to

- ・ read the text carefully;
- ・ think about the themes seriously;
- ・ discusses the themes actively.

3. 授業内容・方法と進捗予定/Contents and progress schedule of the class：

担当教員の専門領域によります。『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

It depends on the supervisor's major. See the handbook (TEBIKI) for seminar.

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

5. 使用言語/Language Used in Course：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

6. 成績評価方法/Evaluation method：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

7. 教科書および参考書/Textbook and references：

8. 関連URL/URL：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

9. 授業時間外学修/Preparation and Review：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

10. その他/In addition：

メディア授業科目 /Course of Media Class:

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

経済学演習（Ⅰ）B/Seminar for Economics (I)B

担当教員/Instructor：川端 望/NOZOMU KAWABATA

曜日・講時/Day/Period：

対象学年/Eligible Participants：3,

科目ナンバリング/Course Numbering：EEC-EC0330J, 単位数/Credit(s)：2

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class：

演習は、専門的なテーマについて少人数でかつ教員と学生との間の双方向のコミュニケーションを通じて、学生の積極的な知的探求能力を向上させようとする科目です。

Seminar is the subject that aims to improve students' proactive intellectual exploration skills on specialized topics through small-scale and interactive communication between professors and students.

2. 学修の到達目標/Goal of study：

演習に参加するすべての学生に要求されることは

- ・ 演習のテキストを精読する。
- ・ テーマについて熟慮する。
- ・ テーマについて活発に議論する。

Every student is required to

- ・ read the text carefully;
- ・ think about the themes seriously;
- ・ discusses the themes actively.

3. 授業内容・方法と進捗予定/Contents and progress schedule of the class：

担当教員の専門領域によります。『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

It depends on the supervisor's major. See the handbook (TEBIKI) for seminar.

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

5. 使用言語/Language Used in Course：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

6. 成績評価方法/Evaluation method：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

7. 教科書および参考書/Textbook and references：

8. 関連URL/URL：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

9. 授業時間外学修/Preparation and Review：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

10. その他/In addition：

メディア授業科目 /Course of Media Class:

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

経済学演習（Ⅰ）A/Seminar for Economics (I)A

担当教員/Instructor：永易 淳/JUN NAGAYASU

曜日・講時/Day/Period：

対象学年/Eligible Participants：3,

科目ナンバリング/Course Numbering：EEC-EC0330J, 単位数/Credit(s)：2

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class：

演習は、専門的なテーマについて少人数でかつ教員と学生との間の双方向のコミュニケーションを通じて、学生の積極的な知的探求能力を向上させようとする科目です。

Seminar is the subject that aims to improve students' proactive intellectual exploration skills on specialized topics through small-scale and interactive communication between professors and students.

2. 学修の到達目標/Goal of study：

演習に参加するすべての学生に要求されることは

- ・ 演習のテキストを精読する。
- ・ テーマについて熟慮する。
- ・ テーマについて活発に議論する。

Every student is required to

- ・ read the text carefully;
- ・ think about the themes seriously;
- ・ discusses the themes actively.

3. 授業内容・方法と進捗予定/Contents and progress schedule of the class：

担当教員の専門領域によります。『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

It depends on the supervisor's major. See the handbook (TEBIKI) for seminar.

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

5. 使用言語/Language Used in Course：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

6. 成績評価方法/Evaluation method：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

7. 教科書および参考書/Textbook and references：

8. 関連URL/URL：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

9. 授業時間外学修/Preparation and Review：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

10. その他/In addition：

メディア授業科目 /Course of Media Class:

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

経済学演習 (I) B/Seminar for Economics (I)B

担当教員/Instructor: 永易 淳/JUN NAGAYASU

曜日・講時/Day/Period:

対象学年/Eligible Participants: 3,

科目ナンバリング/Course Numbering: EEC-EC0330J, 単位数/Credit(s): 2

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class:

演習は、専門的なテーマについて少人数でかつ教員と学生との間の双方向のコミュニケーションを通じて、学生の積極的な知的探求能力を向上させようとする科目です。

Seminar is the subject that aims to improve students' proactive intellectual exploration skills on specialized topics through small-scale and interactive communication between professors and students.

2. 学修の到達目標/Goal of study:

演習に参加するすべての学生に要求されることは

- ・ 演習のテキストを精読する。
- ・ テーマについて熟慮する。
- ・ テーマについて活発に議論する。

Every student is required to

- ・ read the text carefully;
- ・ think about the themes seriously;
- ・ discusses the themes actively.

3. 授業内容・方法と進捗予定/Contents and progress schedule of the class:

担当教員の専門領域によります。『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

It depends on the supervisor's major. See the handbook (TEBIKI) for seminar.

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

5. 使用言語/Language Used in Course:

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

6. 成績評価方法/Evaluation method:

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

7. 教科書および参考書/Textbook and references:

8. 関連URL/URL:

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

9. 授業時間外学修/Preparation and Review:

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

10. その他/In addition:

メディア授業科目 /Course of Media Class:

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

経済学演習（Ⅱ）A/Seminar for Economics (II)A

担当教員/Instructor：永易 淳/JUN NAGAYASU

曜日・講時/Day/Period：

対象学年/Eligible Participants：4,

科目ナンバリング/Course Numbering：EEC-EC0430J, 単位数/Credit(s)：2

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class：

演習は、専門的なテーマについて少人数でかつ教員と学生との間の双方向のコミュニケーションを通じて、学生の積極的な知識の探求能力を向上させようとする科目です。

Seminar is the subject that aims to improve students' proactive intellectual exploration skills on specialized topics through small-scale and interactive communication between professors and students.

2. 学修の到達目標/Goal of study：

演習に参加するすべての学生に要求されることは

- ・ 演習のテキストを精読する。
- ・ テーマについて熟慮する。
- ・ テーマについて活発に議論する。

Every student is required to

- ・ read the text carefully;
- ・ think about the themes seriously;
- ・ discusses the themes actively.

3. 授業内容・方法と進捗予定/Contents and progress schedule of the class：

担当教員の専門領域によります。『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

It depends on the supervisor's major. See the handbook (TEBIKI) for seminar.

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

5. 使用言語/Language Used in Course：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

6. 成績評価方法/Evaluation method：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

7. 教科書および参考書/Textbook and references：

8. 関連URL/URL：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

9. 授業時間外学修/Preparation and Review：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

10. その他/In addition：

メディア授業科目 /Course of Media Class:

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

経済学演習（Ⅱ）B/Seminar for Economics (II)B

担当教員/Instructor：永易 淳/JUN NAGAYASU

曜日・講時/Day/Period：

対象学年/Eligible Participants：4,

科目ナンバリング/Course Numbering：EEC-EC0430J, 単位数/Credit(s)：2

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class：

演習は、専門的なテーマについて少人数でかつ教員と学生との間の双方向のコミュニケーションを通じて、学生の積極的な知的探求能力を向上させようとする科目です。

Seminar is the subject that aims to improve students' proactive intellectual exploration skills on specialized topics through small-scale and interactive communication between professors and students.

2. 学修の到達目標/Goal of study：

演習に参加するすべての学生に要求されることは

- ・ 演習のテキストを精読する。
- ・ テーマについて熟慮する。
- ・ テーマについて活発に議論する。
- ・ 演習論文の完成に最善を尽くす。

Every student is required to

- ・ read the text carefully;
- ・ think about the themes seriously;
- ・ discusses the themes actively;
- ・ do your best to complete the thesis.

3. 授業内容・方法と進捗予定/Contents and progress schedule of the class：

担当教員の専門領域によります。『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

It depends on the supervisor's major. See the handbook (TEBIKI) for seminar.

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

5. 使用言語/Language Used in Course：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

6. 成績評価方法/Evaluation method：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

7. 教科書および参考書/Textbook and references：

8. 関連URL/URL：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

9. 授業時間外学修/Preparation and Review：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

10. その他/In addition：

メディア授業科目 /Course of Media Class:

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

経済学演習（Ⅰ）A/Seminar for Economics (I)A

担当教員/Instructor：鈴木 通雄/MICHIO SUZUKI

曜日・講時/Day/Period：

対象学年/Eligible Participants：3,

科目ナンバリング/Course Numbering：EEC-EC0330J, 単位数/Credit(s)：2

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class：

演習は、専門的なテーマについて少人数でかつ教員と学生との間の双方向のコミュニケーションを通じて、学生の積極的な知的探求能力を向上させようとする科目です。

Seminar is the subject that aims to improve students' proactive intellectual exploration skills on specialized topics through small-scale and interactive communication between professors and students.

2. 学修の到達目標/Goal of study：

演習に参加するすべての学生に要求されることは

- ・ 演習のテキストを精読する。
- ・ テーマについて熟慮する。
- ・ テーマについて活発に議論する。

Every student is required to

- ・ read the text carefully;
- ・ think about the themes seriously;
- ・ discusses the themes actively.

3. 授業内容・方法と進捗予定/Contents and progress schedule of the class：

担当教員の専門領域によります。『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

It depends on the supervisor's major. See the handbook (TEBIKI) for seminar.

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

5. 使用言語/Language Used in Course：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

6. 成績評価方法/Evaluation method：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

7. 教科書および参考書/Textbook and references：

8. 関連URL/URL：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

9. 授業時間外学修/Preparation and Review：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

10. その他/In addition：

メディア授業科目 /Course of Media Class:

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

経済学演習 (I) B/Seminar for Economics (I)B

担当教員/Instructor : 鈴木 通雄/MICHIO SUZUKI

曜日・講時/Day/Period :

対象学年/Eligible Participants : 3,

科目ナンバリング/Course Numbering : EEC-EC0330J, 単位数/Credit(s) : 2

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class :

演習は、専門的なテーマについて少人数でかつ教員と学生との間の双方向のコミュニケーションを通じて、学生の積極的な知識の探求能力を向上させようとする科目です。

Seminar is the subject that aims to improve students' proactive intellectual exploration skills on specialized topics through small-scale and interactive communication between professors and students.

2. 学修の到達目標/Goal of study :

演習に参加するすべての学生に要求されることは

- ・ 演習のテキストを精読する。
- ・ テーマについて熟慮する。
- ・ テーマについて活発に議論する。

Every student is required to

- ・ read the text carefully;
- ・ think about the themes seriously;
- ・ discusses the themes actively.

3. 授業内容・方法と進捗予定/Contents and progress schedule of the class :

担当教員の専門領域によります。『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

It depends on the supervisor's major. See the handbook (TEBIKI) for seminar.

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

5. 使用言語/Language Used in Course :

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

6. 成績評価方法/Evaluation method :

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

7. 教科書および参考書/Textbook and references :

8. 関連URL/URL :

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

9. 授業時間外学修/Preparation and Review :

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

10. その他/In addition :

メディア授業科目 /Course of Media Class:

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

経済学演習（Ⅱ）A/Seminar for Economics (II)A

担当教員/Instructor：鈴木 通雄/MICHIO SUZUKI

曜日・講時/Day/Period：

対象学年/Eligible Participants：4,

科目ナンバリング/Course Numbering：EEC-EC0430J, 単位数/Credit(s)：2

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class：

演習は、専門的なテーマについて少人数でかつ教員と学生との間の双方向のコミュニケーションを通じて、学生の積極的な知的探求能力を向上させようとする科目です。

Seminar is the subject that aims to improve students' proactive intellectual exploration skills on specialized topics through small-scale and interactive communication between professors and students.

2. 学修の到達目標/Goal of study：

演習に参加するすべての学生に要求されることは

- ・ 演習のテキストを精読する。
- ・ テーマについて熟慮する。
- ・ テーマについて活発に議論する。

Every student is required to

- ・ read the text carefully;
- ・ think about the themes seriously;
- ・ discusses the themes actively.

3. 授業内容・方法と進捗予定/Contents and progress schedule of the class：

担当教員の専門領域によります。『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

It depends on the supervisor's major. See the handbook (TEBIKI) for seminar.

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

5. 使用言語/Language Used in Course：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

6. 成績評価方法/Evaluation method：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

7. 教科書および参考書/Textbook and references：

8. 関連URL/URL：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

9. 授業時間外学修/Preparation and Review：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

10. その他/In addition：

メディア授業科目 /Course of Media Class:

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

経済学演習（Ⅱ）B/Seminar for Economics (II)B

担当教員/Instructor：鈴木 通雄/MICHIO SUZUKI

曜日・講時/Day/Period：

対象学年/Eligible Participants：4,

科目ナンバリング/Course Numbering：EEC-EC0430J, 単位数/Credit(s)：2

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class：

演習は、専門的なテーマについて少人数でかつ教員と学生との間の双方向のコミュニケーションを通じて、学生の積極的な知的探求能力を向上させようとする科目です。

Seminar is the subject that aims to improve students' proactive intellectual exploration skills on specialized topics through small-scale and interactive communication between professors and students.

2. 学修の到達目標/Goal of study：

演習に参加するすべての学生に要求されることは

- ・ 演習のテキストを精読する。
- ・ テーマについて熟慮する。
- ・ テーマについて活発に議論する。
- ・ 演習論文の完成に最善を尽くす。

Every student is required to

- ・ read the text carefully;
- ・ think about the themes seriously;
- ・ discusses the themes actively;
- ・ do your best to complete the thesis.

3. 授業内容・方法と進捗予定/Contents and progress schedule of the class：

担当教員の専門領域によります。『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

It depends on the supervisor's major. See the handbook (TEBIKI) for seminar.

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

5. 使用言語/Language Used in Course：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

6. 成績評価方法/Evaluation method：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

7. 教科書および参考書/Textbook and references：

8. 関連URL/URL：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

9. 授業時間外学修/Preparation and Review：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

10. その他/In addition：

メディア授業科目 /Course of Media Class:

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

経済学演習 (I) A/Seminar for Economics (I)A

担当教員/Instructor: 黒瀬 一弘/KAZUHIRO KUROSE

曜日・講時/Day/Period:

対象学年/Eligible Participants: 3,

科目ナンバリング/Course Numbering: EEC-EC0330J, 単位数/Credit(s): 2

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class:

演習は、専門的なテーマについて少人数でかつ教員と学生との間の双方向のコミュニケーションを通じて、学生の積極的な知的探求能力を向上させようとする科目です。

Seminar is the subject that aims to improve students' proactive intellectual exploration skills on specialized topics through small-scale and interactive communication between professors and students.

2. 学修の到達目標/Goal of study:

演習に参加するすべての学生に要求されることは

- ・ 演習のテキストを精読する。
- ・ テーマについて熟慮する。
- ・ テーマについて活発に議論する。

Every student is required to

- ・ read the text carefully;
- ・ think about the themes seriously;
- ・ discusses the themes actively.

3. 授業内容・方法と進捗予定/Contents and progress schedule of the class:

担当教員の専門領域によります。『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

It depends on the supervisor's major. See the handbook (TEBIKI) for seminar.

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

5. 使用言語/Language Used in Course:

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

6. 成績評価方法/Evaluation method:

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

7. 教科書および参考書/Textbook and references:

8. 関連URL/URL:

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

9. 授業時間外学修/Preparation and Review:

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

10. その他/In addition:

メディア授業科目 /Course of Media Class:

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

経済学演習 (I) B/Seminar for Economics (I)B

担当教員/Instructor: 黒瀬 一弘/KAZUHIRO KUROSE

曜日・講時/Day/Period:

対象学年/Eligible Participants: 3,

科目ナンバリング/Course Numbering: EEC-EC0330J, 単位数/Credit(s): 2

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class:

演習は、専門的なテーマについて少人数でかつ教員と学生との間の双方向のコミュニケーションを通じて、学生の積極的な知識の探求能力を向上させようとする科目です。

Seminar is the subject that aims to improve students' proactive intellectual exploration skills on specialized topics through small-scale and interactive communication between professors and students.

2. 学修の到達目標/Goal of study:

演習に参加するすべての学生に要求されることは

- ・ 演習のテキストを精読する。
- ・ テーマについて熟慮する。
- ・ テーマについて活発に議論する。

Every student is required to

- ・ read the text carefully;
- ・ think about the themes seriously;
- ・ discusses the themes actively.

3. 授業内容・方法と進捗予定/Contents and progress schedule of the class:

担当教員の専門領域によります。『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

It depends on the supervisor's major. See the handbook (TEBIKI) for seminar.

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

5. 使用言語/Language Used in Course:

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

6. 成績評価方法/Evaluation method:

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

7. 教科書および参考書/Textbook and references:

8. 関連URL/URL:

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

9. 授業時間外学修/Preparation and Review:

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

10. その他/In addition:

メディア授業科目 /Course of Media Class:

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

経済学演習（Ⅱ）A/Seminar for Economics (II)A

担当教員/Instructor：黒瀬 一弘/KAZUHIRO KUROSE

曜日・講時/Day/Period：

対象学年/Eligible Participants：4,

科目ナンバリング/Course Numbering：EEC-EC0430J, 単位数/Credit(s)：2

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class：

演習は、専門的なテーマについて少人数でかつ教員と学生との間の双方向のコミュニケーションを通じて、学生の積極的な知識の探求能力を向上させようとする科目です。

Seminar is the subject that aims to improve students' proactive intellectual exploration skills on specialized topics through small-scale and interactive communication between professors and students.

2. 学修の到達目標/Goal of study：

演習に参加するすべての学生に要求されることは

- ・ 演習のテキストを精読する。
- ・ テーマについて熟慮する。
- ・ テーマについて活発に議論する。

Every student is required to

- ・ read the text carefully;
- ・ think about the themes seriously;
- ・ discusses the themes actively.

3. 授業内容・方法と進捗予定/Contents and progress schedule of the class：

担当教員の専門領域によります。『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

It depends on the supervisor's major. See the handbook (TEBIKI) for seminar.

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

5. 使用言語/Language Used in Course：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

6. 成績評価方法/Evaluation method：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

7. 教科書および参考書/Textbook and references：

8. 関連URL/URL：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

9. 授業時間外学修/Preparation and Review：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

10. その他/In addition：

メディア授業科目 /Course of Media Class:

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

経済学演習（Ⅱ）B/Seminar for Economics (II)B

担当教員/Instructor：黒瀬 一弘/KAZUHIRO KUROSE

曜日・講時/Day/Period：

対象学年/Eligible Participants：4,

科目ナンバリング/Course Numbering：EEC-EC0430J, 単位数/Credit(s)：2

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class：

演習は、専門的なテーマについて少人数でかつ教員と学生との間の双方向のコミュニケーションを通じて、学生の積極的な知的探求能力を向上させようとする科目です。

Seminar is the subject that aims to improve students' proactive intellectual exploration skills on specialized topics through small-scale and interactive communication between professors and students.

2. 学修の到達目標/Goal of study：

演習に参加するすべての学生に要求されることは

- ・ 演習のテキストを精読する。
- ・ テーマについて熟慮する。
- ・ テーマについて活発に議論する。
- ・ 演習論文の完成に最善を尽くす。

Every student is required to

- ・ read the text carefully;
- ・ think about the themes seriously;
- ・ discusses the themes actively;
- ・ do your best to complete the thesis.

3. 授業内容・方法と進捗予定/Contents and progress schedule of the class：

担当教員の専門領域によります。『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

It depends on the supervisor's major. See the handbook (TEBIKI) for seminar.

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

5. 使用言語/Language Used in Course：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

6. 成績評価方法/Evaluation method：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

7. 教科書および参考書/Textbook and references：

8. 関連URL/URL：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

9. 授業時間外学修/Preparation and Review：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

10. その他/In addition：

メディア授業科目 /Course of Media Class:

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

経済学演習（Ⅰ）A/Seminar for Economics (I)A

担当教員/Instructor：佐々木 伯朗/NORIO SASAKI

曜日・講時/Day/Period：

対象学年/Eligible Participants：3,

科目ナンバリング/Course Numbering：EEC-EC0330J, 単位数/Credit(s)：2

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class：

演習は、専門的なテーマについて少人数でかつ教員と学生との間の双方向のコミュニケーションを通じて、学生の積極的な知的探求能力を向上させようとする科目です。

Seminar is the subject that aims to improve students' proactive intellectual exploration skills on specialized topics through small-scale and interactive communication between professors and students.

2. 学修の到達目標/Goal of study：

演習に参加するすべての学生に要求されることは

- ・ 演習のテキストを精読する。
- ・ テーマについて熟慮する。
- ・ テーマについて活発に議論する。

Every student is required to

- ・ read the text carefully;
- ・ think about the themes seriously;
- ・ discusses the themes actively.

3. 授業内容・方法と進捗予定/Contents and progress schedule of the class：

担当教員の専門領域によります。『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

It depends on the supervisor's major. See the handbook (TEBIKI) for seminar.

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

5. 使用言語/Language Used in Course：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

6. 成績評価方法/Evaluation method：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

7. 教科書および参考書/Textbook and references：

8. 関連URL/URL：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

9. 授業時間外学修/Preparation and Review：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

10. その他/In addition：

メディア授業科目 /Course of Media Class:

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

経済学演習（Ⅰ）B/Seminar for Economics (I)B

担当教員/Instructor：佐々木 伯朗/NORIO SASAKI

曜日・講時/Day/Period：

対象学年/Eligible Participants：3,

科目ナンバリング/Course Numbering：EEC-EC0330J, 単位数/Credit(s)：2

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class：

演習は、専門的なテーマについて少人数でかつ教員と学生との間の双方向のコミュニケーションを通じて、学生の積極的な知識の探求能力を向上させようとする科目です。

Seminar is the subject that aims to improve students' proactive intellectual exploration skills on specialized topics through small-scale and interactive communication between professors and students.

2. 学修の到達目標/Goal of study：

演習に参加するすべての学生に要求されることは

- ・ 演習のテキストを精読する。
- ・ テーマについて熟慮する。
- ・ テーマについて活発に議論する。

Every student is required to

- ・ read the text carefully;
- ・ think about the themes seriously;
- ・ discusses the themes actively.

3. 授業内容・方法と進捗予定/Contents and progress schedule of the class：

担当教員の専門領域によります。『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

It depends on the supervisor's major. See the handbook (TEBIKI) for seminar.

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

5. 使用言語/Language Used in Course：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

6. 成績評価方法/Evaluation method：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

7. 教科書および参考書/Textbook and references：

8. 関連URL/URL：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

9. 授業時間外学修/Preparation and Review：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

10. その他/In addition：

メディア授業科目 /Course of Media Class:

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

経済学演習（Ⅱ）A/Seminar for Economics (II)A

担当教員/Instructor：佐々木 伯朗/NORIO SASAKI

曜日・講時/Day/Period：

対象学年/Eligible Participants：4,

科目ナンバリング/Course Numbering：EEC-EC0430J, 単位数/Credit(s)：2

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class：

演習は、専門的なテーマについて少人数でかつ教員と学生との間の双方向のコミュニケーションを通じて、学生の積極的な知的探求能力を向上させようとする科目です。

Seminar is the subject that aims to improve students' proactive intellectual exploration skills on specialized topics through small-scale and interactive communication between professors and students.

2. 学修の到達目標/Goal of study：

演習に参加するすべての学生に要求されることは

- ・ 演習のテキストを精読する。
- ・ テーマについて熟慮する。
- ・ テーマについて活発に議論する。

Every student is required to

- ・ read the text carefully;
- ・ think about the themes seriously;
- ・ discusses the themes actively.

3. 授業内容・方法と進捗予定/Contents and progress schedule of the class：

担当教員の専門領域によります。『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

It depends on the supervisor's major. See the handbook (TEBIKI) for seminar.

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

5. 使用言語/Language Used in Course：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

6. 成績評価方法/Evaluation method：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

7. 教科書および参考書/Textbook and references：

8. 関連URL/URL：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

9. 授業時間外学修/Preparation and Review：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

10. その他/In addition：

メディア授業科目 /Course of Media Class:

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

経済学演習（Ⅱ）B/Seminar for Economics (II)B

担当教員/Instructor：佐々木 伯朗/NORIO SASAKI

曜日・講時/Day/Period：

対象学年/Eligible Participants：4,

科目ナンバリング/Course Numbering：EEC-EC0430J, 単位数/Credit(s)：2

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class：

演習は、専門的なテーマについて少人数でかつ教員と学生との間の双方向のコミュニケーションを通じて、学生の積極的な知的探求能力を向上させようとする科目です。

Seminar is the subject that aims to improve students' proactive intellectual exploration skills on specialized topics through small-scale and interactive communication between professors and students.

2. 学修の到達目標/Goal of study：

演習に参加するすべての学生に要求されることは

- ・ 演習のテキストを精読する。
- ・ テーマについて熟慮する。
- ・ テーマについて活発に議論する。
- ・ 演習論文の完成に最善を尽くす。

Every student is required to

- ・ read the text carefully;
- ・ think about the themes seriously;
- ・ discusses the themes actively;
- ・ do your best to complete the thesis.

3. 授業内容・方法と進捗予定/Contents and progress schedule of the class：

担当教員の専門領域によります。『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

It depends on the supervisor's major. See the handbook (TEBIKI) for seminar.

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

5. 使用言語/Language Used in Course：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

6. 成績評価方法/Evaluation method：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

7. 教科書および参考書/Textbook and references：

8. 関連URL/URL：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

9. 授業時間外学修/Preparation and Review：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

10. その他/In addition：

メディア授業科目 /Course of Media Class:

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

経済学演習 (I) A/Seminar for Economics (I)A

担当教員/Instructor : 若林 緑/MIDORI WAKABAYASHI

曜日・講時/Day/Period :

対象学年/Eligible Participants : 3,

科目ナンバリング/Course Numbering : EEC-EC0330J, 単位数/Credit(s) : 2

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class :

演習は、専門的なテーマについて少人数でかつ教員と学生との間の双方向のコミュニケーションを通じて、学生の積極的な知的探求能力を向上させようとする科目です。

Seminar is the subject that aims to improve students' proactive intellectual exploration skills on specialized topics through small-scale and interactive communication between professors and students.

2. 学修の到達目標/Goal of study :

演習に参加するすべての学生に要求されることは

- ・ 演習のテキストを精読する。
- ・ テーマについて熟慮する。
- ・ テーマについて活発に議論する。

Every student is required to

- ・ read the text carefully;
- ・ think about the themes seriously;
- ・ discusses the themes actively.

3. 授業内容・方法と進捗予定/Contents and progress schedule of the class :

担当教員の専門領域によります。『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

It depends on the supervisor's major. See the handbook (TEBIKI) for seminar.

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

5. 使用言語/Language Used in Course :

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

6. 成績評価方法/Evaluation method :

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

7. 教科書および参考書/Textbook and references :

8. 関連URL/URL :

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

9. 授業時間外学修/Preparation and Review :

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

10. その他/In addition :

メディア授業科目 /Course of Media Class:

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

経済学演習 (I) B/Seminar for Economics (I)B

担当教員/Instructor : 若林 緑/MIDORI WAKABAYASHI

曜日・講時/Day/Period :

対象学年/Eligible Participants : 3,

科目ナンバリング/Course Numbering : EEC-EC0330J, 単位数/Credit(s) : 2

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class :

演習は、専門的なテーマについて少人数でかつ教員と学生との間の双方向のコミュニケーションを通じて、学生の積極的な知識の探求能力を向上させようとする科目です。

Seminar is the subject that aims to improve students' proactive intellectual exploration skills on specialized topics through small-scale and interactive communication between professors and students.

2. 学修の到達目標/Goal of study :

演習に参加するすべての学生に要求されることは

- ・ 演習のテキストを精読する。
- ・ テーマについて熟慮する。
- ・ テーマについて活発に議論する。

Every student is required to

- ・ read the text carefully;
- ・ think about the themes seriously;
- ・ discusses the themes actively.

3. 授業内容・方法と進捗予定/Contents and progress schedule of the class :

担当教員の専門領域によります。『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

It depends on the supervisor's major. See the handbook (TEBIKI) for seminar.

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

5. 使用言語/Language Used in Course :

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

6. 成績評価方法/Evaluation method :

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

7. 教科書および参考書/Textbook and references :

8. 関連URL/URL :

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

9. 授業時間外学修/Preparation and Review :

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

10. その他/In addition :

メディア授業科目 /Course of Media Class:

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

経済学演習（Ⅱ）A/Seminar for Economics (II)A

担当教員/Instructor：若林 緑/MIDORI WAKABAYASHI

曜日・講時/Day/Period：

対象学年/Eligible Participants：4,

科目ナンバリング/Course Numbering：EEC-EC0430J, 単位数/Credit(s)：2

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class：

演習は、専門的なテーマについて少人数でかつ教員と学生との間の双方向のコミュニケーションを通じて、学生の積極的な知的探求能力を向上させようとする科目です。

Seminar is the subject that aims to improve students' proactive intellectual exploration skills on specialized topics through small-scale and interactive communication between professors and students.

2. 学修の到達目標/Goal of study：

演習に参加するすべての学生に要求されることは

- ・ 演習のテキストを精読する。
- ・ テーマについて熟慮する。
- ・ テーマについて活発に議論する。

Every student is required to

- ・ read the text carefully;
- ・ think about the themes seriously;
- ・ discusses the themes actively.

3. 授業内容・方法と進捗予定/Contents and progress schedule of the class：

担当教員の専門領域によります。『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

It depends on the supervisor's major. See the handbook (TEBIKI) for seminar.

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

5. 使用言語/Language Used in Course：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

6. 成績評価方法/Evaluation method：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

7. 教科書および参考書/Textbook and references：

8. 関連URL/URL：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

9. 授業時間外学修/Preparation and Review：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

10. その他/In addition：

メディア授業科目 /Course of Media Class:

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

経済学演習（Ⅱ）B/Seminar for Economics (II)B

担当教員/Instructor：若林 緑/MIDORI WAKABAYASHI

曜日・講時/Day/Period：

対象学年/Eligible Participants：4,

科目ナンバリング/Course Numbering：EEC-EC0430J, 単位数/Credit(s)：2

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class：

演習は、専門的なテーマについて少人数でかつ教員と学生との間の双方向のコミュニケーションを通じて、学生の積極的な知的探求能力を向上させようとする科目です。

Seminar is the subject that aims to improve students' proactive intellectual exploration skills on specialized topics through small-scale and interactive communication between professors and students.

2. 学修の到達目標/Goal of study：

演習に参加するすべての学生に要求されることは

- ・ 演習のテキストを精読する。
- ・ テーマについて熟慮する。
- ・ テーマについて活発に議論する。
- ・ 演習論文の完成に最善を尽くす。

Every student is required to

- ・ read the text carefully;
- ・ think about the themes seriously;
- ・ discusses the themes actively;
- ・ do your best to complete the thesis.

3. 授業内容・方法と進捗予定/Contents and progress schedule of the class：

担当教員の専門領域によります。『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

It depends on the supervisor's major. See the handbook (TEBIKI) for seminar.

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

5. 使用言語/Language Used in Course：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

6. 成績評価方法/Evaluation method：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

7. 教科書および参考書/Textbook and references：

8. 関連URL/URL：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

9. 授業時間外学修/Preparation and Review：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

10. その他/In addition：

メディア授業科目 /Course of Media Class:

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

経済学演習（Ⅰ）A/Seminar for Economics (I)A

担当教員/Instructor：吉田 浩/HIROSHI YOSHIDA

曜日・講時/Day/Period：

対象学年/Eligible Participants：3,

科目ナンバリング/Course Numbering：EEC-EC0330J, 単位数/Credit(s)：2

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class：

演習は、専門的なテーマについて少人数でかつ教員と学生との間の双方向のコミュニケーションを通じて、学生の積極的な知的探求能力を向上させようとする科目です。

Seminar is the subject that aims to improve students' proactive intellectual exploration skills on specialized topics through small-scale and interactive communication between professors and students.

2. 学修の到達目標/Goal of study：

演習に参加するすべての学生に要求されることは

- ・ 演習のテキストを精読する。
- ・ テーマについて熟慮する。
- ・ テーマについて活発に議論する。

Every student is required to

- ・ read the text carefully;
- ・ think about the themes seriously;
- ・ discusses the themes actively.

3. 授業内容・方法と進捗予定/Contents and progress schedule of the class：

担当教員の専門領域によります。『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

It depends on the supervisor's major. See the handbook (TEBIKI) for seminar.

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

5. 使用言語/Language Used in Course：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

6. 成績評価方法/Evaluation method：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

7. 教科書および参考書/Textbook and references：

8. 関連URL/URL：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

9. 授業時間外学修/Preparation and Review：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

10. その他/In addition：

メディア授業科目 /Course of Media Class:

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

経済学演習 (I) B/Seminar for Economics (I)B

担当教員/Instructor : 吉田 浩/HIROSHI YOSHIDA

曜日・講時/Day/Period :

対象学年/Eligible Participants : 3,

科目ナンバリング/Course Numbering : EEC-EC0330J, 単位数/Credit(s) : 2

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class :

演習は、専門的なテーマについて少人数でかつ教員と学生との間の双方向のコミュニケーションを通じて、学生の積極的な知識の探求能力を向上させようとする科目です。

Seminar is the subject that aims to improve students' proactive intellectual exploration skills on specialized topics through small-scale and interactive communication between professors and students.

2. 学修の到達目標/Goal of study :

演習に参加するすべての学生に要求されることは

- ・ 演習のテキストを精読する。
- ・ テーマについて熟慮する。
- ・ テーマについて活発に議論する。

Every student is required to

- ・ read the text carefully;
- ・ think about the themes seriously;
- ・ discusses the themes actively.

3. 授業内容・方法と進捗予定/Contents and progress schedule of the class :

担当教員の専門領域によります。『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

It depends on the supervisor's major. See the handbook (TEBIKI) for seminar.

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

5. 使用言語/Language Used in Course :

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

6. 成績評価方法/Evaluation method :

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

7. 教科書および参考書/Textbook and references :

8. 関連URL/URL :

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

9. 授業時間外学修/Preparation and Review :

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

10. その他/In addition :

メディア授業科目 /Course of Media Class:

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

経済学演習（Ⅱ）A/Seminar for Economics (II)A

担当教員/Instructor：吉田 浩/HIROSHI YOSHIDA

曜日・講時/Day/Period：

対象学年/Eligible Participants：4,

科目ナンバリング/Course Numbering：EEC-EC0430J, 単位数/Credit(s)：2

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class：

演習は、専門的なテーマについて少人数でかつ教員と学生との間の双方向のコミュニケーションを通じて、学生の積極的な知識の探求能力を向上させようとする科目です。

Seminar is the subject that aims to improve students' proactive intellectual exploration skills on specialized topics through small-scale and interactive communication between professors and students.

2. 学修の到達目標/Goal of study：

演習に参加するすべての学生に要求されることは

- ・ 演習のテキストを精読する。
- ・ テーマについて熟慮する。
- ・ テーマについて活発に議論する。

Every student is required to

- ・ read the text carefully;
- ・ think about the themes seriously;
- ・ discusses the themes actively.

3. 授業内容・方法と進捗予定/Contents and progress schedule of the class：

担当教員の専門領域によります。『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

It depends on the supervisor's major. See the handbook (TEBIKI) for seminar.

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

5. 使用言語/Language Used in Course：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

6. 成績評価方法/Evaluation method：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

7. 教科書および参考書/Textbook and references：

8. 関連URL/URL：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

9. 授業時間外学修/Preparation and Review：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

10. その他/In addition：

メディア授業科目 /Course of Media Class:

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

経済学演習（Ⅱ）B/Seminar for Economics (II)B

担当教員/Instructor：吉田 浩/HIROSHI YOSHIDA

曜日・講時/Day/Period：

対象学年/Eligible Participants：4,

科目ナンバリング/Course Numbering：EEC-EC0430J, 単位数/Credit(s)：2

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class：

演習は、専門的なテーマについて少人数でかつ教員と学生との間の双方向のコミュニケーションを通じて、学生の積極的な知的探求能力を向上させようとする科目です。

Seminar is the subject that aims to improve students' proactive intellectual exploration skills on specialized topics through small-scale and interactive communication between professors and students.

2. 学修の到達目標/Goal of study：

演習に参加するすべての学生に要求されることは

- ・ 演習のテキストを精読する。
- ・ テーマについて熟慮する。
- ・ テーマについて活発に議論する。
- ・ 演習論文の完成に最善を尽くす。

Every student is required to

- ・ read the text carefully;
- ・ think about the themes seriously;
- ・ discusses the themes actively;
- ・ do your best to complete the thesis.

3. 授業内容・方法と進捗予定/Contents and progress schedule of the class：

担当教員の専門領域によります。『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

It depends on the supervisor's major. See the handbook (TEBIKI) for seminar.

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

5. 使用言語/Language Used in Course：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

6. 成績評価方法/Evaluation method：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

7. 教科書および参考書/Textbook and references：

8. 関連URL/URL：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

9. 授業時間外学修/Preparation and Review：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

10. その他/In addition：

メディア授業科目 /Course of Media Class:

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

経済学演習（Ⅰ）A/Seminar for Economics (I)A

担当教員/Instructor：湯田 道生/MICHIO YUDA

曜日・講時/Day/Period：

対象学年/Eligible Participants：3,

科目ナンバリング/Course Numbering：EEC-EC0330J, 単位数/Credit(s)：2

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class：

演習は、専門的なテーマについて少人数でかつ教員と学生との間の双方向のコミュニケーションを通じて、学生の積極的な知的探求能力を向上させようとする科目です。

Seminar is the subject that aims to improve students' proactive intellectual exploration skills on specialized topics through small-scale and interactive communication between professors and students.

2. 学修の到達目標/Goal of study：

演習に参加するすべての学生に要求されることは

- ・ 演習のテキストを精読する。
- ・ テーマについて熟慮する。
- ・ テーマについて活発に議論する。

Every student is required to

- ・ read the text carefully;
- ・ think about the themes seriously;
- ・ discusses the themes actively.

3. 授業内容・方法と進捗予定/Contents and progress schedule of the class：

担当教員の専門領域によります。『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

It depends on the supervisor's major. See the handbook (TEBIKI) for seminar.

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

5. 使用言語/Language Used in Course：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

6. 成績評価方法/Evaluation method：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

7. 教科書および参考書/Textbook and references：

8. 関連URL/URL：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

9. 授業時間外学修/Preparation and Review：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

10. その他/In addition：

メディア授業科目 /Course of Media Class:

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

経済学演習 (I) B/Seminar for Economics (I)B

担当教員/Instructor : 湯田 道生/MICHIO YUDA

曜日・講時/Day/Period :

対象学年/Eligible Participants : 3,

科目ナンバリング/Course Numbering : EEC-EC0330J, 単位数/Credit(s) : 2

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class :

演習は、専門的なテーマについて少人数でかつ教員と学生との間の双方向のコミュニケーションを通じて、学生の積極的な知的探求能力を向上させようとする科目です。

Seminar is the subject that aims to improve students' proactive intellectual exploration skills on specialized topics through small-scale and interactive communication between professors and students.

2. 学修の到達目標/Goal of study :

演習に参加するすべての学生に要求されることは

- ・ 演習のテキストを精読する。
- ・ テーマについて熟慮する。
- ・ テーマについて活発に議論する。

Every student is required to

- ・ read the text carefully;
- ・ think about the themes seriously;
- ・ discusses the themes actively.

3. 授業内容・方法と進捗予定/Contents and progress schedule of the class :

担当教員の専門領域によります。『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

It depends on the supervisor's major. See the handbook (TEBIKI) for seminar.

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

5. 使用言語/Language Used in Course :

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

6. 成績評価方法/Evaluation method :

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

7. 教科書および参考書/Textbook and references :

8. 関連URL/URL :

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

9. 授業時間外学修/Preparation and Review :

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

10. その他/In addition :

メディア授業科目 /Course of Media Class:

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

経済学演習（Ⅱ）A/Seminar for Economics (II)A

担当教員/Instructor：湯田 道生/MICHIO YUDA

曜日・講時/Day/Period：

対象学年/Eligible Participants：4,

科目ナンバリング/Course Numbering：EEC-EC0430J, 単位数/Credit(s)：2

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class：

演習は、専門的なテーマについて少人数でかつ教員と学生との間の双方向のコミュニケーションを通じて、学生の積極的な知的探求能力を向上させようとする科目です。

Seminar is the subject that aims to improve students' proactive intellectual exploration skills on specialized topics through small-scale and interactive communication between professors and students.

2. 学修の到達目標/Goal of study：

演習に参加するすべての学生に要求されることは

- ・ 演習のテキストを精読する。
- ・ テーマについて熟慮する。
- ・ テーマについて活発に議論する。

Every student is required to

- ・ read the text carefully;
- ・ think about the themes seriously;
- ・ discusses the themes actively.

3. 授業内容・方法と進捗予定/Contents and progress schedule of the class：

担当教員の専門領域によります。『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

It depends on the supervisor's major. See the handbook (TEBIKI) for seminar.

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

5. 使用言語/Language Used in Course：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

6. 成績評価方法/Evaluation method：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

7. 教科書および参考書/Textbook and references：

8. 関連URL/URL：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

9. 授業時間外学修/Preparation and Review：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

10. その他/In addition：

メディア授業科目 /Course of Media Class:

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

経済学演習（Ⅱ）B/Seminar for Economics (II)B

担当教員/Instructor：湯田 道生/MICHIO YUDA

曜日・講時/Day/Period：

対象学年/Eligible Participants：4,

科目ナンバリング/Course Numbering：EEC-EC0430J, 単位数/Credit(s)：2

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class：

演習は、専門的なテーマについて少人数でかつ教員と学生との間の双方向のコミュニケーションを通じて、学生の積極的な知的探求能力を向上させようとする科目です。

Seminar is the subject that aims to improve students' proactive intellectual exploration skills on specialized topics through small-scale and interactive communication between professors and students.

2. 学修の到達目標/Goal of study：

演習に参加するすべての学生に要求されることは

- ・ 演習のテキストを精読する。
- ・ テーマについて熟慮する。
- ・ テーマについて活発に議論する。
- ・ 演習論文の完成に最善を尽くす。

Every student is required to

- ・ read the text carefully;
- ・ think about the themes seriously;
- ・ discusses the themes actively;
- ・ do your best to complete the thesis.

3. 授業内容・方法と進捗予定/Contents and progress schedule of the class：

担当教員の専門領域によります。『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

It depends on the supervisor's major. See the handbook (TEBIKI) for seminar.

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

5. 使用言語/Language Used in Course：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

6. 成績評価方法/Evaluation method：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

7. 教科書および参考書/Textbook and references：

8. 関連URL/URL：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

9. 授業時間外学修/Preparation and Review：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

10. その他/In addition：

メディア授業科目 /Course of Media Class:

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

経済学演習（Ⅰ）A/Seminar for Economics (I)A

担当教員/Instructor：増田 聡/SATORU MASUDA

曜日・講時/Day/Period：

対象学年/Eligible Participants：3,

科目ナンバリング/Course Numbering：EEC-EC0330J, 単位数/Credit(s)：2

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class：

演習は、専門的なテーマについて少人数でかつ教員と学生との間の双方向のコミュニケーションを通じて、学生の積極的な知的探求能力を向上させようとする科目です。

Seminar is the subject that aims to improve students' proactive intellectual exploration skills on specialized topics through small-scale and interactive communication between professors and students.

2. 学修の到達目標/Goal of study：

演習に参加するすべての学生に要求されることは

- ・ 演習のテキストを精読する。
- ・ テーマについて熟慮する。
- ・ テーマについて活発に議論する。

Every student is required to

- ・ read the text carefully;
- ・ think about the themes seriously;
- ・ discusses the themes actively.

3. 授業内容・方法と進捗予定/Contents and progress schedule of the class：

担当教員の専門領域によります。『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

It depends on the supervisor's major. See the handbook (TEBIKI) for seminar.

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

5. 使用言語/Language Used in Course：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

6. 成績評価方法/Evaluation method：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

7. 教科書および参考書/Textbook and references：

8. 関連URL/URL：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

9. 授業時間外学修/Preparation and Review：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

10. その他/In addition：

メディア授業科目 /Course of Media Class:

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

経済学演習 (I) B/Seminar for Economics (I)B

担当教員/Instructor: 増田 聡/SATORU MASUDA

曜日・講時/Day/Period:

対象学年/Eligible Participants: 3,

科目ナンバリング/Course Numbering: EEC-EC0330J, 単位数/Credit(s): 2

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class:

演習は、専門的なテーマについて少人数でかつ教員と学生との間の双方向のコミュニケーションを通じて、学生の積極的な知識の探求能力を向上させようとする科目です。

Seminar is the subject that aims to improve students' proactive intellectual exploration skills on specialized topics through small-scale and interactive communication between professors and students.

2. 学修の到達目標/Goal of study:

演習に参加するすべての学生に要求されることは

- ・ 演習のテキストを精読する。
- ・ テーマについて熟慮する。
- ・ テーマについて活発に議論する。

Every student is required to

- ・ read the text carefully;
- ・ think about the themes seriously;
- ・ discusses the themes actively.

3. 授業内容・方法と進捗予定/Contents and progress schedule of the class:

担当教員の専門領域によります。『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

It depends on the supervisor's major. See the handbook (TEBIKI) for seminar.

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

5. 使用言語/Language Used in Course:

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

6. 成績評価方法/Evaluation method:

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

7. 教科書および参考書/Textbook and references:

8. 関連URL/URL:

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

9. 授業時間外学修/Preparation and Review:

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

10. その他/In addition:

メディア授業科目 /Course of Media Class:

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

経済学演習（Ⅱ）A/Seminar for Economics (II)A

担当教員/Instructor：増田 聡/SATORU MASUDA

曜日・講時/Day/Period：

対象学年/Eligible Participants：4,

科目ナンバリング/Course Numbering：EEC-EC0430J, 単位数/Credit(s)：2

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class：

演習は、専門的なテーマについて少人数でかつ教員と学生との間の双方向のコミュニケーションを通じて、学生の積極的な知的探求能力を向上させようとする科目です。

Seminar is the subject that aims to improve students' proactive intellectual exploration skills on specialized topics through small-scale and interactive communication between professors and students.

2. 学修の到達目標/Goal of study：

演習に参加するすべての学生に要求されることは

- ・ 演習のテキストを精読する。
- ・ テーマについて熟慮する。
- ・ テーマについて活発に議論する。

Every student is required to

- ・ read the text carefully;
- ・ think about the themes seriously;
- ・ discusses the themes actively.

3. 授業内容・方法と進捗予定/Contents and progress schedule of the class：

担当教員の専門領域によります。『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

It depends on the supervisor's major. See the handbook (TEBIKI) for seminar.

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

5. 使用言語/Language Used in Course：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

6. 成績評価方法/Evaluation method：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

7. 教科書および参考書/Textbook and references：

8. 関連URL/URL：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

9. 授業時間外学修/Preparation and Review：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

10. その他/In addition：

メディア授業科目 /Course of Media Class:

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

経済学演習（Ⅱ）B/Seminar for Economics (II)B

担当教員/Instructor：増田 聡/SATORU MASUDA

曜日・講時/Day/Period：

対象学年/Eligible Participants：4,

科目ナンバリング/Course Numbering：EEC-EC0430J, 単位数/Credit(s)：2

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class：

演習は、専門的なテーマについて少人数でかつ教員と学生との間の双方向のコミュニケーションを通じて、学生の積極的な知的探求能力を向上させようとする科目です。

Seminar is the subject that aims to improve students' proactive intellectual exploration skills on specialized topics through small-scale and interactive communication between professors and students.

2. 学修の到達目標/Goal of study：

演習に参加するすべての学生に要求されることは

- ・ 演習のテキストを精読する。
- ・ テーマについて熟慮する。
- ・ テーマについて活発に議論する。
- ・ 演習論文の完成に最善を尽くす。

Every student is required to

- ・ read the text carefully;
- ・ think about the themes seriously;
- ・ discusses the themes actively;
- ・ do your best to complete the thesis.

3. 授業内容・方法と進捗予定/Contents and progress schedule of the class：

担当教員の専門領域によります。『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

It depends on the supervisor's major. See the handbook (TEBIKI) for seminar.

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

5. 使用言語/Language Used in Course：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

6. 成績評価方法/Evaluation method：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

7. 教科書および参考書/Textbook and references：

8. 関連URL/URL：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

9. 授業時間外学修/Preparation and Review：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

10. その他/In addition：

メディア授業科目 /Course of Media Class:

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

経済学演習 (I) A/Seminar for Economics (I)A

担当教員/Instructor : 石原 卓弥/TAKUYA ISHIHARA

曜日・講時/Day/Period :

対象学年/Eligible Participants : 3,

科目ナンバリング/Course Numbering : EEC-EC0330J, 単位数/Credit(s) : 2

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class :

演習は、専門的なテーマについて少人数でかつ教員と学生との間の双方向のコミュニケーションを通じて、学生の積極的な知識の探求能力を向上させようとする科目です。

Seminar is the subject that aims to improve students' proactive intellectual exploration skills on specialized topics through small-scale and interactive communication between professors and students.

2. 学修の到達目標/Goal of study :

演習に参加するすべての学生に要求されることは

- ・ 演習のテキストを精読する。
- ・ テーマについて熟慮する。
- ・ テーマについて活発に議論する。

Every student is required to

- ・ read the text carefully;
- ・ think about the themes seriously;
- ・ discusses the themes actively.

3. 授業内容・方法と進捗予定/Contents and progress schedule of the class :

担当教員の専門領域によります。『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

It depends on the supervisor's major. See the handbook (TEBIKI) for seminar.

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

5. 使用言語/Language Used in Course :

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

6. 成績評価方法/Evaluation method :

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

7. 教科書および参考書/Textbook and references :

8. 関連URL/URL :

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

9. 授業時間外学修/Preparation and Review :

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

10. その他/In addition :

メディア授業科目 /Course of Media Class:

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

経済学演習 (I) B/Seminar for Economics (I)B

担当教員/Instructor : 石原 卓弥/TAKUYA ISHIHARA

曜日・講時/Day/Period :

対象学年/Eligible Participants : 3,

科目ナンバリング/Course Numbering : EEC-EC0330J, 単位数/Credit(s) : 2

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class :

演習は、専門的なテーマについて少人数でかつ教員と学生との間の双方向のコミュニケーションを通じて、学生の積極的な知識の探求能力を向上させようとする科目です。

Seminar is the subject that aims to improve students' proactive intellectual exploration skills on specialized topics through small-scale and interactive communication between professors and students.

2. 学修の到達目標/Goal of study :

演習に参加するすべての学生に要求されることは

- ・ 演習のテキストを精読する。
- ・ テーマについて熟慮する。
- ・ テーマについて活発に議論する。

Every student is required to

- ・ read the text carefully;
- ・ think about the themes seriously;
- ・ discusses the themes actively.

3. 授業内容・方法と進捗予定/Contents and progress schedule of the class :

担当教員の専門領域によります。『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

It depends on the supervisor's major. See the handbook (TEBIKI) for seminar.

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

5. 使用言語/Language Used in Course :

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

6. 成績評価方法/Evaluation method :

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

7. 教科書および参考書/Textbook and references :

8. 関連URL/URL :

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

9. 授業時間外学修/Preparation and Review :

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

10. その他/In addition :

メディア授業科目 /Course of Media Class:

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

経済学演習（Ⅱ）A/Seminar for Economics (II)A

担当教員/Instructor：石原 卓弥/TAKUYA ISHIHARA

曜日・講時/Day/Period：

対象学年/Eligible Participants：4,

科目ナンバリング/Course Numbering：EEC-EC0430J, 単位数/Credit(s)：2

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class：

演習は、専門的なテーマについて少人数でかつ教員と学生との間の双方向のコミュニケーションを通じて、学生の積極的な知識の探求能力を向上させようとする科目です。

Seminar is the subject that aims to improve students' proactive intellectual exploration skills on specialized topics through small-scale and interactive communication between professors and students.

2. 学修の到達目標/Goal of study：

演習に参加するすべての学生に要求されることは

- ・ 演習のテキストを精読する。
- ・ テーマについて熟慮する。
- ・ テーマについて活発に議論する。

Every student is required to

- ・ read the text carefully;
- ・ think about the themes seriously;
- ・ discusses the themes actively.

3. 授業内容・方法と進捗予定/Contents and progress schedule of the class：

担当教員の専門領域によります。『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

It depends on the supervisor's major. See the handbook (TEBIKI) for seminar.

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

5. 使用言語/Language Used in Course：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

6. 成績評価方法/Evaluation method：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

7. 教科書および参考書/Textbook and references：

8. 関連URL/URL：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

9. 授業時間外学修/Preparation and Review：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

10. その他/In addition：

メディア授業科目 /Course of Media Class:

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

経済学演習（Ⅱ）B/Seminar for Economics (II)B

担当教員/Instructor：石原 卓弥/TAKUYA ISHIHARA

曜日・講時/Day/Period：

対象学年/Eligible Participants：4,

科目ナンバリング/Course Numbering：EEC-EC0430J, 単位数/Credit(s)：2

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class：

演習は、専門的なテーマについて少人数でかつ教員と学生との間の双方向のコミュニケーションを通じて、学生の積極的な知的探求能力を向上させようとする科目です。

Seminar is the subject that aims to improve students' proactive intellectual exploration skills on specialized topics through small-scale and interactive communication between professors and students.

2. 学修の到達目標/Goal of study：

演習に参加するすべての学生に要求されることは

- ・ 演習のテキストを精読する。
- ・ テーマについて熟慮する。
- ・ テーマについて活発に議論する。
- ・ 演習論文の完成に最善を尽くす。

Every student is required to

- ・ read the text carefully;
- ・ think about the themes seriously;
- ・ discusses the themes actively;
- ・ do your best to complete the thesis.

3. 授業内容・方法と進捗予定/Contents and progress schedule of the class：

担当教員の専門領域によります。『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

It depends on the supervisor's major. See the handbook (TEBIKI) for seminar.

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

5. 使用言語/Language Used in Course：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

6. 成績評価方法/Evaluation method：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

7. 教科書および参考書/Textbook and references：

8. 関連URL/URL：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

9. 授業時間外学修/Preparation and Review：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

10. その他/In addition：

メディア授業科目 /Course of Media Class:

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

経営学演習 (I) A/Seminar for Business Management (I)A

担当教員/Instructor : 高浦 康有/YASUNARI TAKAURA

曜日・講時/Day/Period :

対象学年/Eligible Participants : 3,

科目ナンバリング/Course Numbering : EBA-MAN330J, 単位数/Credit(s) : 2

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class :

演習は、専門的なテーマについて少人数でかつ教員と学生との間の双方向のコミュニケーションを通じて、学生の積極的な知的探求能力を向上させようとする科目です。

Seminar is the subject that aims to improve students' proactive intellectual exploration skills on specialized topics through small-scale and interactive communication between professors and students.

2. 学修の到達目標/Goal of study :

演習に参加するすべての学生に要求されることは

- ・ 演習のテキストを精読する。
- ・ テーマについて熟慮する。
- ・ テーマについて活発に議論する。

Every student is required to

- ・ read the text carefully;
- ・ think about the themes seriously;
- ・ discusses the themes actively.

3. 授業内容・方法と進捗予定/Contents and progress schedule of the class :

担当教員の専門領域によります。『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

It depends on the supervisor's major. See the handbook (TEBIKI) for seminar.

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

5. 使用言語/Language Used in Course :

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

6. 成績評価方法/Evaluation method :

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

7. 教科書および参考書/Textbook and references :

8. 関連URL/URL :

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

9. 授業時間外学修/Preparation and Review :

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

10. その他/In addition :

メディア授業科目 /Course of Media Class:

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

経営学演習 (I) B/Seminar for Business Management (I)B

担当教員/Instructor : 高浦 康有/YASUNARI TAKAURA

曜日・講時/Day/Period :

対象学年/Eligible Participants : 3,

科目ナンバリング/Course Numbering : EBA-MAN330J, 単位数/Credit(s) : 2

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class :

演習は、専門的なテーマについて少人数でかつ教員と学生との間の双方向のコミュニケーションを通じて、学生の積極的な知識の探求能力を向上させようとする科目です。

Seminar is the subject that aims to improve students' proactive intellectual exploration skills on specialized topics through small-scale and interactive communication between professors and students.

2. 学修の到達目標/Goal of study :

演習に参加するすべての学生に要求されることは

- ・ 演習のテキストを精読する。
- ・ テーマについて熟慮する。
- ・ テーマについて活発に議論する。

Every student is required to

- ・ read the text carefully;
- ・ think about the themes seriously;
- ・ discusses the themes actively.

3. 授業内容・方法と進捗予定/Contents and progress schedule of the class :

担当教員の専門領域によります。『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

It depends on the supervisor's major. See the handbook (TEBIKI) for seminar.

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

5. 使用言語/Language Used in Course :

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

6. 成績評価方法/Evaluation method :

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

7. 教科書および参考書/Textbook and references :

8. 関連URL/URL :

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

9. 授業時間外学修/Preparation and Review :

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

10. その他/In addition :

メディア授業科目 /Course of Media Class:

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

経営学演習（Ⅱ）A/Seminar for Business Management（Ⅱ）A

担当教員/Instructor：高浦 康有/YASUNARI TAKAURA

曜日・講時/Day/Period：

対象学年/Eligible Participants：4,

科目ナンバリング/Course Numbering：EBA-MAN430J, 単位数/Credit(s)：2

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class：

演習は、専門的なテーマについて少人数でかつ教員と学生との間の双方向のコミュニケーションを通じて、学生の積極的な知的探求能力を向上させようとする科目です。

Seminar is the subject that aims to improve students' proactive intellectual exploration skills on specialized topics through small-scale and interactive communication between professors and students.

2. 学修の到達目標/Goal of study：

演習に参加するすべての学生に要求されることは

- ・ 演習のテキストを精読する。
- ・ テーマについて熟慮する。
- ・ テーマについて活発に議論する。

Every student is required to

- ・ read the text carefully;
- ・ think about the themes seriously;
- ・ discusses the themes actively.

3. 授業内容・方法と進捗予定/Contents and progress schedule of the class：

担当教員の専門領域によります。『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

It depends on the supervisor's major. See the handbook (TEBIKI) for seminar.

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

5. 使用言語/Language Used in Course：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

6. 成績評価方法/Evaluation method：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

7. 教科書および参考書/Textbook and references：

8. 関連URL/URL：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

9. 授業時間外学修/Preparation and Review：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

10. その他/In addition：

メディア授業科目 /Course of Media Class:

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

経営学演習（Ⅱ）B/Seminar for Business Management (II)B

担当教員/Instructor：高浦 康有/YASUNARI TAKAURA

曜日・講時/Day/Period：

対象学年/Eligible Participants：4,

科目ナンバリング/Course Numbering：EBA-MAN430J, 単位数/Credit(s)：2

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class：

演習は、専門的なテーマについて少人数でかつ教員と学生との間の双方向のコミュニケーションを通じて、学生の積極的な知的探求能力を向上させようとする科目です。

Seminar is the subject that aims to improve students' proactive intellectual exploration skills on specialized topics through small-scale and interactive communication between professors and students.

2. 学修の到達目標/Goal of study：

演習に参加するすべての学生に要求されることは

- ・ 演習のテキストを精読する。
- ・ テーマについて熟慮する。
- ・ テーマについて活発に議論する。
- ・ 演習論文の完成に最善を尽くす。

Every student is required to

- ・ read the text carefully;
- ・ think about the themes seriously;
- ・ discusses the themes actively;
- ・ do your best to complete the thesis.

3. 授業内容・方法と進捗予定/Contents and progress schedule of the class：

担当教員の専門領域によります。『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

It depends on the supervisor's major. See the handbook (TEBIKI) for seminar.

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

5. 使用言語/Language Used in Course：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

6. 成績評価方法/Evaluation method：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

7. 教科書および参考書/Textbook and references：

8. 関連URL/URL：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

9. 授業時間外学修/Preparation and Review：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

10. その他/In addition：

メディア授業科目 /Course of Media Class:

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

経営学演習 (I) A/Seminar for Business Management (I)A

担当教員/Instructor: 藤本 雅彦/MASAHIKO FUJIMOTO

曜日・講時/Day/Period:

対象学年/Eligible Participants: 3,

科目ナンバリング/Course Numbering: EBA-MAN330J, 単位数/Credit(s): 2

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class:

演習は、専門的なテーマについて少人数でかつ教員と学生との間の双方向のコミュニケーションを通じて、学生の積極的な知的探求能力を向上させようとする科目です。

Seminar is the subject that aims to improve students' proactive intellectual exploration skills on specialized topics through small-scale and interactive communication between professors and students.

2. 学修の到達目標/Goal of study:

演習に参加するすべての学生に要求されることは

- ・ 演習のテキストを精読する。
- ・ テーマについて熟慮する。
- ・ テーマについて活発に議論する。

Every student is required to

- ・ read the text carefully;
- ・ think about the themes seriously;
- ・ discusses the themes actively.

3. 授業内容・方法と進捗予定/Contents and progress schedule of the class:

担当教員の専門領域によります。『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

It depends on the supervisor's major. See the handbook (TEBIKI) for seminar.

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

5. 使用言語/Language Used in Course:

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

6. 成績評価方法/Evaluation method:

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

7. 教科書および参考書/Textbook and references:

8. 関連URL/URL:

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

9. 授業時間外学修/Preparation and Review:

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

10. その他/In addition:

メディア授業科目 /Course of Media Class:

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

経営学演習 (I) B/Seminar for Business Management (I)B

担当教員/Instructor: 藤本 雅彦/MASAHIKO FUJIMOTO

曜日・講時/Day/Period:

対象学年/Eligible Participants: 3,

科目ナンバリング/Course Numbering: EBA-MAN330J, 単位数/Credit(s): 2

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class:

演習は、専門的なテーマについて少人数でかつ教員と学生との間の双方向のコミュニケーションを通じて、学生の積極的な知的探求能力を向上させようとする科目です。

Seminar is the subject that aims to improve students' proactive intellectual exploration skills on specialized topics through small-scale and interactive communication between professors and students.

2. 学修の到達目標/Goal of study:

演習に参加するすべての学生に要求されることは

- ・ 演習のテキストを精読する。
- ・ テーマについて熟慮する。
- ・ テーマについて活発に議論する。

Every student is required to

- ・ read the text carefully;
- ・ think about the themes seriously;
- ・ discusses the themes actively.

3. 授業内容・方法と進捗予定/Contents and progress schedule of the class:

担当教員の専門領域によります。『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

It depends on the supervisor's major. See the handbook (TEBIKI) for seminar.

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

5. 使用言語/Language Used in Course:

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

6. 成績評価方法/Evaluation method:

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

7. 教科書および参考書/Textbook and references:

8. 関連URL/URL:

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

9. 授業時間外学修/Preparation and Review:

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

10. その他/In addition:

メディア授業科目 /Course of Media Class:

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

経営学演習（Ⅱ）A/Seminar for Business Management（Ⅱ）A

担当教員/Instructor：藤本 雅彦/MASAHIKO FUJIMOTO

曜日・講時/Day/Period：

対象学年/Eligible Participants：4,

科目ナンバリング/Course Numbering：EBA-MAN430J, 単位数/Credit(s)：2

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class：

演習は、専門的なテーマについて少人数でかつ教員と学生との間の双方向のコミュニケーションを通じて、学生の積極的な知的探求能力を向上させようとする科目です。

Seminar is the subject that aims to improve students' proactive intellectual exploration skills on specialized topics through small-scale and interactive communication between professors and students.

2. 学修の到達目標/Goal of study：

演習に参加するすべての学生に要求されることは

- ・ 演習のテキストを精読する。
- ・ テーマについて熟慮する。
- ・ テーマについて活発に議論する。

Every student is required to

- ・ read the text carefully;
- ・ think about the themes seriously;
- ・ discusses the themes actively.

3. 授業内容・方法と進捗予定/Contents and progress schedule of the class：

担当教員の専門領域によります。『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

It depends on the supervisor's major. See the handbook (TEBIKI) for seminar.

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

5. 使用言語/Language Used in Course：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

6. 成績評価方法/Evaluation method：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

7. 教科書および参考書/Textbook and references：

8. 関連URL/URL：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

9. 授業時間外学修/Preparation and Review：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

10. その他/In addition：

メディア授業科目 /Course of Media Class:

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

経営学演習（Ⅱ）B/Seminar for Business Management (II)B

担当教員/Instructor：藤本 雅彦/MASAHIKO FUJIMOTO

曜日・講時/Day/Period：

対象学年/Eligible Participants：4,

科目ナンバリング/Course Numbering：EBA-MAN430J, 単位数/Credit(s)：2

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class：

演習は、専門的なテーマについて少人数でかつ教員と学生との間の双方向のコミュニケーションを通じて、学生の積極的な知的探求能力を向上させようとする科目です。

Seminar is the subject that aims to improve students' proactive intellectual exploration skills on specialized topics through small-scale and interactive communication between professors and students.

2. 学修の到達目標/Goal of study：

演習に参加するすべての学生に要求されることは

- ・ 演習のテキストを精読する。
- ・ テーマについて熟慮する。
- ・ テーマについて活発に議論する。
- ・ 演習論文の完成に最善を尽くす。

Every student is required to

- ・ read the text carefully;
- ・ think about the themes seriously;
- ・ discusses the themes actively;
- ・ do your best to complete the thesis.

3. 授業内容・方法と進捗予定/Contents and progress schedule of the class：

担当教員の専門領域によります。『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

It depends on the supervisor's major. See the handbook (TEBIKI) for seminar.

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

5. 使用言語/Language Used in Course：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

6. 成績評価方法/Evaluation method：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

7. 教科書および参考書/Textbook and references：

8. 関連URL/URL：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

9. 授業時間外学修/Preparation and Review：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

10. その他/In addition：

メディア授業科目 /Course of Media Class:

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

経営学演習 (I) A/Seminar for Business Management (I)A

担当教員/Instructor : 結城 武延/TAKENOBU YUKI

曜日・講時/Day/Period :

対象学年/Eligible Participants : 3,

科目ナンバリング/Course Numbering : EBA-MAN330J, 単位数/Credit(s) : 2

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class :

演習は、専門的なテーマについて少人数でかつ教員と学生との間の双方向のコミュニケーションを通じて、学生の積極的な知的探求能力を向上させようとする科目です。

Seminar is the subject that aims to improve students' proactive intellectual exploration skills on specialized topics through small-scale and interactive communication between professors and students.

2. 学修の到達目標/Goal of study :

演習に参加するすべての学生に要求されることは

- ・ 演習のテキストを精読する。
- ・ テーマについて熟慮する。
- ・ テーマについて活発に議論する。

Every student is required to

- ・ read the text carefully;
- ・ think about the themes seriously;
- ・ discusses the themes actively.

3. 授業内容・方法と進捗予定/Contents and progress schedule of the class :

担当教員の専門領域によります。『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

It depends on the supervisor's major. See the handbook (TEBIKI) for seminar.

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

5. 使用言語/Language Used in Course :

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

6. 成績評価方法/Evaluation method :

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

7. 教科書および参考書/Textbook and references :

8. 関連URL/URL :

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

9. 授業時間外学修/Preparation and Review :

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

10. その他/In addition :

メディア授業科目 /Course of Media Class:

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

経営学演習 (I) B/Seminar for Business Management (I)B

担当教員/Instructor: 結城 武延/TAKENOBU YUKI

曜日・講時/Day/Period:

対象学年/Eligible Participants: 3,

科目ナンバリング/Course Numbering: EBA-MAN330J, 単位数/Credit(s): 2

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class:

演習は、専門的なテーマについて少人数でかつ教員と学生との間の双方向のコミュニケーションを通じて、学生の積極的な知的探求能力を向上させようとする科目です。

Seminar is the subject that aims to improve students' proactive intellectual exploration skills on specialized topics through small-scale and interactive communication between professors and students.

2. 学修の到達目標/Goal of study:

演習に参加するすべての学生に要求されることは

- ・ 演習のテキストを精読する。
- ・ テーマについて熟慮する。
- ・ テーマについて活発に議論する。

Every student is required to

- ・ read the text carefully;
- ・ think about the themes seriously;
- ・ discusses the themes actively.

3. 授業内容・方法と進捗予定/Contents and progress schedule of the class:

担当教員の専門領域によります。『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

It depends on the supervisor's major. See the handbook (TEBIKI) for seminar.

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

5. 使用言語/Language Used in Course:

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

6. 成績評価方法/Evaluation method:

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

7. 教科書および参考書/Textbook and references:

8. 関連URL/URL:

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

9. 授業時間外学修/Preparation and Review:

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

10. その他/In addition:

メディア授業科目 /Course of Media Class:

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

経営学演習（Ⅱ）A/Seminar for Business Management（Ⅱ）A

担当教員/Instructor：結城 武延/TAKENOBU YUKI

曜日・講時/Day/Period：

対象学年/Eligible Participants：4,

科目ナンバリング/Course Numbering：EBA-MAN430J, 単位数/Credit(s)：2

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class：

演習は、専門的なテーマについて少人数でかつ教員と学生との間の双方向のコミュニケーションを通じて、学生の積極的な知的探求能力を向上させようとする科目です。

Seminar is the subject that aims to improve students' proactive intellectual exploration skills on specialized topics through small-scale and interactive communication between professors and students.

2. 学修の到達目標/Goal of study：

演習に参加するすべての学生に要求されることは

- ・ 演習のテキストを精読する。
- ・ テーマについて熟慮する。
- ・ テーマについて活発に議論する。

Every student is required to

- ・ read the text carefully;
- ・ think about the themes seriously;
- ・ discusses the themes actively.

3. 授業内容・方法と進捗予定/Contents and progress schedule of the class：

担当教員の専門領域によります。『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

It depends on the supervisor's major. See the handbook (TEBIKI) for seminar.

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

5. 使用言語/Language Used in Course：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

6. 成績評価方法/Evaluation method：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

7. 教科書および参考書/Textbook and references：

8. 関連URL/URL：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

9. 授業時間外学修/Preparation and Review：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

10. その他/In addition：

メディア授業科目 /Course of Media Class:

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

経営学演習（Ⅱ）B/Seminar for Business Management (II)B

担当教員/Instructor：結城 武延/TAKENOBU YUKI

曜日・講時/Day/Period：

対象学年/Eligible Participants：4,

科目ナンバリング/Course Numbering：EBA-MAN430J, 単位数/Credit(s)：2

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class：

演習は、専門的なテーマについて少人数でかつ教員と学生との間の双方向のコミュニケーションを通じて、学生の積極的な知的探求能力を向上させようとする科目です。

Seminar is the subject that aims to improve students' proactive intellectual exploration skills on specialized topics through small-scale and interactive communication between professors and students.

2. 学修の到達目標/Goal of study：

演習に参加するすべての学生に要求されることは

- ・ 演習のテキストを精読する。
- ・ テーマについて熟慮する。
- ・ テーマについて活発に議論する。
- ・ 演習論文の完成に最善を尽くす。

Every student is required to

- ・ read the text carefully;
- ・ think about the themes seriously;
- ・ discusses the themes actively;
- ・ do your best to complete the thesis.

3. 授業内容・方法と進捗予定/Contents and progress schedule of the class：

担当教員の専門領域によります。『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

It depends on the supervisor's major. See the handbook (TEBIKI) for seminar.

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

5. 使用言語/Language Used in Course：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

6. 成績評価方法/Evaluation method：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

7. 教科書および参考書/Textbook and references：

8. 関連URL/URL：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

9. 授業時間外学修/Preparation and Review：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

10. その他/In addition：

メディア授業科目 /Course of Media Class:

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

経営学演習 (I) A/Seminar for Business Management (I)A

担当教員/Instructor : 吉永 裕登/YUTO YOSHINAGA

曜日・講時/Day/Period :

対象学年/Eligible Participants : 3,

科目ナンバリング/Course Numbering : EBA-MAN330J, 単位数/Credit(s) : 2

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class :

演習は、専門的なテーマについて少人数でかつ教員と学生との間の双方向のコミュニケーションを通じて、学生の積極的な知的探求能力を向上させようとする科目です。

Seminar is the subject that aims to improve students' proactive intellectual exploration skills on specialized topics through small-scale and interactive communication between professors and students.

2. 学修の到達目標/Goal of study :

演習に参加するすべての学生に要求されることは

- ・ 演習のテキストを精読する。
- ・ テーマについて熟慮する。
- ・ テーマについて活発に議論する。

Every student is required to

- ・ read the text carefully;
- ・ think about the themes seriously;
- ・ discusses the themes actively.

3. 授業内容・方法と進捗予定/Contents and progress schedule of the class :

担当教員の専門領域によります。『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

It depends on the supervisor's major. See the handbook (TEBIKI) for seminar.

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

5. 使用言語/Language Used in Course :

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

6. 成績評価方法/Evaluation method :

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

7. 教科書および参考書/Textbook and references :

8. 関連URL/URL :

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

9. 授業時間外学修/Preparation and Review :

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

10. その他/In addition :

メディア授業科目 /Course of Media Class:

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

経営学演習 (I) B/Seminar for Business Management (I)B

担当教員/Instructor : 吉永 裕登/YUTO YOSHINAGA

曜日・講時/Day/Period :

対象学年/Eligible Participants : 3,

科目ナンバリング/Course Numbering : EBA-MAN330J, 単位数/Credit(s) : 2

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class :

演習は、専門的なテーマについて少人数でかつ教員と学生との間の双方向のコミュニケーションを通じて、学生の積極的な知的探求能力を向上させようとする科目です。

Seminar is the subject that aims to improve students' proactive intellectual exploration skills on specialized topics through small-scale and interactive communication between professors and students.

2. 学修の到達目標/Goal of study :

演習に参加するすべての学生に要求されることは

- ・ 演習のテキストを精読する。
- ・ テーマについて熟慮する。
- ・ テーマについて活発に議論する。

Every student is required to

- ・ read the text carefully;
- ・ think about the themes seriously;
- ・ discusses the themes actively.

3. 授業内容・方法と進捗予定/Contents and progress schedule of the class :

担当教員の専門領域によります。『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

It depends on the supervisor's major. See the handbook (TEBIKI) for seminar.

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

5. 使用言語/Language Used in Course :

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

6. 成績評価方法/Evaluation method :

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

7. 教科書および参考書/Textbook and references :

8. 関連URL/URL :

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

9. 授業時間外学修/Preparation and Review :

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

10. その他/In addition :

メディア授業科目 /Course of Media Class:

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

経営学演習（Ⅱ）A/Seminar for Business Management（Ⅱ）A

担当教員/Instructor：吉永 裕登/YUTO YOSHINAGA

曜日・講時/Day/Period：

対象学年/Eligible Participants：4,

科目ナンバリング/Course Numbering：EBA-MAN430J, 単位数/Credit(s)：2

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class：

演習は、専門的なテーマについて少人数でかつ教員と学生との間の双方向のコミュニケーションを通じて、学生の積極的な知的探求能力を向上させようとする科目です。

Seminar is the subject that aims to improve students' proactive intellectual exploration skills on specialized topics through small-scale and interactive communication between professors and students.

2. 学修の到達目標/Goal of study：

演習に参加するすべての学生に要求されることは

- ・ 演習のテキストを精読する。
- ・ テーマについて熟慮する。
- ・ テーマについて活発に議論する。

Every student is required to

- ・ read the text carefully;
- ・ think about the themes seriously;
- ・ discusses the themes actively.

3. 授業内容・方法と進捗予定/Contents and progress schedule of the class：

担当教員の専門領域によります。『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

It depends on the supervisor's major. See the handbook (TEBIKI) for seminar.

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

5. 使用言語/Language Used in Course：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

6. 成績評価方法/Evaluation method：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

7. 教科書および参考書/Textbook and references：

8. 関連URL/URL：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

9. 授業時間外学修/Preparation and Review：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

10. その他/In addition：

メディア授業科目 /Course of Media Class:

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

経営学演習（Ⅱ）B/Seminar for Business Management (II)B

担当教員/Instructor：吉永 裕登/YUTO YOSHINAGA

曜日・講時/Day/Period：

対象学年/Eligible Participants：4,

科目ナンバリング/Course Numbering：EBA-MAN430J, 単位数/Credit(s)：2

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class：

演習は、専門的なテーマについて少人数でかつ教員と学生との間の双方向のコミュニケーションを通じて、学生の積極的な知的探求能力を向上させようとする科目です。

Seminar is the subject that aims to improve students' proactive intellectual exploration skills on specialized topics through small-scale and interactive communication between professors and students.

2. 学修の到達目標/Goal of study：

演習に参加するすべての学生に要求されることは

- ・ 演習のテキストを精読する。
- ・ テーマについて熟慮する。
- ・ テーマについて活発に議論する。
- ・ 演習論文の完成に最善を尽くす。

Every student is required to

- ・ read the text carefully;
- ・ think about the themes seriously;
- ・ discusses the themes actively;
- ・ do your best to complete the thesis.

3. 授業内容・方法と進捗予定/Contents and progress schedule of the class：

担当教員の専門領域によります。『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

It depends on the supervisor's major. See the handbook (TEBIKI) for seminar.

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

5. 使用言語/Language Used in Course：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

6. 成績評価方法/Evaluation method：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

7. 教科書および参考書/Textbook and references：

8. 関連URL/URL：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

9. 授業時間外学修/Preparation and Review：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

10. その他/In addition：

メディア授業科目 /Course of Media Class:

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

経営学演習 (I) A/Seminar for Business Management (I)A

担当教員/Instructor: 松田 康弘/YASUHIRO MATSUDA

曜日・講時/Day/Period:

対象学年/Eligible Participants: 3,

科目ナンバリング/Course Numbering: EBA-MAN330J, 単位数/Credit(s): 2

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class:

演習は、専門的なテーマについて少人数でかつ教員と学生との間の双方向のコミュニケーションを通じて、学生の積極的な知的探求能力を向上させようとする科目です。

Seminar is the subject that aims to improve students' proactive intellectual exploration skills on specialized topics through small-scale and interactive communication between professors and students.

2. 学修の到達目標/Goal of study:

演習に参加するすべての学生に要求されることは

- ・ 演習のテキストを精読する。
- ・ テーマについて熟慮する。
- ・ テーマについて活発に議論する。

Every student is required to

- ・ read the text carefully;
- ・ think about the themes seriously;
- ・ discusses the themes actively.

3. 授業内容・方法と進捗予定/Contents and progress schedule of the class:

担当教員の専門領域によります。『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

It depends on the supervisor's major. See the handbook (TEBIKI) for seminar.

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

5. 使用言語/Language Used in Course:

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

6. 成績評価方法/Evaluation method:

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

7. 教科書および参考書/Textbook and references:

8. 関連URL/URL:

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

9. 授業時間外学修/Preparation and Review:

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

10. その他/In addition:

メディア授業科目 /Course of Media Class:

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

経営学演習 (I) B/Seminar for Business Management (I)B

担当教員/Instructor: 松田 康弘/YASUHIRO MATSUDA

曜日・講時/Day/Period:

対象学年/Eligible Participants: 3,

科目ナンバリング/Course Numbering: EBA-MAN330J, 単位数/Credit(s): 2

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class:

演習は、専門的なテーマについて少人数でかつ教員と学生との間の双方向のコミュニケーションを通じて、学生の積極的な知的探求能力を向上させようとする科目です。

Seminar is the subject that aims to improve students' proactive intellectual exploration skills on specialized topics through small-scale and interactive communication between professors and students.

2. 学修の到達目標/Goal of study:

演習に参加するすべての学生に要求されることは

- ・ 演習のテキストを精読する。
- ・ テーマについて熟慮する。
- ・ テーマについて活発に議論する。

Every student is required to

- ・ read the text carefully;
- ・ think about the themes seriously;
- ・ discusses the themes actively.

3. 授業内容・方法と進捗予定/Contents and progress schedule of the class:

担当教員の専門領域によります。『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

It depends on the supervisor's major. See the handbook (TEBIKI) for seminar.

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

5. 使用言語/Language Used in Course:

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

6. 成績評価方法/Evaluation method:

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

7. 教科書および参考書/Textbook and references:

8. 関連URL/URL:

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

9. 授業時間外学修/Preparation and Review:

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

10. その他/In addition:

メディア授業科目 /Course of Media Class:

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

経営学演習（Ⅱ）A/Seminar for Business Management (II)A

担当教員/Instructor：松田 康弘/YASUHIRO MATSUDA

曜日・講時/Day/Period：

対象学年/Eligible Participants：4,

科目ナンバリング/Course Numbering：EBA-MAN430J, 単位数/Credit(s)：2

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class：

演習は、専門的なテーマについて少人数でかつ教員と学生との間の双方向のコミュニケーションを通じて、学生の積極的な知的探求能力を向上させようとする科目です。

Seminar is the subject that aims to improve students' proactive intellectual exploration skills on specialized topics through small-scale and interactive communication between professors and students.

2. 学修の到達目標/Goal of study：

演習に参加するすべての学生に要求されることは

- ・ 演習のテキストを精読する。
- ・ テーマについて熟慮する。
- ・ テーマについて活発に議論する。

Every student is required to

- ・ read the text carefully;
- ・ think about the themes seriously;
- ・ discusses the themes actively.

3. 授業内容・方法と進捗予定/Contents and progress schedule of the class：

担当教員の専門領域によります。『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

It depends on the supervisor's major. See the handbook (TEBIKI) for seminar.

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

5. 使用言語/Language Used in Course：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

6. 成績評価方法/Evaluation method：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

7. 教科書および参考書/Textbook and references：

8. 関連URL/URL：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

9. 授業時間外学修/Preparation and Review：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

10. その他/In addition：

メディア授業科目 /Course of Media Class:

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

経営学演習（Ⅱ）B/Seminar for Business Management（Ⅱ）B

担当教員/Instructor：松田 康弘/YASUHIRO MATSUDA

曜日・講時/Day/Period：

対象学年/Eligible Participants：4,

科目ナンバリング/Course Numbering：EBA-MAN430J, 単位数/Credit(s)：2

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class：

演習は、専門的なテーマについて少人数でかつ教員と学生との間の双方向のコミュニケーションを通じて、学生の積極的な知的探求能力を向上させようとする科目です。

Seminar is the subject that aims to improve students' proactive intellectual exploration skills on specialized topics through small-scale and interactive communication between professors and students.

2. 学修の到達目標/Goal of study：

演習に参加するすべての学生に要求されることは

- ・ 演習のテキストを精読する。
- ・ テーマについて熟慮する。
- ・ テーマについて活発に議論する。
- ・ 演習論文の完成に最善を尽くす。

Every student is required to

- ・ read the text carefully;
- ・ think about the themes seriously;
- ・ discusses the themes actively;
- ・ do your best to complete the thesis.

3. 授業内容・方法と進捗予定/Contents and progress schedule of the class：

担当教員の専門領域によります。『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

It depends on the supervisor's major. See the handbook (TEBIKI) for seminar.

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

5. 使用言語/Language Used in Course：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

6. 成績評価方法/Evaluation method：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

7. 教科書および参考書/Textbook and references：

8. 関連URL/URL：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

9. 授業時間外学修/Preparation and Review：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

10. その他/In addition：

メディア授業科目 /Course of Media Class:

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

経営学演習 (I) A/Seminar for Business Management (I)A

担当教員/Instructor : 尾関 規正/NORIMASA OZEKI

曜日・講時/Day/Period :

対象学年/Eligible Participants : 3,

科目ナンバリング/Course Numbering : EBA-MAN330J, 単位数/Credit(s) : 2

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class :

演習は、専門的なテーマについて少人数でかつ教員と学生との間の双方向のコミュニケーションを通じて、学生の積極的な知識の探求能力を向上させようとする科目です。

Seminar is the subject that aims to improve students' proactive intellectual exploration skills on specialized topics through small-scale and interactive communication between professors and students.

2. 学修の到達目標/Goal of study :

演習に参加するすべての学生に要求されることは

- ・ 演習のテキストを精読する。
- ・ テーマについて熟慮する。
- ・ テーマについて活発に議論する。

Every student is required to

- ・ read the text carefully;
- ・ think about the themes seriously;
- ・ discusses the themes actively.

3. 授業内容・方法と進捗予定/Contents and progress schedule of the class :

担当教員の専門領域によります。『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

It depends on the supervisor's major. See the handbook (TEBIKI) for seminar.

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

5. 使用言語/Language Used in Course :

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

6. 成績評価方法/Evaluation method :

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

7. 教科書および参考書/Textbook and references :

8. 関連URL/URL :

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

9. 授業時間外学修/Preparation and Review :

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

10. その他/In addition :

メディア授業科目 /Course of Media Class:

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

経営学演習 (I) B/Seminar for Business Management (I)B

担当教員/Instructor : 尾関 規正/NORIMASA OZEKI

曜日・講時/Day/Period :

対象学年/Eligible Participants : 3,

科目ナンバリング/Course Numbering : EBA-MAN330J, 単位数/Credit(s) : 2

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class :

演習は、専門的なテーマについて少人数でかつ教員と学生との間の双方向のコミュニケーションを通じて、学生の積極的な知的探求能力を向上させようとする科目です。

Seminar is the subject that aims to improve students' proactive intellectual exploration skills on specialized topics through small-scale and interactive communication between professors and students.

2. 学修の到達目標/Goal of study :

演習に参加するすべての学生に要求されることは

- ・ 演習のテキストを精読する。
- ・ テーマについて熟慮する。
- ・ テーマについて活発に議論する。

Every student is required to

- ・ read the text carefully;
- ・ think about the themes seriously;
- ・ discusses the themes actively.

3. 授業内容・方法と進捗予定/Contents and progress schedule of the class :

担当教員の専門領域によります。『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

It depends on the supervisor's major. See the handbook (TEBIKI) for seminar.

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

5. 使用言語/Language Used in Course :

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

6. 成績評価方法/Evaluation method :

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

7. 教科書および参考書/Textbook and references :

8. 関連URL/URL :

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

9. 授業時間外学修/Preparation and Review :

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

10. その他/In addition :

メディア授業科目 /Course of Media Class:

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

経営学演習（Ⅱ）A/Seminar for Business Management (II)A

担当教員/Instructor：尾関 規正/NORIMASA OZEKI

曜日・講時/Day/Period：

対象学年/Eligible Participants：4,

科目ナンバリング/Course Numbering：EBA-MAN430J, 単位数/Credit(s)：2

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class：

演習は、専門的なテーマについて少人数でかつ教員と学生との間の双方向のコミュニケーションを通じて、学生の積極的な知的探求能力を向上させようとする科目です。

Seminar is the subject that aims to improve students' proactive intellectual exploration skills on specialized topics through small-scale and interactive communication between professors and students.

2. 学修の到達目標/Goal of study：

演習に参加するすべての学生に要求されることは

- ・ 演習のテキストを精読する。
- ・ テーマについて熟慮する。
- ・ テーマについて活発に議論する。

Every student is required to

- ・ read the text carefully;
- ・ think about the themes seriously;
- ・ discusses the themes actively.

3. 授業内容・方法と進捗予定/Contents and progress schedule of the class：

担当教員の専門領域によります。『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

It depends on the supervisor's major. See the handbook (TEBIKI) for seminar.

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

5. 使用言語/Language Used in Course：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

6. 成績評価方法/Evaluation method：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

7. 教科書および参考書/Textbook and references：

8. 関連URL/URL：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

9. 授業時間外学修/Preparation and Review：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

10. その他/In addition：

メディア授業科目 /Course of Media Class:

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

経営学演習（Ⅱ）B/Seminar for Business Management (II)B

担当教員/Instructor：尾関 規正/NORIMASA OZEKI

曜日・講時/Day/Period：

対象学年/Eligible Participants：4,

科目ナンバリング/Course Numbering：EBA-MAN430J, 単位数/Credit(s)：2

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class：

演習は、専門的なテーマについて少人数でかつ教員と学生との間の双方向のコミュニケーションを通じて、学生の積極的な知的探求能力を向上させようとする科目です。

Seminar is the subject that aims to improve students' proactive intellectual exploration skills on specialized topics through small-scale and interactive communication between professors and students.

2. 学修の到達目標/Goal of study：

演習に参加するすべての学生に要求されることは

- ・ 演習のテキストを精読する。
- ・ テーマについて熟慮する。
- ・ テーマについて活発に議論する。
- ・ 演習論文の完成に最善を尽くす。

Every student is required to

- ・ read the text carefully;
- ・ think about the themes seriously;
- ・ discusses the themes actively;
- ・ do your best to complete the thesis.

3. 授業内容・方法と進捗予定/Contents and progress schedule of the class：

担当教員の専門領域によります。『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

It depends on the supervisor's major. See the handbook (TEBIKI) for seminar.

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

5. 使用言語/Language Used in Course：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

6. 成績評価方法/Evaluation method：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

7. 教科書および参考書/Textbook and references：

8. 関連URL/URL：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

9. 授業時間外学修/Preparation and Review：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

10. その他/In addition：

メディア授業科目 /Course of Media Class:

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

経営学演習（Ⅱ）A/Seminar for Business Management (II)A

担当教員/Instructor：室井 芳史/YOSHIFUMI MUROI

曜日・講時/Day/Period：

対象学年/Eligible Participants：4,

科目ナンバリング/Course Numbering：EBA-MAN430J, 単位数/Credit(s)：2

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class：

演習は、専門的なテーマについて少人数でかつ教員と学生との間の双方向のコミュニケーションを通じて、学生の積極的な知的探求能力を向上させようとする科目です。

Seminar is the subject that aims to improve students' proactive intellectual exploration skills on specialized topics through small-scale and interactive communication between professors and students.

2. 学修の到達目標/Goal of study：

演習に参加するすべての学生に要求されることは

- ・ 演習のテキストを精読する。
- ・ テーマについて熟慮する。
- ・ テーマについて活発に議論する。

Every student is required to

- ・ read the text carefully;
- ・ think about the themes seriously;
- ・ discusses the themes actively.

3. 授業内容・方法と進捗予定/Contents and progress schedule of the class：

担当教員の専門領域によります。『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

It depends on the supervisor's major. See the handbook (TEBIKI) for seminar.

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

5. 使用言語/Language Used in Course：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

6. 成績評価方法/Evaluation method：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

7. 教科書および参考書/Textbook and references：

8. 関連URL/URL：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

9. 授業時間外学修/Preparation and Review：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

10. その他/In addition：

メディア授業科目 /Course of Media Class:

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

経営学演習（Ⅱ）B/Seminar for Business Management (II)B

担当教員/Instructor：室井 芳史/YOSHIFUMI MUROI

曜日・講時/Day/Period：

対象学年/Eligible Participants：4,

科目ナンバリング/Course Numbering：EBA-MAN430J, 単位数/Credit(s)：2

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class：

演習は、専門的なテーマについて少人数でかつ教員と学生との間の双方向のコミュニケーションを通じて、学生の積極的な知的探求能力を向上させようとする科目です。

Seminar is the subject that aims to improve students' proactive intellectual exploration skills on specialized topics through small-scale and interactive communication between professors and students.

2. 学修の到達目標/Goal of study：

演習に参加するすべての学生に要求されることは

- ・ 演習のテキストを精読する。
- ・ テーマについて熟慮する。
- ・ テーマについて活発に議論する。
- ・ 演習論文の完成に最善を尽くす。

Every student is required to

- ・ read the text carefully;
- ・ think about the themes seriously;
- ・ discusses the themes actively;
- ・ do your best to complete the thesis.

3. 授業内容・方法と進捗予定/Contents and progress schedule of the class：

担当教員の専門領域によります。『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

It depends on the supervisor's major. See the handbook (TEBIKI) for seminar.

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

5. 使用言語/Language Used in Course：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

6. 成績評価方法/Evaluation method：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

7. 教科書および参考書/Textbook and references：

8. 関連URL/URL：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

9. 授業時間外学修/Preparation and Review：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

10. その他/In addition：

メディア授業科目 /Course of Media Class:

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

経営学演習 (I) A/Seminar for Business Management (I)A

担当教員/Instructor: 室井 芳史/YOSHIFUMI MUROI

曜日・講時/Day/Period:

対象学年/Eligible Participants: 3,

科目ナンバリング/Course Numbering: EBA-MAN330J, 単位数/Credit(s): 2

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class:

演習は、専門的なテーマについて少人数でかつ教員と学生との間の双方向のコミュニケーションを通じて、学生の積極的な知的探求能力を向上させようとする科目です。

Seminar is the subject that aims to improve students' proactive intellectual exploration skills on specialized topics through small-scale and interactive communication between professors and students.

2. 学修の到達目標/Goal of study:

演習に参加するすべての学生に要求されることは

- ・ 演習のテキストを精読する。
- ・ テーマについて熟慮する。
- ・ テーマについて活発に議論する。

Every student is required to

- ・ read the text carefully;
- ・ think about the themes seriously;
- ・ discusses the themes actively.

3. 授業内容・方法と進捗予定/Contents and progress schedule of the class:

担当教員の専門領域によります。『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

It depends on the supervisor's major. See the handbook (TEBIKI) for seminar.

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

5. 使用言語/Language Used in Course:

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

6. 成績評価方法/Evaluation method:

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

7. 教科書および参考書/Textbook and references:

8. 関連URL/URL:

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

9. 授業時間外学修/Preparation and Review:

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

10. その他/In addition:

メディア授業科目 /Course of Media Class:

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

経営学演習 (I) B/Seminar for Business Management (I)B

担当教員/Instructor: 室井 芳史/YOSHIFUMI MUROI

曜日・講時/Day/Period:

対象学年/Eligible Participants: 3,

科目ナンバリング/Course Numbering: EBA-MAN330J, 単位数/Credit(s): 2

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class:

演習は、専門的なテーマについて少人数でかつ教員と学生との間の双方向のコミュニケーションを通じて、学生の積極的な知的探求能力を向上させようとする科目です。

Seminar is the subject that aims to improve students' proactive intellectual exploration skills on specialized topics through small-scale and interactive communication between professors and students.

2. 学修の到達目標/Goal of study:

演習に参加するすべての学生に要求されることは

- ・ 演習のテキストを精読する。
- ・ テーマについて熟慮する。
- ・ テーマについて活発に議論する。

Every student is required to

- ・ read the text carefully;
- ・ think about the themes seriously;
- ・ discusses the themes actively.

3. 授業内容・方法と進捗予定/Contents and progress schedule of the class:

担当教員の専門領域によります。『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

It depends on the supervisor's major. See the handbook (TEBIKI) for seminar.

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

5. 使用言語/Language Used in Course:

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

6. 成績評価方法/Evaluation method:

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

7. 教科書および参考書/Textbook and references:

8. 関連URL/URL:

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

9. 授業時間外学修/Preparation and Review:

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

10. その他/In addition:

メディア授業科目 /Course of Media Class:

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

経営学演習 (I) A/Seminar for Business Management (I)A

担当教員/Instructor: KO IAT MENG/KO IAT MENG

曜日・講時/Day/Period:

対象学年/Eligible Participants: 3,

科目ナンバリング/Course Numbering: EBA-MAN330J, 単位数/Credit(s): 2

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class:

演習は、専門的なテーマについて少人数でかつ教員と学生との間の双方向のコミュニケーションを通じて、学生の積極的な知的探求能力を向上させようとする科目です。

Seminar is the subject that aims to improve students' proactive intellectual exploration skills on specialized topics through small-scale and interactive communication between professors and students.

2. 学修の到達目標/Goal of study:

演習に参加するすべての学生に要求されることは

- ・ 演習のテキストを精読する。
- ・ テーマについて熟慮する。
- ・ テーマについて活発に議論する。

Every student is required to

- ・ read the text carefully;
- ・ think about the themes seriously;
- ・ discusses the themes actively.

3. 授業内容・方法と進捗予定/Contents and progress schedule of the class:

担当教員の専門領域によります。『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

It depends on the supervisor's major. See the handbook (TEBIKI) for seminar.

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

5. 使用言語/Language Used in Course:

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

6. 成績評価方法/Evaluation method:

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

7. 教科書および参考書/Textbook and references:

8. 関連URL/URL:

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

9. 授業時間外学修/Preparation and Review:

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

10. その他/In addition:

メディア授業科目 /Course of Media Class:

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

経営学演習 (I) B/Seminar for Business Management (I)B

担当教員/Instructor: KO IAT MENG/KO IAT MENG

曜日・講時/Day/Period:

対象学年/Eligible Participants: 3,

科目ナンバリング/Course Numbering: EBA-MAN330J, 単位数/Credit(s): 2

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class:

演習は、専門的なテーマについて少人数でかつ教員と学生との間の双方向のコミュニケーションを通じて、学生の積極的な知的探求能力を向上させようとする科目です。

Seminar is the subject that aims to improve students' proactive intellectual exploration skills on specialized topics through small-scale and interactive communication between professors and students.

2. 学修の到達目標/Goal of study:

演習に参加するすべての学生に要求されることは

- ・ 演習のテキストを精読する。
- ・ テーマについて熟慮する。
- ・ テーマについて活発に議論する。

Every student is required to

- ・ read the text carefully;
- ・ think about the themes seriously;
- ・ discusses the themes actively.

3. 授業内容・方法と進捗予定/Contents and progress schedule of the class:

担当教員の専門領域によります。『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

It depends on the supervisor's major. See the handbook (TEBIKI) for seminar.

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

5. 使用言語/Language Used in Course:

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

6. 成績評価方法/Evaluation method:

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

7. 教科書および参考書/Textbook and references:

8. 関連URL/URL:

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

9. 授業時間外学修/Preparation and Review:

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

10. その他/In addition:

メディア授業科目 /Course of Media Class:

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

経営学演習（Ⅱ）A/Seminar for Business Management (II)A

担当教員/Instructor: KO IAT MENG/KO IAT MENG

曜日・講時/Day/Period:

対象学年/Eligible Participants: 4,

科目ナンバリング/Course Numbering: EBA-MAN430J, 単位数/Credit(s): 2

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class:

演習は、専門的なテーマについて少人数でかつ教員と学生との間の双方向のコミュニケーションを通じて、学生の積極的な知的探求能力を向上させようとする科目です。

Seminar is the subject that aims to improve students' proactive intellectual exploration skills on specialized topics through small-scale and interactive communication between professors and students.

2. 学修の到達目標/Goal of study:

演習に参加するすべての学生に要求されることは

- ・ 演習のテキストを精読する。
- ・ テーマについて熟慮する。
- ・ テーマについて活発に議論する。

Every student is required to

- ・ read the text carefully;
- ・ think about the themes seriously;
- ・ discusses the themes actively.

3. 授業内容・方法と進捗予定/Contents and progress schedule of the class:

担当教員の専門領域によります。『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

It depends on the supervisor's major. See the handbook (TEBIKI) for seminar.

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

5. 使用言語/Language Used in Course:

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

6. 成績評価方法/Evaluation method:

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

7. 教科書および参考書/Textbook and references:

8. 関連URL/URL:

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

9. 授業時間外学修/Preparation and Review:

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

10. その他/In addition:

メディア授業科目 /Course of Media Class:

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

経営学演習（Ⅱ）B/Seminar for Business Management (II)B

担当教員/Instructor : KO I A T MENG/KO IAT MENG

曜日・講時/Day/Period :

対象学年/Eligible Participants : 4,

科目ナンバリング/Course Numbering : EBA-MAN430J, 単位数/Credit(s) : 2

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class :

演習は、専門的なテーマについて少人数でかつ教員と学生との間の双方向のコミュニケーションを通じて、学生の積極的な知的探求能力を向上させようとする科目です。

Seminar is the subject that aims to improve students' proactive intellectual exploration skills on specialized topics through small-scale and interactive communication between professors and students.

2. 学修の到達目標/Goal of study :

演習に参加するすべての学生に要求されることは

- ・ 演習のテキストを精読する。
- ・ テーマについて熟慮する。
- ・ テーマについて活発に議論する。
- ・ 演習論文の完成に最善を尽くす。

Every student is required to

- ・ read the text carefully;
- ・ think about the themes seriously;
- ・ discusses the themes actively;
- ・ do your best to complete the thesis.

3. 授業内容・方法と進捗予定/Contents and progress schedule of the class :

担当教員の専門領域によります。『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

It depends on the supervisor's major. See the handbook (TEBIKI) for seminar.

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

5. 使用言語/Language Used in Course :

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

6. 成績評価方法/Evaluation method :

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

7. 教科書および参考書/Textbook and references :

8. 関連URL/URL :

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

9. 授業時間外学修/Preparation and Review :

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

10. その他/In addition :

メディア授業科目 /Course of Media Class:

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

経営学演習 (I) A/Seminar for Business Management (I)A

担当教員/Instructor : 石垣 司/TSUKASA ISHIGAKI

曜日・講時/Day/Period :

対象学年/Eligible Participants : 3,

科目ナンバリング/Course Numbering : EBA-MAN330J, 単位数/Credit(s) : 2

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class :

演習は、専門的なテーマについて少人数でかつ教員と学生との間の双方向のコミュニケーションを通じて、学生の積極的な知識の探求能力を向上させようとする科目です。

Seminar is the subject that aims to improve students' proactive intellectual exploration skills on specialized topics through small-scale and interactive communication between professors and students.

2. 学修の到達目標/Goal of study :

演習に参加するすべての学生に要求されることは

- ・ 演習のテキストを精読する。
- ・ テーマについて熟慮する。
- ・ テーマについて活発に議論する。

Every student is required to

- ・ read the text carefully;
- ・ think about the themes seriously;
- ・ discusses the themes actively.

3. 授業内容・方法と進捗予定/Contents and progress schedule of the class :

担当教員の専門領域によります。『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

It depends on the supervisor's major. See the handbook (TEBIKI) for seminar.

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

5. 使用言語/Language Used in Course :

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

6. 成績評価方法/Evaluation method :

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

7. 教科書および参考書/Textbook and references :

8. 関連URL/URL :

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

9. 授業時間外学修/Preparation and Review :

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

10. その他/In addition :

メディア授業科目 /Course of Media Class:

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

経営学演習 (I) B/Seminar for Business Management (I)B

担当教員/Instructor : 石垣 司/TSUKASA ISHIGAKI

曜日・講時/Day/Period :

対象学年/Eligible Participants : 3,

科目ナンバリング/Course Numbering : EBA-MAN330J, 単位数/Credit(s) : 2

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class :

演習は、専門的なテーマについて少人数でかつ教員と学生との間の双方向のコミュニケーションを通じて、学生の積極的な知的探求能力を向上させようとする科目です。

Seminar is the subject that aims to improve students' proactive intellectual exploration skills on specialized topics through small-scale and interactive communication between professors and students.

2. 学修の到達目標/Goal of study :

演習に参加するすべての学生に要求されることは

- ・ 演習のテキストを精読する。
- ・ テーマについて熟慮する。
- ・ テーマについて活発に議論する。

Every student is required to

- ・ read the text carefully;
- ・ think about the themes seriously;
- ・ discusses the themes actively.

3. 授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class :

担当教員の専門領域によります。『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

It depends on the supervisor's major. See the handbook (TEBIKI) for seminar.

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

5. 使用言語/Language Used in Course :

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

6. 成績評価方法/Evaluation method :

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

7. 教科書および参考書/Textbook and references :

8. 関連URL/URL :

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

9. 授業時間外学修/Preparation and Review :

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

10. その他/In addition :

メディア授業科目 /Course of Media Class:

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

経営学演習（Ⅱ）A/Seminar for Business Management (II)A

担当教員/Instructor：石垣 司/TSUKASA ISHIGAKI

曜日・講時/Day/Period：

対象学年/Eligible Participants：4,

科目ナンバリング/Course Numbering：EBA-MAN430J, 単位数/Credit(s)：2

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class：

演習は、専門的なテーマについて少人数でかつ教員と学生との間の双方向のコミュニケーションを通じて、学生の積極的な知的探求能力を向上させようとする科目です。

Seminar is the subject that aims to improve students' proactive intellectual exploration skills on specialized topics through small-scale and interactive communication between professors and students.

2. 学修の到達目標/Goal of study：

演習に参加するすべての学生に要求されることは

- ・ 演習のテキストを精読する。
- ・ テーマについて熟慮する。
- ・ テーマについて活発に議論する。

Every student is required to

- ・ read the text carefully;
- ・ think about the themes seriously;
- ・ discusses the themes actively.

3. 授業内容・方法と進捗予定/Contents and progress schedule of the class：

担当教員の専門領域によります。『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

It depends on the supervisor's major. See the handbook (TEBIKI) for seminar.

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

5. 使用言語/Language Used in Course：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

6. 成績評価方法/Evaluation method：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

7. 教科書および参考書/Textbook and references：

8. 関連URL/URL：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

9. 授業時間外学修/Preparation and Review：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

10. その他/In addition：

メディア授業科目 /Course of Media Class:

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

経営学演習（Ⅱ）B/Seminar for Business Management（Ⅱ）B

担当教員/Instructor：石垣 司/TSUKASA ISHIGAKI

曜日・講時/Day/Period：

対象学年/Eligible Participants：4,

科目ナンバリング/Course Numbering：EBA-MAN430J, 単位数/Credit(s)：2

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class：

演習は、専門的なテーマについて少人数でかつ教員と学生との間の双方向のコミュニケーションを通じて、学生の積極的な知的探求能力を向上させようとする科目です。

Seminar is the subject that aims to improve students' proactive intellectual exploration skills on specialized topics through small-scale and interactive communication between professors and students.

2. 学修の到達目標/Goal of study：

演習に参加するすべての学生に要求されることは

- ・ 演習のテキストを精読する。
- ・ テーマについて熟慮する。
- ・ テーマについて活発に議論する。
- ・ 演習論文の完成に最善を尽くす。

Every student is required to

- ・ read the text carefully;
- ・ think about the themes seriously;
- ・ discusses the themes actively;
- ・ do your best to complete the thesis.

3. 授業内容・方法と進捗予定/Contents and progress schedule of the class：

担当教員の専門領域によります。『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

It depends on the supervisor's major. See the handbook (TEBIKI) for seminar.

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

5. 使用言語/Language Used in Course：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

6. 成績評価方法/Evaluation method：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

7. 教科書および参考書/Textbook and references：

8. 関連URL/URL：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

9. 授業時間外学修/Preparation and Review：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

10. その他/In addition：

メディア授業科目 /Course of Media Class:

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

経営学演習 (I) A/Seminar for Business Management (I)A

担当教員/Instructor: 鈴木 賢一/KENICHI SUZUKI

曜日・講時/Day/Period:

対象学年/Eligible Participants: 3,

科目ナンバリング/Course Numbering: EBA-MAN330J, 単位数/Credit(s): 2

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class:

演習は、専門的なテーマについて少人数でかつ教員と学生との間の双方向のコミュニケーションを通じて、学生の積極的な知的探求能力を向上させようとする科目です。

Seminar is the subject that aims to improve students' proactive intellectual exploration skills on specialized topics through small-scale and interactive communication between professors and students.

2. 学修の到達目標/Goal of study:

演習に参加するすべての学生に要求されることは

- ・ 演習のテキストを精読する。
- ・ テーマについて熟慮する。
- ・ テーマについて活発に議論する。

Every student is required to

- ・ read the text carefully;
- ・ think about the themes seriously;
- ・ discusses the themes actively.

3. 授業内容・方法と進捗予定/Contents and progress schedule of the class:

担当教員の専門領域によります。『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

It depends on the supervisor's major. See the handbook (TEBIKI) for seminar.

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

5. 使用言語/Language Used in Course:

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

6. 成績評価方法/Evaluation method:

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

7. 教科書および参考書/Textbook and references:

8. 関連URL/URL:

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

9. 授業時間外学修/Preparation and Review:

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

10. その他/In addition:

メディア授業科目 /Course of Media Class:

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

経営学演習 (I) B/Seminar for Business Management (I)B

担当教員/Instructor: 鈴木 賢一/KENICHI SUZUKI

曜日・講時/Day/Period:

対象学年/Eligible Participants: 3,

科目ナンバリング/Course Numbering: EBA-MAN330J, 単位数/Credit(s): 2

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class:

演習は、専門的なテーマについて少人数でかつ教員と学生との間の双方向のコミュニケーションを通じて、学生の積極的な知的探求能力を向上させようとする科目です。

Seminar is the subject that aims to improve students' proactive intellectual exploration skills on specialized topics through small-scale and interactive communication between professors and students.

2. 学修の到達目標/Goal of study:

演習に参加するすべての学生に要求されることは

- ・ 演習のテキストを精読する。
- ・ テーマについて熟慮する。
- ・ テーマについて活発に議論する。

Every student is required to

- ・ read the text carefully;
- ・ think about the themes seriously;
- ・ discusses the themes actively.

3. 授業内容・方法と進捗予定/Contents and progress schedule of the class:

担当教員の専門領域によります。『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

It depends on the supervisor's major. See the handbook (TEBIKI) for seminar.

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

5. 使用言語/Language Used in Course:

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

6. 成績評価方法/Evaluation method:

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

7. 教科書および参考書/Textbook and references:

8. 関連URL/URL:

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

9. 授業時間外学修/Preparation and Review:

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

10. その他/In addition:

メディア授業科目 /Course of Media Class:

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

経営学演習（Ⅱ）A/Seminar for Business Management (II)A

担当教員/Instructor：鈴木 賢一/KENICHI SUZUKI

曜日・講時/Day/Period：

対象学年/Eligible Participants：4,

科目ナンバリング/Course Numbering：EBA-MAN430J, 単位数/Credit(s)：2

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class：

演習は、専門的なテーマについて少人数でかつ教員と学生との間の双方向のコミュニケーションを通じて、学生の積極的な知識の探求能力を向上させようとする科目です。

Seminar is the subject that aims to improve students' proactive intellectual exploration skills on specialized topics through small-scale and interactive communication between professors and students.

2. 学修の到達目標/Goal of study：

演習に参加するすべての学生に要求されることは

- ・ 演習のテキストを精読する。
- ・ テーマについて熟慮する。
- ・ テーマについて活発に議論する。

Every student is required to

- ・ read the text carefully;
- ・ think about the themes seriously;
- ・ discusses the themes actively.

3. 授業内容・方法と進捗予定/Contents and progress schedule of the class：

担当教員の専門領域によります。『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

It depends on the supervisor's major. See the handbook (TEBIKI) for seminar.

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

5. 使用言語/Language Used in Course：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

6. 成績評価方法/Evaluation method：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

7. 教科書および参考書/Textbook and references：

8. 関連URL/URL：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

9. 授業時間外学修/Preparation and Review：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

10. その他/In addition：

メディア授業科目 /Course of Media Class:

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

経営学演習（Ⅱ）B/Seminar for Business Management (II)B

担当教員/Instructor：鈴木 賢一/KENICHI SUZUKI

曜日・講時/Day/Period：

対象学年/Eligible Participants：4,

科目ナンバリング/Course Numbering：EBA-MAN430J, 単位数/Credit(s)：2

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class：

演習は、専門的なテーマについて少人数でかつ教員と学生との間の双方向のコミュニケーションを通じて、学生の積極的な知的探求能力を向上させようとする科目です。

Seminar is the subject that aims to improve students' proactive intellectual exploration skills on specialized topics through small-scale and interactive communication between professors and students.

2. 学修の到達目標/Goal of study：

演習に参加するすべての学生に要求されることは

- ・ 演習のテキストを精読する。
- ・ テーマについて熟慮する。
- ・ テーマについて活発に議論する。
- ・ 演習論文の完成に最善を尽くす。

Every student is required to

- ・ read the text carefully;
- ・ think about the themes seriously;
- ・ discusses the themes actively;
- ・ do your best to complete the thesis.

3. 授業内容・方法と進捗予定/Contents and progress schedule of the class：

担当教員の専門領域によります。『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

It depends on the supervisor's major. See the handbook (TEBIKI) for seminar.

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

5. 使用言語/Language Used in Course：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

6. 成績評価方法/Evaluation method：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

7. 教科書および参考書/Textbook and references：

8. 関連URL/URL：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

9. 授業時間外学修/Preparation and Review：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

10. その他/In addition：

メディア授業科目 /Course of Media Class:

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

経営学演習 (I) A/Seminar for Business Management (I)A

担当教員/Instructor: 嘉本 慎介/SHINSUKE KAMOTO

曜日・講時/Day/Period:

対象学年/Eligible Participants: 3,

科目ナンバリング/Course Numbering: EBA-MAN330J, 単位数/Credit(s): 2

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class:

演習は、専門的なテーマについて少人数でかつ教員と学生との間の双方向のコミュニケーションを通じて、学生の積極的な知的探求能力を向上させようとする科目です。

Seminar is the subject that aims to improve students' proactive intellectual exploration skills on specialized topics through small-scale and interactive communication between professors and students.

2. 学修の到達目標/Goal of study:

演習に参加するすべての学生に要求されることは

- ・ 演習のテキストを精読する。
- ・ テーマについて熟慮する。
- ・ テーマについて活発に議論する。

Every student is required to

- ・ read the text carefully;
- ・ think about the themes seriously;
- ・ discusses the themes actively.

3. 授業内容・方法と進捗予定/Contents and progress schedule of the class:

担当教員の専門領域によります。『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

It depends on the supervisor's major. See the handbook (TEBIKI) for seminar.

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

5. 使用言語/Language Used in Course:

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

6. 成績評価方法/Evaluation method:

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

7. 教科書および参考書/Textbook and references:

8. 関連URL/URL:

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

9. 授業時間外学修/Preparation and Review:

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

10. その他/In addition:

メディア授業科目 /Course of Media Class:

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

経営学演習 (I) B/Seminar for Business Management (I)B

担当教員/Instructor: 嘉本 慎介/SHINSUKE KAMOTO

曜日・講時/Day/Period:

対象学年/Eligible Participants: 3,

科目ナンバリング/Course Numbering: EBA-MAN330J, 単位数/Credit(s): 2

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class:

演習は、専門的なテーマについて少人数でかつ教員と学生との間の双方向のコミュニケーションを通じて、学生の積極的な知的探求能力を向上させようとする科目です。

Seminar is the subject that aims to improve students' proactive intellectual exploration skills on specialized topics through small-scale and interactive communication between professors and students.

2. 学修の到達目標/Goal of study:

演習に参加するすべての学生に要求されることは

- ・ 演習のテキストを精読する。
- ・ テーマについて熟慮する。
- ・ テーマについて活発に議論する。

Every student is required to

- ・ read the text carefully;
- ・ think about the themes seriously;
- ・ discusses the themes actively.

3. 授業内容・方法と進捗予定/Contents and progress schedule of the class:

担当教員の専門領域によります。『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

It depends on the supervisor's major. See the handbook (TEBIKI) for seminar.

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

5. 使用言語/Language Used in Course:

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

6. 成績評価方法/Evaluation method:

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

7. 教科書および参考書/Textbook and references:

8. 関連URL/URL:

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

9. 授業時間外学修/Preparation and Review:

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

10. その他/In addition:

メディア授業科目 /Course of Media Class:

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

経営学演習（Ⅱ）A/Seminar for Business Management (II)A

担当教員/Instructor：嘉本 慎介/SHINSUKE KAMOTO

曜日・講時/Day/Period：

対象学年/Eligible Participants：4,

科目ナンバリング/Course Numbering：EBA-MAN430J, 単位数/Credit(s)：2

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class：

演習は、専門的なテーマについて少人数でかつ教員と学生との間の双方向のコミュニケーションを通じて、学生の積極的な知的探求能力を向上させようとする科目です。

Seminar is the subject that aims to improve students' proactive intellectual exploration skills on specialized topics through small-scale and interactive communication between professors and students.

2. 学修の到達目標/Goal of study：

演習に参加するすべての学生に要求されることは

- ・ 演習のテキストを精読する。
- ・ テーマについて熟慮する。
- ・ テーマについて活発に議論する。

Every student is required to

- ・ read the text carefully;
- ・ think about the themes seriously;
- ・ discusses the themes actively.

3. 授業内容・方法と進捗予定/Contents and progress schedule of the class：

担当教員の専門領域によります。『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

It depends on the supervisor's major. See the handbook (TEBIKI) for seminar.

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

5. 使用言語/Language Used in Course：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

6. 成績評価方法/Evaluation method：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

7. 教科書および参考書/Textbook and references：

8. 関連URL/URL：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

9. 授業時間外学修/Preparation and Review：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

10. その他/In addition：

メディア授業科目 /Course of Media Class:

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

経営学演習（Ⅱ）B/Seminar for Business Management (II)B

担当教員/Instructor：嘉本 慎介/SHINSUKE KAMOTO

曜日・講時/Day/Period：

対象学年/Eligible Participants：4,

科目ナンバリング/Course Numbering：EBA-MAN430J, 単位数/Credit(s)：2

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class：

演習は、専門的なテーマについて少人数でかつ教員と学生との間の双方向のコミュニケーションを通じて、学生の積極的な知的探求能力を向上させようとする科目です。

Seminar is the subject that aims to improve students' proactive intellectual exploration skills on specialized topics through small-scale and interactive communication between professors and students.

2. 学修の到達目標/Goal of study：

演習に参加するすべての学生に要求されることは

- ・ 演習のテキストを精読する。
- ・ テーマについて熟慮する。
- ・ テーマについて活発に議論する。
- ・ 演習論文の完成に最善を尽くす。

Every student is required to

- ・ read the text carefully;
- ・ think about the themes seriously;
- ・ discusses the themes actively;
- ・ do your best to complete the thesis.

3. 授業内容・方法と進捗予定/Contents and progress schedule of the class：

担当教員の専門領域によります。『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

It depends on the supervisor's major. See the handbook (TEBIKI) for seminar.

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

5. 使用言語/Language Used in Course：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

6. 成績評価方法/Evaluation method：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

7. 教科書および参考書/Textbook and references：

8. 関連URL/URL：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

9. 授業時間外学修/Preparation and Review：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

10. その他/In addition：

メディア授業科目 /Course of Media Class:

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

経営学演習 (I) A/Seminar for Business Management (I)A

担当教員/Instructor : 一小路 武安/TAKEYASU ICHIKOHI

曜日・講時/Day/Period :

対象学年/Eligible Participants : 3,

科目ナンバリング/Course Numbering : EBA-MAN330J, 単位数/Credit(s) : 2

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class :

演習は、専門的なテーマについて少人数でかつ教員と学生との間の双方向のコミュニケーションを通じて、学生の積極的な知識の探求能力を向上させようとする科目です。

Seminar is the subject that aims to improve students' proactive intellectual exploration skills on specialized topics through small-scale and interactive communication between professors and students.

2. 学修の到達目標/Goal of study :

演習に参加するすべての学生に要求されることは

- ・ 演習のテキストを精読する。
- ・ テーマについて熟慮する。
- ・ テーマについて活発に議論する。

Every student is required to

- ・ read the text carefully;
- ・ think about the themes seriously;
- ・ discusses the themes actively.

3. 授業内容・方法と進捗予定/Contents and progress schedule of the class :

担当教員の専門領域によります。『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

It depends on the supervisor's major. See the handbook (TEBIKI) for seminar.

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

5. 使用言語/Language Used in Course :

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

6. 成績評価方法/Evaluation method :

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

7. 教科書および参考書/Textbook and references :

8. 関連URL/URL :

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

9. 授業時間外学修/Preparation and Review :

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

10. その他/In addition :

メディア授業科目 /Course of Media Class:

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

経営学演習 (I) B/Seminar for Business Management (I)B

担当教員/Instructor : 一小路 武安/TAKEYASU ICHIKOHJI

曜日・講時/Day/Period :

対象学年/Eligible Participants : 3,

科目ナンバリング/Course Numbering : EBA-MAN330J, 単位数/Credit(s) : 2

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class :

演習は、専門的なテーマについて少人数でかつ教員と学生との間の双方向のコミュニケーションを通じて、学生の積極的な知的探求能力を向上させようとする科目です。

Seminar is the subject that aims to improve students' proactive intellectual exploration skills on specialized topics through small-scale and interactive communication between professors and students.

2. 学修の到達目標/Goal of study :

演習に参加するすべての学生に要求されることは

- ・ 演習のテキストを精読する。
- ・ テーマについて熟慮する。
- ・ テーマについて活発に議論する。

Every student is required to

- ・ read the text carefully;
- ・ think about the themes seriously;
- ・ discusses the themes actively.

3. 授業内容・方法と進捗予定/Contents and progress schedule of the class :

担当教員の専門領域によります。『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

It depends on the supervisor's major. See the handbook (TEBIKI) for seminar.

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

5. 使用言語/Language Used in Course :

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

6. 成績評価方法/Evaluation method :

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

7. 教科書および参考書/Textbook and references :

8. 関連URL/URL :

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

9. 授業時間外学修/Preparation and Review :

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

10. その他/In addition :

メディア授業科目 /Course of Media Class:

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

経営学演習（Ⅱ）A/Seminar for Business Management（Ⅱ）A

担当教員/Instructor：一小路 武安/TAKEYASU ICHIKOHJI

曜日・講時/Day/Period：

対象学年/Eligible Participants：4,

科目ナンバリング/Course Numbering：EBA-MAN430J, 単位数/Credit(s)：2

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class：

演習は、専門的なテーマについて少人数でかつ教員と学生との間の双方向のコミュニケーションを通じて、学生の積極的な知的探求能力を向上させようとする科目です。

Seminar is the subject that aims to improve students' proactive intellectual exploration skills on specialized topics through small-scale and interactive communication between professors and students.

2. 学修の到達目標/Goal of study：

演習に参加するすべての学生に要求されることは

- ・ 演習のテキストを精読する。
- ・ テーマについて熟慮する。
- ・ テーマについて活発に議論する。

Every student is required to

- ・ read the text carefully;
- ・ think about the themes seriously;
- ・ discusses the themes actively.

3. 授業内容・方法と進捗予定/Contents and progress schedule of the class：

担当教員の専門領域によります。『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

It depends on the supervisor's major. See the handbook (TEBIKI) for seminar.

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

5. 使用言語/Language Used in Course：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

6. 成績評価方法/Evaluation method：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

7. 教科書および参考書/Textbook and references：

8. 関連URL/URL：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

9. 授業時間外学修/Preparation and Review：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

10. その他/In addition：

メディア授業科目 /Course of Media Class:

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

経営学演習（Ⅱ）B/Seminar for Business Management (II)B

担当教員/Instructor：一小路 武安/TAKEYASU ICHIKOHJI

曜日・講時/Day/Period：

対象学年/Eligible Participants：4,

科目ナンバリング/Course Numbering：EBA-MAN430J, 単位数/Credit(s)：2

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class：

演習は、専門的なテーマについて少人数でかつ教員と学生との間の双方向のコミュニケーションを通じて、学生の積極的な知的探求能力を向上させようとする科目です。

Seminar is the subject that aims to improve students' proactive intellectual exploration skills on specialized topics through small-scale and interactive communication between professors and students.

2. 学修の到達目標/Goal of study：

演習に参加するすべての学生に要求されることは

- ・ 演習のテキストを精読する。
- ・ テーマについて熟慮する。
- ・ テーマについて活発に議論する。
- ・ 演習論文の完成に最善を尽くす。

Every student is required to

- ・ read the text carefully;
- ・ think about the themes seriously;
- ・ discusses the themes actively;
- ・ do your best to complete the thesis.

3. 授業内容・方法と進捗予定/Contents and progress schedule of the class：

担当教員の専門領域によります。『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

It depends on the supervisor's major. See the handbook (TEBIKI) for seminar.

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

5. 使用言語/Language Used in Course：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

6. 成績評価方法/Evaluation method：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

7. 教科書および参考書/Textbook and references：

8. 関連URL/URL：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

9. 授業時間外学修/Preparation and Review：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

10. その他/In addition：

メディア授業科目 /Course of Media Class:

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

経営学演習 (I) A/Seminar for Business Management (I)A

担当教員/Instructor: 福嶋 路/MICHI FUKUSHIMA

曜日・講時/Day/Period:

対象学年/Eligible Participants: 3,

科目ナンバリング/Course Numbering: EBA-MAN330J, 単位数/Credit(s): 2

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class:

演習は、専門的なテーマについて少人数でかつ教員と学生との間の双方向のコミュニケーションを通じて、学生の積極的な知的探求能力を向上させようとする科目です。

Seminar is the subject that aims to improve students' proactive intellectual exploration skills on specialized topics through small-scale and interactive communication between professors and students.

2. 学修の到達目標/Goal of study:

演習に参加するすべての学生に要求されることは

- ・ 演習のテキストを精読する。
- ・ テーマについて熟慮する。
- ・ テーマについて活発に議論する。

Every student is required to

- ・ read the text carefully;
- ・ think about the themes seriously;
- ・ discusses the themes actively.

3. 授業内容・方法と進捗予定/Contents and progress schedule of the class:

担当教員の専門領域によります。『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

It depends on the supervisor's major. See the handbook (TEBIKI) for seminar.

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

5. 使用言語/Language Used in Course:

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

6. 成績評価方法/Evaluation method:

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

7. 教科書および参考書/Textbook and references:

8. 関連URL/URL:

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

9. 授業時間外学修/Preparation and Review:

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

10. その他/In addition:

メディア授業科目 /Course of Media Class:

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

経営学演習 (I) B/Seminar for Business Management (I)B

担当教員/Instructor: 福嶋 路/MICHI FUKUSHIMA

曜日・講時/Day/Period:

対象学年/Eligible Participants: 3,

科目ナンバリング/Course Numbering: EBA-MAN330J, 単位数/Credit(s): 2

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class:

演習は、専門的なテーマについて少人数でかつ教員と学生との間の双方向のコミュニケーションを通じて、学生の積極的な知的探求能力を向上させようとする科目です。

Seminar is the subject that aims to improve students' proactive intellectual exploration skills on specialized topics through small-scale and interactive communication between professors and students.

2. 学修の到達目標/Goal of study:

演習に参加するすべての学生に要求されることは

- ・ 演習のテキストを精読する。
- ・ テーマについて熟慮する。
- ・ テーマについて活発に議論する。

Every student is required to

- ・ read the text carefully;
- ・ think about the themes seriously;
- ・ discusses the themes actively.

3. 授業内容・方法と進捗予定/Contents and progress schedule of the class:

担当教員の専門領域によります。『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

It depends on the supervisor's major. See the handbook (TEBIKI) for seminar.

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

5. 使用言語/Language Used in Course:

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

6. 成績評価方法/Evaluation method:

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

7. 教科書および参考書/Textbook and references:

8. 関連URL/URL:

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

9. 授業時間外学修/Preparation and Review:

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

10. その他/In addition:

メディア授業科目 /Course of Media Class:

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

経営学演習（Ⅱ）A/Seminar for Business Management（Ⅱ）A

担当教員/Instructor：福嶋 路/MICHI FUKUSHIMA

曜日・講時/Day/Period：

対象学年/Eligible Participants：4,

科目ナンバリング/Course Numbering：EBA-MAN430J, 単位数/Credit(s)：2

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class：

演習は、専門的なテーマについて少人数でかつ教員と学生との間の双方向のコミュニケーションを通じて、学生の積極的な知識の探求能力を向上させようとする科目です。

Seminar is the subject that aims to improve students' proactive intellectual exploration skills on specialized topics through small-scale and interactive communication between professors and students.

2. 学修の到達目標/Goal of study：

演習に参加するすべての学生に要求されることは

- ・ 演習のテキストを精読する。
- ・ テーマについて熟慮する。
- ・ テーマについて活発に議論する。

Every student is required to

- ・ read the text carefully;
- ・ think about the themes seriously;
- ・ discusses the themes actively.

3. 授業内容・方法と進捗予定/Contents and progress schedule of the class：

担当教員の専門領域によります。『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

It depends on the supervisor's major. See the handbook (TEBIKI) for seminar.

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

5. 使用言語/Language Used in Course：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

6. 成績評価方法/Evaluation method：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

7. 教科書および参考書/Textbook and references：

8. 関連URL/URL：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

9. 授業時間外学修/Preparation and Review：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

10. その他/In addition：

メディア授業科目 /Course of Media Class:

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

経営学演習（Ⅱ）B/Seminar for Business Management（Ⅱ）B

担当教員/Instructor：福嶋 路/MICHI FUKUSHIMA

曜日・講時/Day/Period：

対象学年/Eligible Participants：4,

科目ナンバリング/Course Numbering：EBA-MAN430J, 単位数/Credit(s)：2

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class：

演習は、専門的なテーマについて少人数でかつ教員と学生との間の双方向のコミュニケーションを通じて、学生の積極的な知的探求能力を向上させようとする科目です。

Seminar is the subject that aims to improve students' proactive intellectual exploration skills on specialized topics through small-scale and interactive communication between professors and students.

2. 学修の到達目標/Goal of study：

演習に参加するすべての学生に要求されることは

- ・ 演習のテキストを精読する。
- ・ テーマについて熟慮する。
- ・ テーマについて活発に議論する。
- ・ 演習論文の完成に最善を尽くす。

Every student is required to

- ・ read the text carefully;
- ・ think about the themes seriously;
- ・ discusses the themes actively;
- ・ do your best to complete the thesis.

3. 授業内容・方法と進捗予定/Contents and progress schedule of the class：

担当教員の専門領域によります。『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

It depends on the supervisor's major. See the handbook (TEBIKI) for seminar.

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

5. 使用言語/Language Used in Course：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

6. 成績評価方法/Evaluation method：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

7. 教科書および参考書/Textbook and references：

8. 関連URL/URL：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

9. 授業時間外学修/Preparation and Review：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

10. その他/In addition：

メディア授業科目 /Course of Media Class:

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

経営学演習 (I) A/Seminar for Business Management (I)A

担当教員/Instructor : 山崎 喜代宏/KIYOHRO YAMAZAKI

曜日・講時/Day/Period :

対象学年/Eligible Participants : 3,

科目ナンバリング/Course Numbering : EBA-MAN330J, 単位数/Credit(s) : 2

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class :

演習は、専門的なテーマについて少人数でかつ教員と学生との間の双方向のコミュニケーションを通じて、学生の積極的な知識の探求能力を向上させようとする科目です。

Seminar is the subject that aims to improve students' proactive intellectual exploration skills on specialized topics through small-scale and interactive communication between professors and students.

2. 学修の到達目標/Goal of study :

演習に参加するすべての学生に要求されることは

- ・ 演習のテキストを精読する。
- ・ テーマについて熟慮する。
- ・ テーマについて活発に議論する。

Every student is required to

- ・ read the text carefully;
- ・ think about the themes seriously;
- ・ discusses the themes actively.

3. 授業内容・方法と進捗予定/Contents and progress schedule of the class :

担当教員の専門領域によります。『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

It depends on the supervisor's major. See the handbook (TEBIKI) for seminar.

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

5. 使用言語/Language Used in Course :

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

6. 成績評価方法/Evaluation method :

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

7. 教科書および参考書/Textbook and references :

8. 関連URL/URL :

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

9. 授業時間外学修/Preparation and Review :

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

10. その他/In addition :

メディア授業科目 /Course of Media Class:

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

経営学演習 (I) B/Seminar for Business Management (I)B

担当教員/Instructor : 山崎 喜代宏/KIYOHRO YAMAZAKI

曜日・講時/Day/Period :

対象学年/Eligible Participants : 3,

科目ナンバリング/Course Numbering : EBA-MAN330J, 単位数/Credit(s) : 2

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class :

演習は、専門的なテーマについて少人数でかつ教員と学生との間の双方向のコミュニケーションを通じて、学生の積極的な知的探求能力を向上させようとする科目です。

Seminar is the subject that aims to improve students' proactive intellectual exploration skills on specialized topics through small-scale and interactive communication between professors and students.

2. 学修の到達目標/Goal of study :

演習に参加するすべての学生に要求されることは

- ・ 演習のテキストを精読する。
- ・ テーマについて熟慮する。
- ・ テーマについて活発に議論する。

Every student is required to

- ・ read the text carefully;
- ・ think about the themes seriously;
- ・ discusses the themes actively.

3. 授業内容・方法と進捗予定/Contents and progress schedule of the class :

担当教員の専門領域によります。『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

It depends on the supervisor's major. See the handbook (TEBIKI) for seminar.

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

5. 使用言語/Language Used in Course :

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

6. 成績評価方法/Evaluation method :

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

7. 教科書および参考書/Textbook and references :

8. 関連URL/URL :

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

9. 授業時間外学修/Preparation and Review :

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

10. その他/In addition :

メディア授業科目 /Course of Media Class:

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

経営学演習（Ⅱ）A/Seminar for Business Management (II)A

担当教員/Instructor：山崎 喜代宏/KIYOHRO YAMAZAKI

曜日・講時/Day/Period：

対象学年/Eligible Participants：4,

科目ナンバリング/Course Numbering：EBA-MAN430J, 単位数/Credit(s)：2

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class：

演習は、専門的なテーマについて少人数でかつ教員と学生との間の双方向のコミュニケーションを通じて、学生の積極的な知的探求能力を向上させようとする科目です。

Seminar is the subject that aims to improve students' proactive intellectual exploration skills on specialized topics through small-scale and interactive communication between professors and students.

2. 学修の到達目標/Goal of study：

演習に参加するすべての学生に要求されることは

- ・ 演習のテキストを精読する。
- ・ テーマについて熟慮する。
- ・ テーマについて活発に議論する。

Every student is required to

- ・ read the text carefully;
- ・ think about the themes seriously;
- ・ discusses the themes actively.

3. 授業内容・方法と進捗予定/Contents and progress schedule of the class：

担当教員の専門領域によります。『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

It depends on the supervisor's major. See the handbook (TEBIKI) for seminar.

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

5. 使用言語/Language Used in Course：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

6. 成績評価方法/Evaluation method：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

7. 教科書および参考書/Textbook and references：

8. 関連URL/URL：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

9. 授業時間外学修/Preparation and Review：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

10. その他/In addition：

メディア授業科目 /Course of Media Class:

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

経営学演習（Ⅱ）B/Seminar for Business Management (II)B

担当教員/Instructor：山崎 喜代宏/KIYOHRO YAMAZAKI

曜日・講時/Day/Period：

対象学年/Eligible Participants：4,

科目ナンバリング/Course Numbering：EBA-MAN430J, 単位数/Credit(s)：2

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class：

演習は、専門的なテーマについて少人数でかつ教員と学生との間の双方向のコミュニケーションを通じて、学生の積極的な知的探求能力を向上させようとする科目です。

Seminar is the subject that aims to improve students' proactive intellectual exploration skills on specialized topics through small-scale and interactive communication between professors and students.

2. 学修の到達目標/Goal of study：

演習に参加するすべての学生に要求されることは

- ・ 演習のテキストを精読する。
- ・ テーマについて熟慮する。
- ・ テーマについて活発に議論する。
- ・ 演習論文の完成に最善を尽くす。

Every student is required to

- ・ read the text carefully;
- ・ think about the themes seriously;
- ・ discusses the themes actively;
- ・ do your best to complete the thesis.

3. 授業内容・方法と進捗予定/Contents and progress schedule of the class：

担当教員の専門領域によります。『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

It depends on the supervisor's major. See the handbook (TEBIKI) for seminar.

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

5. 使用言語/Language Used in Course：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

6. 成績評価方法/Evaluation method：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

7. 教科書および参考書/Textbook and references：

8. 関連URL/URL：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

9. 授業時間外学修/Preparation and Review：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

10. その他/In addition：

メディア授業科目 /Course of Media Class:

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

経営学演習 (I) A/Seminar for Business Management (I)A

担当教員/Instructor: 菅原 歩/AYUMU SUGAWARA

曜日・講時/Day/Period:

対象学年/Eligible Participants: 3,

科目ナンバリング/Course Numbering: EBA-MAN330J, 単位数/Credit(s): 2

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class:

演習は、専門的なテーマについて少人数でかつ教員と学生との間の双方向のコミュニケーションを通じて、学生の積極的な知識の探求能力を向上させようとする科目です。

Seminar is the subject that aims to improve students' proactive intellectual exploration skills on specialized topics through small-scale and interactive communication between professors and students.

2. 学修の到達目標/Goal of study:

演習に参加するすべての学生に要求されることは

- ・ 演習のテキストを精読する。
- ・ テーマについて熟慮する。
- ・ テーマについて活発に議論する。

Every student is required to

- ・ read the text carefully;
- ・ think about the themes seriously;
- ・ discusses the themes actively.

3. 授業内容・方法と進捗予定/Contents and progress schedule of the class:

担当教員の専門領域によります。『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

It depends on the supervisor's major. See the handbook (TEBIKI) for seminar.

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

5. 使用言語/Language Used in Course:

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

6. 成績評価方法/Evaluation method:

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

7. 教科書および参考書/Textbook and references:

8. 関連URL/URL:

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

9. 授業時間外学修/Preparation and Review:

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

10. その他/In addition:

メディア授業科目 /Course of Media Class:

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

経営学演習 (I) B/Seminar for Business Management (I)B

担当教員/Instructor: 菅原 歩/AYUMU SUGAWARA

曜日・講時/Day/Period:

対象学年/Eligible Participants: 3,

科目ナンバリング/Course Numbering: EBA-MAN330J, 単位数/Credit(s): 2

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class:

演習は、専門的なテーマについて少人数でかつ教員と学生との間の双方向のコミュニケーションを通じて、学生の積極的な知的探求能力を向上させようとする科目です。

Seminar is the subject that aims to improve students' proactive intellectual exploration skills on specialized topics through small-scale and interactive communication between professors and students.

2. 学修の到達目標/Goal of study:

演習に参加するすべての学生に要求されることは

- ・ 演習のテキストを精読する。
- ・ テーマについて熟慮する。
- ・ テーマについて活発に議論する。

Every student is required to

- ・ read the text carefully;
- ・ think about the themes seriously;
- ・ discusses the themes actively.

3. 授業内容・方法と進捗予定/Contents and progress schedule of the class:

担当教員の専門領域によります。『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

It depends on the supervisor's major. See the handbook (TEBIKI) for seminar.

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

5. 使用言語/Language Used in Course:

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

6. 成績評価方法/Evaluation method:

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

7. 教科書および参考書/Textbook and references:

8. 関連URL/URL:

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

9. 授業時間外学修/Preparation and Review:

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

10. その他/In addition:

メディア授業科目 /Course of Media Class:

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

経営学演習（Ⅱ）A/Seminar for Business Management (II)A

担当教員/Instructor：菅原 歩/AYUMU SUGAWARA

曜日・講時/Day/Period：

対象学年/Eligible Participants：4,

科目ナンバリング/Course Numbering：EBA-MAN430J, 単位数/Credit(s)：2

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class：

演習は、専門的なテーマについて少人数でかつ教員と学生との間の双方向のコミュニケーションを通じて、学生の積極的な知的探求能力を向上させようとする科目です。

Seminar is the subject that aims to improve students' proactive intellectual exploration skills on specialized topics through small-scale and interactive communication between professors and students.

2. 学修の到達目標/Goal of study：

演習に参加するすべての学生に要求されることは

- ・ 演習のテキストを精読する。
- ・ テーマについて熟慮する。
- ・ テーマについて活発に議論する。

Every student is required to

- ・ read the text carefully;
- ・ think about the themes seriously;
- ・ discusses the themes actively.

3. 授業内容・方法と進捗予定/Contents and progress schedule of the class：

担当教員の専門領域によります。『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

It depends on the supervisor's major. See the handbook (TEBIKI) for seminar.

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

5. 使用言語/Language Used in Course：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

6. 成績評価方法/Evaluation method：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

7. 教科書および参考書/Textbook and references：

8. 関連URL/URL：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

9. 授業時間外学修/Preparation and Review：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

10. その他/In addition：

メディア授業科目 /Course of Media Class:

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

経営学演習（Ⅱ）B/Seminar for Business Management（Ⅱ）B

担当教員/Instructor：菅原 歩/AYUMU SUGAWARA

曜日・講時/Day/Period：

対象学年/Eligible Participants：4,

科目ナンバリング/Course Numbering：EBA-MAN430J, 単位数/Credit(s)：2

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class：

演習は、専門的なテーマについて少人数でかつ教員と学生との間の双方向のコミュニケーションを通じて、学生の積極的な知的探求能力を向上させようとする科目です。

Seminar is the subject that aims to improve students' proactive intellectual exploration skills on specialized topics through small-scale and interactive communication between professors and students.

2. 学修の到達目標/Goal of study：

演習に参加するすべての学生に要求されることは

- ・ 演習のテキストを精読する。
- ・ テーマについて熟慮する。
- ・ テーマについて活発に議論する。
- ・ 演習論文の完成に最善を尽くす。

Every student is required to

- ・ read the text carefully;
- ・ think about the themes seriously;
- ・ discusses the themes actively;
- ・ do your best to complete the thesis.

3. 授業内容・方法と進捗予定/Contents and progress schedule of the class：

担当教員の専門領域によります。『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

It depends on the supervisor's major. See the handbook (TEBIKI) for seminar.

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

5. 使用言語/Language Used in Course：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

6. 成績評価方法/Evaluation method：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

7. 教科書および参考書/Textbook and references：

8. 関連URL/URL：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

9. 授業時間外学修/Preparation and Review：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

10. その他/In addition：

メディア授業科目 /Course of Media Class:

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

経営学演習 (I) A/Seminar for Business Management (I)A

担当教員/Instructor : 金 熙珍/HEEJIN KIM

曜日・講時/Day/Period :

対象学年/Eligible Participants : 3,

科目ナンバリング/Course Numbering : EBA-MAN330J, 単位数/Credit(s) : 2

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class :

演習は、専門的なテーマについて少人数でかつ教員と学生との間の双方向のコミュニケーションを通じて、学生の積極的な知識の探求能力を向上させようとする科目です。

Seminar is the subject that aims to improve students' proactive intellectual exploration skills on specialized topics through small-scale and interactive communication between professors and students.

2. 学修の到達目標/Goal of study :

演習に参加するすべての学生に要求されることは

- ・ 演習のテキストを精読する。
- ・ テーマについて熟慮する。
- ・ テーマについて活発に議論する。

Every student is required to

- ・ read the text carefully;
- ・ think about the themes seriously;
- ・ discusses the themes actively.

3. 授業内容・方法と進捗予定/Contents and progress schedule of the class :

担当教員の専門領域によります。『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

It depends on the supervisor's major. See the handbook (TEBIKI) for seminar.

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

5. 使用言語/Language Used in Course :

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

6. 成績評価方法/Evaluation method :

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

7. 教科書および参考書/Textbook and references :

8. 関連URL/URL :

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

9. 授業時間外学修/Preparation and Review :

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

10. その他/In addition :

メディア授業科目 /Course of Media Class:

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

経営学演習 (I) B/Seminar for Business Management (I)B

担当教員/Instructor : 金 熙珍/HEEJIN KIM

曜日・講時/Day/Period :

対象学年/Eligible Participants : 3,

科目ナンバリング/Course Numbering : EBA-MAN330J, 単位数/Credit(s) : 2

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class :

演習は、専門的なテーマについて少人数でかつ教員と学生との間の双方向のコミュニケーションを通じて、学生の積極的な知識の探求能力を向上させようとする科目です。

Seminar is the subject that aims to improve students' proactive intellectual exploration skills on specialized topics through small-scale and interactive communication between professors and students.

2. 学修の到達目標/Goal of study :

演習に参加するすべての学生に要求されることは

- ・ 演習のテキストを精読する。
- ・ テーマについて熟慮する。
- ・ テーマについて活発に議論する。

Every student is required to

- ・ read the text carefully;
- ・ think about the themes seriously;
- ・ discusses the themes actively.

3. 授業内容・方法と進捗予定/Contents and progress schedule of the class :

担当教員の専門領域によります。『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

It depends on the supervisor's major. See the handbook (TEBIKI) for seminar.

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

5. 使用言語/Language Used in Course :

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

6. 成績評価方法/Evaluation method :

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

7. 教科書および参考書/Textbook and references :

8. 関連URL/URL :

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

9. 授業時間外学修/Preparation and Review :

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

10. その他/In addition :

メディア授業科目 /Course of Media Class:

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

経営学演習（Ⅱ）A/Seminar for Business Management (II)A

担当教員/Instructor：金 熙珍/HEEJIN KIM

曜日・講時/Day/Period：

対象学年/Eligible Participants：4,

科目ナンバリング/Course Numbering：EBA-MAN430J, 単位数/Credit(s)：2

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class：

演習は、専門的なテーマについて少人数でかつ教員と学生との間の双方向のコミュニケーションを通じて、学生の積極的な知識の探求能力を向上させようとする科目です。

Seminar is the subject that aims to improve students' proactive intellectual exploration skills on specialized topics through small-scale and interactive communication between professors and students.

2. 学修の到達目標/Goal of study：

演習に参加するすべての学生に要求されることは

- ・ 演習のテキストを精読する。
- ・ テーマについて熟慮する。
- ・ テーマについて活発に議論する。

Every student is required to

- ・ read the text carefully;
- ・ think about the themes seriously;
- ・ discusses the themes actively.

3. 授業内容・方法と進捗予定/Contents and progress schedule of the class：

担当教員の専門領域によります。『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

It depends on the supervisor's major. See the handbook (TEBIKI) for seminar.

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

5. 使用言語/Language Used in Course：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

6. 成績評価方法/Evaluation method：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

7. 教科書および参考書/Textbook and references：

8. 関連URL/URL：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

9. 授業時間外学修/Preparation and Review：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

10. その他/In addition：

メディア授業科目 /Course of Media Class:

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

経営学演習（Ⅱ）B/Seminar for Business Management（Ⅱ）B

担当教員/Instructor：金 熙珍/HEEJIN KIM

曜日・講時/Day/Period：

対象学年/Eligible Participants：4,

科目ナンバリング/Course Numbering：EBA-MAN430J, 単位数/Credit(s)：2

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class：

演習は、専門的なテーマについて少人数でかつ教員と学生との間の双方向のコミュニケーションを通じて、学生の積極的な知的探求能力を向上させようとする科目です。

Seminar is the subject that aims to improve students' proactive intellectual exploration skills on specialized topics through small-scale and interactive communication between professors and students.

2. 学修の到達目標/Goal of study：

演習に参加するすべての学生に要求されることは

- ・ 演習のテキストを精読する。
- ・ テーマについて熟慮する。
- ・ テーマについて活発に議論する。
- ・ 演習論文の完成に最善を尽くす。

Every student is required to

- ・ read the text carefully;
- ・ think about the themes seriously;
- ・ discusses the themes actively;
- ・ do your best to complete the thesis.

3. 授業内容・方法と進捗予定/Contents and progress schedule of the class：

担当教員の専門領域によります。『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

It depends on the supervisor's major. See the handbook (TEBIKI) for seminar.

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

5. 使用言語/Language Used in Course：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

6. 成績評価方法/Evaluation method：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

7. 教科書および参考書/Textbook and references：

8. 関連URL/URL：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

9. 授業時間外学修/Preparation and Review：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

10. その他/In addition：

メディア授業科目 /Course of Media Class:

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

経営学演習 (I) A/Seminar for Business Management (I)A

担当教員/Instructor : 西出 優子/YUKO NISHIDE

曜日・講時/Day/Period :

対象学年/Eligible Participants : 3,

科目ナンバリング/Course Numbering : EBA-MAN330J, 単位数/Credit(s) : 2

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class :

演習は、専門的なテーマについて少人数でかつ教員と学生との間の双方向のコミュニケーションを通じて、学生の積極的な知的探求能力を向上させようとする科目です。

Seminar is the subject that aims to improve students' proactive intellectual exploration skills on specialized topics through small-scale and interactive communication between professors and students.

2. 学修の到達目標/Goal of study :

演習に参加するすべての学生に要求されることは

- ・ 演習のテキストを精読する。
- ・ テーマについて熟慮する。
- ・ テーマについて活発に議論する。

Every student is required to

- ・ read the text carefully;
- ・ think about the themes seriously;
- ・ discusses the themes actively.

3. 授業内容・方法と進捗予定/Contents and progress schedule of the class :

担当教員の専門領域によります。『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

It depends on the supervisor's major. See the handbook (TEBIKI) for seminar.

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

5. 使用言語/Language Used in Course :

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

6. 成績評価方法/Evaluation method :

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

7. 教科書および参考書/Textbook and references :

8. 関連URL/URL :

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

9. 授業時間外学修/Preparation and Review :

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

10. その他/In addition :

メディア授業科目 /Course of Media Class:

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

経営学演習 (I) B/Seminar for Business Management (I)B

担当教員/Instructor : 西出 優子/YUKO NISHIDE

曜日・講時/Day/Period :

対象学年/Eligible Participants : 3,

科目ナンバリング/Course Numbering : EBA-MAN330J, 単位数/Credit(s) : 2

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class :

演習は、専門的なテーマについて少人数でかつ教員と学生との間の双方向のコミュニケーションを通じて、学生の積極的な知的探求能力を向上させようとする科目です。

Seminar is the subject that aims to improve students' proactive intellectual exploration skills on specialized topics through small-scale and interactive communication between professors and students.

2. 学修の到達目標/Goal of study :

演習に参加するすべての学生に要求されることは

- ・ 演習のテキストを精読する。
- ・ テーマについて熟慮する。
- ・ テーマについて活発に議論する。

Every student is required to

- ・ read the text carefully;
- ・ think about the themes seriously;
- ・ discusses the themes actively.

3. 授業内容・方法と進捗予定/Contents and progress schedule of the class :

担当教員の専門領域によります。『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

It depends on the supervisor's major. See the handbook (TEBIKI) for seminar.

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

5. 使用言語/Language Used in Course :

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

6. 成績評価方法/Evaluation method :

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

7. 教科書および参考書/Textbook and references :

8. 関連URL/URL :

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

9. 授業時間外学修/Preparation and Review :

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

10. その他/In addition :

メディア授業科目 /Course of Media Class:

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

経営学演習（Ⅱ）A/Seminar for Business Management (II)A

担当教員/Instructor：西出 優子/YUKO NISHIDE

曜日・講時/Day/Period：

対象学年/Eligible Participants：4,

科目ナンバリング/Course Numbering：EBA-MAN430J, 単位数/Credit(s)：2

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class：

演習は、専門的なテーマについて少人数でかつ教員と学生との間の双方向のコミュニケーションを通じて、学生の積極的な知的探求能力を向上させようとする科目です。

Seminar is the subject that aims to improve students' proactive intellectual exploration skills on specialized topics through small-scale and interactive communication between professors and students.

2. 学修の到達目標/Goal of study：

演習に参加するすべての学生に要求されることは

- ・ 演習のテキストを精読する。
- ・ テーマについて熟慮する。
- ・ テーマについて活発に議論する。

Every student is required to

- ・ read the text carefully;
- ・ think about the themes seriously;
- ・ discusses the themes actively.

3. 授業内容・方法と進捗予定/Contents and progress schedule of the class：

担当教員の専門領域によります。『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

It depends on the supervisor's major. See the handbook (TEBIKI) for seminar.

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

5. 使用言語/Language Used in Course：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

6. 成績評価方法/Evaluation method：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

7. 教科書および参考書/Textbook and references：

8. 関連URL/URL：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

9. 授業時間外学修/Preparation and Review：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

10. その他/In addition：

メディア授業科目 /Course of Media Class:

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

経営学演習（Ⅱ）B/Seminar for Business Management (II)B

担当教員/Instructor：西出 優子/YUKO NISHIDE

曜日・講時/Day/Period：

対象学年/Eligible Participants：4,

科目ナンバリング/Course Numbering：EBA-MAN430J, 単位数/Credit(s)：2

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class：

演習は、専門的なテーマについて少人数でかつ教員と学生との間の双方向のコミュニケーションを通じて、学生の積極的な知的探求能力を向上させようとする科目です。

Seminar is the subject that aims to improve students' proactive intellectual exploration skills on specialized topics through small-scale and interactive communication between professors and students.

2. 学修の到達目標/Goal of study：

演習に参加するすべての学生に要求されることは

- ・ 演習のテキストを精読する。
- ・ テーマについて熟慮する。
- ・ テーマについて活発に議論する。
- ・ 演習論文の完成に最善を尽くす。

Every student is required to

- ・ read the text carefully;
- ・ think about the themes seriously;
- ・ discusses the themes actively;
- ・ do your best to complete the thesis.

3. 授業内容・方法と進捗予定/Contents and progress schedule of the class：

担当教員の専門領域によります。『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

It depends on the supervisor's major. See the handbook (TEBIKI) for seminar.

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

5. 使用言語/Language Used in Course：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

6. 成績評価方法/Evaluation method：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

7. 教科書および参考書/Textbook and references：

8. 関連URL/URL：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

9. 授業時間外学修/Preparation and Review：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

10. その他/In addition：

メディア授業科目 /Course of Media Class:

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

経営学演習 (I) A/Seminar for Business Management (I)A

担当教員/Instructor : 李 銀星/YINXING LI

曜日・講時/Day/Period :

対象学年/Eligible Participants : 3,

科目ナンバリング/Course Numbering : EBA-MAN430J, 単位数/Credit(s) : 2

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class :

演習は、専門的なテーマについて少人数でかつ教員と学生との間の双方向のコミュニケーションを通じて、学生の積極的な知的探求能力を向上させようとする科目です。

Seminar is the subject that aims to improve students' proactive intellectual exploration skills on specialized topics through small-scale and interactive communication between professors and students.

2. 学修の到達目標/Goal of study :

演習に参加するすべての学生に要求されることは

- ・ 演習のテキストを精読する。
- ・ テーマについて熟慮する。
- ・ テーマについて活発に議論する。

Every student is required to

- ・ read the text carefully;
- ・ think about the themes seriously;
- ・ discusses the themes actively.

3. 授業内容・方法と進捗予定/Contents and progress schedule of the class :

担当教員の専門領域によります。『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

It depends on the supervisor's major. See the handbook (TEBIKI) for seminar.

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

5. 使用言語/Language Used in Course :

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

6. 成績評価方法/Evaluation method :

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

7. 教科書および参考書/Textbook and references :

8. 関連URL/URL :

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

9. 授業時間外学修/Preparation and Review :

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

10. その他/In addition :

メディア授業科目 /Course of Media Class:

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

経営学演習 (I) B/Seminar for Business Management (I)B

担当教員/Instructor : 李 銀星/YINXING LI

曜日・講時/Day/Period :

対象学年/Eligible Participants : 3,

科目ナンバリング/Course Numbering : EBA-MAN330J, 単位数/Credit(s) : 2

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class :

演習は、専門的なテーマについて少人数でかつ教員と学生との間の双方向のコミュニケーションを通じて、学生の積極的な知的探求能力を向上させようとする科目です。

Seminar is the subject that aims to improve students' proactive intellectual exploration skills on specialized topics through small-scale and interactive communication between professors and students.

2. 学修の到達目標/Goal of study :

演習に参加するすべての学生に要求されることは

- ・ 演習のテキストを精読する。
- ・ テーマについて熟慮する。
- ・ テーマについて活発に議論する。

Every student is required to

- ・ read the text carefully;
- ・ think about the themes seriously;
- ・ discusses the themes actively.

3. 授業内容・方法と進捗予定/Contents and progress schedule of the class :

担当教員の専門領域によります。『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

It depends on the supervisor's major. See the handbook (TEBIKI) for seminar.

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

5. 使用言語/Language Used in Course :

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

6. 成績評価方法/Evaluation method :

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

7. 教科書および参考書/Textbook and references :

8. 関連URL/URL :

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

9. 授業時間外学修/Preparation and Review :

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

10. その他/In addition :

メディア授業科目 /Course of Media Class:

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

経営学演習（Ⅱ）A/Seminar for Business Management (II)A

担当教員/Instructor：李 銀星/YINXING LI

曜日・講時/Day/Period：

対象学年/Eligible Participants：4,

科目ナンバリング/Course Numbering：EBA-MAN430J, 単位数/Credit(s)：2

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class：

演習は、専門的なテーマについて少人数でかつ教員と学生との間の双方向のコミュニケーションを通じて、学生の積極的な知的探求能力を向上させようとする科目です。

Seminar is the subject that aims to improve students' proactive intellectual exploration skills on specialized topics through small-scale and interactive communication between professors and students.

2. 学修の到達目標/Goal of study：

演習に参加するすべての学生に要求されることは

- ・ 演習のテキストを精読する。
- ・ テーマについて熟慮する。
- ・ テーマについて活発に議論する。

Every student is required to

- ・ read the text carefully;
- ・ think about the themes seriously;
- ・ discusses the themes actively.

3. 授業内容・方法と進捗予定/Contents and progress schedule of the class：

担当教員の専門領域によります。『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

It depends on the supervisor's major. See the handbook (TEBIKI) for seminar.

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

5. 使用言語/Language Used in Course：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

6. 成績評価方法/Evaluation method：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

7. 教科書および参考書/Textbook and references：

8. 関連URL/URL：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

9. 授業時間外学修/Preparation and Review：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

10. その他/In addition：

メディア授業科目 /Course of Media Class:

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

経営学演習（Ⅱ）B/Seminar for Business Management (II)B

担当教員/Instructor：李 銀星/YINXING LI

曜日・講時/Day/Period：

対象学年/Eligible Participants：4,

科目ナンバリング/Course Numbering：EBA-MAN430J, 単位数/Credit(s)：2

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class：

演習は、専門的なテーマについて少人数でかつ教員と学生との間の双方向のコミュニケーションを通じて、学生の積極的な知的探求能力を向上させようとする科目です。

Seminar is the subject that aims to improve students' proactive intellectual exploration skills on specialized topics through small-scale and interactive communication between professors and students.

2. 学修の到達目標/Goal of study：

演習に参加するすべての学生に要求されることは

- ・ 演習のテキストを精読する。
- ・ テーマについて熟慮する。
- ・ テーマについて活発に議論する。
- ・ 演習論文の完成に最善を尽くす。

Every student is required to

- ・ read the text carefully;
- ・ think about the themes seriously;
- ・ discusses the themes actively;
- ・ do your best to complete the thesis.

3. 授業内容・方法と進捗予定/Contents and progress schedule of the class：

担当教員の専門領域によります。『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

It depends on the supervisor's major. See the handbook (TEBIKI) for seminar.

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

5. 使用言語/Language Used in Course：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

6. 成績評価方法/Evaluation method：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

7. 教科書および参考書/Textbook and references：

8. 関連URL/URL：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

9. 授業時間外学修/Preparation and Review：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

10. その他/In addition：

メディア授業科目 /Course of Media Class:

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

民法/Civil Law

担当教員/Instructor : 石垣 茂光/SHIGEMITSU ISHIGAKI

曜日・講時/Day/Period : 前期 水曜日 2 講時. 前期 金曜日 1 講時

対象学年/Eligible Participants : 3・4,

科目ナンバリング/Course Numbering : EAL-LAW801J, 単位数/Credit(s) : 4

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class :

Google Classroom : 4s252kp

分業社会の今日、我々は他人の財物を獲得したりサービスを受けて生活をしている。それらの獲得手段として契約がある。この契約を法的にみるとどのようなことになるのか。とりわけ紛争が生じた場合にはどのように法的に解決されるのか。具体的に身の回りで生ずる紛争を例示しながら、民法やその他の特別法（消費者契約法・特定商取引法・割賦販売法・借地借家法、など）がどのようにルールづけているのか、つまりはどのような条文が適用されるのかを具体的にみていくことにする。さらには、条文を適用する際に条文を解釈することも必要となり、裁判所においてどのように解釈され、法律が適用されているのかも含めてみていくことにする。これにより、経済活動をルールづけている民法を具体的に知ることができるとともに、経済活動を多面的・立体的にみることもできるようになる。

またこれらを通じて、法的思考方法を理解し、身に付け、社会で起きている様々な紛争を法的にみることができるようになるとともに、権利意識を身につけることを目的とする。

This course provides explanations of the economic transaction based on the concepts of law and helps students learn how to resolve conflict by applying law, as well as deepen understanding of its court decision.

2. 学修の到達目標/Goal of study :

1. 様々な取引関係（契約）を法的に説明することができる。
2. 争いが生じた場合、法律を適用することによって法的にどうなるかを説明することができる。
3. 民法上の主要な争いについての裁判所の判断を説明することができる。

The purpose of this course is to help students explain many cases of economic conflict and their court decisions by developing thinking skills through lectures.

3. 授業内容・方法と進捗予定/Contents and progress schedule of the class :

第1回：ガイダンス1（法学入門、法的思考とは何か、法律を学ぶことの意義・方法）

第2回：ガイダンス2（民法とは何か）

第3回：権利主体としての自然人と法人

第4回：契約の成立要件（申込と承諾）

第5回：契約の有効要件としての能力（意思能力と行為能力）

第6回：契約の有効要件としての意思表示

第7回：契約の有効要件としての目的

第8回：有権代理・無権代理

第9回：表見代理

第10回：解除・クーリングオフ

第11回：弁済の要件

第12回：弁済の効果

第13回：消滅時効

第14回：債務不履行1（履行強制）

第15回：債務不履行2（損害賠償請求 その1 要件）

第16回：債務不履行3（損害賠償請求 その2 範囲）

第17回：売買契約1（双務契約の原則）

第18回：売買契約2（契約不適合）

第19回：売買契約3（物権の取得）

第20回：売買契約4（不動産物権変動）

第21回：売買契約5（動産物権変動）

第22回：賃貸借契約1（総説）

第23回：賃貸借契約2（不動産賃貸借）

第24回：消費貸借契約

第25回：担保の必要性

第26回：人的担保1（保証）

第27回：人的担保2（連帯債務）

第28回：物的担保1（抵当権）

第29回：物的担保2（非典型担保）

第30回：まとめ（理解度確認セッション・授業を振り返って）

This is a lecture-based course.

The contents and schedule are as shown below:

- 1) Learn about 'claims and obligations' based on a contract.
- 2) Understand requirements for various contracts.
- 3) Recognize the occurrence and extinction of 'claims and obligations' based on case studies.

4. 実務・実践的授業/Practicalbusiness

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"○"Indicatesthe practicalbusiness

5. 使用言語/Language Used in Course :

講義は日本語で行う。

6. 成績評価方法/Evaluation method :

数回行うレポート課題の評価が 50%、理解度確認セッションの評価が 50%。

なお、評価基準は、

専門用語を正確に理解しているか、

条文を事実に適切に当てはめることができるか、

条文自体の解釈が複数ある場合に自分の考えを論理的に展開することができるか、

であるが、より詳細には開講時に説明する。

7. 教科書および参考書/Textbook and references :

リーガルベイス民法入門〔第 4 版〕	道垣内弘人	日本経済新聞出版社	2022 年 8 月	9784296114646	参考書
オリエンテーション民法〔第 2 版〕	松久三四彦ほか	有斐閣	2022 年 4 月	9784641138919	参考書
消費者のための民法入門	村千鶴子	新世社	2019 年 8 月	9784883842988	参考書

8. 関連URL/URL :

9. 授業時間外学修/Preparation and Review :

レジュメを配布します。レジュメには項目の最初に設問を設定しています。予習として、この設問に答えてみる。まずは自分の感覚として答えを考え、ついで参考書等で調べ、最後に授業で確認してください。その際、自分の考えとの異同を確認し、どうしてそのような答えになるのかを自ら考えてみてください。

毎回の授業が終わったら、何が理解できて何が理解できないのかを確認する。理解できない部分は、まずは自分で調べ、それで解決できない場合にはメール等で質問してください。

10. その他/In addition :

メディア授業科目 /Course of Media Class:

メールアドレスは、s-ishigaki@mail.tohoku-gakuin.ac.jp です。

簿記1/Bookkeeping 1

担当教員/Instructor: 成田 由加里/YUKARI NARITA

曜日・講時/Day/Period: 前期 火曜日 6 講時

対象学年/Eligible Participants: 3・4,

科目ナンバリング/Course Numbering: EAL-ACC295J, 単位数/Credit(s): 2

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class:

企業の経済活動を表す財務諸表を作成するために基本となる簿記の考え方を学ぶ。対象とするのは個別財務諸表であり、個別財務諸表作成レベルの簿記の理解をその目的とする。経済環境に新たな変化に対し、販売、資金調達、投資等のビジネスプロセスを意識しつつ簿記の考え方の「幹」を太くすることにより、どのような場面でも柔軟に対応できる基礎力が養われることが本講義の目的である。

To learn the basics of bookkeeping to prepare financial statements that represent the economic activities of companies. The focus of the course is on individual financial statements. The goal of this course is to develop the ability to respond flexibly in any situation by fully understanding the "core" of the bookkeeping concept, while being aware of business processes such as sales, financing, and investment, even if a new change occurs in the economic environment.

2. 学修の到達目標/Goal of study:

販売、資金調達、投資等のビジネスプロセスを意識しつつ簿記の考え方や背景を理解し、個々の取引を会計の表現方法に変換し財務諸表作成に至る会計処理を修得することを到達目標とする。

3. 授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class:

第1回: オリエンテーション・簿記勘定体系とビジネスプロセス/Orientation・Bookkeeping Chart and Business Process

講義の概要、講義の進め方、成績評価、学習方法（予習・復習）などについてシラバスを用いて確認する。

第2回: 【損益計算】一般商品販売/General product sales

損益計算の基本に関する会計処理を学ぶ。

第3回: 【損益計算】一般商品販売・消費税/General product sales and consumption tax

損益計算の基本と消費税に関する会計処理を学ぶ。

第4回: 【損益計算】棚卸資産/Inventories

売上原価を算定するうえで重要なファクターである棚卸資産の算定方法を学ぶ。

第5回: 【損益計算】特殊商品売買～委託販売/Special Product Sales-Consignment Sales

委託売買について、ビジネスプロセスを理解し商品・資金の流れと勘定科目の仕組みを学ぶ。

第6回: 【損益計算】特殊商品売買～試用販売/Special Product Sales-Trial Sales

試用売買について、ビジネスプロセスを理解し商品・資金の流れと勘定科目の仕組みを学ぶ。

第7回: 【損益計算】特殊商品売買～その他 / Special Product Sales- Others

その他の売買について、ビジネスプロセスを理解し商品・資金の流れと勘定科目の仕組みを学ぶ。

第8回: 【損益計算】工事契約に関する会計処理（建設業会計）/Accounting for construction contracts

請負工事収益の認識基準に基づく会計処理を学ぶ。

第9回: 【金融商品】現預金・金銭債権/Cash and deposits, monetary receivables

貸借対照表の構造を理解し、現預金・金銭債権の評価に基づく会計処理を学ぶ。

第10回: 【金融商品】貸倒引当金/Allowance for doubtful accounts

キャッシュ・フロー見積法等貸倒引当金の会計処理及び貸倒引当金に関する BS・PL 表示を学ぶ。

第11回: 【金融商品】有価証券/Securities

有価証券の4分類及び有価証券の期末評価に関し、評価方法・評価差額の処理とその理由について学ぶ。

第12回: 【固定資産】有形固定資産/Tangible fixed assets

①取得②費用化③減少④資産性に関する評価の4つのフェーズから①②の会計処理を学ぶ。

第13回: 【固定資産】有形固定資産/Tangible fixed assets

①取得②費用化③減少④資産性に関する評価の4つのフェーズから③④の会計処理を学ぶ。

第14回: 理解度確認セッション/Examination

これまで学習してきた基礎的事項の理解を確認するために筆答審査を実施する。

第15回: 総括/Review

理解度確認セッションの確認のほか、講義全体を通じた総括を行う。

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

○

5. 使用言語/Language Used in Course:

日本語

6. 成績評価方法/Evaluation method:

・理解度確認 セッション (60%)・予習復習理解度確認セッション (小テスト) + 課題 (40%) で評価する。

・AA (90点以上)、A (80点以上 90点未満)、B (70点以上 80点未満)、C (60点以上 70点未満)、D (60点未満; 不合格)

7. 教科書および参考書/Textbook and references:

必要に応じて講義で紹介する。

8. 関連URL/URL :

9. 授業時間外学修/Preparation and Review :

予習範囲に関して、疑問点を整理して講義に臨むこと.

予習・復習確認セッション (小テスト) を予定している.

10. その他/In addition :

メディア授業科目 /Course of Media Class:

履修条件: 日商簿記2級程度の知識を有することが望ましい

PC 及び電卓持参のこと.

各回の授業方法の詳細、オフィスアワー、Classroom のコードなどの補足情報は、下記シラバス補遺で掲載する (要 東北大 ID)

<https://docs.google.com/spreadsheets/d/1MAqNGzdN1thqmGEh-Y3uDGuF71mdclBX3kI7u5gkzhY/>

簿記2/Bookkeeping 2

担当教員/Instructor: 成田 由加里/YUKARI NARITA

曜日・講時/Day/Period: 後期 水曜日 6 講時

対象学年/Eligible Participants: 3・4,

科目ナンバリング/Course Numbering: EAL-ACC296J, 単位数/Credit(s): 2

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class:

企業の経済活動を表す財務諸表を作成するために基本となる簿記の考え方を学ぶ。対象とするのは個別財務諸表であり、個別財務諸表作成レベルの簿記の理解をその目的とする。経済環境に新たな変化に対し、販売、資金調達、投資等のビジネスプロセスを意識しつつ簿記の考え方の「幹」を太くすることにより、どのような場面でも柔軟に対応できる基礎力が養われることが本講義の目的である。

To learn the basics of bookkeeping to prepare financial statements that represent the economic activities of companies. The focus of the course is on individual financial statements. The goal of this course is to develop the ability to respond flexibly in any situation by fully understanding the "core" of the bookkeeping concept, while being aware of business processes such as sales, financing, and investment, even if a new change occurs in the economic environment.

2. 学修の到達目標/Goal of study:

販売、資金調達、投資等のビジネスプロセスを意識しつつ簿記の考え方や背景を理解し、個々の取引を会計の表現方法に変換し財務諸表作成に至る会計処理を修得することを到達目標とする。

3. 授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class:

第1回: オリエンテーション・研究開発費とソフトウェア/Orientation, R & D expenses and software

講義の概要、成績評価、学習方法などについて説明を行い、市場販売目的ソフトウェア等の会計を学ぶ。

第2回: 資産除去債務/Asset retirement obligations

会計基準の基本的考え方を理解した上で資産除去債務の基本型及び債務見積りの変更の会計処理を学ぶ。

第3回: 減損/Impairment

減損の重みを理解した上で認識・測定の基本形を学び、のれん・共用資産がある場合の減損会計を学ぶ。

第4回: リース/Lease

リース取引＝「固定資産取引」＋「金融取引」と理解した上で、取得・費用化の観点から会計を理解する。

第5回: 引当金・退職給付引当金/Provisions and Provision for retirement benefits

引当金及び引当金に加えて特有の事象を有する退職給付会計（個別）について理解しその会計処理を学ぶ。

第6回: 退職給付引当金/Provision for retirement benefits

①基本: 企業会計原則＋②特有の事象 (1) 年金資産～控除 (2) 数理計算上の差異等～遅延認識を学ぶ。

第7回: 純資産/Net assets

純資産の部、株主資本の変動を理解し、欠損填補、自己株式の取得、処分、消却時等の会計処理を学ぶ。

第8回: 純資産・ストック・オプション/Net assets, Stock option

新株予約権の発行時、権利行使時等の会計処理を理解した上で、ストック・オプションの基本を学ぶ。

第9回: スtock・オプション/Stock option

適正な期間損益計算のため株式報酬費用の適切配分及び条件変更時の会計処理を学ぶ。

第10回: 金融商品～デリバティブ/Financial Instruments-Derivative

先物取引、オプション取引等デリバティブに関する会計処理を理解する。

第11回: 金融商品～デリバティブ・ヘッジ/Financial Instruments-Derivative Hedging

デリバティブを基礎にヘッジ会計が果たす有用な役割を理解した上でヘッジ会計の会計処理を学ぶ。

第12回: 外貨換算/Foreign currency conversion

外貨建取引の換算、外貨建金銭債権債務の換算、外貨建有価証券の換算、為替予約について学ぶ。

第13回: 税効果会計/Tax effect accounting

法人税、地方税、特に事業税の課税特質、繰越欠損金制度を理解し資産負債法による計算方法を学ぶ。

第14回: 理解度確認セッション/Examination

これまで学習してきた基礎的事項の理解を確認するために筆答審査を実施する。

第15回: 総括/Review

理解度確認セッションの確認のほか、講義全体を通じた総括を行う。

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

○

5. 使用言語/Language Used in Course:

日本語

6. 成績評価方法/Evaluation method:

・理解度確認セッション(60%)・予習復習理解度確認セッション(小テスト)＋課題(40%)で評価する。

・AA(90点以上)、A(80点以上90点未満)、B(70点以上80点未満)、C(60点以上70点未満)、D(60点未満; 不合格)

7. 教科書および参考書/Textbook and references:

必要に応じて講義で紹介する。

8. 関連URL/URL :

9. 授業時間外学修/Preparation and Review :

予習範囲に関して、疑問点を整理して講義に臨むこと.

予習・復習確認セッション (小テスト) を予定している.

10. その他/In addition :

メディア授業科目 /Course of Media Class:

履修条件: 日商簿記2級程度の知識を有することが望ましい

各回の授業においてPC及び電卓持参のこと.

各回の授業方法の詳細、オフィスアワー、Classroom のコードなどの補足情報は、下記「シラバス補遺」で示す (要 東北大ID)

<https://docs.google.com/spreadsheets/d/1rocnH9KAKFyoYecxq07eYjBvVoIIYnN0u3r6qNGR30o/>

原価計算 1 / Cost Accounting 1

担当教員/Instructor : 鈴木 翔太/SYOTA SUZUKI

曜日・講時/Day/Period : 前期 金曜日 6 講時

対象学年/Eligible Participants : 3・4,

科目ナンバリング/Course Numbering : EAL-ACC297J, 単位数/Credit(s) : 2

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class :

工業簿記及び原価計算の基礎を身につけることを目的としている。

講義では、演習問題を取り入れながら原価計算を支える理論や計算システムについて学習していく。

/The aim is to teach the basics of industrial bookkeeping and cost accounting.

In the lectures, students will study the theory and calculation systems that support cost accounting while incorporating practice problems.

2. 学修の到達目標/Goal of study :

1. 原価計算の目的と諸概念について説明できる。

2. 原価計算システムの理論構造を理解し、説明できる。

3. 原価計算の計算問題を解くことができる。

1. Explain the purpose and various concepts of cost accounting.

2. Understand and explain the theoretical structure of the cost accounting system.

3. Can solve calculation problems of cost accounting.

3. 授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class :

講義の進め方 :

・1回目の講義で講義の概要、進め方、成績評価、学習方法などについて説明を行う/In the first lecture, we will explain the outline of the lecture, how to proceed, grade evaluation, learning method, etc.

・テキストをベースとして、各講義で概ね一つのテーマについて講義する/Based on the textbook, each lecture will give a lecture on almost one theme.

・各セクションには練習問題を設けており、それを中心に復習する/Each section has exercises, and we will review them mainly.

・原則として毎回講義の冒頭に小テストを実施する./In principle, a quiz will be given at the beginning of each lecture.

・練習問題の一部はショートレポートとして提出を求める/Some exercises are required to be submitted as a short report

第1回 : オリエンテーション、工業簿記・原価計算の基礎 1 / Orientation・Basic of industrial bookkeeping and cost accounting1

講義の目的および全体のフレームワーク、進め方、成績評価方法、学習方法に関するガイダンスを行う。その上で、原価計算の目的と原価概念について講義する。

第2回 : 工業簿記・原価計算の基礎 2 / Basic of industrial bookkeeping and cost accounting2

原価計算の手続きと勘定連絡及び財務諸表との関係について講義する。

第3回 : 費目別原価計算 (材料費) / Item cost accounting I (Material cost)

材料費の分類及び会計処理方法について講義する。

第4回 : 費目別計算 (労務費計算) / Item cost accounting (Labor cost)

労務費の分類及び会計処理方法について講義する。

第5回 : 費目別計算 (経費計算) / Manufacturing overhead

経費の分類及び会計処理方法について講義する。

第6回 : 製造間接費 / Manufacturing overhead

製造間接費の配賦方法について講義する。

第7回 : 演習問題 (費目別計算) / Exercises

原価計算 1 の第6回までで学習した基礎知識を元にして、さらに多面的な観点からの練習問題を解くことにより、これまで学習してきた内容の総合的な理解を深めていく。

第8回 : 個別原価計算 / Single process costing

個別原価計算の計算手続について講義する。

第9回 : 個別原価計算における仕損 / Spoilage expenses Shrinkage loss in Job order costing

個別原価計算における仕損及び作業屑の計算手続について講義する。

第10回 : 演習問題 (個別原価計算) / Exercises

原価計算 1 の第9回までで学習した基礎知識を元にして、さらに多面的な観点からの練習問題を解くことにより、これまで学習してきた内容の総合的な理解を深めていく。

第11回 : 部門別計算 / Departmental cost accounting

部門別計算の計算手続について講義する。

第12回 : 部門別計算 / Departmental cost accounting

部門個別費と部門共通費の集計 (第1次集計) について講義する。

第13回 : 部門別計算 / Departmental cost accounting

補助部門費の配賦 (第2次集計) について講義する。

第14回 : 演習問題 (部門別原価計算) / Exercises

原価計算 1 の第13回までで学習した基礎知識を元にして、さらに多面的な観点からの練習問題を解くことにより、これまで学習してきた内容の総合的な理解を深めていく。

第 15 回：演習問題(理解度確認セッション)/Exercises

これまで学習してきた基礎的事項の理解を確認するために筆答審査を実施する。

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

○

5. 使用言語/Language Used in Course :

日本語

Japanese

6. 成績評価方法/Evaluation method :

理解度確認セッション (50%)、レポート・小テスト (50%)

・AA(90 点以上), A(80 点以上 90 点未満), B(70 点以上 80 点未満), C(60 点以上 70 点未満), D(60 点未満: 不合格)

Evaluation method:

Understanding level confirmation session (50%), report/quiz (50%)

・AA (90 points or more), A (80 points or more and 1

7. 教科書および参考書/Textbook and references :

みんなが欲しかった! 簿記の 鈴木 隆文 著 TAC 出版 2019 9784813285779 教科書
教科書 日商 1 級 工業簿記・原
価計算 1 費目別計算 個別原価
計算編 第 2 版(旧:TAC 簿記の教
室シリーズ)

8. 関連URL/URL :

9. 授業時間外学修/Preparation and Review :

予習・復習について :

・予習: 次回講義分について必ず予習すること

・復習: 各回の講義で課題を課す。事例について今回以前の分までを反復継続的に復習し、いつ小テストがあっても大丈夫なようにしておく必要がある。宿題以外の問題についても自主的に学習することを期待する。

About preparation and review:

・Preparation: Be sure to prepare for the next lecture

・Review: Tasks are assigned in ea

10. その他/In addition :

メディア授業科目 /Course of Media Class:

・オフィスアワー/office hour: 講義終了後/After the lecture

連絡先/contact address: shota.suzuki.e5@tohoku.ac.jp

その他/others :

・簿記 2 級程度の知識を有していることが望ましい。/It is desirable to have knowledge of bookkeeping level 2.

・電卓を用意しておくこと。/Prepare a calculator.

各回の授業方法の詳細、オフィスアワー、Classroom のコードなどの補足情報は、下記シラバス補遺に掲載する (要 東北大 ID)

<https://docs.google.com/spreadsheets/d/1MAqNGzdN1thqmGEh-Y3uDGuf71mdclBX3kI7u5gkzhY/>

原価計算 2 / Cost Accounting 2

担当教員/Instructor : 鈴木 翔太/SYOTA SUZUKI

曜日・講時/Day/Period : 後期 金曜日 6 講時

対象学年/Eligible Participants : 3・4,

科目ナンバリング/Course Numbering : EAL-ACC298J, 単位数/Credit(s) : 2

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class :

工業簿記及び原価計算の基礎を身につけることを目的としている。

講義では、演習問題を取り入れながら原価計算を支える理論や計算システムについて学習していく。

/The aim is to teach the basics of industrial bookkeeping and cost accounting.

In the lectures, students will study the theory and calculation systems that support cost accounting while incorporating practice problems.

2. 学修の到達目標/Goal of study :

1. 原価計算の目的と諸概念について説明できる。

2. 原価計算システムの理論構造を理解し、説明できる。

3. 原価計算の計算問題を解くことができる。

1. Explain the purpose and various concepts of cost accounting.

2. Understand and explain the theoretical structure of the cost accounting system.

3. Can solve calculation problems of cost accounting.

3. 授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class :

講義の進め方 :

・1回目の講義で講義の概要、進め方、成績評価、学習方法などについて説明を行う/In the first lecture, we will explain the outline of the lecture, how to proceed, grade evaluation, learning method, etc.

・テキストをベースとして、各講義で概ね一つのテーマについて講義する/Based on the textbook, each lecture will give a lecture on almost one theme.

・各セクションには練習問題を設けており、それを中心に復習する/Each section has exercises, and we will review them mainly.

・練習問題の一部はショートレポートとして提出を求める/Some exercises are required to be submitted as a short report

・Google Classroom : vp2ltd7

第1回 : 単純総合原価計算 / Single process costing

単純総合原価計算について概説する

第2回 : 総合原価計算における仕損費・減損 I / Spoilage expenses Shrinkage loss in process cost system

総合原価計算における仕損費・減損について概説する

第3回 : 総合原価計算における仕損費・減損 II / Spoilage expenses Shrinkage loss in process cost system

総合原価計算における仕損費・減損について概説する

第4回 : 工程別総合原価計算 I / Sequential cost system I

工程別総合原価計算について概説する

第5回 : 工程別総合原価計算 II / Sequential cost system II

工程別総合原価計算について概説する

第6回 : 組別・等級別総合原価計算 / Class cost system ・ Group cost system

組別・等級別総合原価計算について概説する

第7回 : 連産品の原価計算 / CO-product

連産品の原価計算について概説する

第8回 : 演習問題 (総合原価計算) / Exercises

総合原価計算の演習を実施する。

第9回 : 標準原価計算 I / Standard cost system I

標準原価計算について概説する

第10回 : 標準原価計算 II / Standard cost system II

標準原価計算について概説する

第11回 : 標準原価計算 III / Standard cost system III

について概説する

第12回 : 標準原価計算 IV / Standard cost system IV

標準原価計算について概説する

第13回 : 標準原価計算 V / Standard cost system V

標準原価計算について概説する

第14回 : 演習問題 2 (標準原価計算) / Exercises2

標準原価計算に係る問題演習を通じて理解を深める

第15回 : 演習問題 (理解度確認セッション) / Exercises

理解度確認セッションを実施する。

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

○

5. 使用言語/Language Used in Course :

日本語
Japanese

6. 成績評価方法/Evaluation method :

成績評価法 :

理解度確認セッション (50%)、レポート・小テスト (50%)

・AA(90 点以上), A(80 点以上 90 点未満), B(70 点以上 80 点未満), C(60 点以上 70 点未満), D(60 点未満 : 不合格)

Grading method:

Understanding level confirmation session (50%), report/quiz (50%)

・AA (90 points or more), A (80 points or more and less

7. 教科書および参考書/Textbook and references :

みんなが欲しかった! 簿記の 鈴木 隆文 著 TAC 出版 2019 9784813285786 教科書
教科書 日商 1 級 工業簿記・原
価計算 2 総合原価計算・標準原
価計算編 第 2 版(旧:TAC 簿記の
教室シリーズ)

8. 関連URL/URL :

9. 授業時間外学修/Preparation and Review :

予習・復習について :

・予習: 次回講義分について必ず予習すること

・復習: 各回の講義で課題を課す。事例について今回以前の分までを反復継続的に復習し、いつ小テストがあっても大丈夫なようにしておく必要がある。宿題以外の問題についても自主的に学習することを期待する。

About preparation and review:

・Preparation: Be sure to prepare for the next lecture

・Review: Tasks are assigned in ea

10. その他/In addition :

メディア授業科目 /Course of Media Class:

オフィスアワー: 講義終了後

連絡先: shota.suzuki.e5@tohoku.ac.jp

その他講義を受講する際注意すべき点/others :

・簿記 2 級程度の知識を有していることが望ましい。/It is desirable to have knowledge of bookkeeping level 2.

・前期に開講される原価計算 1 を履修していることが望ましい。/It is desirable to have taken Cost Accounting 1, which is offered in the first semester.

・電卓を用意しておくこと/Prepare a calculator.

各回の授業方法の詳細、オフィスアワー、Classroom のコードなどの補足情報は、下記「シラバス補遺」で示す(要 東北大 ID)

<https://docs.google.com/spreadsheets/d/1rocnH9KAKFyoYecxq07eYjBvVoIIYnN0u3r6qNGR30o/>

インターンシップ/Internship

担当教員/Instructor : 高浦 康有/YASUNARI TAKAURA

曜日・講時/Day/Period :

対象学年/Eligible Participants : 2・3・4,

科目ナンバリング/Course Numbering : EAL-ECM297J, 単位数/Credit(s) : 2

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class :

在学中に大学での授業を通じて修得した理論や知識を、企業やNPO、公的機関等の実社会で実践し体験する機会を提供する。それによって、経済・経営現象についての理解・関心を深め、ものの見方や考え方を養うと同時に、人格形成や将来のキャリア形成に役立てることを目的とする。

This class will provide you with the chance to apply the theory and the knowledge which you have obtained at our school for the real community of the business, the non-profit, and the government sector. Through the practical internship experience you can understand the economic and management world profoundly and exercise your own personality and career development.

2. 学修の到達目標/Goal of study :

大学で修得した専門的知識を実社会の問題に結び付けて活用する能力を高められるようになる。また広い視野と考え方を身につけ、将来的なキャリアについて考えるヒントを得る。

This class aims to enhance your practical abilities to utilize the academic knowledge for real situations and then give you wider perspectives and some hints for you to consider your future career.

3. 授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class :

インターンシップ科目の履修方法は他の科目と大きく異なるので、注意すること。

※Google Classroomを活用します（大学院の受講生についても学部クラスと合同になります）。

前期クラスコード : bvhwq6j

各種の関係書式もこちらを通じて配布します。

（1）第1学期または第2学期の履修登録期間中に学生用Webで、連続講義と同様に履修登録する。本科目の登録時の単位数は2単位のみとなっているが、原則次学期末の成績確定時に、実際に取得した単位数（2～4単位）の科目へ登録振替を行う。

（2）履修登録・変更期間終了後に、事前研修（第1学期登録の場合は6月頃、第2学期登録の場合は11月頃、学内で実施される）のクラス割り当て結果をClassroomに掲出するので、日程を確認し、該当クラスに参加する。

※事前研修のクラスは教室開催の予定ですが、本学BCPレベルにも拠りますので、Classroomからのお知らせ配信をチェックするようにしてください。

（3）各学期当初からインターンシップ公募情報をもとに受入機関を自ら探し、採用試験等を受ける。受入先が決まったら、すみやかに受入機関による協力承諾を取り付けた後、「インターンシップ実施届」を、必要証明書類を添付の上、教務係窓口へ提出する。

※教務係インターンシップ専用メールアドレスにご送付ください。証明書類等の写しはスマートフォン撮影のもので構いません。

eco-intern●grp.tohoku.ac.jp（：●は@に要置換え）

○インターンシップの公募情報については、キャンパス・コミュニティ、教務揭示版（とくに官公庁等による募集の場合）、本学キャリア支援センター（HP及び窓口）、各社HP、民間就職支援サイトほかで検索・入手が可能です。

参考：本学キャリア支援センター「インターンシップ希望者向け情報」

http://www.career.ihe.tohoku.ac.jp/ug_ma/info/intern

（4）就業体験期間中は、毎週「インターンシップ週間活動報告書」（週報）を作成する。

※受入機関ご担当者によるサインや押印は省略できます。その場合、ご担当者の所属機関アドレスから、上記の教務係インターンシップ専用メールアドレスまで、各週分をまとめてメール送付いただくようにご依頼ください。

（5）就業体験終了後、受入機関に「インターンシップ受入機関所見」の送信を依頼する。

※受入機関ご担当者によるサインや押印は省略できます。ご担当者の所属機関アドレスから、上記の教務係インターンシップ専用メールアドレスまで、メール送付いただくようにご依頼ください。

（6）週報、成果物及び「インターンシップ終了報告書」等の必要書類を教務係窓口へ提出する。

※週報は（4）で述べたようにご担当者からメール送付いただくことが可能です。報告書については上記の教務係インターンシップ専用メールアドレスに自らご送付ください。成果物等の写しはスマートフォン撮影のもので構いません。

以上の関係書式は上記のGoogle Classroomの当該科目教材リストを通じて入手可能です。

その他、詳細は新年度版の学生便覧（抜粋）の「インターンシップ履修要領」を参照してください。

We will confirm you to have to attend the pre-internship training seminar held in our school and submit the designated series of documents to the Instruction Section before and after you take part in each internship

program.

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

○

5. 使用言語/Language Used in Course :

日本語

6. 成績評価方法/Evaluation method :

担当教員は、出席簿等により事前研修に既参加であるかどうか、並びに「実施届」が提出済みであるか否か等の認定要件を確認した上で、提出資料ほかに基づいて履修単位数*及び成績を決定する。担当教員は記載内容の確認を要する場合など必要に応じて受講生と面談を行うことがある。なお成績評価の確定は基本的に次学期末となり、通常よりも成績表への反映が遅れるので留意すること。

*総時間数（受入機関での実習時間 × 1.5）：60 時間につき 2 単位（以降 30 時間ごとに 1 単位追加、4 単位まで）

7. 教科書および参考書/Textbook and references :

8. 関連URL/URL :

以下の要件をすべて満たすプログラムに限って当該年度の単位修得を認める。

- (1) 受入機関が「公募」によって参加者募集を行っていること*
- (2) 受入機関での実習時間数が「40 時間以上」であること**
- (3) 当該年度の所定期間内に実施されるプログラムであること***
- (4) 本人が「学生教育研究災害傷害保険」等の保険・共済に加入していること
- (5) 受入機関が単位認定のための諸手続きに協力することを承諾していること

* 実体としてアルバイトや労務の提供ではなく、研修的要素を備えたインターンシップとして実施されるものに限る。報酬・手当の有無は問わない。

** 単独または複数の実習プログラムを合算して 40 時間以上であればよい。ただし 20 時間を下回るプログラムを合算対象にすることはできない。

*** 原則として、学内の事前研修（当該履修登録学期）最終クラスの終了日翌日から次学期の事前研修最終クラスの終了日までを期間として定める。たとえば第 1 学期に履修登録した場合は、6 月頃から 11 月頃にかけて実施されるプログラムが対象となり、第 2 学期に履修登録した場合は、11 月頃から翌年 6 月頃にかけて実施されるプログラムが対象となる。

9. 授業時間外学修/Preparation and Review :

実習先で課題が与えられるような場合はその指示に従うこと

10. その他/In addition :

メディア授業科目 /Course of Media Class:

問い合わせ先：東北大学経済学部・経済学研究科教務係 インターンシップ専用メール

eco-intern●grp.tohoku.ac.jp （：●は@に要置換え）

インターンシップ/Internship

担当教員/Instructor : 高浦 康有/YASUNARI TAKAURA

曜日・講時/Day/Period :

対象学年/Eligible Participants : 2・3・4,

科目ナンバリング/Course Numbering : EAL-ECM297J, 単位数/Credit(s) : 2

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class :

在学中に大学での授業を通じて修得した理論や知識を、企業やNPO、公的機関等の実社会で実践し体験する機会を提供する。それによって、経済・経営現象についての理解・関心を深め、ものの見方や考え方を養うと同時に、人格形成や将来のキャリア形成に役立てることを目的とする。

This class will provide you with the chance to apply the theory and the knowledge which you have obtained at our school for the real community of the business, the non-profit, and the government sector. Through the practical internship experience you can understand the economic and management world profoundly and exercise your own personality and career development.

2. 学修の到達目標/Goal of study :

大学で修得した専門的知識を実社会の問題に結び付けて活用する能力を高められるようになる。また広い視野と考え方を身につけ、将来的なキャリアについて考えるヒントを得る。

This class aims to enhance your practical abilities to utilize the academic knowledge for real situations and then give you wider perspectives and some hints for you to consider your future career.

3. 授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class :

インターンシップ科目の履修方法は他の科目と大きく異なるので、注意すること。

※Google Classroomを活用します（大学院の受講生についても学部クラスと合同になります）。

後期クラスコード : tcgg7g5

各種の関係書式もこちらを通じて配布します。

（1）第1学期または第2学期の履修登録期間中に学生用Webで、連続講義と同様に履修登録する。本科目の登録時の単位数は2単位のみとなっているが、原則次学期末の成績確定時に、実際に取得した単位数（2～4単位）の科目へ登録振替を行う。

（2）履修登録・変更期間終了後に、事前研修（第1学期登録の場合は6月頃、第2学期登録の場合は11月頃、学内で実施される）のクラス割り当て結果をClassroomに掲出するので、日程を確認し、該当クラスに参加する。

※事前研修のクラスは教室開催の予定ですが、本学BCPレベルにも拠りますので、Classroomからのお知らせ配信をチェックするようにしてください。

（3）各学期当初からインターンシップ公募情報をもとに受入機関を自ら探し、採用試験等を受ける。受入先が決まったら、すみやかに受入機関による協力承諾を取り付けた後、「インターンシップ実施届」を、必要証明書類を添付の上、教務係窓口へ提出する。

※教務係インターンシップ専用メールアドレスにご送付ください。証明書類等の写しはスマートフォン撮影のもので構いません。

eco-intern●grp.tohoku.ac.jp（:●は@に要置換え）

○インターンシップの公募情報については、キャンパス・コミュニティ、教務揭示版（とくに官公庁等による募集の場合）、本学キャリア支援センター（HP及び窓口）、各社HP、民間就職支援サイトほかで検索・入手が可能です。

参考：本学キャリア支援センター「インターンシップ希望者向け情報」

http://www.career.ihe.tohoku.ac.jp/ug_ma/info/intern

（4）就業体験期間中は、毎週「インターンシップ週間活動報告書」（週報）を作成する。

※受入機関ご担当者によるサインや押印は省略できます。その場合、ご担当者の所属機関アドレスから、上記の教務係インターンシップ専用メールアドレスまで、各週分をまとめてメール送付いただくようにご依頼ください。

（5）就業体験終了後、受入機関に「インターンシップ受入機関所見」の送信を依頼する。

※受入機関ご担当者によるサインや押印は省略できます。ご担当者の所属機関アドレスから、上記の教務係インターンシップ専用メールアドレスまで、メール送付いただくようにご依頼ください。

（6）週報、成果物及び「インターンシップ終了報告書」等の必要書類を教務係窓口へ提出する。

※週報は（4）で述べたようにご担当者からメール送付いただくことが可能です。報告書については上記の教務係インターンシップ専用メールアドレスに自らご送付ください。成果物等の写しはスマートフォン撮影のもので構いません。

以上の関係書式は上記のGoogle Classroomの当該科目教材リストを通じて入手可能です。

その他、詳細は新年度版の学生便覧（抜粋）の「インターンシップ履修要領」を参照してください。

We will confirm you to have to attend the pre-internship training seminar held in our school and submit the designated series of documents to the Instruction Section before and after you take part in each internship

program.

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

○

5. 使用言語/Language Used in Course :

日本語

6. 成績評価方法/Evaluation method :

担当教員は、出席簿等により事前研修に既参加であるかどうか、並びに「実施届」が提出済みであるか否か等の認定要件を確認した上で、提出資料ほかに基づいて履修単位数*及び成績を決定する。担当教員は記載内容の確認を要する場合など必要に応じて受講生と面談を行うことがある。なお成績評価の確定は基本的に次学期末となり、通常よりも成績表への反映が遅れるので留意すること。

*総時間数（受入機関での実習時間 × 1.5）：60 時間につき 2 単位（以降 30 時間ごとに 1 単位追加、4 単位まで）

7. 教科書および参考書/Textbook and references :

8. 関連URL/URL :

以下の要件をすべて満たすプログラムに限って当該年度の単位修得を認める。

- (1) 受入機関が「公募」によって参加者募集を行っていること*
- (2) 受入機関での実習時間数が「40 時間以上」であること**
- (3) 当該年度の所定期間内に実施されるプログラムであること***
- (4) 本人が「学生教育研究災害傷害保険」等の保険・共済に加入していること
- (5) 受入機関が単位認定のための諸手続きに協力することを承諾していること

* 実体としてアルバイトや労務の提供ではなく、研修的要素を備えたインターンシップとして実施されるものに限る。報酬・手当の有無は問わない。

** 単独または複数の実習プログラムを合算して 40 時間以上であればよい。ただし 20 時間を下回るプログラムを合算対象にすることはできない。

*** 原則として、学内の事前研修（当該履修登録学期）最終クラスの終了日翌日から次学期の事前研修最終クラスの終了日までを期間として定める。たとえば第 1 学期に履修登録した場合は、6 月頃から 11 月頃にかけて実施されるプログラムが対象となり、第 2 学期に履修登録した場合は、11 月頃から翌年 6 月頃にかけて実施されるプログラムが対象となる。

9. 授業時間外学修/Preparation and Review :

実習先で課題が与えられるような場合はその指示に従うこと

10. その他/In addition :

メディア授業科目 /Course of Media Class:

問い合わせ先：東北大学経済学部・経済学研究科教務係 インターンシップ専用メール

eco-intern●grp.tohoku.ac.jp （：●は@に要置換え）